

最高級刺しゅう機付きコンピュータミシン

取扱説明書

EM210 シリーズ

最高級刺しゅう機付きコンピュータミシン 取扱説明書 EM210 シリーズ



- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようになってください。

はじめに

この度は、当社の商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧になり各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。
 また、お読みになった後は保証書とともにお使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書およびミシン本体および刺しゅう機に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
 その表示や意味は次のとおりです。

▲ 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
▲ 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

 特定しない 禁止事項	 特定しない 義務行為	 感電の危険が あります
 分解しては いけません	 電源プラグを 抜いてください	 火災の危険が あります
 水に濡らしては いけません	 特定しない 危険通告	 やけどの危険が あります

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

▲ 警告

 	<p>一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。</p>	
	<p>以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミシンのそばを離れるとき ・ ミシンを使用したあと ・ 運転中に停電したとき ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・ 雷が鳴りはじめたとき 	

▲ 注意



延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



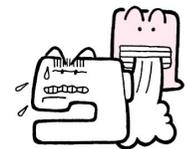
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。



長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0～40℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。



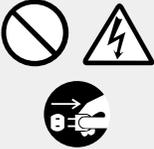
スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。



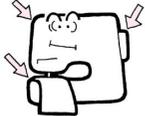
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。



▲ 注意

	<p>ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から30cm以上離してお使いください。また、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。</p>	
	<p>ミシン本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
	<p>換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。</p>	
	<p>ミシン本体の重さは約11kgあります。ミシン本体を持ち運ぶ際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。</p>	
	<p>ミシン本体は必ずハンドルを持って、持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべて落としたりして、ケガの原因となります。</p>	
	<p>ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。</p>	
	<p>お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。</p>	

▲ 注意

	<p>取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガまたは、感電の原因となります。</p>	
	<p>ランプを交換するときは、ガラスの部分が冷えてから行ってください。やけどの原因となります。</p>	
	<p>ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。</p>	
	<p>縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。針折れの原因となります。</p>	
	<p>針の下などに指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。</p>	
	<p>上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示にしたがって正しく行ってください。取り扱いを誤りますと、縫製中、糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。</p>	
	<p>曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。</p>	
	<p>万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
 	<p>万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音をするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>	

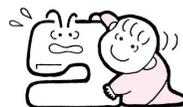
▲ 注意



ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。



お子様の玩具として使用しないでください。お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、お子様がケガをしないよう充分ご注意ください。



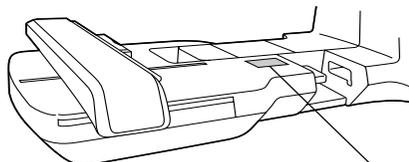
- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
職業用としてご使用になられた場合の保証はいたしかねますのでご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

警告表示について

刺しゅう機には下記の警告が表示されています。
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

▲ 注意

刺しゅう機を取り外してからミシンを移動してください。
刺しゅう機が落下してケガをします。



印刷位置

こんなことができます

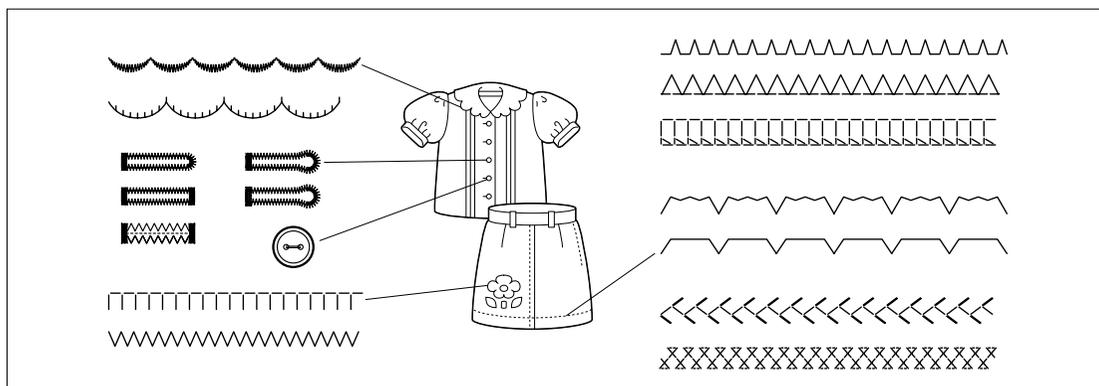
このミシンは直線ぬいからボタン穴かがり、文字・模様ぬい、刺しゅうなどいろいろなぬい方ができる最高級コンピュータミシンです。

このミシンの特徴

- 大型液晶画面を使って、ミシンの使い方やぬい方、アドバイスをイラストと文章で手順を追って丁寧に教えてくれます。
- ワンタッチで下糸準備完了、下糸を引き上げなくてもぬうことができます。
- 面倒な試しぬいがいらぬ自動糸調子がついています。
- ニーリフターで手軽に押えの上げ下げができて、キルトやパッチワークに便利です。

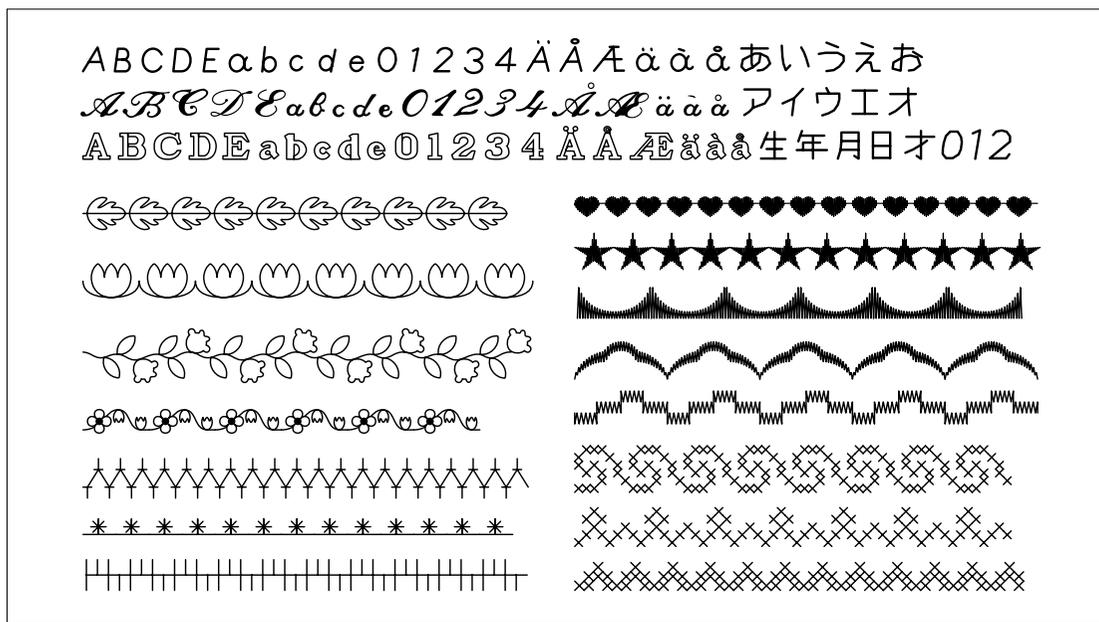
実用ぬい

洋裁によく使う模様が107種類内蔵されています。



文字・模様ぬい

ひらがな、カタカナ、アルファベット、飾り模様、サテンステッチ、クロスステッチなどの模様がぬえます。



- 刺しゅう機をセットすると、最大タテ26cm×ヨコ16cmの刺しゅうができます。
- 刺しゅうをぬっている最中でも、下糸巻きが簡単にできます。

刺しゅう

ミシンに内蔵されている文字やワンポイント模様、枠模様のほか、別売の刺しゅうカードを使って、キャラクターやいろいろなワンポイント模様の刺しゅうができます。



編集刺しゅう

文字や模様を組み合わせたり、文字の配列を変えたりして自由にアレンジできます。



本書の構成と読み方

第1章、第2章はこのミシンを初めて使われる方を対象に、ミシンの基本的な操作方法を説明しています。

実用ぬいをしたい方は

続けて第3章へ進んでください。模様を選び方やいろいろなぬい方を学びます。



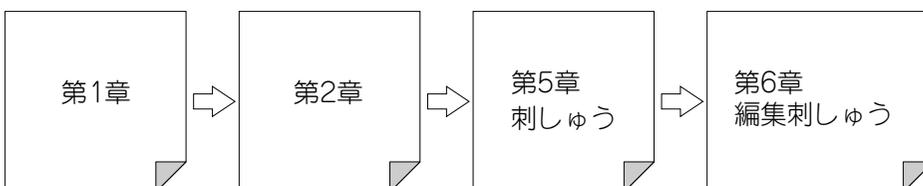
文字・模様ぬいをしたい方は

第4章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの基本操作と、模様の反転や大きさ変更などの模様の編集やいろいろな模様を組み合わせるぬう方法、組み合わせた模様の記憶のしかたなどを学びます。



刺しゅうをしたい方は

第5章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの刺しゅうの基本操作について学習し、その後、模様の回転、サイズ変更などの模様の編集やさらに便利な機能やテクニックについて学びます。第6章の編集刺しゅうではさらに高度な模様の編集と模様の組み合わせのしかたを学びます。



- 操作の手順の中で示されている表示は実際に操作する部分を緑色で示しています。実際の画面やミシンを照らし合わせながら操作を進めてください。
- 操作中にわからない点が発生したとき、機能について知りたいときに、該当箇所をすぐ参照できるよう、最終ページに索引がついていますので目次と合わせてご利用ください。

もくじ

はじめに

安全にお使いいただくために

警告表示について

こんなことができます

このミシンの特徴

本書の構成と読み方

第1章 お使いになる前に

この章では、ミシンの各部の名称とはたらき、および液晶画面の操作方法について説明します。

各部の名称とはたらき 1-1

各部の名称	1-1
■ 刺しゅう機	1-2
■ ハードケース	1-2
■ 刺しゅう機キャリングケース	1-2
付属品	1-3
別売品	1-5
各部のはたらき	1-6
■ 操作スイッチ	1-6
■ プーリー	1-7
■ 押えレバー	1-7
■ スピードコントロールレバー	1-7
■ 糸巻きスイッチ	1-7
■ 上ふた	1-8
■ 補助糸たて棒	1-8
■ 補助テーブル／フリーアーム	1-8
■ ドロップレバー	1-8
■ 押え圧ダイヤル	1-9
■ ニーリフター	1-9
■ フットコントローラー	1-10

画面操作のしかた 1-11

電源の入れ方	1-11
画面の見方	1-12
画面についての取り扱い注意	1-14
 (設定) キーの使い方	1-14
 (ミシンの使い方) キーの使い方 ...	1-19
 (アドバイス) キーの使い方	1-22

第2章 基本操作

この章では、ぬう前の準備や基本のぬい方など、ミシンの基本的な操作方法を説明します。

ぬう前の準備 2-1

下糸巻き	2-1
下糸セット	2-7
上糸通し	2-8
下糸の引き出し方	2-13
押えの交換	2-14
針の交換	2-18

ぬってみましょう 2-21

基本のぬい方	2-21
ほつれ止めのしかた	2-23
ぬい方向を変えるには	2-23
カーブのぬい方	2-23
厚地のぬい方	2-24
薄地のぬい方	2-24
2本針を使用するときは	2-25

ぬい目の調節 2-28

ジグザグの振り幅調節	2-28
ぬい目の長さ調節	2-29
糸調子	2-30

便利な機能 2-31

自動止めぬい	2-31
自動糸切り	2-32
画面ロック	2-33

第3章 実用ぬい

この章では、実用ぬいの模様の選び方といろいろなぬい方について、説明します。

ぬい方早見表 3-1

実用模様の選び方 3-9

模様の選び方	3-9
 (ぬい方) キーを使った模様の選び方 ...	3-11
模様を左右に反転させるには	3-13
模様をお好みの状態に設定して、 記憶するには	3-14

いろいろなぬい方 3-15

直線ぬい	3-15
しつけ	3-18
ジグザグ	3-19
■ たちめかがり	3-20
■ アププリケ	3-20
■ パッチワーク(クレイジーキルト) ..	3-20
点線ジグザグ	3-21
■ ゴムひもつけ	3-21
■ たちめかがり	3-21
たちめかがり	3-22
キルト	3-27
■ ピーシング	3-28
■ キルティング	3-29
■ アププリケ	3-30
■ サテンぬい	3-32
まつりぬい	3-34
アププリケ	3-36
シェルタック	3-38
スカラップ	3-40
つき合わせ	3-41
スモッキング	3-43
ファゴティング	3-45
ゴムひもつけ	3-46
ヘアルーム	3-48
ボタン穴かがり	3-52
ダーニング	3-56
かんどめ	3-58
ボタンつけ	3-60
アイレット	3-62
横送り(直線・ジグザグ)	3-64
ファスナーつけ	3-66

第4章 文字・模様ぬい

この章では、文字・模様ぬいの基本操作について説明し、その後、模様の大きさ変更や模様の反転、模様の組み合わせ、組み合わせた模様の記憶などについて説明します。

<基本編>

模様の選び方 4-1

大型飾り模様	4-2
7mm飾り模様	4-3
大型サテンステッチ	4-3
7mmサテンステッチ	4-4
クロスステッチ	4-4
実用飾り模様	4-5
アルファベット	4-6
ひらがな／カタカナ／漢字	4-7
■ まちがえて模様を選んだときは ...	4-8

文字・模様をぬってみましょう 4-9

きれいにぬうために	4-9
文字・模様のぬい方	4-10
模様の調整	4-11

<応用編>

模様の編集 4-13

模様の大きさを変えるには	4-15
模様の長さを変えるには (7mmサテンステッチのみ)	4-15
模様を上下反転させるには	4-16
模様を左右反転させるには	4-16
模様の糸密度を変えるには (大型サテンステッチのみ)	4-16
連続ぬい／ 単独ぬいを切り替えるには	4-17
横書き／縦書きを切り替えるには	4-17

模様の組み合わせ 4-18

模様の組み合わせをする前に	4-18
飾り模様と文字の組み合わせ	4-18
「大」模様と「小」模様の組み合わせ ...	4-20
反転模様の組み合わせ	4-21
長さを変えた模様の組み合わせ	4-22

ステップ模様を作るには (7mmサテンステッチのみ)	4-23
組み合わせた文字・ 模様を確認するには	4-26

模様の記憶..... 4-27

模様を記憶するには	4-27
記憶した模様を呼び出すには	4-31

第5章 刺しゅう

この章では、刺しゅうの基本操作について説明し、その後、模様の大きさ変更、模様の回転などの模様の編集、さらに便利な機能やテクニックについて説明します。

<基本編>

取り扱い上の注意..... 5-1

著作権について	5-1
刺しゅう機について	5-1
刺しゅうカード(別売)について	5-1
フロッピーディスク(別売)について	5-2

刺しゅうの準備..... 5-3

刺しゅう押え<Q>の取り付け	5-4
刺しゅう機の取り付け	5-5
刺しゅう機の取り外し方	5-7

刺しゅう模様の選び方..... 5-8

ワンポイント	5-9
アルファベット	5-11
花アルファベット	5-13
枠模様	5-15
刺しゅうカード(別売)	5-17
漢字カード(別売)	5-18
ひらがな／カタカナ／漢字	5-20
フロッピーディスク(別売)	5-22

縫製画面の見方..... 5-23

刺しゅう枠のセット..... 5-24

布地に芯を貼るには	5-24
刺しゅう枠に布地を張るには	5-25
刺しゅう枠をセットするには	5-28

ぬう位置を決めるには..... 5-30

ぬう位置を移動させるには	5-30
ぬう位置を確認するには	5-31
ぬったときのイメージを見るには	5-32

刺しゅうしてみよう..... 5-33

きれいに刺しゅうをするために	5-33
刺しゅうのぬい方	5-34
アップリケ模様のぬい方	5-37
下糸が少なくなったら	5-39
途中で糸が切れたときは	5-41
始めからぬい直したいときは	5-42
一旦電源スイッチを切った後で 続きをぬいたいときは	5-43

刺しゅうの調整..... 5-44

糸調子を整えるには	5-44
刺しゅうの速度を変えるには	5-45
刺しゅうの糸色表示を変えるには	5-46
オリジナル糸番号	5-47
刺しゅうの枠表示を変えるには	5-49

<応用編>

模様の編集..... 5-50

模様の大きさを変えるには	5-51
模様を回転させるには	5-52
模様を左右に反転させるには	5-52
糸密度を変えるには (文字・枠模様の一部のみ)	5-53
1文字ずつ色を変えてぬうには	5-54

刺しゅう模様の記憶..... 5-55

刺しゅう模様を記憶するには	5-55
記憶した模様を呼び出すには	5-59

応用ぬい..... 5-61

模様の左端に合わせてぬうには	5-61
文字をつなげてぬうには	5-62
アウトライン刺しゅうをするには	5-64
枠模様を使ってアップリケをするには (1)	5-65
枠模様を使ってアップリケをするには (2)	5-66
小さい布や布の隅にぬうには	5-68

第6章 編集刺しゅう

この章では、模様拡大・縮小、文字の配列変更、文字間隔の調整などさらに高度な模様の編集と刺しゅう模様の組み合わせ方を説明します。

編集刺しゅうでできること 6-1

模様の選び方 6-2

文字の場合 6-5

編集のしかた 6-8

ぬう位置を移動させるには 6-9

模様を回転させるには 6-10

模様の大きさを変えるには 6-11

編集している模様を削除するには 6-12

模様の糸色を変えるには 6-13

文字の配列を変更するには 6-15

文字の間隔を変更するには 6-16

1文字ずつ色を変えてぬうには 6-17

横書き／縦書きを切り替えるには 6-18

編集が終わったら 6-19

組み合わせの編集 6-21

編集した模様を修正するには 6-30

編集刺しゅうの記憶 6-32

模様を記憶するには 6-32

記憶した模様を呼び出すには 6-36

第7章 マイイラスト機能

この章では、自分オリジナルの模様の作り方について説明します。

イラストの描き方 7-1

模様の入力のしかた 7-3

データの作り方 7-3

作ったデータを修正するには 7-6

模様の記憶 7-11

作成した模様を記憶する 7-11

記憶した模様を呼び出すには 7-13

第8章 お手入れのしかた

この章では、ランプの交換、ミシンの掃除、フロッピーディスクドライブのヘッドクリーニングについて説明します。

ランプの交換 8-1

ミシンの掃除 8-2

フロッピーディスクドライブの
ヘッドクリーニング 8-4

アップグレードの方法 8-5

第9章 トラブルシューティング

この章では、画面の調整、タッチパネルの調整、トラブルがあったときの対処法について説明します。

画面の調整 9-1

タッチパネルの調整 9-2

トラブルチェック機能 9-4

簡単なミシンの調整 9-6

エラーメッセージ 9-11

その他

主な仕様 10-1

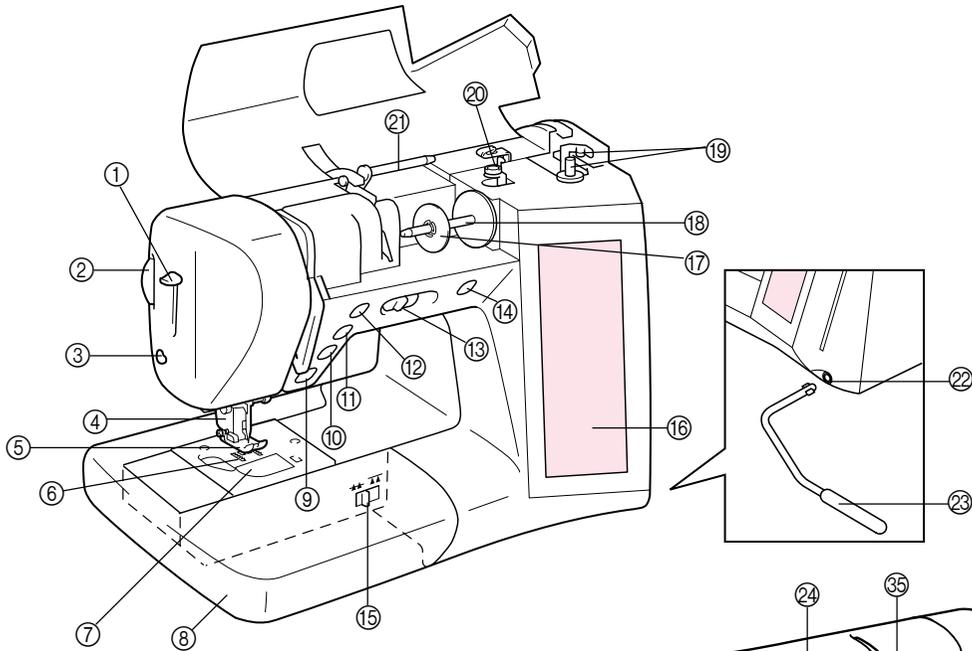
アフターサービスについて 10-1

索引

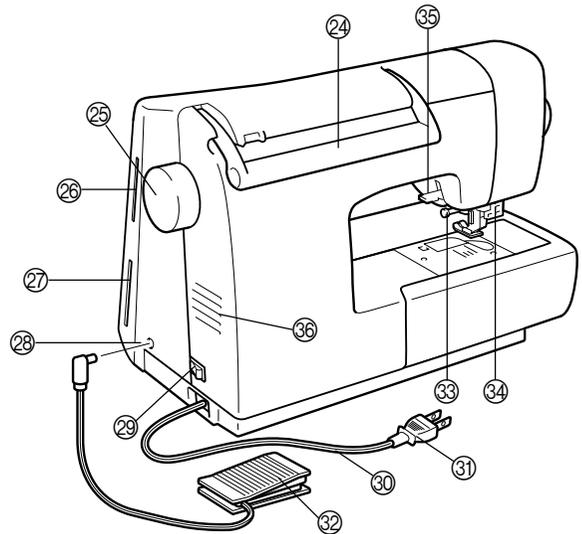
第1章 お使いになる前に

各部の名称とはたらき

各部の名称

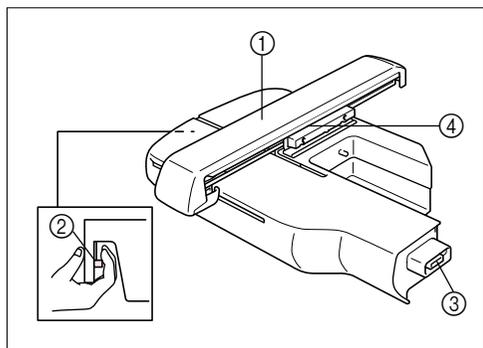


- ① 糸通しレバー (P.2-11)
- ② 押え圧ダイヤル (P.1-9)
- ③ 糸切り (P.1-6)
- ④ 押えホルダー (P.2-14, 2-17)
- ⑤ 押え (P.1-3)
- ⑥ 送り歯 (P.1-8)
- ⑦ 針板ふた (P.2-7)
- ⑧ 補助テーブル (P.1-3, 1-8)
- ⑨ スタート/ストップスイッチ (P.1-6)
- ⑩ 返しぬいスイッチ (P.1-6)
- ⑪ 針上下スイッチ (P.1-6)
- ⑫ 糸切りスイッチ (P.1-6)
- ⑬ スピードコントロールレバー (P.1-7)
- ⑭ 糸巻きスイッチ (P.1-7)
- ⑮ ドロップレバー (P.1-8)
- ⑯ 液晶画面 (P.1-12)
- ⑰ 糸こま押え (P.2-2, 2-9)
- ⑱ 糸たて棒 (P.2-2, 2-9)
- ⑲ 下糸巻き装置 (P.2-4)
- ⑳ 下糸巻き案内 (P.2-3)
- ㉑ 補助糸たて棒 (P.1-8)
- ㉒ ニーリフター取り付け口 (P.1-9)
- ㉓ ニーリフター (P.1-9)
- ㉔ ハンドル
- ㉕ プーリー (P.1-7)



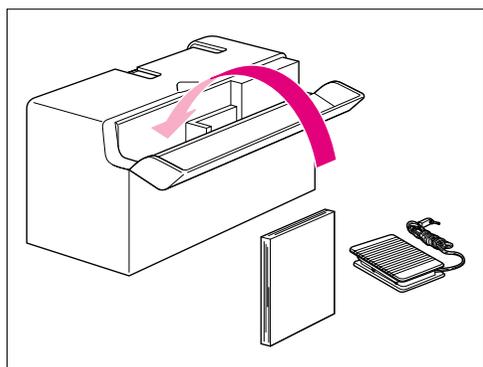
- ⑳ 刺しゅうカード差し込み口 (P.5-17)
- ㉑ フロッピーディスク差し込み口 (P.5-22)
- ㉒ フットコントローラージャック (P.1-10)
- ㉓ 電源スイッチ (P.1-11)
- ㉔ 電源コード (P.1-11)
- ㉕ 電源プラグ (P.1-11)
- ㉖ フットコントローラー (P.1-10)
- ㉗ 針止めネジ (P.2-19)
- ㉘ ボタン穴かがりレバー .. (P.3-53, 3-57, 3-59)
- ㉙ 押えレバー (P.1-7)
- ㉚ 換気口

■ 刺しゅう機



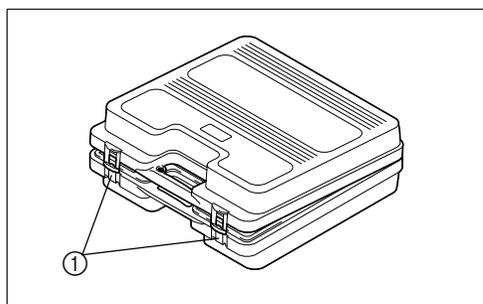
- ① キャリッジ
- ② 刺しゅう機取り外しレバー
- ③ コネクター
- ④ 刺しゅう枠ホルダー

■ ハードケース



ハードケースのふたを開けると、フットコントロールローラーと本書(取扱説明書)を収納することができます。

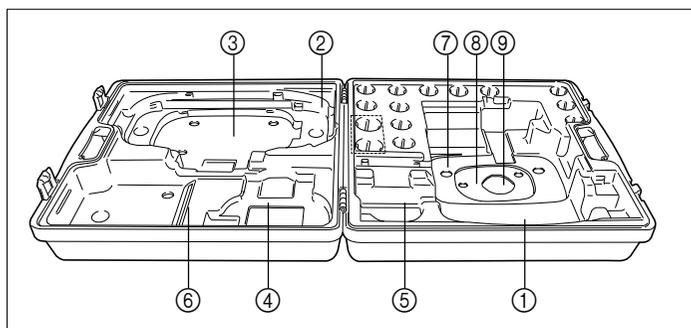
■ 刺しゅう機キャリングケース



刺しゅう機キャリングケースを開けるときは、2つの留め部を外します。

閉じるときは、留め部は2段階で留まります。パチパチッと2回音がするまで、留め部を押し込みます。

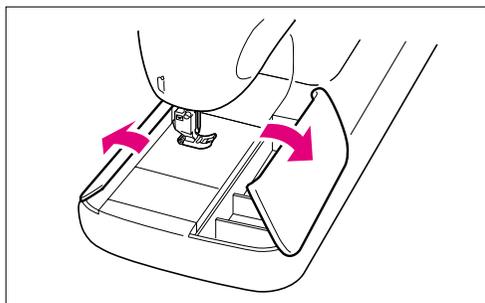
- ① 留め部



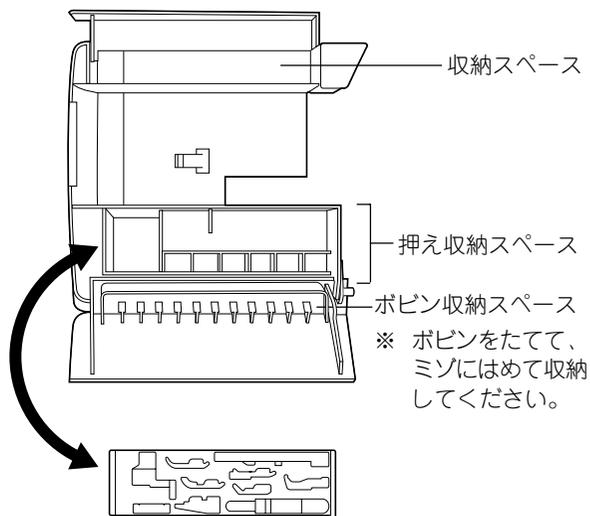
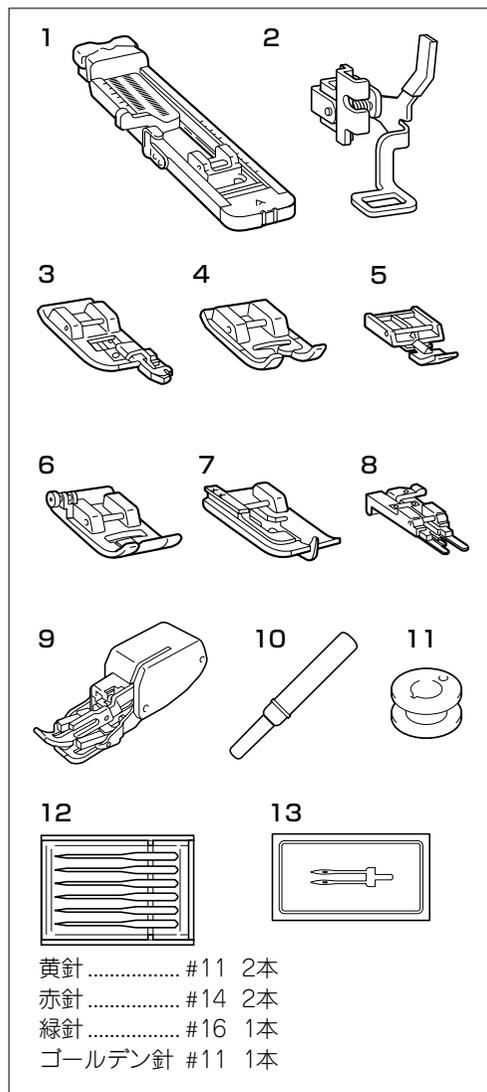
- ① 刺しゅう機
- ② 刺しゅう枠(大)
- ③ 刺しゅう枠(中プラス)
- ④ 刺しゅう枠(中)
- ⑤ 刺しゅう枠(小)
- ⑥ 刺しゅうシート(大)
- ⑦ 刺しゅうシート(中プラス)
- ⑧ 刺しゅうシート(中)
- ⑨ 刺しゅうシート(小)

付属品

付属品が全部そろっているか、お確かめください。付属品が足りないときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。また、付属品は必ず本機専用付属品をご使用ください。

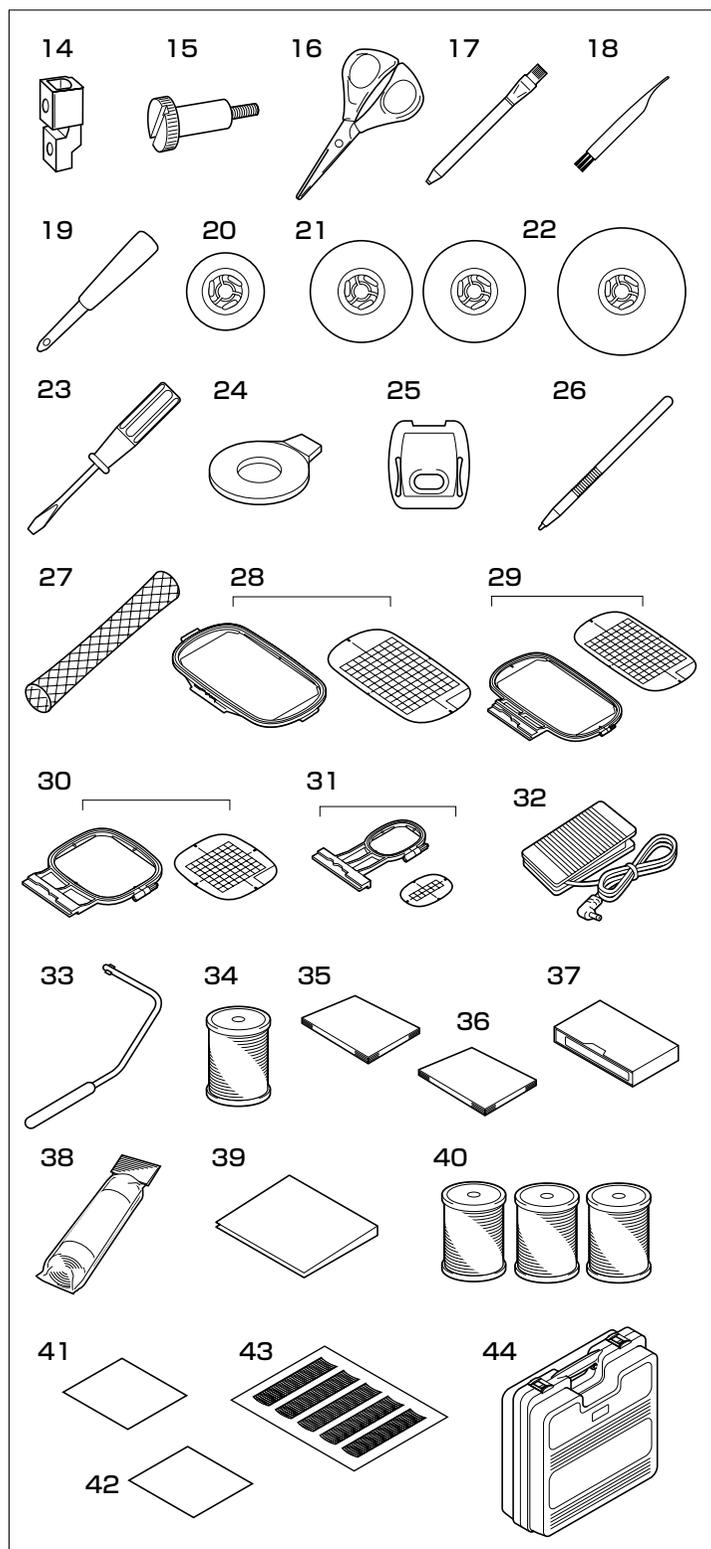


補助テーブルのふたを開くと内側に付属品を収納することができます。



No.	品名
1	ボタン穴かがり押え<A>
2	刺しゅう押え<Q>
3	たちめかがり押え<G>
4	模様押え<N>
5	片押え<I>
6	ジグザグ押え<J>
7	まつりぬい押え<R>
8	ボタン付け押え<M>
9	ウォーキングフット (P.2-15)
10	リッパー (P.3-54)
11	ボビン(4個)
12	ミシン針
13	2本針 (P.2-25)

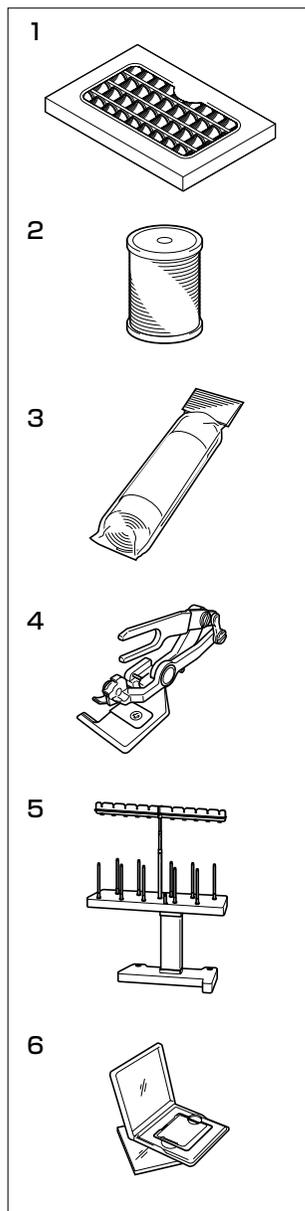
※ ジグザグ押え<J>は、購入時にミシンに取り付けてあります。



No.	品名
14	ウォーキングフット用調節金具 (P.2-15)
15	ネジ (P.2-15)
16	はさみ
17	チャコペン
18	ミシンブラシ (P.8-3)
19	はとめ穴パンチ(P.3-54, 3-63)
20	糸こま押え(小)
21	糸こま押え(中)
22	糸こま押え(大)
23	ドライバー
24	針板ドライバー
25	刺しゅう専用針板カバー (P.5-33)
26	タッチペン (P.9-3)
27	糸こまネット (P.2-12)
28	刺しゅう枠(大) 刺しゅうシート(大) 縫製範囲 縦26cm×横16cm
29	刺しゅう枠(中プラス) 刺しゅうシート(中プラス) 縫製範囲 縦18cm×横13cm
30	刺しゅう枠(中) 刺しゅうシート(中) 縫製範囲 縦10cm×横10cm
31	刺しゅう枠(小) 刺しゅうシート(小) 縫製範囲 縦2cm×横6cm
32	フットコントローラー (P.1-10)
33	ニーリフター (P.1-9)
34	刺しゅう専用下糸
35	取扱説明書
36	操作早見表
37	取扱説明ビデオ
38	刺しゅう用接着芯 (P.5-24)
39	フロッピーディスク (大型キルト模様)
40	ぬい糸(白、黒、紺)
41	フェルト
42	ブロード
43	マイラストシート (P.7-1)
44	刺しゅう機キャリングケース

※ 糸こま押え(中)の1つは、購入時にミシンを取り付けてあります。

別売品



最寄りのブラザー販売店でお求めください。

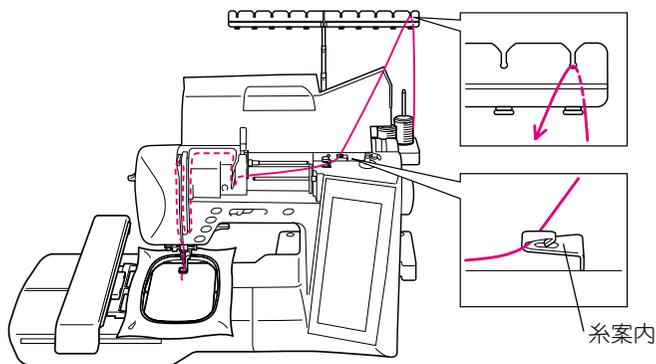
No.	品名	部品コード
1	ブラザー刺しゅう糸(ウルトラポス)39色セット	X81112-001
	ブラザー刺しゅう糸(ウルトラポス)22色セット	X81287-001
	カントリー糸40色セット	X81078-100
	カントリー糸21色セット	X81269-100
2	刺しゅう専用下糸(白) 500M巻き	X81120-001
	刺しゅう専用下糸(白) 1300M巻き	X81167-001
	刺しゅう専用下糸(黒) 500M巻き	XC1376-001
3	刺しゅう用接着芯L	X81175-001
	刺しゅう用水溶性シートL	X81267-001
4	サイドカッター押え	XC3198-001
5	多色系立てスタンド(10色立て)	X81123-001
6	刺しゅうカード	

注意

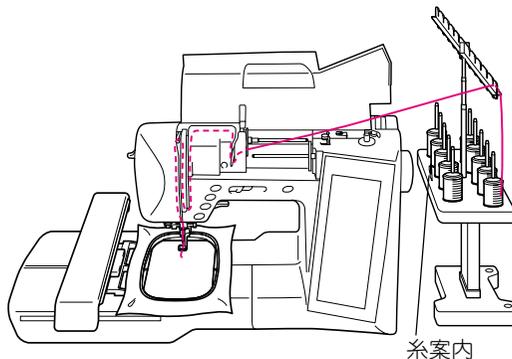
外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。

■ 多色系立てスタンドを使うときは

- ミシンの後ろ側に置いて使うときは、下の図のように多色系立てスタンドに付いている糸案内に糸をかけずに、直接ミシンの糸案内に糸をかけてから、糸を通してください。

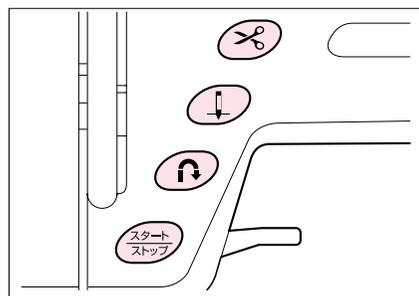


- ミシンの横側に置いて使うときは、下の図のように多色系立てスタンドに付いている糸案内に糸をかけずに、直接糸を通してください。



各部のはたらき

■ 操作スイッチ



✂ 糸切りスイッチ

ぬい終わった後に押すと上糸、下糸を自動的に切ります。

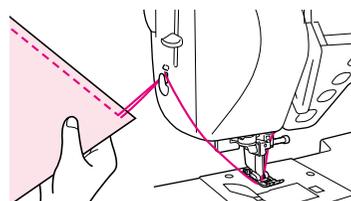
▲ 注意



糸を切った後は、糸切り操作をくり返し行わないでください。針折れや糸がらみ、故障の原因となります。

注意

- 布地のない状態およびミシンが動いているときは糸切り操作を行わないでください。糸がらみや故障の原因となります。
- 30番以上の太い糸やナイロン糸など特殊な糸を切る場合は、本体側面の糸切りを使用してください。



↑ ↓ 針上下スイッチ

ぬい方向を変えるときや細かいところをぬうときに使います。押すと針の位置が上下に切り換わります。繰り返し押すと1針ぬいができます。

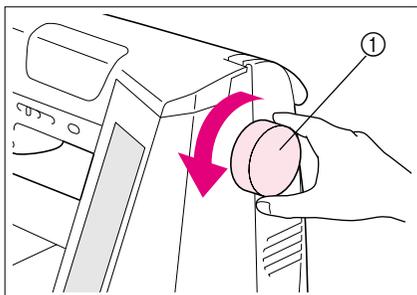
↶ ↷ 返しぬいスイッチ

ぬい始めやぬい終わりの止めぬいをするときに使います。押すと、同じ場所で3~5針ぬって自動停止します。返しぬいの直線、シグザグ模様を選んだ場合は、押している間だけ低速で返しぬいをします。(逆方向にぬいます。)(P.2-23参照)

スタート/ストップ

押すと数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールレバーで設定されている速度でぬい始めます。もう1度押すとストップします。スタート/ストップスイッチを押している間は低速でぬいます。スイッチはミシンの状態によって色が変わります。
緑色 : スタート可能な状態のときおよび縫製中
赤色 : スタート不可能な状態のとき

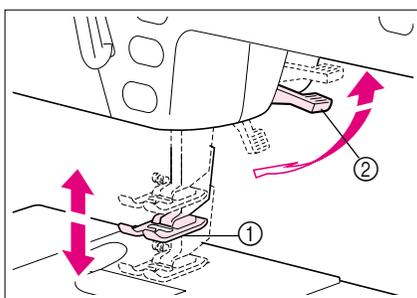
■ プーリー



プーリーを回すと、針が上下します。
※ プーリーは手前側に回してください。

① プーリー

■ 押えレバー

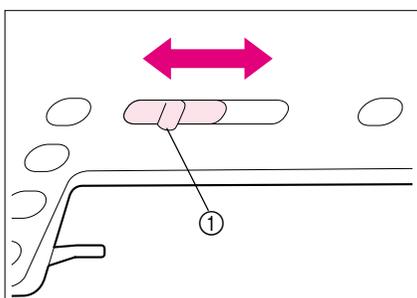


押えレバーを下げると押えが下がり、布地を押えます。
押えレバーは2段階に上がり、厚地の重ねぬいなど布地
を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れま
す。(P.2-24参照)

※ 押えレバーが下がっていないと、ミシンは動きません。

① 押え
② 押えレバー

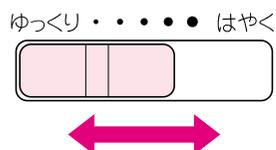
■ スピードコントロールレバー



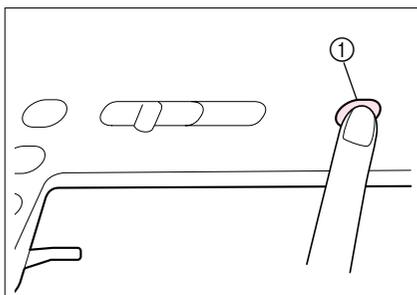
実用ぬいの模様は、スピードコントロールレバーをスラ
イドすることによって、ぬう速さの調節ができます。

① スピードコントロールレバー

※ 初心者の方はミシンに慣れるまで「ゆっくり」でお使いくださ
い。



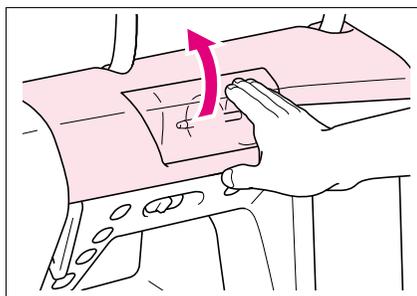
■ 糸巻きスイッチ



下糸巻きをするときに使います。(P.2-1参照)

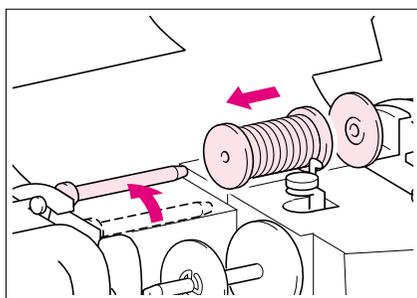
① 糸巻きスイッチ

■ 上ふた



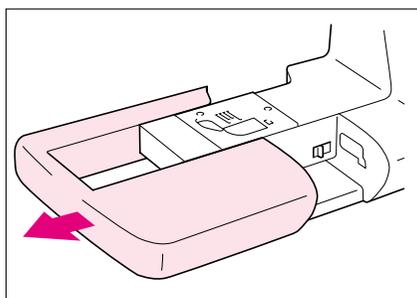
下糸巻き、上糸通しをするときは上ふたを開けて操作します。上ふたは透明部の下側に手をかけて開けてください。

■ 補助糸たて棒



ぬっている途中で下糸を巻くときや、2本針を使用するときに使います。(P.2-5, 2-25参照)

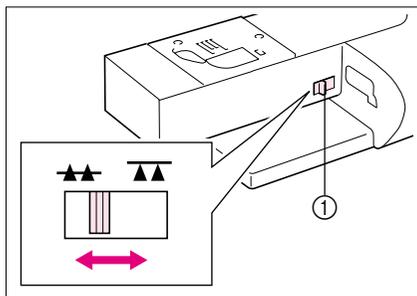
■ 補助テーブル/フリーアーム



補助テーブルを左へ引いて取り外すとフリーアームになります。

カフス付け、ズボンの裾上げなど筒状になったものをぬうときにフリーアームにしてぬうと便利です。

■ ドロップレバー



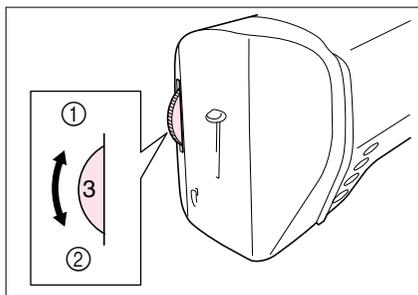
ボタンつけ(P.3-60参照)などをするときに使います。ドロップレバーは補助テーブルを外し、押えレバーを上げてから操作します。

通常はレバーを ▲▲ に合わせておきます。

- ▲▲ 送り歯が上がり布地を送ります。
- ▼▼ 送り歯が下がり布地を送りません。

① ドロップレバー

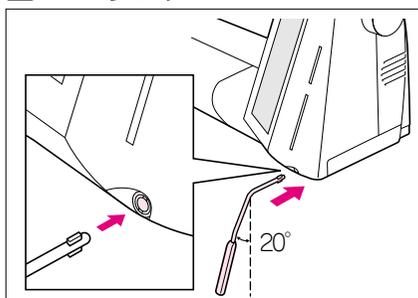
■ 押え圧ダイヤル



押え圧ダイヤルを回して、押え圧力の調節ができます。数字が大きくなるほど押え圧力は強くなります。押え圧ダイヤルの目盛りは1(弱い)～4(強い)まであり、通常は「3」でぬいます。押え圧ダイヤルは押えレバーを下げて、回してください。調整をした場合はぬい終わった後、必ず「3」に戻してください。

- ① 弱い
- ② 強い

■ ニーリフター

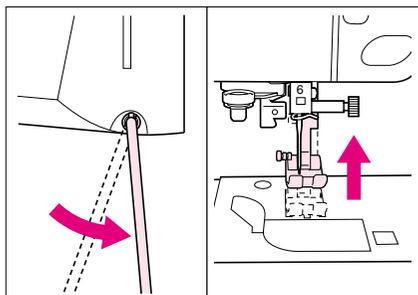


ニーリフターは手を使わずに押えを上げたり、下げたりできるので、キルトなどをぬうときに使うと便利です。

取り付けは、ニーリフターを左側に約20度傾けて取り付け口の奥まで差し込みます。

注意

ニーリフターが取り付け口の奥まで差し込まれていないと、使用中に外れることがあります。



ひざを使ってニーリフターを右に押すと押えが上がり、左に戻すと押えが下がります。

▲ 注意



縫製中は必ずニーリフターをひざから離してください。ニーリフターを押したまま、ミシンを動かすと針折れや糸調子不良の原因となります。

■ フットコントローラー

▲ 注意



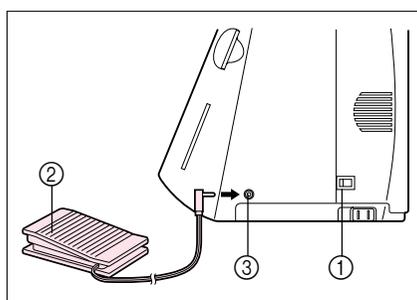
• フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災・感電の原因となります。



• フットコントローラーの上に物を置かないでください。ケガ・故障の原因となります。

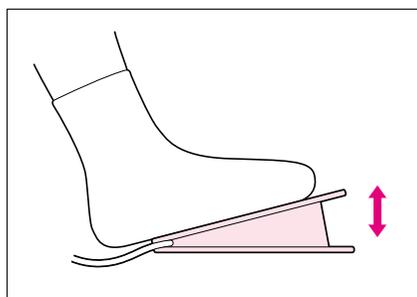


• 長期間ご使用にならないときは、フットコントローラーのプラグをジャックから抜いてください。火災・感電の原因となります。



1 電源スイッチを切って、フットコントローラーのプラグをジャックに差し込みます。

- ① 電源スイッチ
- ② フットコントローラー
- ③ フットコントローラージャック



2 電源スイッチを入れ、ぬう準備ができればフットコントローラーをゆっくりと踏み込みます。ミシンが動きます。

※ 本体のスピードコントロールレバーでフットコントローラーの最高速度を調節することができます。

3 踏み込みをやめるとミシンは止まります。

※ 刺しゅうぬいのときは、フットコントローラーは使用できません。スタート/ストップスイッチを使用してください。

※ フットコントローラー使用時にスタート/ストップスイッチは使用できません。

画面操作のしかた

電源の入れ方

⚠ 警告

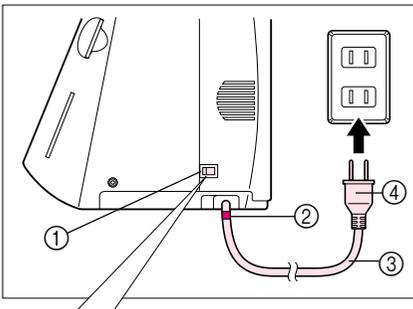


- 一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき
 - ・ ミシンを使用したあと
 - ・ 運転中に停電したとき
 - ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - ・ 雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意



- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

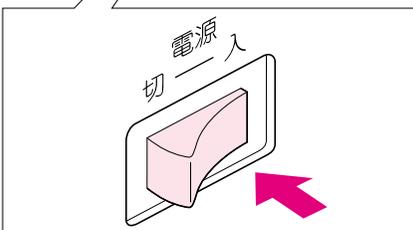


- 1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ① 電源スイッチ
- ② 赤い印
- ③ 電源コード
- ④ 電源プラグ

注意

電源コードは赤い印以上引き出さないでください。



- 2 電源スイッチを「入」の方に押しすと、電源が入ります。

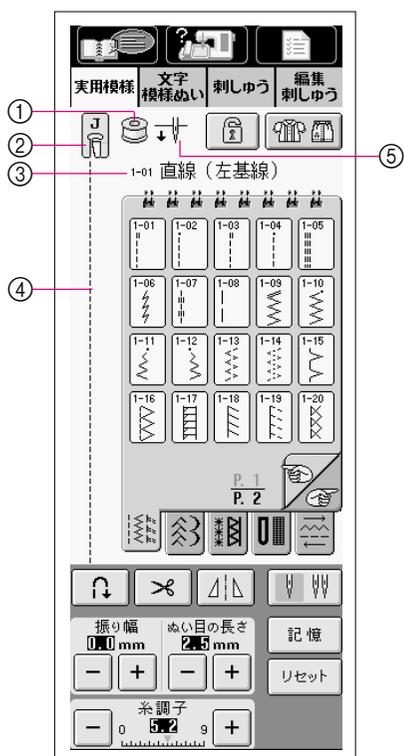
- 3 電源を切るときは、電源スイッチを「切」の方に押しします。電源コードをしまうときは、少し(1~5cmほど)引っ張って手を離します。自動的に収納されます。

画面の見方

電源スイッチを入れると画面にはミシンの名前が表示されます。

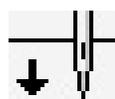
画面を指で軽く押すと、実用ぬいの画面が表示され、「1-01 直線(左基線)」が選ばれます。

※ ミシンの名前が表示されるまで、しばらく時間がかかりますが故障ではありません。

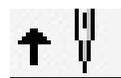


- ① ぬっているとき、下糸の残量を表わします。黄色で表示されている場合は下糸が少ないことを示します。
※ ミシンが停止しているときは、下糸の残量は表示されません。
- ② 押え記号
ここに表示される押えを取り付けてからぬいます。
- ③ 選択した模様の番号と名前が表示されます。
- ④ 選択した模様が表示されます。
- ⑤ 1本針/2本針の設定状態とミシンが停止したときの針位置を示します。お好みに合わせて選択できます。(P.1-14 参照)

1本針のとき

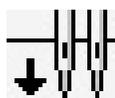


針下で止まります。

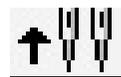


針上で止まります。

2本針のとき



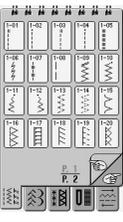
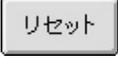
針下で止まります。



針上で止まります。

■ キーのはたらき

画面表示	名称	説明	参照ページ
	アドバイス キー	選択した模様の用途を知りたいときに押します。	1-22
	ミシンの 使い方キー	上糸通し、下糸巻き、押え交換など、ミシンの使い方を知りたいときに押します。	1-19
	設定キー	針の停止位置切り替え、プザーのON/OFF、模様の調整や画面の調整などミシンの設定を変更するときに押します。	1-14
実用模様	実用ぬい キー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様(実用模様)を選ぶときに押します。	3-9
文字 模様ぬい	文字模様 ぬいキー	ひらがな、カタカナ、アルファベットなど文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。	4-1
刺しゅう	刺しゅう キー	刺しゅうをするときに押します。(※刺しゅう機をセットしてから押してください。刺しゅう機をセットしないと刺しゅう画面は表示されません。)	5-8

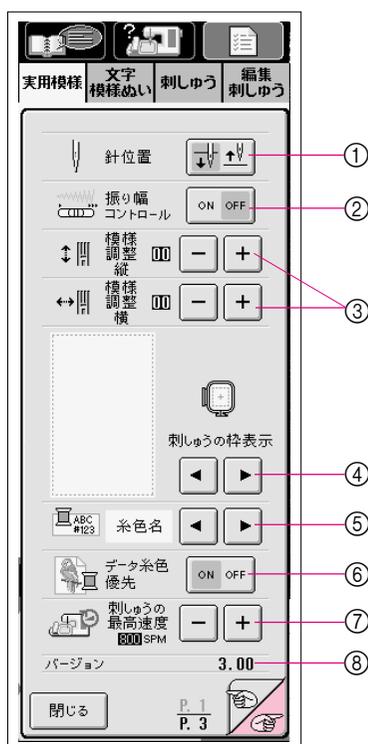
画面表示	名称	説明	参照ページ
	編集刺しゅうキー	刺しゅうの模様を組み合わせてぬうときに押します。 「編集刺しゅう」ではオリジナルのワッペンやネームタグを作ることができます。 (※刺しゅう機をセットしてから押してください。刺しゅう機をセットしないと編集刺しゅうの画面は表示されません。)	6-2
	画面ロックキー	画面ロックを設定するときに押します。 設定すると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック(固定)されます。もう1度押すと、解除します。	2-33
	ぬい方キー	どの模様を選べばいいの分からないときにこのキーを押します。用途に応じた適切な実用模様が選択でき、操作手順が表示されるので、初心者の方にもとても便利です。	3-11
	模様選択画面	お好みの模様を押すと、模様が選ばれます。  を押すと、模様選択画面が切り替わります。	3-10
	自動止めぬいキー	自動止めぬい(返しぬい)を設定するときに押します。 自動止めぬいをあらかじめ設定しておく、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をします。もう1度押すと、解除します。	2-31
	自動糸切りキー	自動糸切りを設定するときに押します。 自動糸切りをあらかじめ設定しておく、返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をし、糸を切ります。もう1度押すと、解除します。	2-32
	左右反転キー	押すと、模様が左右に反転します。 ※ グレーで白抜きに表示されているときは、操作できません。	3-13
	2本針キー	2本針を使用するときに押して、2本針の設定をします。押すごとに、1本針と2本針の設定の切り替えができます。 ※ グレーで白抜きに表示されているときは、操作できません。	2-25
	ぬい目調節キー	選択した模様のジグザグの振り幅(模様の幅)とぬい目の長さを示します。  を押すと、お好みに合わせて、ジグザグの振り幅とぬい目の長さを調節することができます。 ※  mm の表示のときは調節できません。	2-28、 2-29
	糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。 通常は自動的に標準の糸調子に設定されています。  を押すと、糸調子を調節することができます。	2-30
	記憶キー	模様の設定(ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなどの設定)をお好みの状態にして、その内容を記憶しておくことができます。	3-14
	リセットキー	記憶した設定を標準の設定に戻したいときは  を押してから  を押します。	3-14

画面についての取り扱い注意

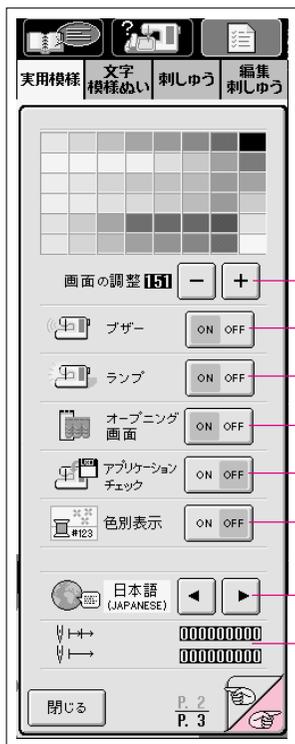
- 画面は必ず指で押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 画面は周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が濃くなったり、淡くなったりしますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の調整を行ってください。
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは画面を照らすライトの特性によるもので、故障ではありません。約10分くらいで通常の明るさになります。
- 画面をミシンの正面以外から見ると、色が変化したり、画面が見づらくなることがあります。これは使用している液晶の特性上のものであり、故障ではありません。画面は正面から操作してください。

設定キーの使い方

設定キーを押すと、針の停止位置切り替え、プザー・ランプのON/OFF、模様の調整や画面の調整など、いろいろなミシン本体の基本の設定をお好みの設定に変えることができます。

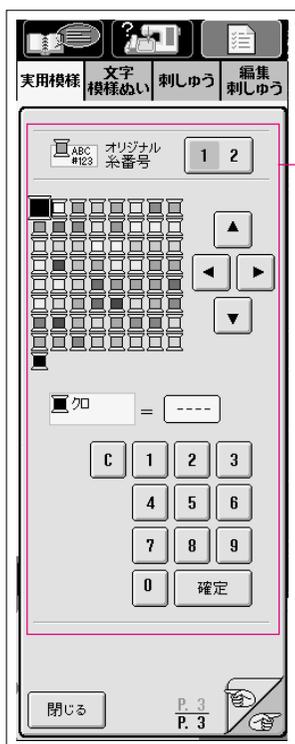


- ① ミシンが停止したときの針位置(下/上)を選ぶことができます。
- ② スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅調節レバーに切り替えることができます。(P.3-32参照)
- ③ 文字・模様ぬいの模様の調整ができます。(P.4-11参照)
- ④ 刺しゅうのときの画面表示を、10種類の表示から選ぶことができます。(P.5-49参照)
- ⑤ 刺しゅうぬいの色替え表示を糸色名や糸番号、ぬい時間、オリジナル糸番号などに切り替えることができます。(P.5-46参照)
- ⑥ 刺しゅうProVer.5.0(次期バージョン)で糸色名を指定して作った模様を刺しゅうする場合に、糸色表示をその糸色名で表示することができます。(P.5-46参照)
- ⑦ 刺しゅうぬいのときの最高速度の調節ができます。(P.5-45参照)
- ⑧ ミシンにインストールされているプログラムのバージョンを示します。
アップグレード情報に関しては、お近くの販売店もしくは「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にお問い合わせいただくか、ブラザーのホームページ(www.brother.co.jp)で今後掲載される情報をご参照ください。



を押すと、次の画面が表示されます。

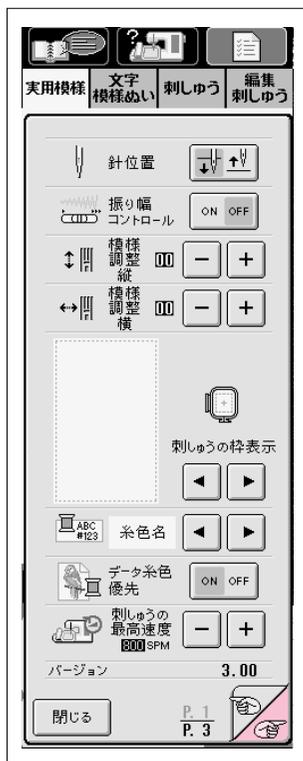
- ① 画面の濃度調整ができます。(P.1-16参照)
- ② ブザーのON/OFF切り替えができます。
- ③ ランプのON/OFF切り替えができます。
- ④ 電源投入時のオープニング画面のON/OFF切り替えができます。
- ⑤ アプリケーションチェックのON/OFF切り替えができます。(P.1-18参照)
- ⑥ 刺しゅうぬいの色別表示のON/OFF切り替えができます。(P.5-23参照)
- ⑦ 言語の切り替えができます。(P.1-17参照)
- ⑧ トータルカウント「」は刺しゅうぬいでお使いになった総針数を表示します。トリップカウント「」は定期的なミシンのお手入れやメンテナンスをお受けになる際の目安としてご利用ください。



を押すと、次の画面が表示されます。

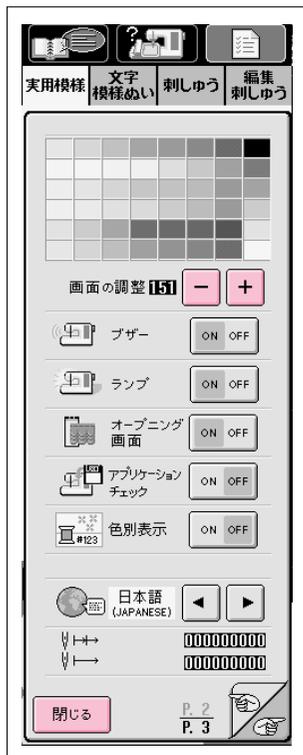
- ① オリジナル糸番号の入力ができます。(P.5-47参照)

■ 画面の調整



1  を押すと、左の画面が表示されます。

2  を押して、2ページ目の画面にします。

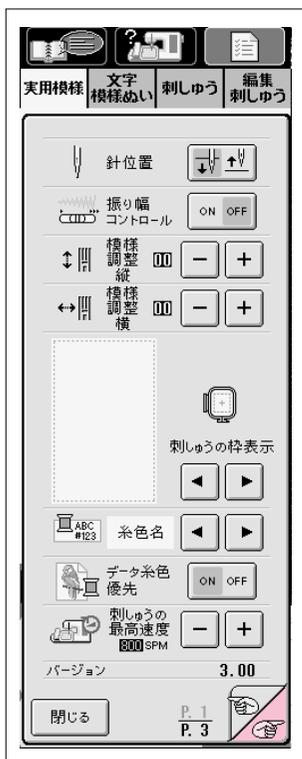


3 画面の調整表示がきれいに見えるように  、  を押して画面の濃さを調整します。

淡くしたいときは  を、濃くしたいときは  を押しします。

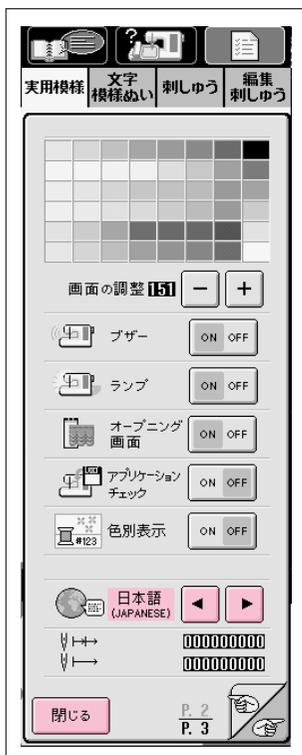
4 調整が終わったら、  を押しします。

■ 言語の切り替え



1  を押すと、左の画面が表示されます。

2  を押して、2ページ目の画面にします。



3  の横の  、  を押して言語を選びます。

言語の種類は以下の12ヶ国語です。

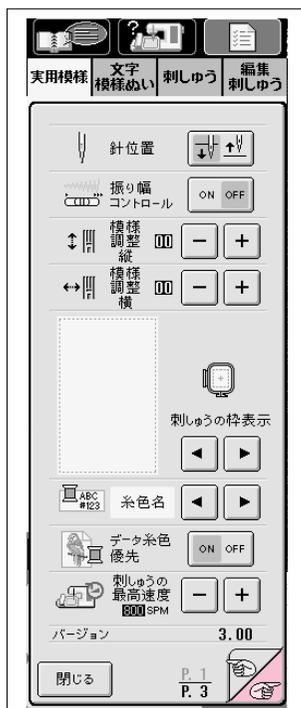
日本語	(JAPANESE)
英語	(ENGLISH)
ドイツ語	(GERMAN)
フランス語	(FRENCH)
イタリア語	(ITALIAN)
オランダ語	(DUTCH)
スペイン語	(SPANISH)
デンマーク語	(DANISH)
ノルウェー語	(NORWEGIAN)
フィンランド語	(FINNISH)
スウェーデン語	(SWEDISH)
ポルトガル語	(PORTUGUESE)

4 終わったら、  を押します。

■ アプリケーションチェック

フロッピーディスクからアプリケーションソフトを起動することができます。

フロッピーディスクが差し込まれている状態で電源スイッチを入ると、ミシンがフロッピーディスクからアプリケーションソフトを確認してから起動します。



1  を押すと、左の画面が表示されます。

2  を押して、2ページ目の画面にします。

3  の ON OFF を押して、 ON OFF にし、 を押します。

4 電源スイッチを切ります。

5 ミシン右側にあるフロッピーディスク差し込み口に、アプリケーションソフトが入っているフロッピーディスクを差し込み、電源スイッチを入れます。

注意

- ・ フロッピーディスクの差し込み口にはフロッピーディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 当社正規のアプリケーションソフトやデータ作成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータが入ったフロッピーディスクを読み込むと、ミシンが誤作動するおそれがあります。(模様データはpes、phc、pmi、dstファイルのみ扱えます。)

6 ミシンがフロッピーディスクを読み込んでから起動します。

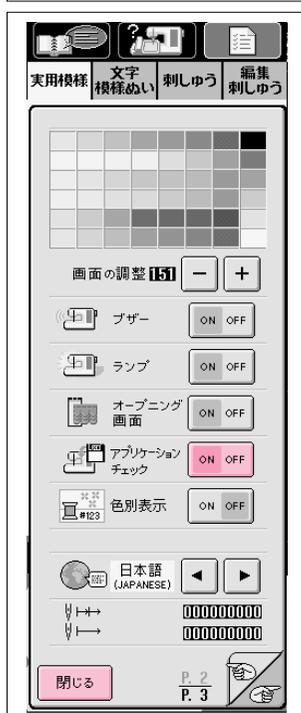
注意

- ・ フロッピーディスク読み込み中は、電源スイッチを切ったり、フロッピーディスクを抜いたりしないでください。フロッピーディスクが読めなくなる危険があります。

7 オープニング画面を指で軽く押すと、ミシンまたはアプリケーションソフトを選ぶ画面が表示されます。

※ アプリケーションソフトがフロッピーディスクに入っていない場合は、実用ぬいの画面が表示されます。

※ アプリケーションチェックを「ON」に設定すると、ミシンが起動するまで時間がかかります。アプリケーションソフトを使わない場合は、「OFF」に設定すると起動時間は変わりません。



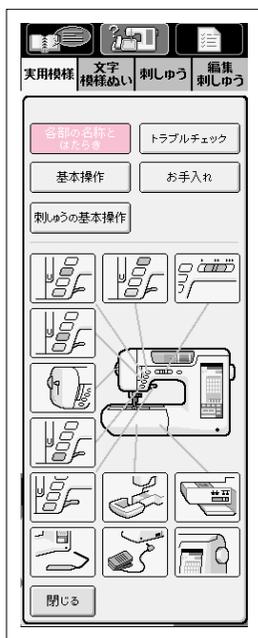
🔍 (ミシンの使い方)キーの使い方

このミシンには、ミシンの基本操作など取扱説明書に順じた内容が記憶されています。

🔍 を押して画面上段に表示される5つの項目を選ぶと、各部の名称や操作の手順を見ることができます。

■ 各項目の内容

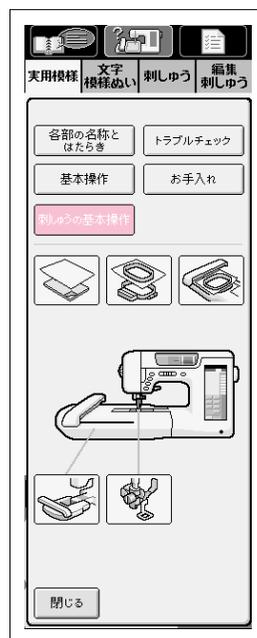
各部の名称とはたらき



基本操作



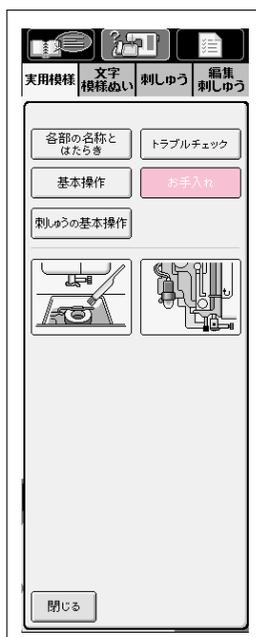
刺しゅうの基本操作

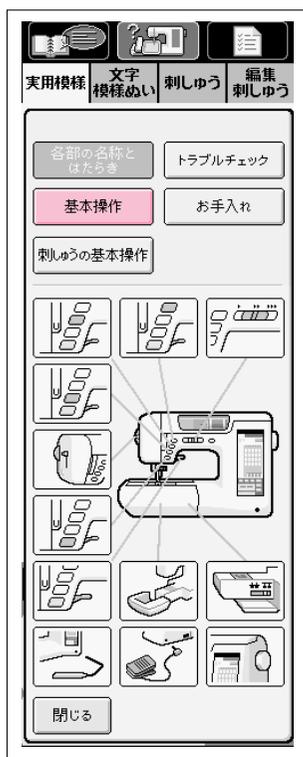


トラブルチェック



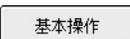
お手入れ

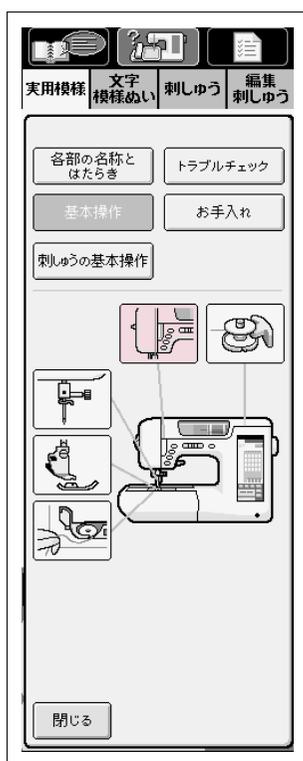




例) 上糸の通し方を知りたいとき

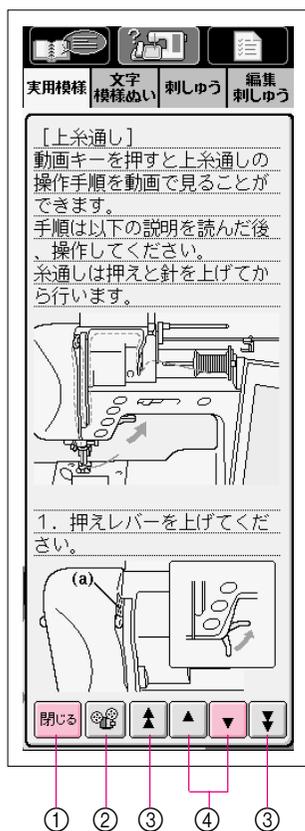
1  を押すと、左の画面が表示されます。

2  を押します。



3 下段に基本操作の項目が表示されます。

4  (上糸通し)を押します。



5 上糸通しの手順が表示されます。

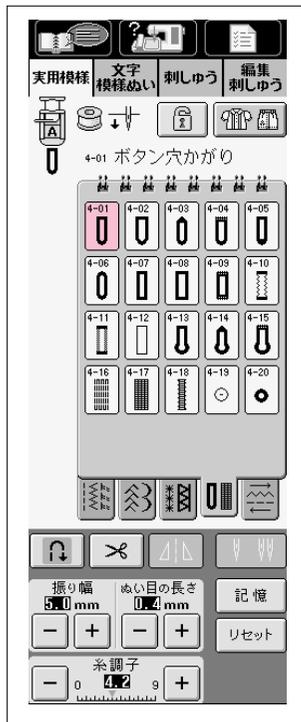
6 ▼ を押すと、矢印の方向に画面がスクロールして次の手順が表示されます。

- ① 押すと元の画面に戻ります。
- ② 動画キー：下糸巻き、下糸セット、上糸通しを選んだ場合のみ表示されます。押すと手順を動画で見ることができます。
- ③ 押すと矢印の方向に、大きく画面がスクロールします。
- ④ 押すと矢印の方向に、1行ずつ画面がスクロールします。

7 終わったら、閉じる を押します。

(アドバイス)キーの使い方

模様を選んでから  を押しと、選んだ模様の用途説明を見ることができます。

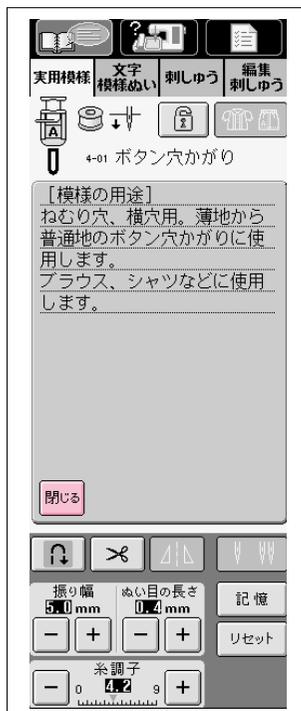


例)  の用途が知りたいとき

1  を選んで、 を押します。

2 選択した模様の用途が表示されます。

3 確認をしたら、 を押します。



第2章 基本操作

ぬう前の準備

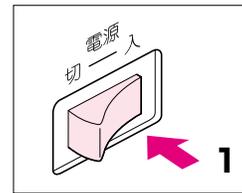
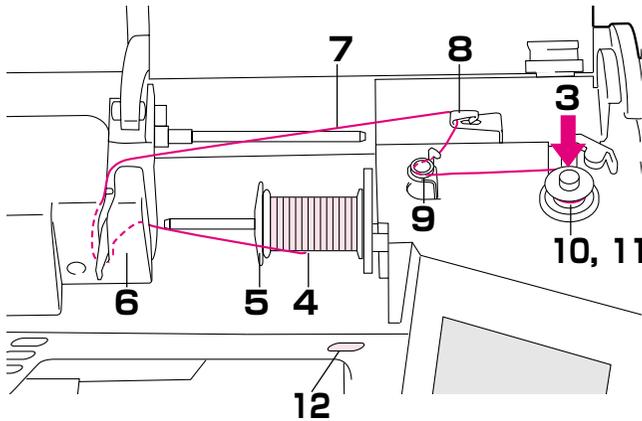
下糸巻き

 →  →  →  の順にキーを押すと下糸巻きの操作手順を動画で見ることができます。(P.1-21参照) 手順は以下の説明に従って操作してください。

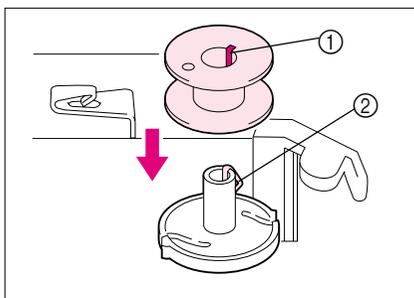
▲ 注意



必ず専用ボビン(部品コードX80309-001)をご使用ください。他のボビンを使用すると、ケガや故障の原因となります。



2 上ふたを開ける

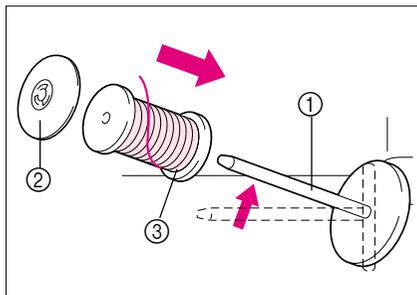


1 電源スイッチを入れます。

2 上ふたを開けます。

3 ボビンのミソと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。

- ① ミソ
- ② 下糸巻き軸のバネ



4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸こまを差し込みます。このとき、糸は糸こまの手前から出してください。

- ① 糸立て棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま

5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

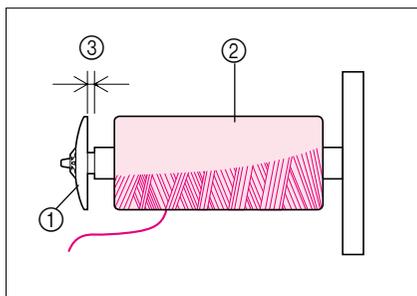
▲ 注意



- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。

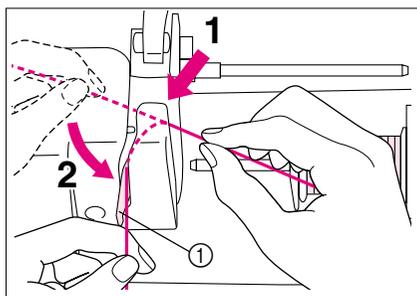


- 糸こま押え(大)(中)(小)は糸こまの大きさに合わせてご使用ください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。



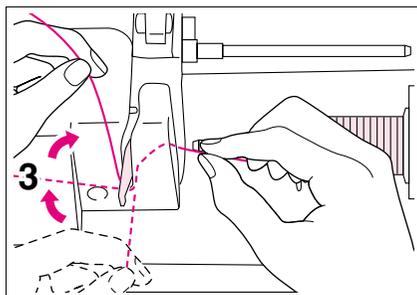
※ チーズ巻き(左図参照)の細い糸こまを使用するときは糸こま押え(小)を使い、糸こまから少し離して(左図 ③)セットしてください。

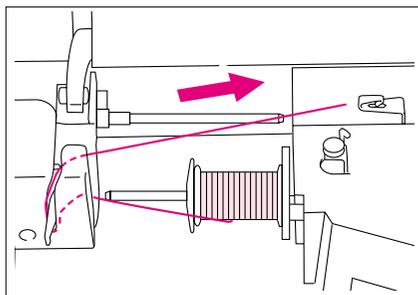
- ① 糸こま押え(小)
- ② チーズ巻き
- ③ すきま



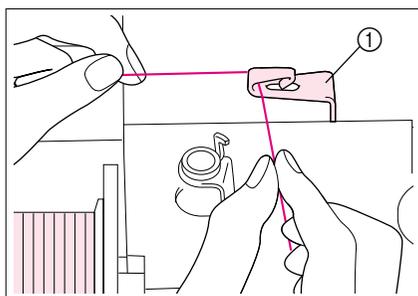
6 糸こまからの糸を両手で持ち、糸案内カバーの後ろ側に糸を通し、糸案内板に糸をかけます。

- ① 糸案内板



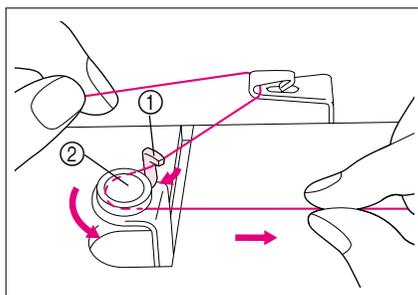


7 糸案内カバーの後ろを通して図のように糸を引き出します。



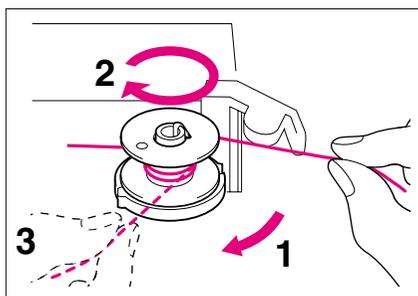
8 糸案内に両手で糸をかけてください。

① 糸案内

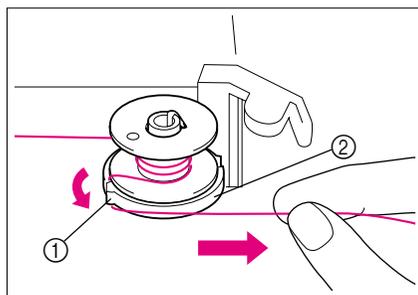


9 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、下糸巻き案内の皿に糸をかけます。このとき、糸は皿の下に確実に入れてください。

① 凸部
② 皿

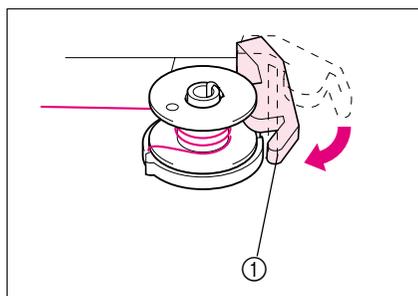


10 図のように糸をボビンに時計まわりに4～5回巻きつけます。



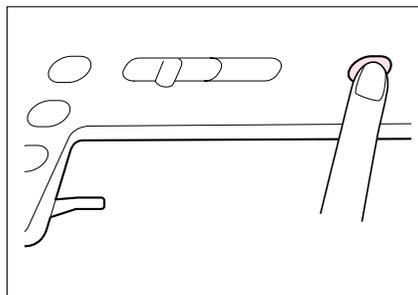
11 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、図のように右へ糸を引きます。カッターで糸が切れます。

- ① ガイドミゾ
- ② ボビンの受け座



12 ボビン押えを左へカチッと音がするまで押します。

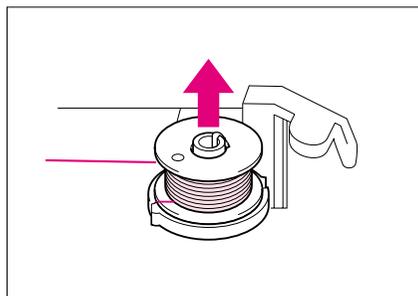
- ① ボビン押え



13 糸巻きスイッチを押します。
糸巻きがスタートします。

14 巻き終わると自動的にボビンの回転が止まり、ボビン押えが元の位置に戻ります。

15 ボビンを外します。



注意

ボビンを外すときは、ボビンのみを上引っ張ってください。ボビンの受け座を引っ張ると、ボビン受け座が外れ、故障の原因となります。

16 右手にボビンを持ち、左手で糸をつまんでボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、カッターで糸を切ります。

▲ 注意



下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。
下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。

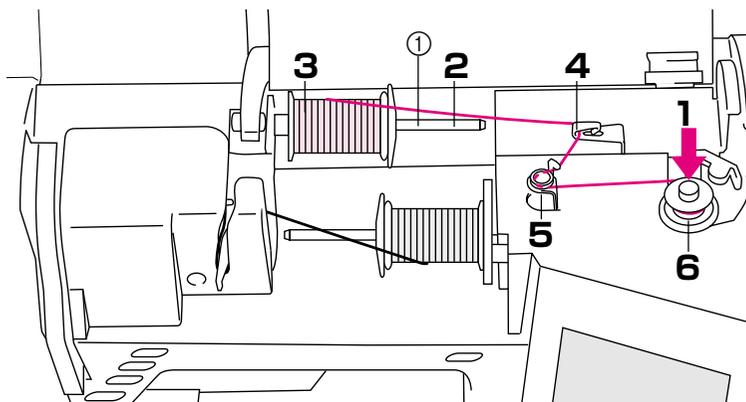


■ ぬっている途中で下糸を巻く場合

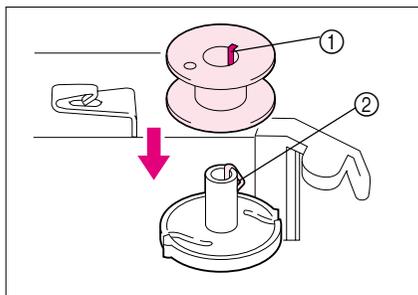
このミシンはぬっている途中で、下糸巻きができます。

刺しゅうをぬっている途中で刺しゅう下糸を巻くのに便利です。

糸の通し方が異なりますので、よくお読みの上、操作してください。

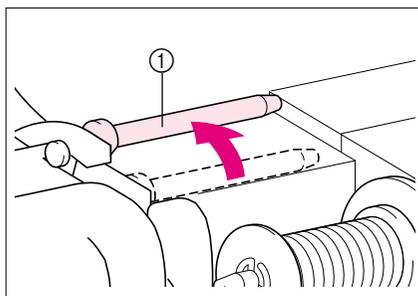


① 補助糸たて棒



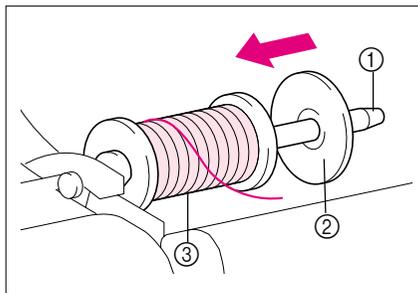
1 ボビンのミソと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンに軸をセットします。

- ① ミソ
- ② 下糸巻き軸のバネ



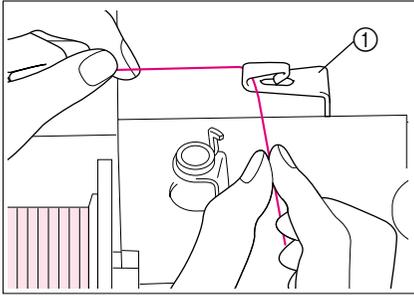
2 補助糸たて棒を上におこします。

- ① 補助糸たて棒



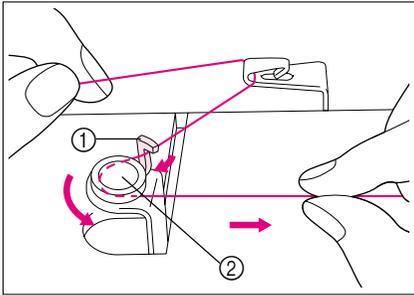
3 糸こまを糸が後方から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。

- ① 補助糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま



4 糸こまからの糸を左手で保持しながら右手で糸端を持って、糸案内に糸をかけてください。

① 糸案内



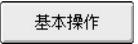
5 糸巻き案内の凸部に糸をかけて、糸巻き案内の皿に糸をかけます。このとき、糸は皿の下に確実に入れてください。

① 凸部

② 皿

6 以下の手順はP.2-3、2-4の10～16と同じです。

下糸セット

 →  →  →  の順にキーを押すと下糸セットの操作手順を動画で見ることができます。(P.1-21参照) 手順は以下の説明に従って操作してください。

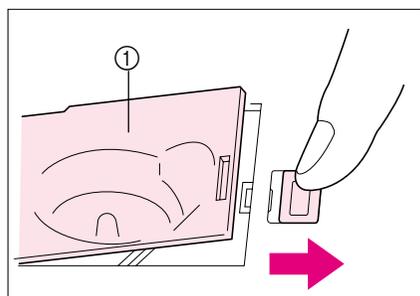
2

基本操作

▲ 注意

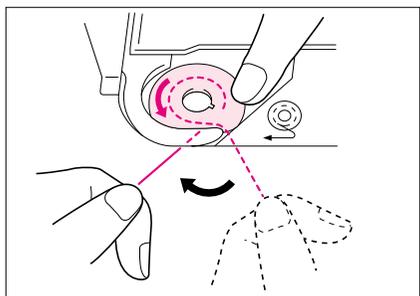


下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。
下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。



1 針板ふたの横のつまみを右に押し、針板ふたを外します。

① 針板ふた

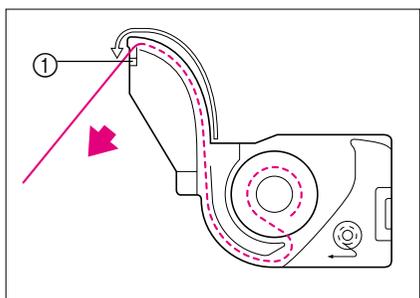


2 矢印の向きから糸が出るように、下糸を巻いたボビンをセットします。

▲ 注意

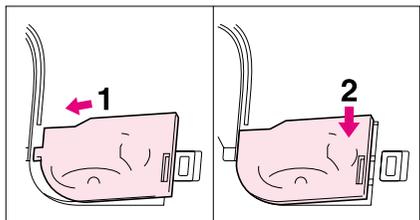


ボビンは必ず正しい方向から、糸が出るようにセットしてください。万一、ボビンを逆の方向にセットすると、針折れや糸調子不良の原因となります。



3 左手で糸端を持ち、少し引きながら糸をミゾにそって通し、終わりの部分で手前に引きます。カッターで糸が切れます。

① カッター



4 針板ふたを閉めます。針板ふたの左側の凸部を差し込み、**2**の部分を上からカチッと音がするまで押し込みます。

- ※ 下糸を引き出さずにぬうことができます。
- ※ ギャザーよせをするときなど、下糸の引き出しが必要ときはP.2-13を参照してください。

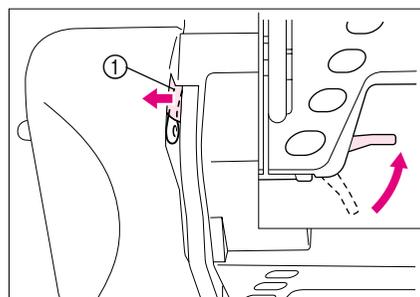
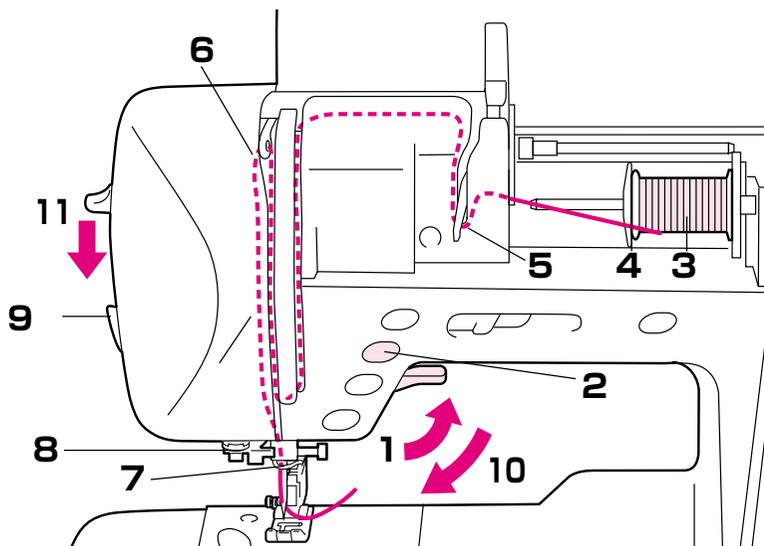
上糸通し

 → 基本操作 →  →  の順にキーを押すと上糸通しの操作手順を動画で見ることができます。(P.1-21参照) 手順は以下の説明に従って操作してください。

▲ 注意



上糸通しは指示に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

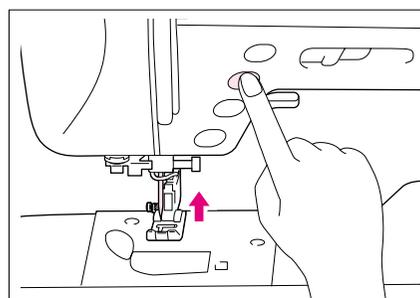


1 押えレバーを上げます。

① 上糸シャッター

注意

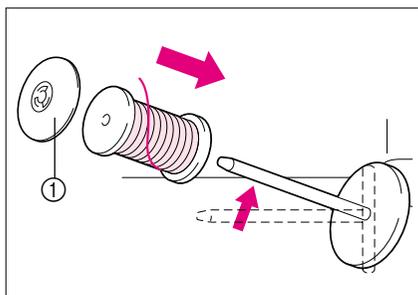
このミシンには上糸通しを確実にするために、上糸シャッターがついています。押えレバーが上がっていないと、上糸シャッターが閉じたままになり、上糸通しができません。必ず押えレバーを上げてください。



2 針上下スイッチを押して、針を上げます。

注意

針を上げずに自動糸通しを行うと、故障の原因となります。



3 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸こまを差し込みます。このとき、糸は糸こまの手前から出してください。

4 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

① 糸こま押え

⚠ 注意

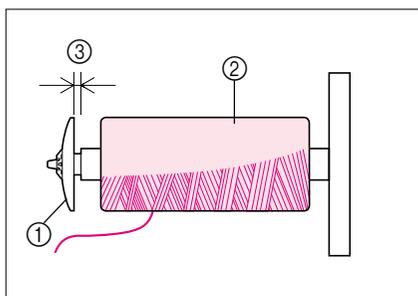


- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。



- 糸こま押え(大)(中)(小)は糸こまの大きさに合わせてご使用ください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

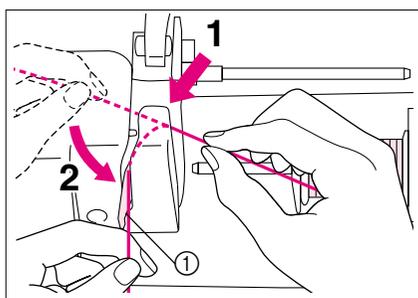
※ チーズ巻き(左図参照)の細い糸こまを使用するときは糸こま押え(小)を使い、糸こまから少し離して(左図③)セットしてください。



① 糸こま押え(小)

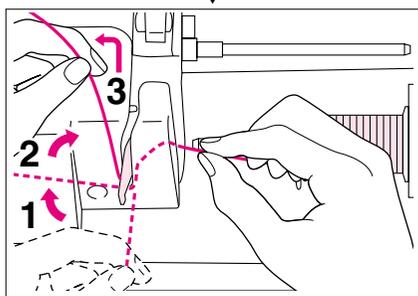
② チーズ巻き

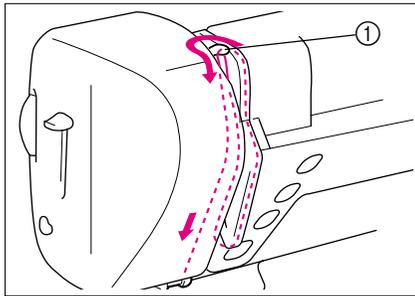
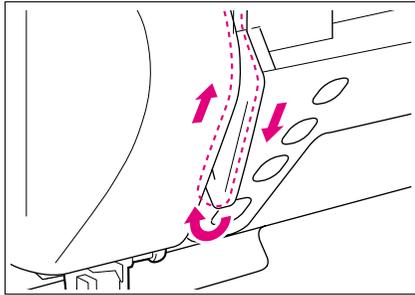
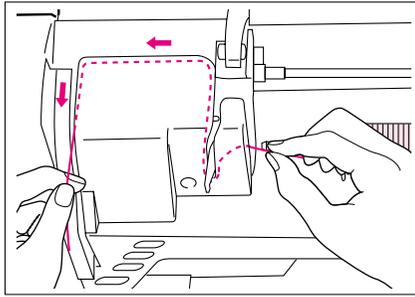
③ すきま



5 糸こまからの糸を両手で持ち、糸案内カバーの後ろ側に糸を通し、糸案内板に糸をかけます。

① 糸案内板

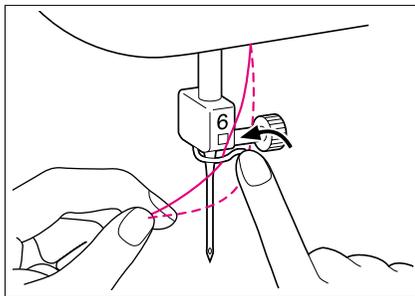
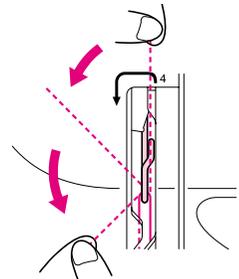




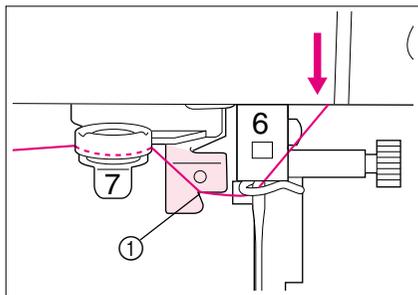
- 6** ミゾにそって番号順に糸を通します。
右手で糸こま部の糸を押さえ、糸を張り気味にすると糸かけがしやすくなります。

※ 天びんに糸をかけます。天びんの右側から後ろに回し、左手前に糸を運びます。

① 天びん



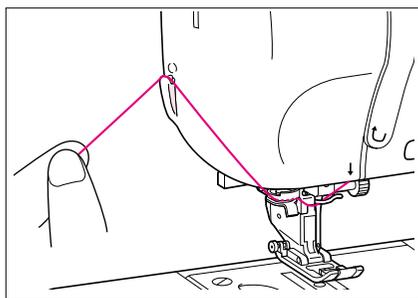
- 7** 針棒糸かけに糸をかけます。
左手で糸を保持し、右手で糸かけを行うと糸かけがしやすくなります。



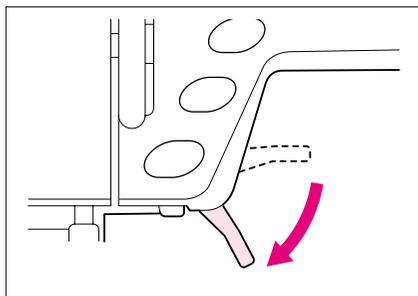
8 糸案内皿7に糸をかけます。
このとき、糸ガイドの直角部分に糸が通っていることを確認してください。

※ 糸は、糸案内皿の奥まで確実に入れてください。針穴に糸が通らないことがあります

① 糸ガイドの直角部分



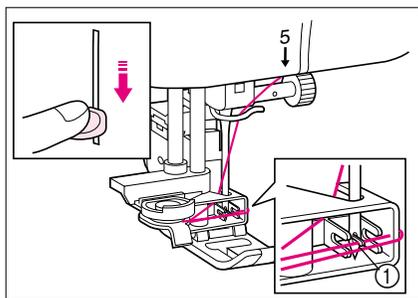
9 本体左側面の糸切りで、糸を切ります。



10 押えレバーを下げます。

注意

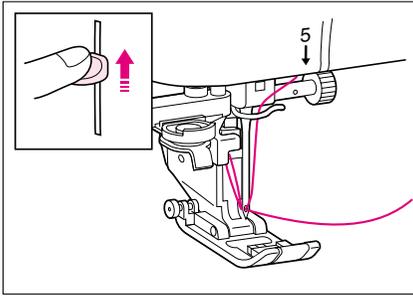
必ず、押えレバーを下げてください。下げずに自動糸通しを行うと、故障の原因となります。



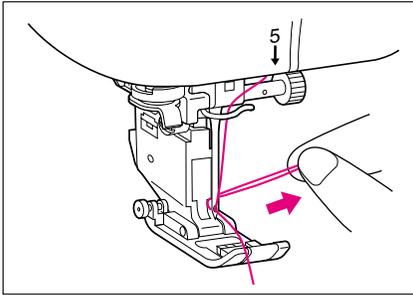
11 糸通しレバーを下までしっかり下げてください。
フックが回転して、針穴に入ります。

※ このとき、布などがフックに接触しないように注意してください。

① フック



12 糸通しレバーをゆっくり元に戻します。フックが糸を引っ掛けて針穴から抜けていくことを確認して、手を離してください。

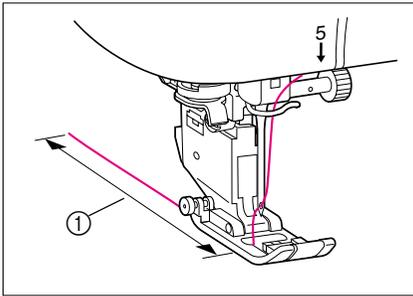


13 ループ状になった糸を後ろ側へ引っ張り、針穴から糸を引き出します。

※ 無理に引っ張って、針を曲げないように注意してください。

14 引き出した糸は押えの下を通して後ろ側へ10cmほど引き出しておきます

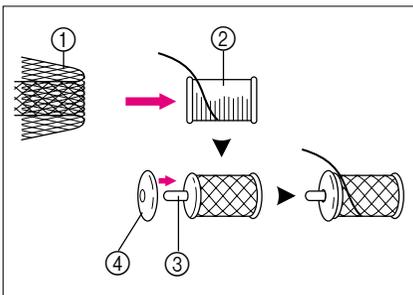
① 10 cm



注意

- 糸通し装置は家庭用ミシン針(HA×1)11～16番の範囲でご使用ください。なお、針と糸の適正な組み合わせは早見表(P. 2-20)を参照してください。また、ナイロン透明糸は上記に関係なく、14～16番の範囲内でご使用ください。
- 自動糸通しが正常に行なわれなかった場合は、押えレバーを上げて6の針棒糸かけからもう一度やり直してください。
- 糸によっては糸通しできないものがあります。その場合は6の針棒糸かけをした後、糸通しレバーを使用しないで、手で針穴に糸を通してください。この場合は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

■ 糸こまネットの使い方



ナイロン透明糸・メタリック糸など腰の強い糸を使用する場合は、付属の糸こまネットを糸こまにはめてご使用ください。

ネットが長い場合は糸こまの大きさに合わせ、2つに折ってご使用ください。

- ① 糸こまネット
- ② 糸こま
- ③ 糸たて棒
- ④ 糸こま押え

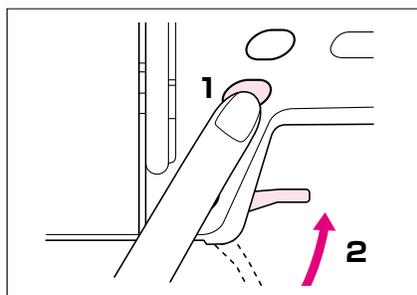
押えの交換

▲ 注意



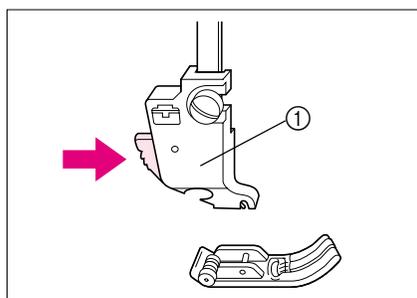
- 押えの交換は必ず電源スイッチを切ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。
(P.3-1「ぬい方早見表」参照)
- 押えは必ず正規の押えをご使用ください。その他の押えを使用するとケガや故障の原因となります。

■ 取り外し方



1 針上下スイッチを押して針を上げてから、電源スイッチを切ります。

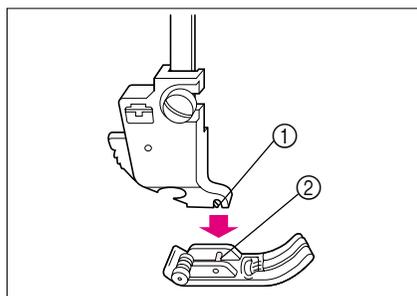
2 押えレバーを上げます。



3 押えホルダーの黒いボタンを押します。

① 押えホルダー

■ 取り付け方



押えホルダーのミソと押えのピンが合うように押えを置き、押えレバーを下げます。

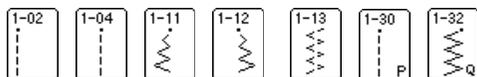
① ミソ

② ピン

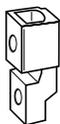
■ ウォーキングフットの取り付け

ウォーキングフットは押えと送り歯の上下の歯で布地をはさみこみながら布送りをするので、ぬいにくい布地(ビニールクロス、人工皮革、皮など)やぬいずれしやすい布地(キルティング、ベルベットなど)をぬうときに使うと便利です。

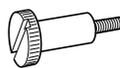
- ※ ウォーキングフットは直線とジグザグのみに使用できます。
また、返しぬいはできませんので止めぬいの直線・ジグザグを選んでください。



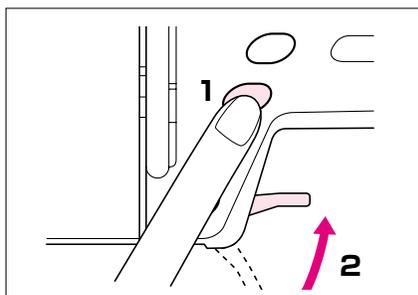
- ※ ウォーキングフットを取り付けるにはウォーキングフット用調節金具とネジが必要です。



ウォーキングフット用調節金具

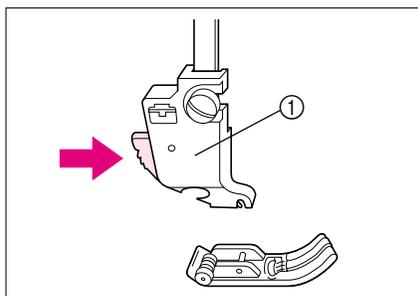


ネジ



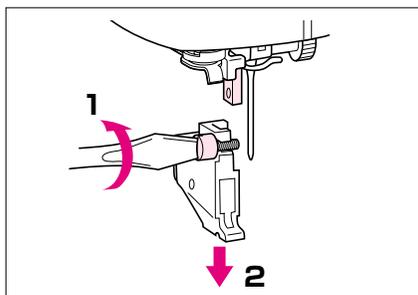
- 1** 針上下スイッチを押して針を上げてから、電源スイッチを切ります。

- 2** 押えレバーを上げます。

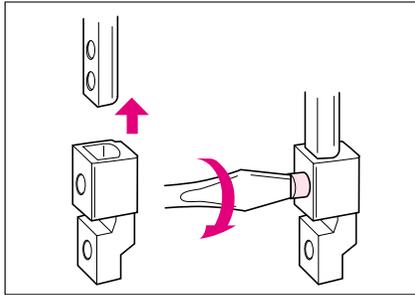


- 3** 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。

- ① 押えホルダー



- 4** 付属のドライバーで押えホルダーのネジをゆるめて、ネジと押えホルダーを外します。

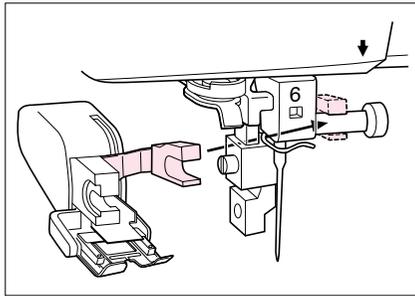


- 5** ウォーキングフット用調節金具を押え棒の上に止まるまで差し込み、ネジをを差し込み、付属のドライバーで確実にしめてください。

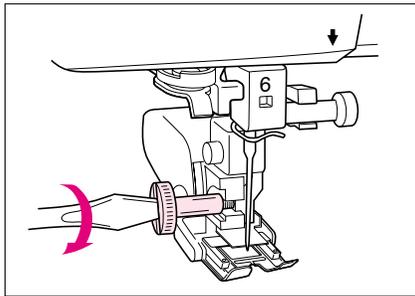
⚠ 注意



ネジは付属のドライバーで確実にしめてください。ネジの締め方がゆるいと針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



- 6** ウォーキングフットの作動レバーのふたまた部で針抱きをはさみ、ウォーキングフットを調節金具に取り付けます。



- 7** 押えレバーを下げ、ウォーキングフット用のネジをを差し込み、付属のドライバーで確実にしめてください。

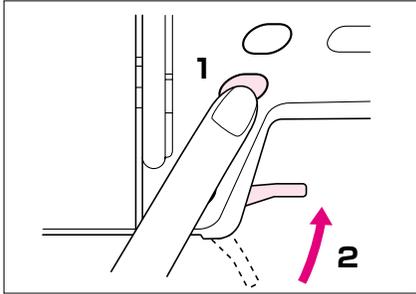
⚠ 注意



- ネジは付属のドライバーで確実にしめてください。ネジの締め方がゆるいと針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。
- 必ずぬう前にプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

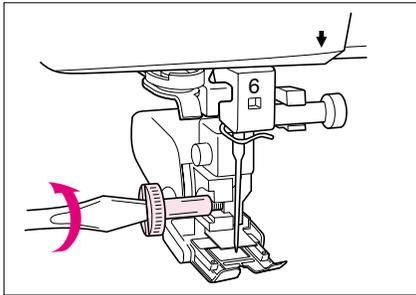
注意

ウォーキングフット使用時は、ぬう速度は「ゆっくり」から中速の間にしてぬってください。

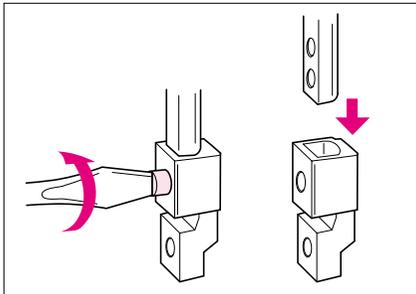
■ 押えホルダーを付け直すには

1 針上下スイッチを押して針を上げてから、電源スイッチを切ります。

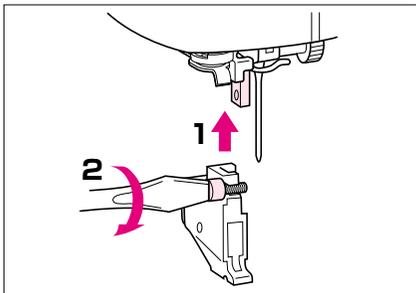
2 押えレバーを上げます。



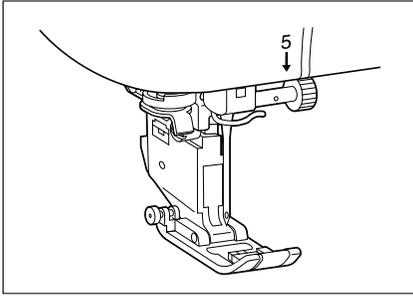
3 付属のドライバーでネジをゆるめ、ウォーキングフットを外します。



4 調節金具を外します。



5 押えホルダーを押え棒に差し込み、軽くネジをしめます。



6 押えホルダーの下に<J>押えを置き、押えレバーを下げて押えを取り付けます。

7 <J>押えを取り付け、押えレバーが下がっている状態で押えホルダーのネジをしっかりとしめます。

注意

押えホルダーが正しく取り付けられていないと、糸調子不良の原因となります。

▲ 注意



押えホルダーのネジは、付属のドライバーで確実にしめてください。ネジの締め方がゆるいと針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

針の交換

▲ 注意



● 針の交換は必ず電源スイッチを切って行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



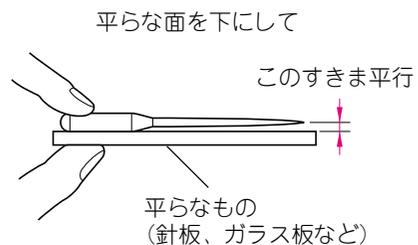
● 針は必ず家庭用ミシン針(HA×1)をご使用ください。その他の針を使用すると針折れや故障の原因となります。

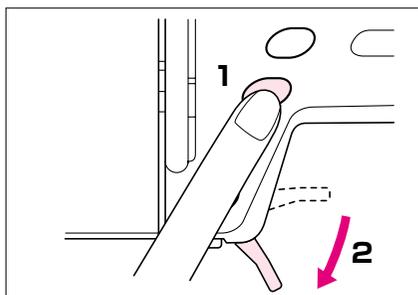
● 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

●正しい針

平らな物(針板、ガラス板など)に針の平らな面を合わせ、すきまが平行である針を使用してください。

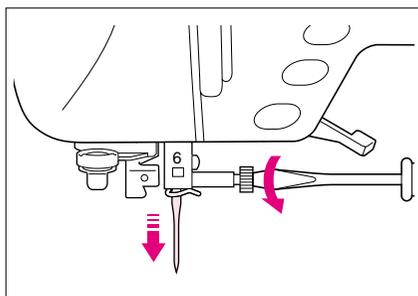
※ 針先が曲がったり、つぶれているものは使用しないでください。





1 針上下スイッチを押して針を上げてから、電源スイッチを切ります。

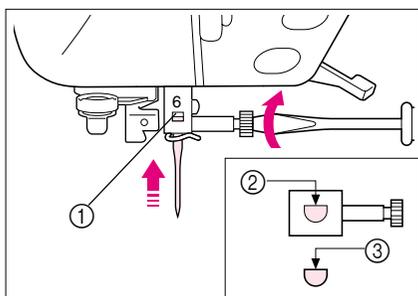
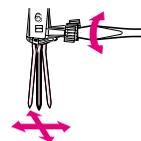
2 押えレバーを下げます。



3 付属のドライバーで針の止めネジを手前に回してゆるめ、針を抜きます。

注意

止めネジをゆるめたりしめたりするときは大きな力を加えないでください。故障の原因となります。



4 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで差し込み、止めネジをしっかりとしめます。

- ① ストッパー
- ② 針設置穴
- ③ 平らな面

▲ 注意



針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、止めネジを付属のドライバーで確実にしめてください。針が十分に差し込まれていなかったり、ネジのしめ方がゆるいと針折れや故障の原因となります。

■ 針について

ミシン縫製において、針は最も注意をしなくてはならないものの1つです。

針の正しい知識と取り扱いの方法により、物作りがきれいに仕上がり、トラブルが少なくなります。

針の正しい知識を持っていただくとともに、取り扱いには十分に注意してください。

- 針は番手が小さいほど細く、番手が大きいほど太くなります。
- 薄地には細い針を、厚地には太い針を使います。
- 伸びる布地には、目とび防止のためゴールド針11番を使います。
- 刺しゅう機を使わない文字・模様ぬいをするときは目とびや模様くずれ防止のため、ゴールド針11番を使います。
- 刺しゅうぬいをするときは家庭用ミシン針(HA×1)11番を使用します。**ゴールド針11番は針折れを起こすおそれがあるので、絶対に使用しないでください。**

※ 購入時にミシンについている針は、家庭用ミシン針(HA×1)11番です。

■ 布地と糸と針の組み合わせ

布地の種類		糸の種類		針の太さ
		種類	太さ	
普通地	ブロード	カタン糸	60 - 80	11-14番
	タフタ	合繊糸	60 - 80	
	フラノ・ギャバシン	絹糸	50 - 80	
薄地	ローン	カタン糸	60 - 80	9-11番
	ジョーゼット	合繊糸	60 - 80	
	ポーラ	絹糸	50 - 80	
厚地	デニム	カタン糸	30 - 50	14-16番
	コーデュロイ	合繊糸	50	
	ツイード	絹糸	50	
伸びる布地	ジャージ	ニット用糸	50 - 60	ゴールド針 11-14番
	トリコット			
ステッチ糸の場合		合繊糸	30	14-16番
		絹糸	30	

※ ナイロン透明糸は、上記に関係なくミシン針14～16番の範囲でご使用ください。

※ 通常は上糸と下糸は同じ糸をご使用ください。

▲ 注意



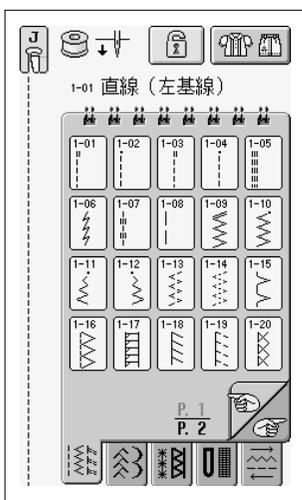
布地と糸と針の組み合わせは、上記の表に従ってください。組み合わせが適切でない場合、特に厚い布地(デニム等)を細い針(9～11番)でぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。また、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因にもなります。

ぬってみましょう

基本のぬい方

▲ 注意

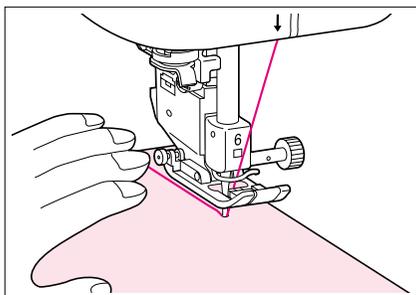
- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。ケガの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



- 1 電源スイッチを入れ、針上下スイッチを押して針を上げます。
- 2 模様を選びます。
- 3 画面に表示されている押えを取り付けます。

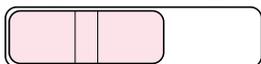
▲ 注意

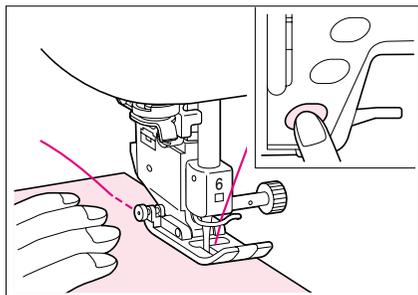
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



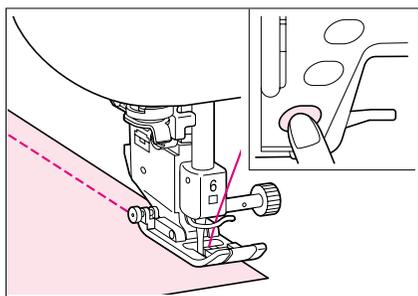
- 4 布地を押えの下に置きます。
※ <J>押えの左側の黒いボタンは、布地が送らないときや布地に段差があるときに使います。通常は黒いボタンを使わずにぬいます。(P.2-24参照)
- 5 糸と布地を左手で押さえてプーリーを回し、ぬい始めの位置に針をさします。
- 6 押えレバーを下げます。
※ 下糸を引き上げなくてもそのままぬうことができます。
- 7 スピードコントロールレバーでぬう速さを調節します。
※ ぬっている途中でもスピードの調節はできます。

ゆっくり・・・はやく

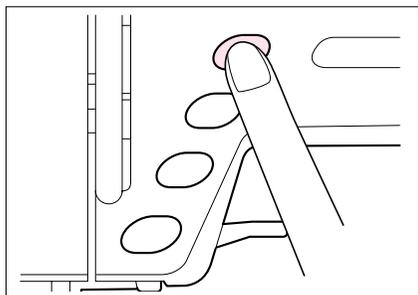




8 布地に軽く手を添え、スタート/ストップスイッチを押し、ぬい始めます。



9 もう1度、スタート/ストップスイッチを押すと、ミシンは止まります。



10 糸切りスイッチを押して、糸を切ります。針は自動的に下から上に移動します。

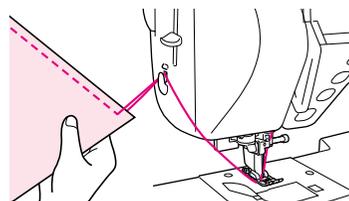
⚠ 注意



糸を切った後は、糸切り操作をくり返し行わないでください。針折れや糸がらみ、故障の原因となります。

注意

- 布地のない状態およびミシンが動いているときは糸切り操作を行わないでください。糸がらみや故障の原因となります。
- 30番以上の太い糸やナイロン糸など特殊な糸を切る場合、本体側面の糸切りを使用してください。

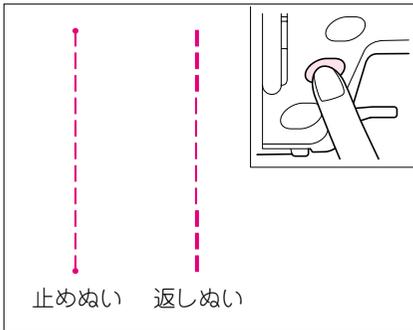


11 針が完全に止まったら、押えレバーを上げて布地を取り出してください。

注記

このミシンには、下糸が少なくなったことを知らせる下糸残量装置が付いています。画面にメッセージが表示されたら、早めに下糸を補充してください。

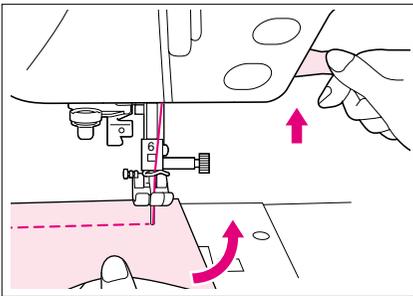
ほつれ止めのしかた



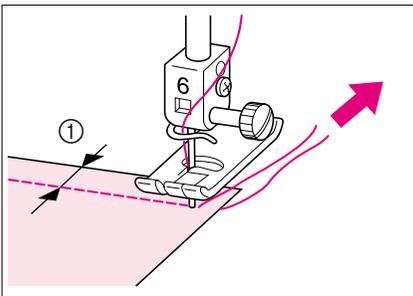
一般的に裁縫のぬい始めとぬい終わりにはほつれ止めが必要です。ほつれ止めをするには、返しぬいスイッチを押します。

止めぬいの模様を選んだ場合は、3～5針ぬって止まります。返しぬいの直線とジグザグの模様を選んだ場合は、必要な長さをぬい終わるまで、返しぬいスイッチを押し続けます。ゆっくり逆方向にぬいます。

ぬい方向を変えるには



方向を変える位置でミシンを止め、針を布にさしたまま押えレバーを上げます。針を軸にして布地を回し、再び押えレバーを下げて、ぬい始めます。

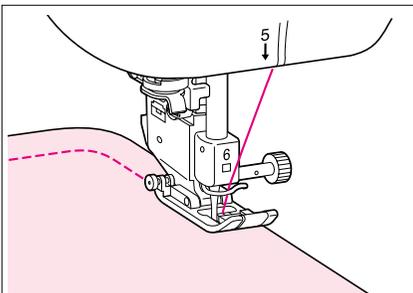


0.5 cm以下のぬいしろでぬう場合

角部にしつけ糸をつけ、方向を変えたらしつけ糸を後ろに引っ張りながらぬいます。

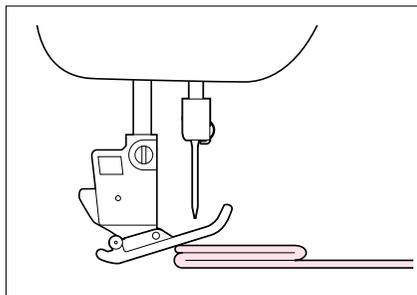
① 0.5 cm

カーブのぬい方



ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。

厚地のぬい方

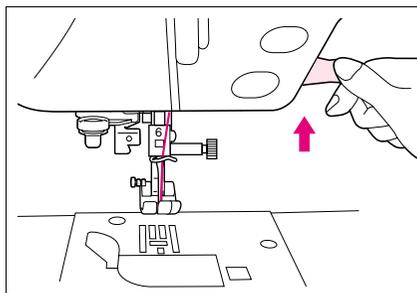


縫製できる布の厚さは、6mmまでです。
段をぬうときは、手で軽く補助して布送りを助けながら、布地を倒した方向にぬいます。

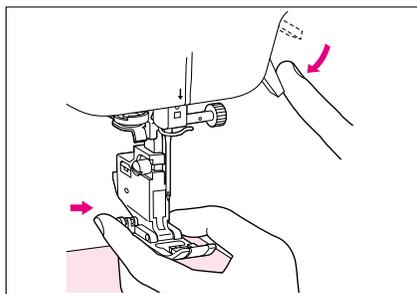
▲ 注意



6mm以上の厚物をぬったり、無理に布地を押しこんだりすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

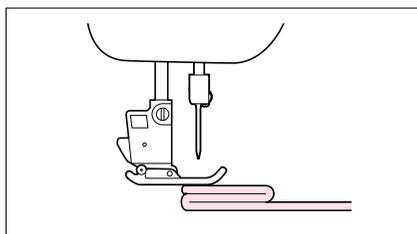


押えレバーは2段階に上がります。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げると、押えがもう一段上がり布地が入れやすくなります。

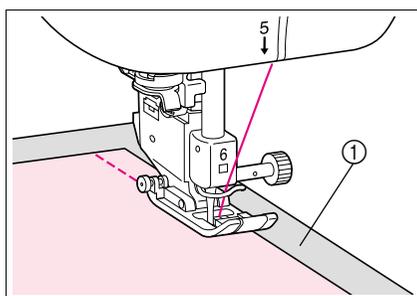


ぬい始めに布地が送らないときや布地に段差があって送らない場合は、<J>押えの左側の黒いボタンを使います。

- 1 押えレバーをいったん上げます。
- 2 <J>押えの左側の黒いボタンを押したまま、押えレバーを下げます。
- 3 押えが水平になり、布地が送られるようになります。ぬい進めると、押えはもとに戻ります。



薄地のぬい方



アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけた後、布地の下に薄い紙、または刺しゅう用の芯をしいたりしてぬうと、ぬいやすくなります。紙は、ぬい終わった後、ていねいに取り除きます。

- ① 薄い紙

2本針を使用するときは

2本針を使用すると同じ模様を平行にぬうことができます。下糸は1本ですが、上糸に配色のよい2本の糸を使うと変化のある模様がぬえます。糸は、同質で同じ太さのものを使います。

模様を選んだときに  が表示される模様のみ、2本針が使用できます。

(模様を選ぶ前にP.3-1の「ぬい方早見表」で、2本針が使える模様かどうか確認できます。)

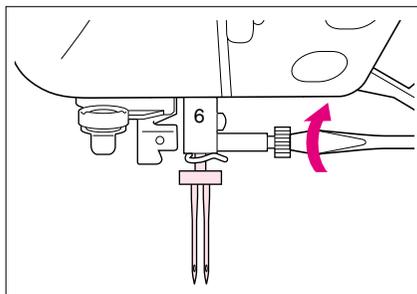
▲ 注意



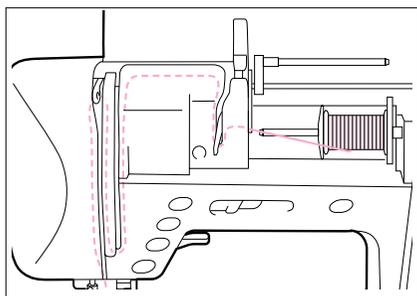
- 2本針は必ずブラザー専用2本針(部品コードX59296-001)をご使用ください。その他の針を使用すると針折れや故障の原因となります。



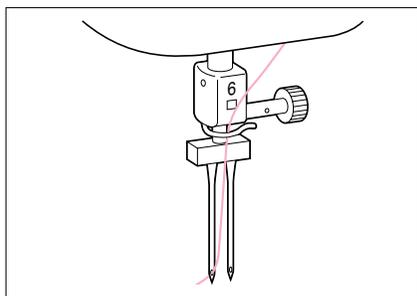
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- 2本針を使用するときは、必ず<J>押えをご使用ください。



- 1 電源スイッチを切り、2本針を取り付けます。
(針の交換P.2-18参照)



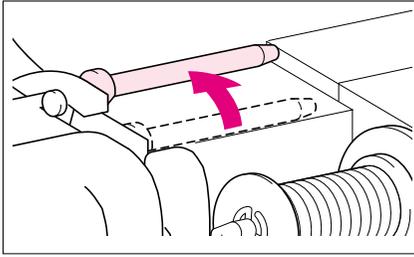
- 2 糸を通します。
1本目の糸は、1本針と同じ手順で通します。(P.2-8「上糸通し」参照)



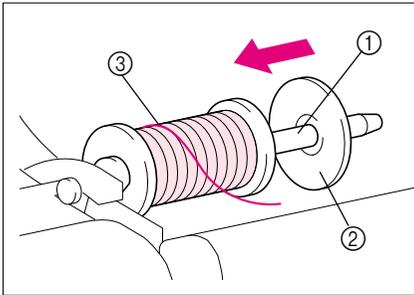
- 3 針棒糸かけに糸をかけ、左側の針に糸を通します。

注意

自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に、手で糸を通してください。自動糸通しを無理に使用すると故障の原因となります。

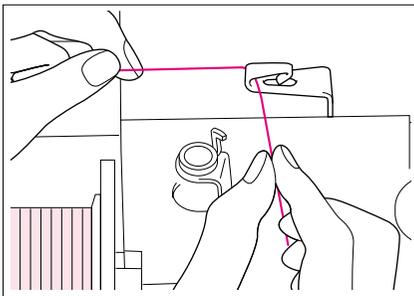


4 補助糸たて棒を上におこして固定します。



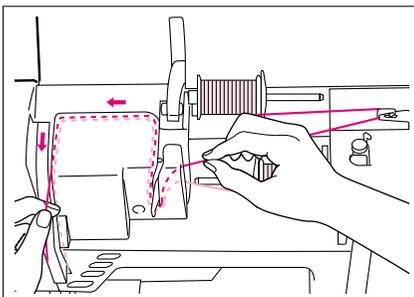
5 もう1つの糸こまを、糸が後方から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。

- ① 補助糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま

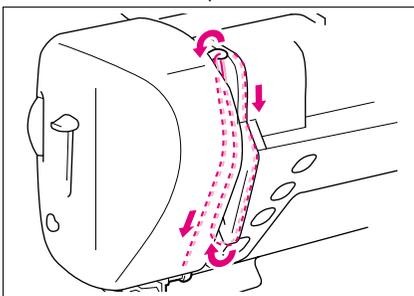


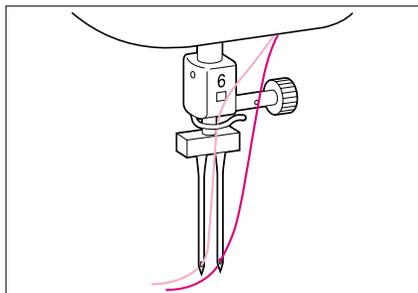
6 糸こまからの糸を左手で保持しながら右手で糸端を持って、両手で糸案内に糸をかけてください。

※ 下糸巻き案内には糸をかけないでください。



7 糸こまからの糸を両手で持ち、糸案内カバーの後ろ側に糸を通し、糸案内板に糸をかけます。ミゾにそって番号順に糸を通してください。

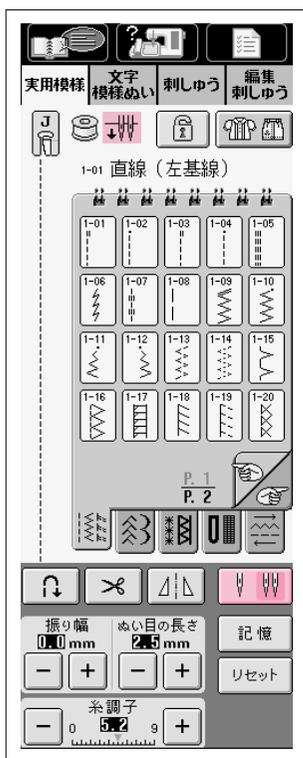




8 針棒糸かけには糸をかけずに、右側の針に糸を通します。

注意

自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に、手で糸を通してください。自動糸通しを無理に使用すると故障の原因となります。



9 <J>押えを取り付けます。

10 模様を選びます。

注意

模様を選んだときに  がグレーで白抜きに表示されている模様は、2本針は使用できません。

11 2本針の設定をします。

 を押して、 にします。

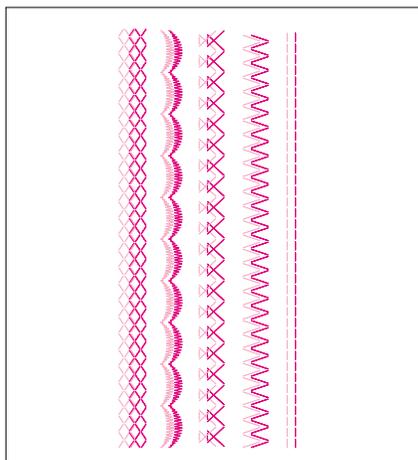
※ 1本針のときよりも振り幅がせまくなります。

※ 画面の押え表示の横に  が表示されます。

▲ 注意



2本針を使用するときは必ず2本針の設定を行ってください。万一、設定を行わずに使用すると、針折れや故障の原因となります。



12 スタート/ストップスイッチを押します。

※ 2本針ぬいで方向を変えるときは、針を布地から抜いてから押えレバーを上げ、布地を回します。

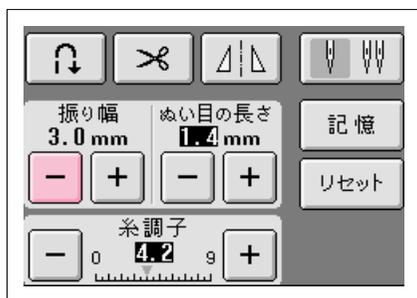
ぬい目の調節

ジグザグの振り幅調節

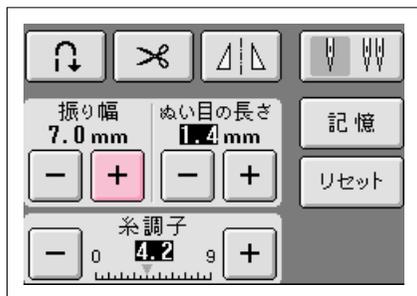
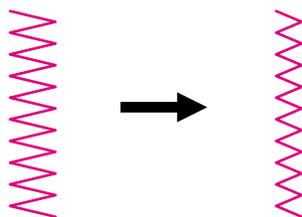
ジグザグの振り幅(模様幅)広くしたり、せまくしたり、調節することができます。通常は、模様を選ぶと自動的に適正なジグザグの振り幅が設定されています。お好みによりジグザグの振り幅を変えたいときは、以下の説明に従って操作してください。

※ 模様によって、調節ができないものがあります。(P.3-1「ぬい方早見表」参照)

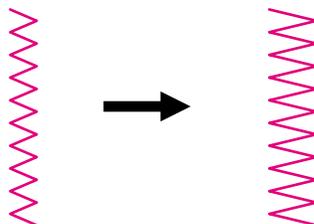
※ スピードコントロールレバーを使って、ジグザグの振り幅を調節することもできます。(P.3-32参照)



振り幅の **-** を押します。押すごとに表示の数値が小さくなり、ジグザグの幅がせまくなります。



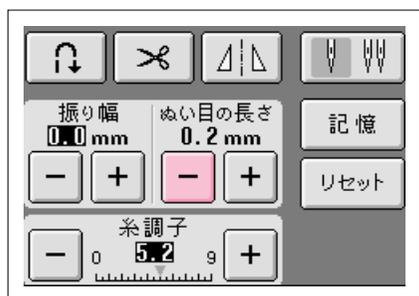
振り幅の **+** を押します。押すごとに表示の値が大きくなり、ジグザグの幅が広がります。



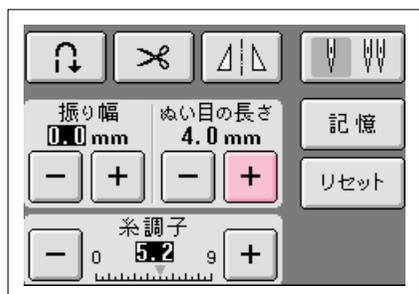
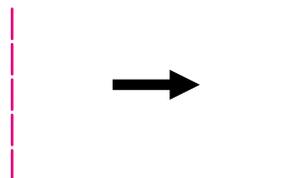
ぬい目の長さ調節

ぬい目の長さをあらくしたり、細くしたり、調節することができます。通常は、模様を選ぶと自動的に適正なぬい目の長さが設定されています。お好みによりぬい目の長さを変えたいときは、以下の説明に従って操作してください。

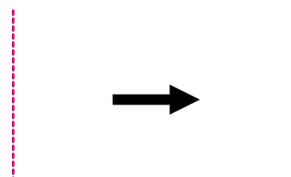
※ 模様によって、調節ができないものがあります。(P.3-1「ぬい方早見表」参照)



ぬい目の長さの **-** を押します。押すごとに表示の数値が小さくなり、ぬい目が細くなります。



ぬい目の長さの **+** を押します。押すごとに表示の値が大きくなり、ぬい目があらかくなります。



⚠ 注意



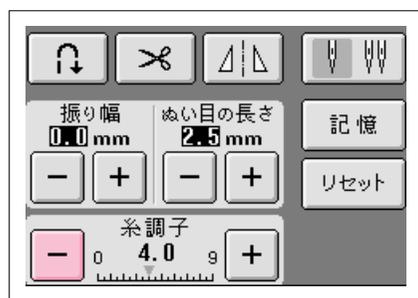
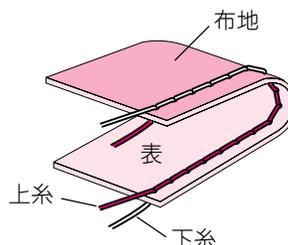
ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

糸調子

通常はコンピュータにより、布地や糸の種類に関係なく自動的に標準の糸調子が取れるように設定されています。布や糸の種類によっては、お好みにより糸調子を調節してください。

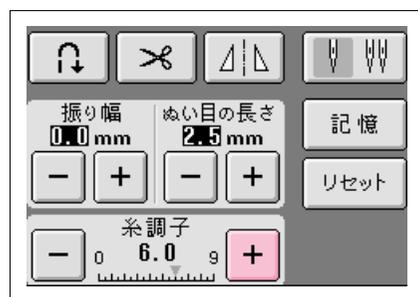
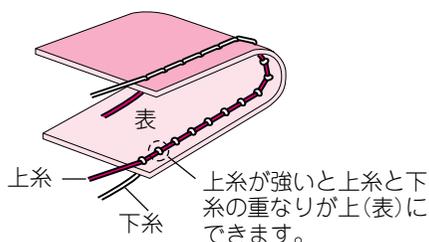
正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。糸調子が正しく設定されていないと、ぬい目がきたなくなり、布地にしわがよったりします。



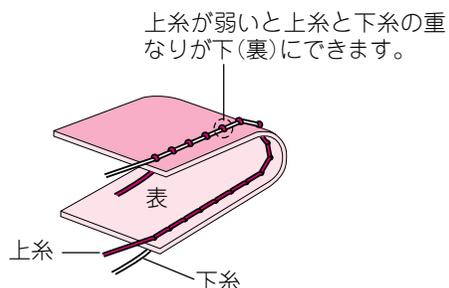
■ 上糸が強すぎるとき(下糸が表に出る)

糸調子の **-** を押します。押すごとに表示の数値が小さくなり、上糸が弱くなります。



■ 上糸が弱すぎるとき(上糸が裏に出る)

糸調子の **+** を押します。押すごとに表示の数値が大きくなり、上糸が強くなります。

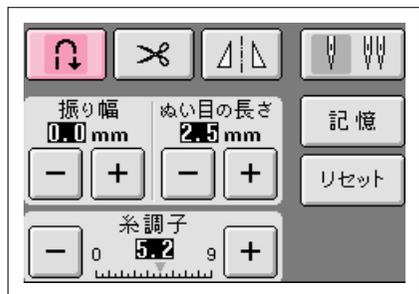


※ 調節した糸調子は、電源スイッチを切ったり、模様選択をし直したりすると、標準の設定値に戻ります。

便利な機能

自動止めぬい

模様を選んだときに、あらかじめ自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をします。

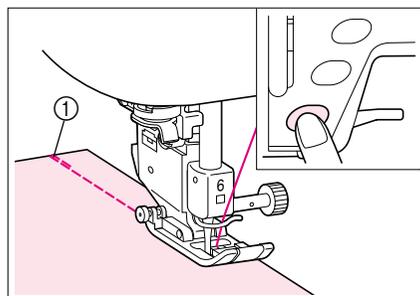


1 模様を選びます。

2  を押して、自動止めぬいを設定します。

表示は  になります。

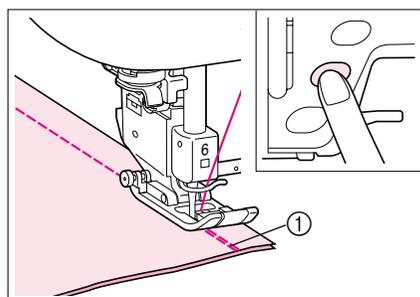
※ ボタン穴かがり、かんどめなど、自動的に止めぬいが設定されている模様があります。



3 布地をぬい始めの位置に合わせてスタート/ストップスイッチを押すと、自動的に止めぬい(または返しぬい)をしてぬい始めます。

① 止めぬい(または返しぬい)

※ ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押して一旦止め、再びスタートした場合は、止めぬい(または返しぬい)はしません。



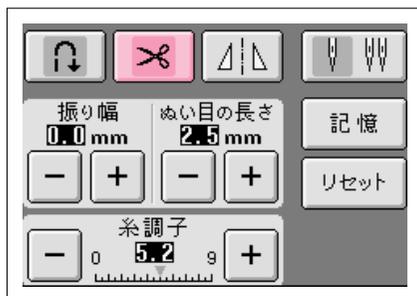
4 返しぬいスイッチを押すと自動的に止めぬい(または返しぬい)をして止まります。

自動止めぬいを解除するには、もう一度  を押して  にします。

① 止めぬい(または返しぬい)

自動糸切り

模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬいをします)をし、糸を切ります。ボタン穴かがりやかんどめをぬうときに便利です。

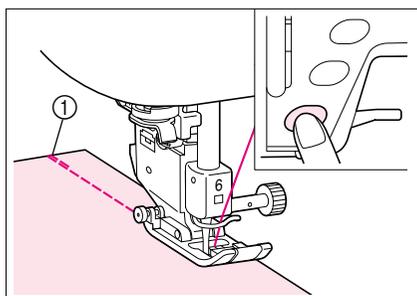


1 模様を選びます。

2  を押して、自動糸切りを設定します。

表示は  になります。

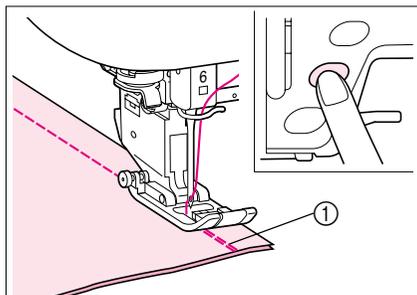
※ 刺しゅう模様は自動的に糸切りが設定されています。



3 布地をぬい始めの位置に合わせてスタート/ストップスイッチを押すと、自動的に止めぬい(または返しぬい)をしてぬい始めます。

※ ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押して一旦止め、再びスタートした場合は止めぬい(または返しぬい)をしません。

① 止めぬい(または返しぬい)



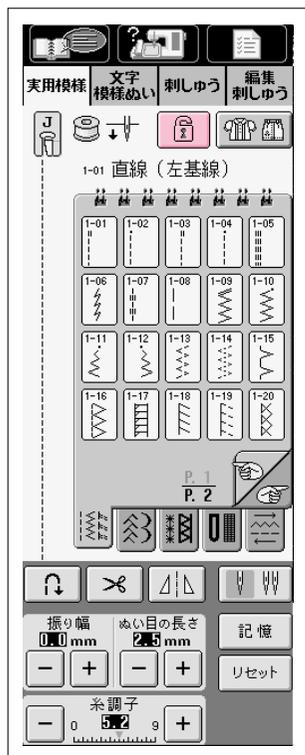
4 返しぬいスイッチを押すと自動的に止めぬい(または返しぬい)をして、糸を切ります。

自動糸切りを解除するには、もう一度  を押して  にします。

① 止めぬい(または返しぬい)をして自動的に糸切りをする

画面ロック

ぬい始める前に設定すると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック(固定)されます。大きな布や作品をぬう場合に、布が画面に触れて設定が変わったり、縫製中にミシンが止まったりすることを防ぎます。実用模様と文字模様ぬいするとき設定できます。



- 1 模様を選びます。
- 2 必要に応じて、振り幅やぬい目の長さなどを設定します。
- 3  を押して、画面ロックを設定します。
表示は  になります。
- 4 ぬいます。
- 5 ぬい終わったら、画面ロックを解除します。もう1度  を押して、 にします。

注意

-  のときは、 と 、、 以外のキー操作はできません。模様を選び直したり、各設定を変更したりしたい場合は、 を押して  にしてから操作してください。
- 画面ロックを設定した後で、、、 のいずれかのキー操作をすると、画面ロックは解除されます。
- 電源スイッチを切ると、画面ロックは解除されます。

第3章 実用ぬい

ぬい方早見表

注意

2本針を使用するとき(P.2-25参照)は、必ず<J>押えを取り付けてください。

※ - : 調節できません。○ : 使用できます。× : 使用できません。

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	直線 (左基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	○	0.0	0.0-7.0	2.5	0.2-5.0
	直線 (左基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	○	0.0	0.0-7.0	2.5	0.2-5.0
	直線 (中基線)		ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	○	—	—	2.5	0.2-5.0
	直線 (中基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	○	—	—	2.5	0.2-5.0
	3重ぬい		丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときや飾りぬいとしても使用します。	○	0.0	0.0-7.0	2.5	1.5-4.0
	伸縮ぬい		伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	○	1.0	1.0-3.0	2.5	1.0-4.0
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	○	0.0	0.0-7.0	2.5	1.0-4.0
	しつけぬい		仮止め使用します。	×	0.0	0.0-7.0	20.0	5.0-30.0
	ジグザグ (中基線)		たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	○	3.5	0.0-7.0	1.4	0.0-4.0
	ジグザグ (中基線)		たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	○	3.5	0.0-7.0	1.4	0.0-4.0
	ジグザグ (右基線)		右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基線にして振り幅が変わります。	○	3.5	2.5-5.0	1.4	0.3-4.0
	ジグザグ (左基線)		左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基線にして振り幅が変わります。	○	3.5	2.5-5.0	1.4	0.3-4.0
	2点ジグザグ		普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	○	5.0	1.5-7.0	1.0	0.2-4.0

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	3点ジグザグ		普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	○	5.0	1.5-7.0	1.0	0.2-4.0
	たちめかがり		薄地、普通地のたちめかがりに使用します。	×	3.5	2.5-5.0	2.0	1.0-4.0
	たちめかがり		厚地のたちめかがりに使用します。	×	5.0	2.5-5.0	2.5	1.0-4.0
	たちめかがり		厚地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	×	5.0	3.5-5.0	2.5	1.0-4.0
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	○	5.0	0.0-7.0	2.5	0.5-4.0
	たちめかがり		厚地、伸びる布地のたちめかがりに使用します。	○	5.0	0.0-7.0	2.5	0.5-4.0
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	○	4.0	0.0-7.0	4.0	1.0-4.0
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	×	5.0	0.0-7.0	4.0	1.0-4.0
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	○	6.0	1.0-7.0	3.0	1.0-4.0
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	○	6.0	1.0-7.0	1.8	1.0-4.0
	サイドカッター		サイドカッター押えを取り付けてぬいます。布地を切りながら、直線をぬいます。	×	0.0	0.0-2.5	2.5	0.2-5.0
	サイドカッター		サイドカッター押えを取り付けてぬいます。布地を切りながら、ジグザグステッチをぬいます。	×	3.5	3.5-5.0	1.4	0.0-4.0
	サイドカッター		サイドカッター押えを取り付けてぬいます。薄地、普通地のたちめかがりに使用します。	×	3.5	3.5-5.0	2.0	1.0-4.0
	サイドカッター		サイドカッター押えを取り付けてぬいます。厚地のたちめかがりに使用します。	×	5.0	3.5-5.0	2.5	1.0-4.0
	サイドカッター		サイドカッター押えを取り付けてぬいます。普通地、厚地のたちめかがりに使用します。	×	5.0	3.5-5.0	2.5	1.0-4.0

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	ピーシング直線		ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬい代の幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。	×	5.5	0.0-7.0	1.6	0.2-5.0
	ピーシング直線		ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬい代の幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。	×	1.5	0.0-7.0	1.6	0.2-5.0
	手ぬい風直線		上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使ってぬうと手ぬい風のキルト直線がぬえます。ぬうときは上糸の調子を強くしてぬいます。	×	0.0	0.0-7.0	2.5	1.0-4.0
	ジグザグ		アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	×	3.5	0.0-7.0	1.4	0.0-4.0
	アップリケ		アップリケやバインディングをするときに使用します。	×	1.5	0.5-5.0	1.2	1.0-4.0
	キルトイング模様		キルトで背景をうめるときに使用します。	×	7.0	1.0-7.0	1.6	1.0-4.0
	まつりぬい		普通地のまつりぬいに使用します。	×	0.0	+30-30	2.0	1.0-3.5
	まつりぬい		伸びる布地のまつりぬいに使用します。	×	0.0	+30-30	2.0	1.0-3.5
	アップリケ		アップリケに使用します。	○	3.5	2.5-5.0	2.5	1.6-4.0
	シェルタック		シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	○	4.0	0.0-7.0	2.5	0.2-4.0
	サテンスカラップ		スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	○	5.0	2.5-7.0	0.5	0.1-1.0
	スカラップ		スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	×	7.0	0.0-7.0	1.4	1.0-4.0
	つきあわせ		パッチワークや飾りぬいに使用します。	○	4.0	0.0-7.0	1.2	0.2-4.0
	つきあわせ		パッチワークや飾りぬいに使用します。トリコット地などたちめかがり兼用の地ぬいにも使用できます。	○	5.0	2.5-7.0	2.5	1.0-4.0

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	つきあわせ		パッチワークや飾りぬいに使用します。	○	5.0	0.0-7.0	1.2	0.2-4.0
	スマッキング		スマッキングや飾りぬいに使用します。	○	5.0	0.0-7.0	1.6	1.0-4.0
	ファゴティング		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	○	5.0	0.0-7.0	2.5	1.0-4.0
	ファゴティング		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	○	5.0	2.5-7.0	2.5	1.0-4.0
	ゴムひもつけ		伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	○	4.0	0.0-7.0	1.0	0.2-4.0
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	×	4.0	0.0-7.0	3.0	2.0-4.0
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	○	4.0	0.0-7.0	2.5	1.0-4.0
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	○	5.5	0.0-7.0	1.6	1.0-4.0
	飾りぬい		飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	○	5.0	1.5-7.0	1.0	0.2-4.0
	飾りぬい		飾りぬいやアップリケに使用します。	○	6.0	1.0-7.0	1.0	0.2-4.0
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	×	7.0	1.0-7.0	1.6	1.0-4.0
	飾りぬい		左基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	○	1.0	1.0-7.0	2.5	1.5-4.0
	飾りぬい		中基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	○	3.5	1.0-7.0	2.5	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。	○	6.0	1.5-7.0	3.0	1.0-4.0

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	飾りぬい		レースつけやふち飾りなどに使用します。	×	3.5	1.5-7.0	2.5	1.6-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。	×	3.0	1.5-7.0	3.0	1.6-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。	×	6.0	1.5-7.0	3.0	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	×	5.0	1.5-7.0	3.5	1.6-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	×	5.0	1.5-7.0	3.5	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	5.0	1.5-7.0	3.5	1.6-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	5.0	1.5-7.0	4.0	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	4.0	1.5-7.0	2.5	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に使用します。	○	5.0	1.5-7.0	2.5	1.0-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	6.0	1.5-7.0	3.5	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	6.0	1.5-7.0	1.6	1.0-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	×	6.0	1.5-7.0	3.0	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	6.0	1.5-7.0	4.0	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	×	4.0	1.5-7.0	2.5	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	○	5.0	1.5-7.0	2.0	1.5-4.0

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	飾りぬい		つき合わせや飾りぬいに使用します。	○	6.0	1.5-7.0	2.0	1.5-4.0
	飾りぬい		ふち飾りやぬった後にリボンを通して飾りとして使用します。	○	5.0	1.5-7.0	3.0	1.5-4.0
	飾りぬい		飾りぬいやスモッキングに使用します。	×	6.0	1.5-7.0	1.6	1.0-4.0
	飾りぬい		飾りぬいやスモッキングに使用します。	×	5.0	1.5-7.0	1.6	1.0-4.0
	ボタン穴かがり		ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		横穴用。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	×	5.5	3.5-5.5	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		ねむり穴。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジャケットやブラウスに使用します。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		両止めボタン穴かがり。麻、木綿など、ある程度腰のある素材に適しています。ホームウエアやブラウスなど手軽にぬえるものに多く利用されます。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		両止めボタン穴かがり。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	×	5.5	3.5-5.5	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	×	5.0	3.0-5.0	0.4	0.2-1.0
	ボタン穴かがり		伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	×	6.0	3.0-6.0	1.0	0.5-2.0

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	ボタン 穴かがり		伸びる布地のボタン穴かがりに使用します。 芯ひもを入れてぬいます。	×	6.0	3.0-6.0	1.5	1.0-3.0
	ボタン 穴かがり		玉ふち穴かがり(パウンドボタンホール)を作 るときに使用します。	×	5.0	0.0-6.0	2.0	0.2-4.0
	ボタン 穴かがり		はとめ穴。厚地や毛の長いもののボタン穴か がりに使用します。プレザー、スーツ、コート などに使用します。	×	7.0	3.0-7.0	0.5	0.3-1.0
	ボタン 穴かがり		はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがり に使用します。シーズ、ズボンなどに使用 します。	×	7.0	3.0-7.0	0.5	0.3-1.0
	ボタン 穴かがり		はとめ穴。厚地や毛の長いものの横穴ボタン 穴かがりに使用します。厚手のコートなどに 使用します。	×	7.0	3.0-7.0	0.5	0.3-1.0
	ダーニン グ		普通地のつくろいぬいに使用します。	×	7.0	2.5-7.0	2.0	0.4-2.5
	ダーニン グ		厚地のつくろいぬいに使用します。	×	7.0	2.5-7.0	2.0	0.4-2.5
	かんどめ		ぬい目がほどけやすい箇所やポケット口など のあき止まり部分の力の加わる部分を補強し たい場合に用います。	×	2.0	1.0-3.0	0.4	0.3-1.0
	ボタン つけ		ボタンつけに使用します。	×	3.5	2.5-4.5	—	—
	アイレ ット		ベルトの穴かがりなどに使用します。	×	7.0	5.0 6.0 7.0	7.0	5.0 6.0 7.0
	横送り 直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペ ンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送り 直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペ ンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送り 直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペ ンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送り 直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペ ンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送り 直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペ ンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—

模様表示	名前	押え	主な用途	2本針	ジグザグの振り幅		ぬい目の長さ	
					自動	手動	自動	手動
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—
	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	×	—	—	—	—

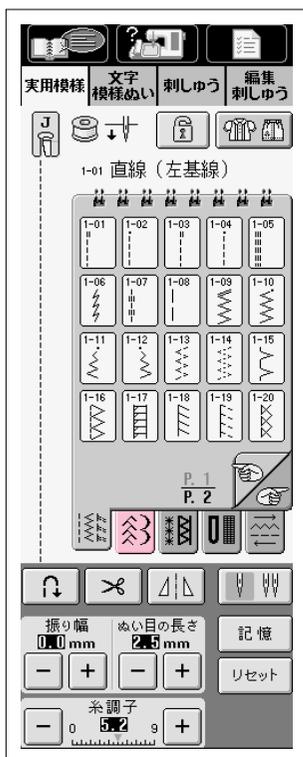
▲ 注意



模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

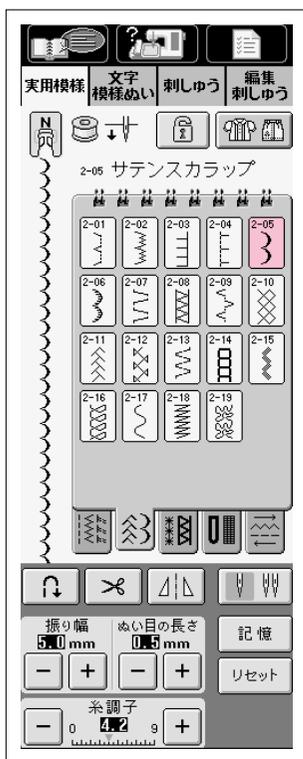
実用模様の選び方

模様の選び方



1 電源スイッチを入れて画面を軽く押すと、自動的に縫製によく使う「1-01 直線(左基線)」が選ばれます。

※ 他の画面が表示されている場合は **実用模様** を押してください。

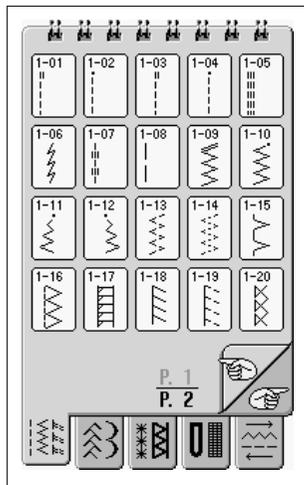


2  を押してぬいたい模様の画面を開き、模様を選びます。

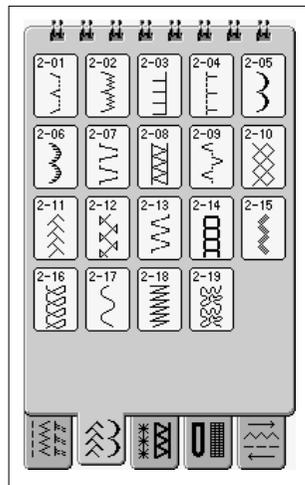
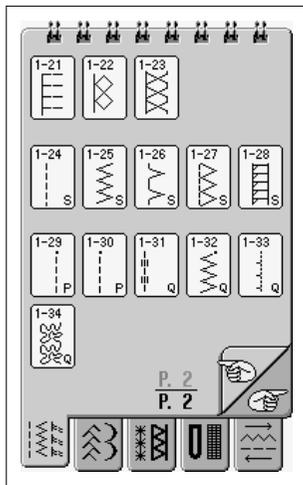
3 選んだ模様は、押え記号の下に表示されます。

■ 模様選択画面一覧

直線・たちめかがり・キルト模様

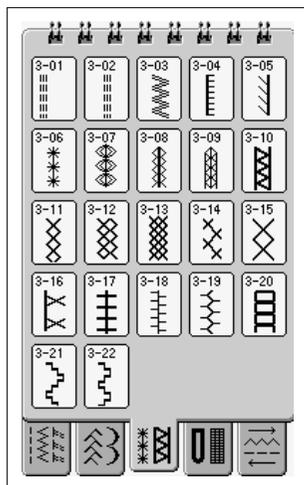


飾り模様

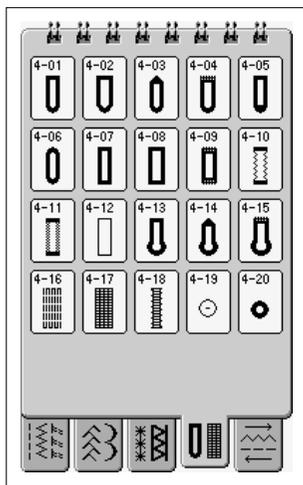


を押すと2ページ目の画面が表示されます。

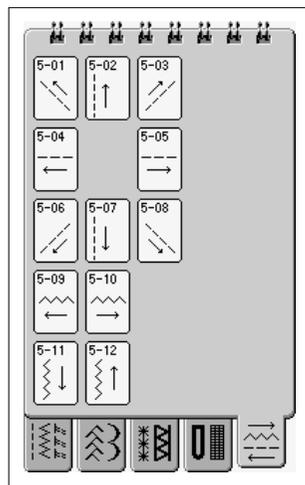
飾り模様



ボタン穴かがり模様など



横送り模様

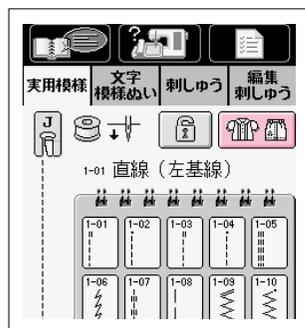


☑ (ぬい方)キーを使った模様を選び方

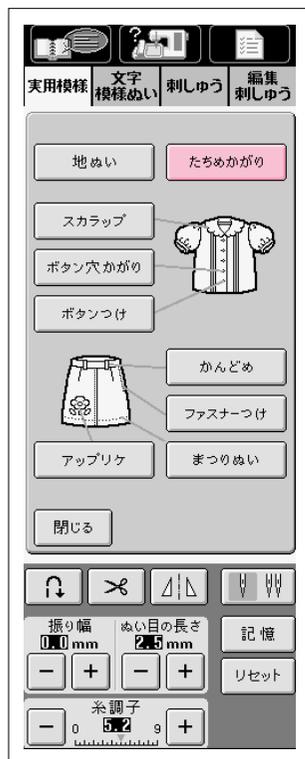
実用ぬいにはもう1つ、☑ を押して、ぬい方から選ぶ方法があります。

例えば、たちめかがりをするのにどの模様を選んだらいいのか分からない、またどのようにしてぬうのか分からないといった場合、用途に応じた適切な模様が選択でき、操作手順が表示されるのでとても便利です。

初心者の方はこの方法で模様を選ぶことをお勧めします。



1 ☑ を押します。



2 ぬい方の一覧が表示されます。

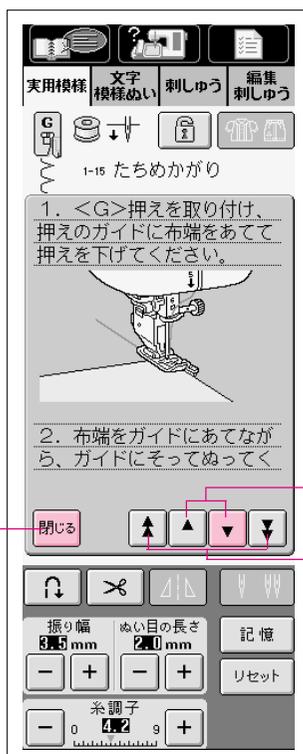
3 ぬい方を選びます。

(例：たちめかがり)



4 たちめかがりの模様と各々の用途説明が表示されます。

5 説明を読んで、用途に合う模様を選びます。



6 模様が選ばれ、操作手順が表示されます。

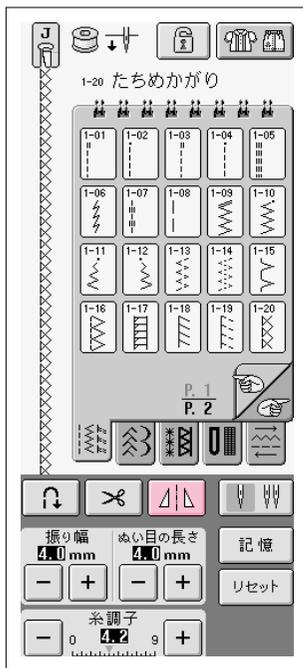
7 ▼ を押すと、矢印の方向に画面がスクロールして次の手順が表示されます。操作手順に従って操作するとたちめかがりができます。

- ① 押すと元の画面に戻ります。
- ② 押すと矢印の方向に1行ずつスクロールします。
- ③ 押すと矢印の方向に大きくスクロールします。



8 終わったら、閉じる を押します。

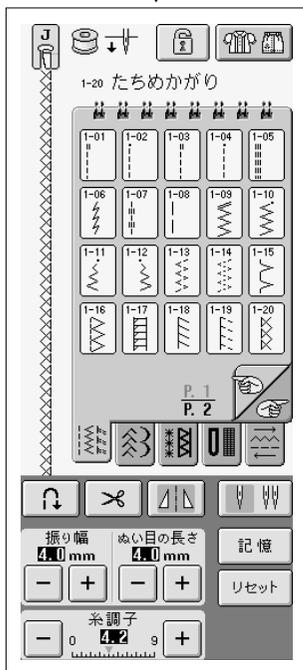
模様を左右に反転させるには



 を押して  にします。選択した模様が左右に反転します。

注意

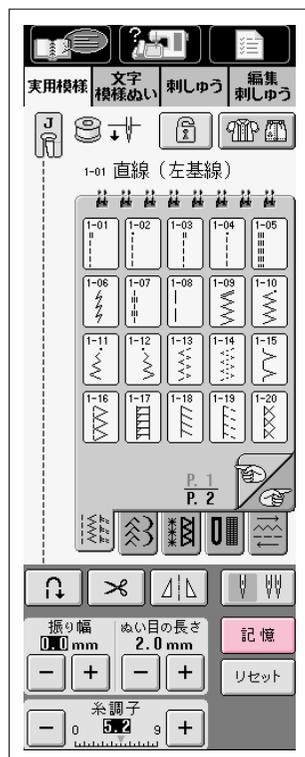
選ばれている状態で、 がグレーで白抜きに () で表示されている模様は、左右に反転させることはできません。
(ボタン穴かがり、横送り模様など)



模様をお好みの状態に設定して、記憶するには

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・プログラム糸切りや自動止めぬいなどは、コンピュータにより模様ごとに標準の状態が、あらかじめ設定されています。

お好みの状態に設定を変えたいときは、設定した後に **記憶** を押すと、その内容を模様ごとに記憶することができます。



例) 直線のぬい目の長さを、いつも2.0mmで使うには

- ① 直線模様を選びます。
(標準設定では、ぬい目の長さは2.5mmです。)
- ② ぬい目の長さを2.0mmして、**記憶** を押します。
- ③ 次から同じ直線模様を選んだときには、ぬい目の長さは2.0mmで表示されます。

※ 元の標準設定に戻したいときは **リセット** を押して、**記憶** を押します。

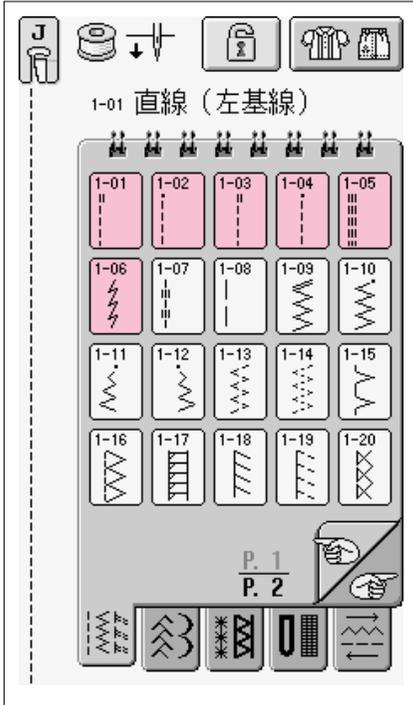
注意

ぬい目の長さだけでなく、ジグザグの振り幅・糸調子・プログラム糸切りや自動止めぬいなど、模様のすべての設定が記憶されます。

記憶した設定は、再度設定を変えて記憶をするか、**リセット** を押して標準設定に戻し、**記憶** を押さない限り変わりません。電源スイッチを切っても、同じ模様を選ぶと、記憶された設定が表示されます。

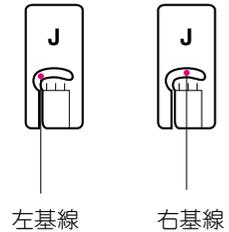
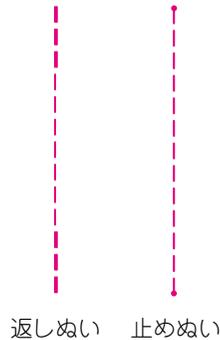
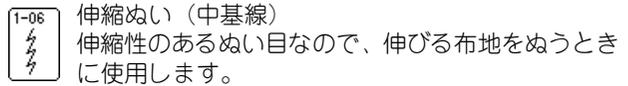
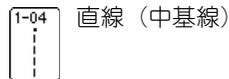
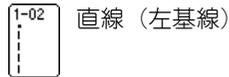
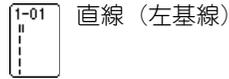
いろいろなぬい方

直線ぬい



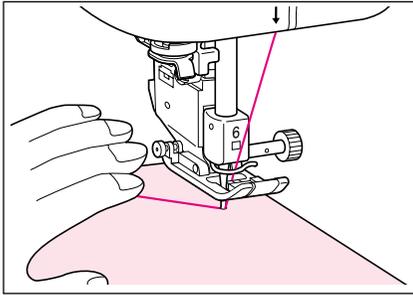
1 模様を選びます。

※ 模様の頭に「J」がついている模様は、返しぬいスイッチを押したときに返しぬいを、「■」がついている模様は止めぬいをします。



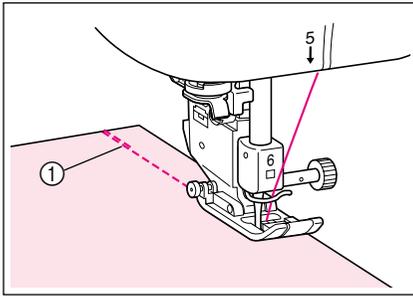
3

実用ぬい



2 <J>押えを取り付けます。

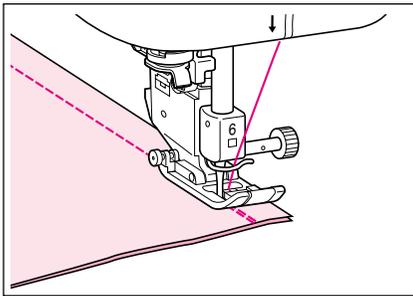
3 左手で糸と布地を押さえて、右手でプーリーを手前に回し、ぬい始めの位置に針をさします。



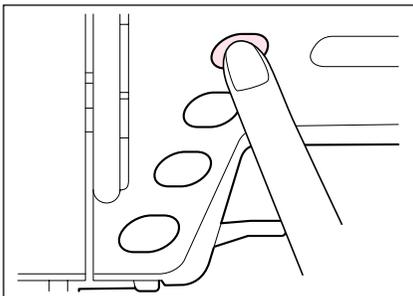
4 押えレバーを下げます。

5 返しぬいスイッチを押しながら返しぬい(止めぬい)をした後、スタート/ストップスイッチを押します。ゆっくりぬい始めます。

① 返しぬい



6 ぬい終わりは返しぬいスイッチを押しながら、返しぬい(止めぬい)をします。



7 糸切りスイッチを押して、糸を切ります。

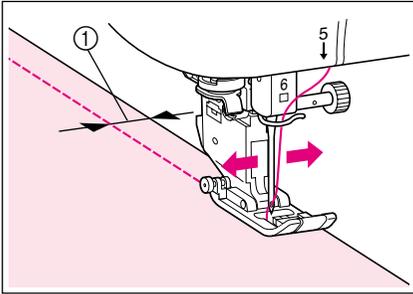
※ 模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りの設定をして置くと、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に返しぬい(止めぬい)をして糸を切ります。

▲ 注意



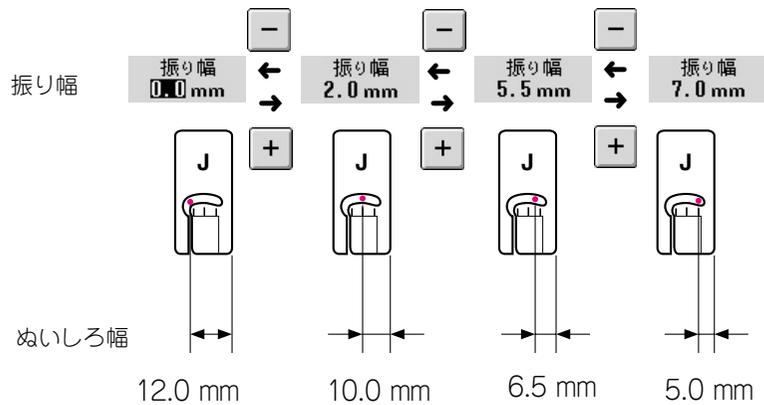
ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

■ 針位置の変え方(左基線の模様のみ)

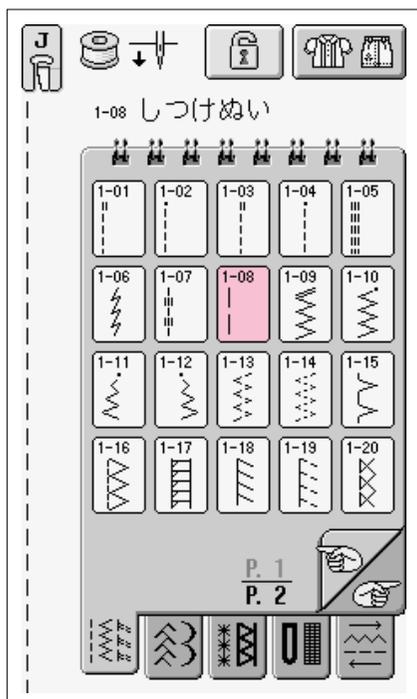


左基線の直線ぬいは、振り幅の **-** **+** を押すと、針位置を左右に移動させることができます。押えの右端から針までの距離をぬいしろ幅に合わせて置くと、ぬうときに押えの右端に布端を合わせてぬえばよいので便利です。

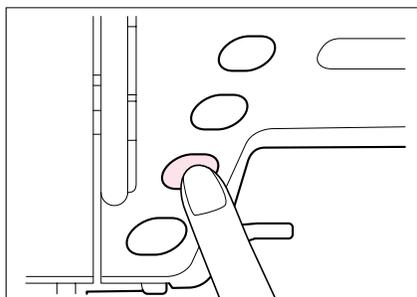
① ぬいしろ幅



しつけ

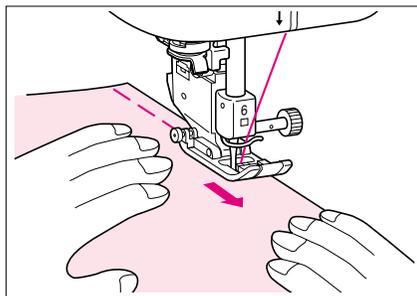
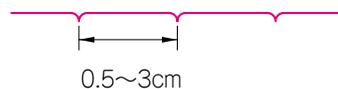


- 1**  を選び、< J > 押えを取り付けます。



- 2** ぬい始めは返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。

※ ぬい目の長さは0.5~3cmまで変えることができます。



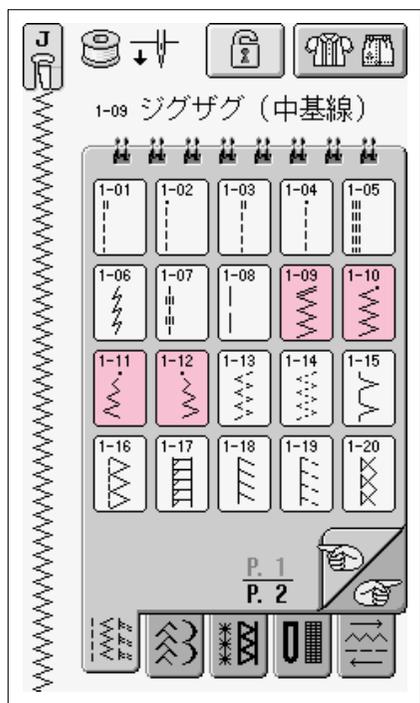
- 3** 押えの後ろ側の布地を軽くもちながら、ぬってください。

※ フットコントローラーを使用すると、作業がしやすくなります。

- 4** ぬい終わりは止めぬいをします。

ジグザグ

ジグザグは、たちめかがりやアップリケ、パッチワークなどいろいろな用途に使います。



1 模様を選び、< J >押えを取り付けます。

※ 模様の頭に「■」がついている模様は、返しぬいスイッチを押したときに返しぬいを、「■」がついている模様は止めぬいをします。

1-09 ジグザグ(中基線)
振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。

1-10 ジグザグ(中基線)
振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。

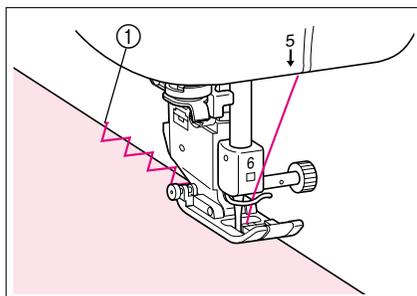
1-11 ジグザグ(右基線)
右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると、右を基線にして振り幅が変わります。

1-12 ジグザグ(左基線)
左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると、左を基線にして振り幅が変わります。



返しぬい 止めぬい

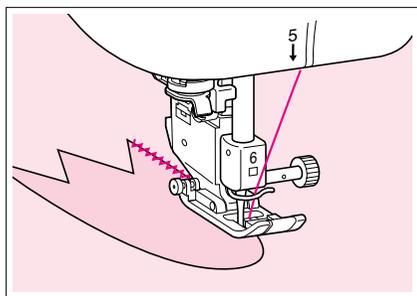
■ たちめかがり



針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

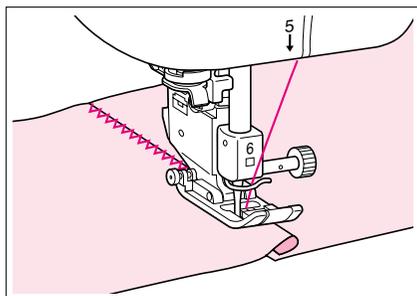
① 針落ち位置

■ アップリケ



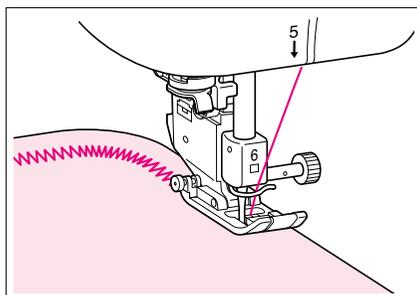
アップリケ布を薄くのり付けするか、しつけでとめてから、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

■ パッチワーク(クレイジーキルト)



上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。

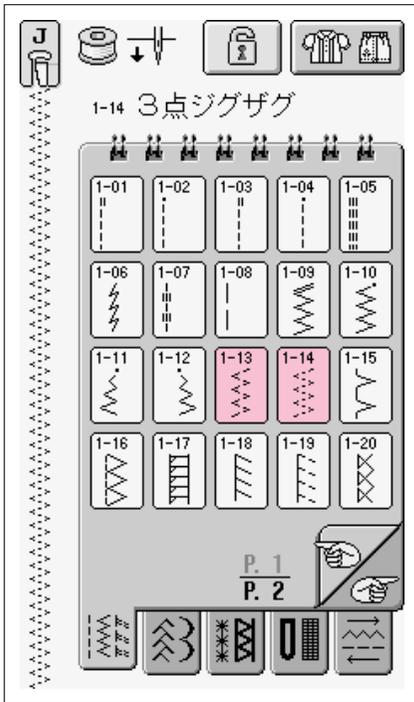
■ カーブをぬう場合



カーブの外側に針をさしたまま押えを上げて、少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目ができます。

点線ジグザグ

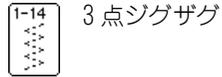
点線ジグザグはたちめかがり、ゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。



1 模様を選び、< J > 押えを取り付けます。



2点ジグザグ

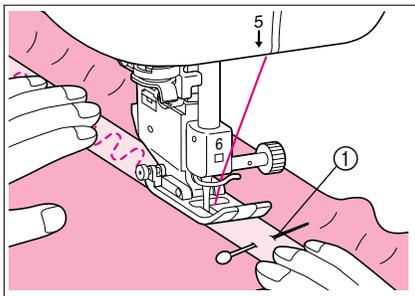


3点ジグザグ

3

実用ぬい

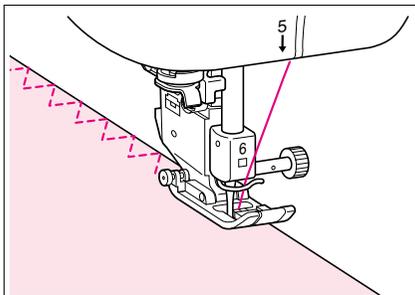
■ ゴムひもつけ



ゴムひもを前後に伸ばしながら、ぬいます。

① ゴムひも

■ たちめかがり

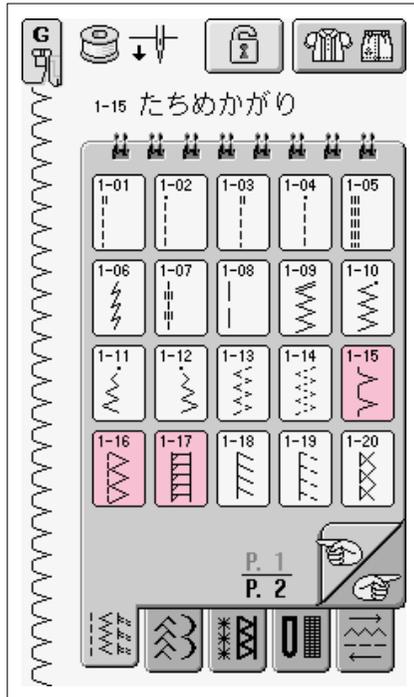


伸びる布地をぬうときに使います。
針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

たちめかがり

ズボン、スカートなどのぬいしろの始末、あらゆるたち目の始末に使います。
模様によって<G>押え、<J>押え、サイドカッター押え(別売)を使います。

■ <G>押えを使うたちめかがり



1 模様を選びます。

1-15 薄地、普通地に使用します。

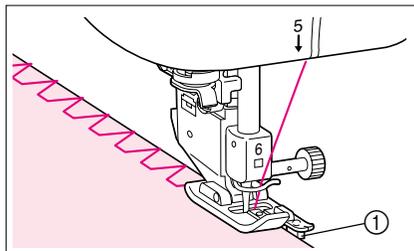
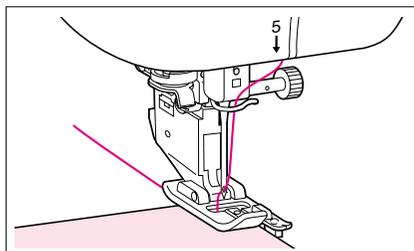
1-16 厚地に使用します。

1-17 厚地に使用します。

2 <G>押えを取り付け、押えのガイドに布端を当てて押えレバーを下げます。

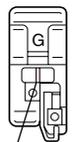
3 布端をガイドに当てながら、ガイドにそってぬいめます。

① ガイド



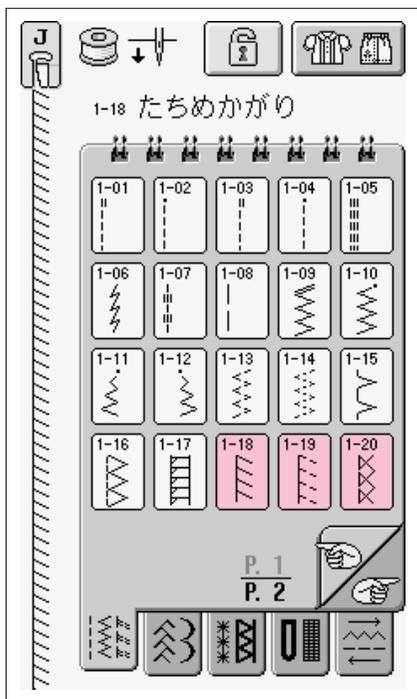
⚠ 注意

振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



針が当たらないように

■ <J>押えを使うたちめかがり



1 模様を選びます。

1-18 伸びる布地に使用します。

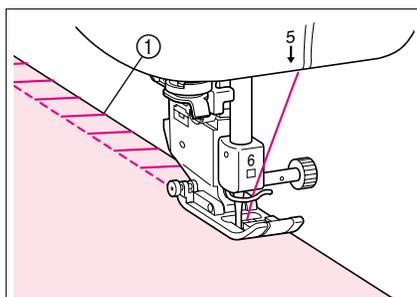
1-19 厚地、伸びる布地に使用します。

1-20 伸びる布地に使用します。

1-21 伸びる布地に使用します。

1-22 伸びる布地に使用します。

1-23 伸びる布地に使用します。



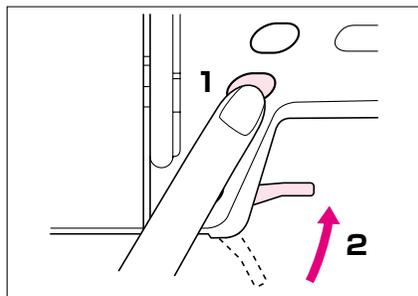
2 <J>押えを取り付け、針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

※ 伸びる布地は、押え圧力を弱くするときれいに仕上がります。



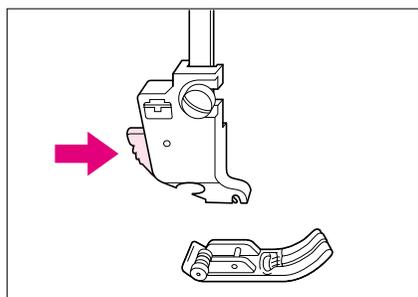
■ サイドカッター押え(別売)を使うためのちめかがり

サイドカッター押え(別売)を使うと、布地を切りながらちめかがりをすることができます。

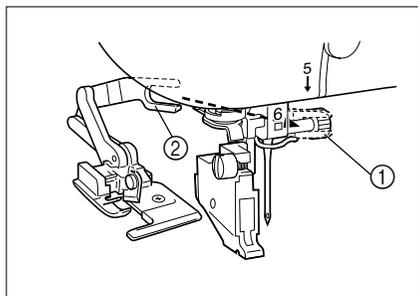


1 針上下スイッチを押して針を上げてから、電源スイッチを切ります。

2 押えレバーを上げます。

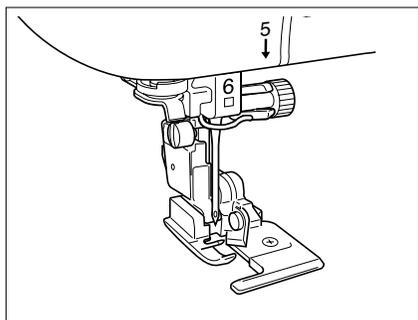


3 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。

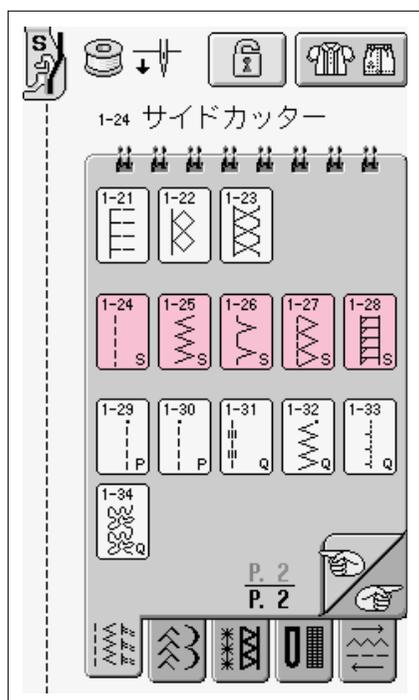


4 サイドカッター押えの作動レバーのふたまた部で針抱きをはさみます。

- ① 針抱き
- ② 作動レバー



- 5** 押えホルダーのミゾとサイドカッター押えのピンが合うようにサイドカッター押えを置き、ゆっくりと押えレバーを下げます。



- 6** 模様を選びます。

※ キーの右下に「S」と表示されている模様がサイドカッター押え用の模様です。

1-24 直線をぬいます。

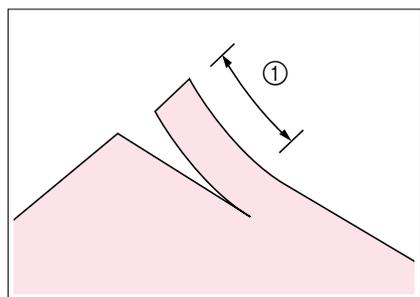
1-25 シグザグをぬいます。

1-26 薄地、普通地のたちめかぎりに使用します。

1-27 厚地のたちめかぎりに使用します。

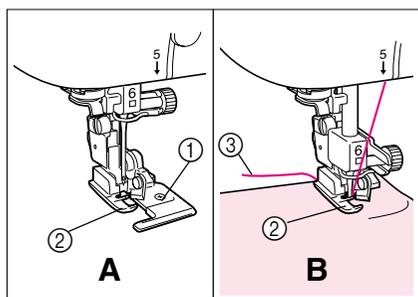
1-28 普通地、厚地のたちめかぎりに使用します。

注意
模様は必ずサイドカッター押え用の模様を選んでください。



- 7** 布地に2cmほどの切り込みを入れます。

① 2cm



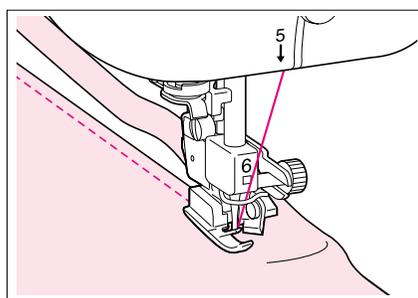
8 糸を針穴に通し、上糸は押えの下を通して後ろ側へ引き出しておきます。

注意

自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に、手で糸を通してください。自動糸通しを使用すると故障の原因となります。

9 布地をぬい始めの位置に合わせて置きます。Bの図のように、切り込みの右側の布地はガイドプレートの上に置き、左側の布地は押えの下に置きます。

- ① ガイドプレート
- ② 押え
- ③ 上糸

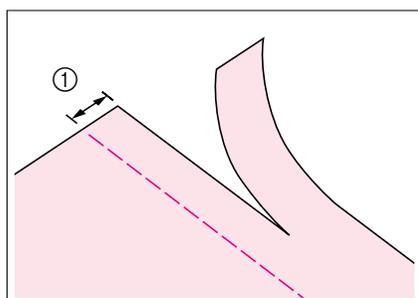


10 押えレバーを下げ、ぬい始めます。

▲ 注意

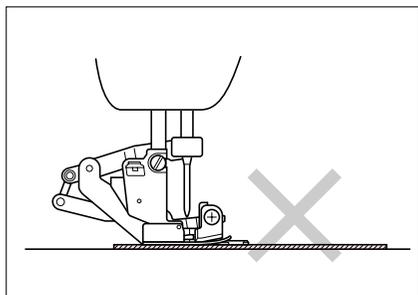


振り幅を調整したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



■  でぬった場合
ぬいしろは約0.5cmです。

- ① ぬいしろ



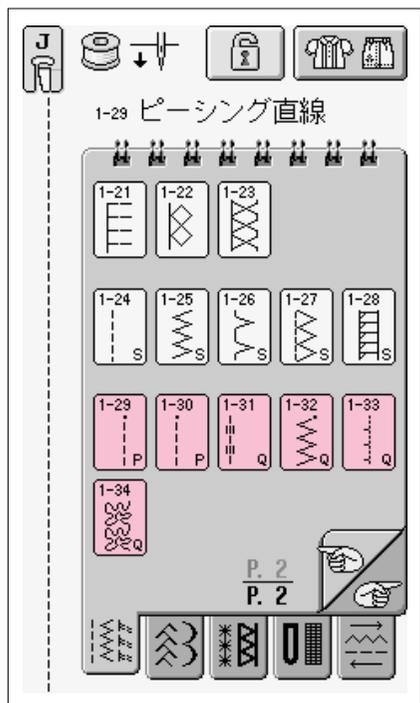
注意

- 布地が正しく置かれていないと、布地が切れません。手順の9を参照し、布地は正しく置いてください。
- ※ サイドカッター押えで切ることができる布地の厚さは、13オンスのデニム1枚程度までです。
- ※ 使用後は糸くずやほこりがつきますので、掃除をしてください。
- ※ サイドカッター押えの刃は、必要に応じて少量の油を含ませた布でふいてください。

キルト

美しく実用的なキルトを簡単ですばやく仕上げることができます。

キルトをぬうときは、フットコントローラー、ニーリフター(P.1-9参照)を使用すると、両手で作業するとき便利です。



キーの右下に「P」または「Q」と表示されている模様がキルト用の模様です。

1-29 ピーシング直線
 押えの右端に布端を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。また、ぬい目の長さは糸がほどけないように細かく、1.6mmに設定されています。
 ※ 返しぬいは不要です。

1-30 ピーシング直線
 押えの左端に布端を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。また、ぬい目の長さは糸がほどけないように細かく、1.6mmに設定されています。
 ※ 返しぬいは不要です。

1-31 手ぬい風キルティング直線
 上糸にナイロン透明糸、下糸にキルト地に合った色の糸を使ってぬうと、手ぬい風に仕上がります。上糸の糸調子を強くしてぬってください。

1-32 アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンの飾り模様などに使用します。

1-33 アップリケやバイディングをきれいに仕上げることができます。

1-34 キルトで背景をうめるときに使用します。

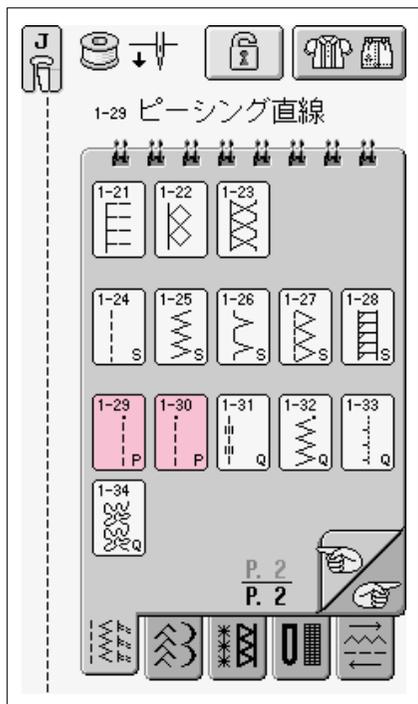
■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをいいます。

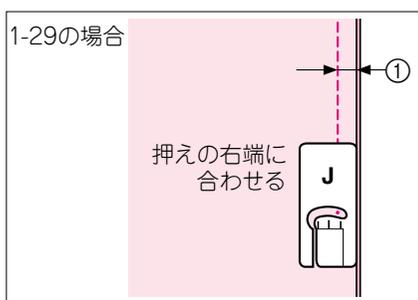
ぬいしろを一定の幅でぬうために、ぬいしろは正確に付けて布を裁断します。

ピース(布)のぬいしろは、6.5mmにします。

※ ぬいしろの幅を変える場合は、振り幅の値を変えて針位置を調節してください。



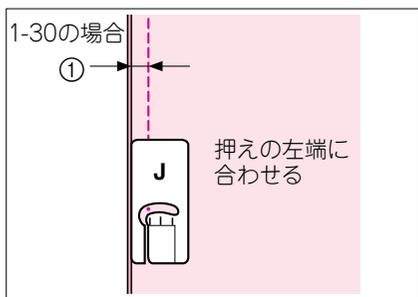
1  または  を選び、< J > 押えを取り付けます。



2 押えの端に布端を合わせて、ぬいます。

① 6.5 mm

1-29を選んだときの振り幅



1-30を選んだときの振り幅



※ 振り幅の値は針位置を示します。

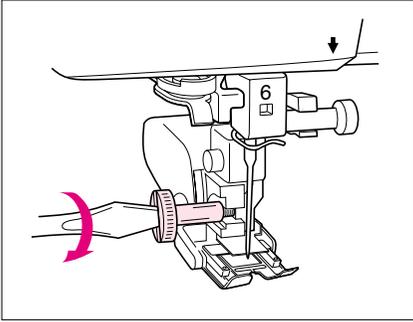
ぬいしろの幅ではありません。

※ 針位置を変えたいときは、振り幅の   を押して調節してください。

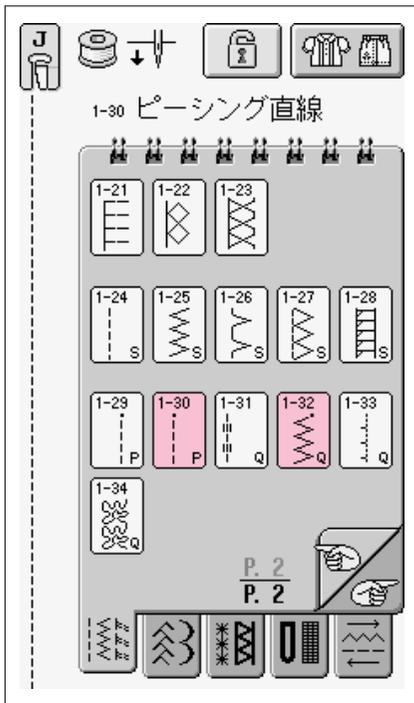
※ お好みのぬい目の長さや針位置に変えた場合は、P.3-14を参照して、設定を記憶しておくとう便利です。

■ キルティング

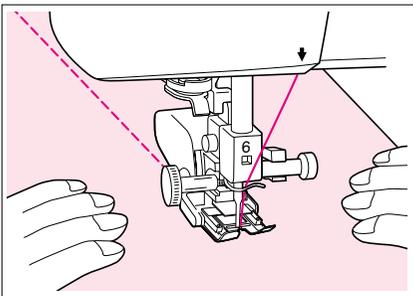
表布、キルト綿、裏布をぬい合わせることをキルティングといいます。
ウォーキングフットを使うと、表布・キルト綿・裏布がずれることなく正確にぬうことができます



- 1** ウォーキングフットを取り付けます。
(P.2-15参照)



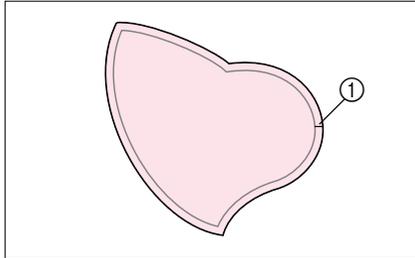
- 2**  または  を選びます。



- 3** 手を押えの両側に置き、布をしっかりと張って、ぬいます。
※ ぬい始める前にキルトにしつけをしておいてください。
※ スピードは、「ゆっくり」から中速でぬってください。

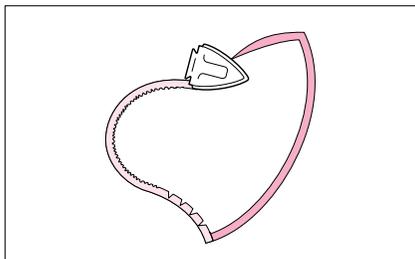
■ アップリケ

上糸にナイロン透明糸を使うとぬい目を目立たなく仕上げることができます。

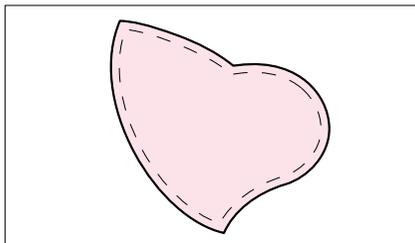


1 アップリケ布は、ぬいしろをつけて切り取ります。

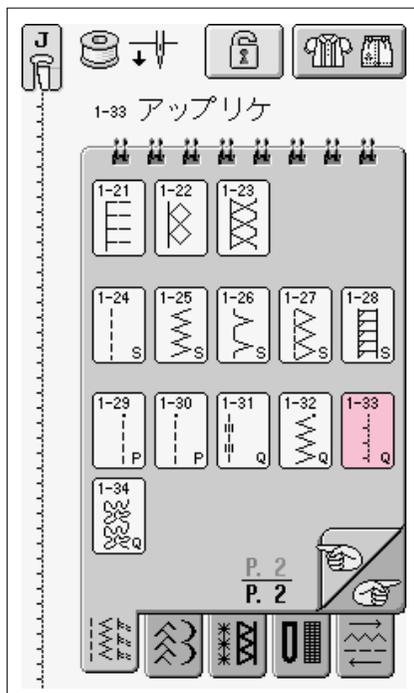
① ぬいしろ(3~5mm)



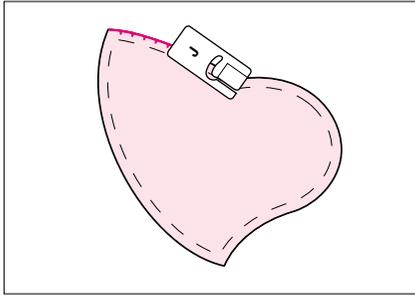
2 厚紙の型紙を当てて、アイロンでぬいしろを内側に折ります。



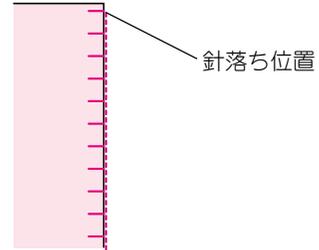
3 アップリケ布を表に返し、土台布にまち針またはしつけで固定します。



4  を選び、<J>押えを取り付けます。



- 5 針が落ちる位置を確認し、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるように、まわりをぬいます。



3

実用ぬい

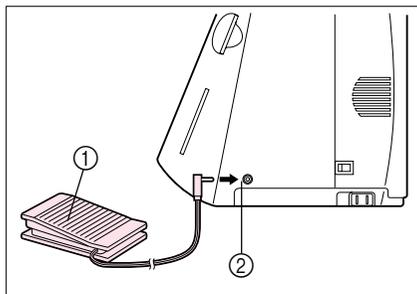
▲ 注意



ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

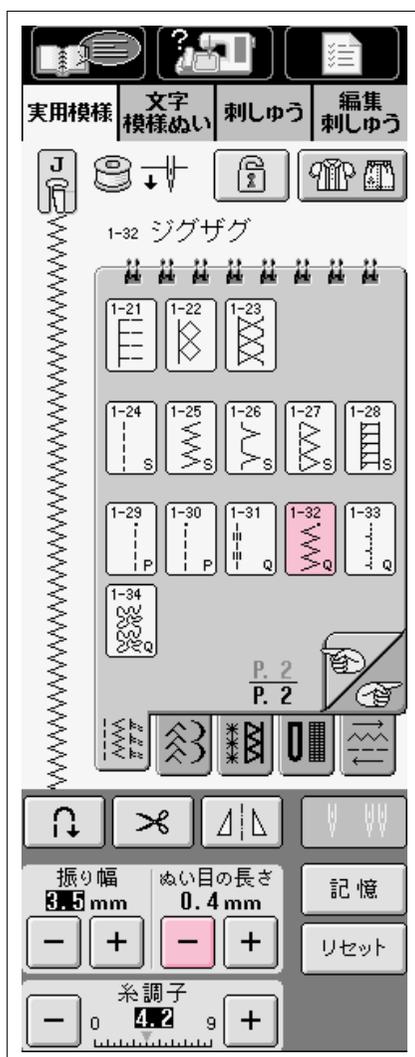
■ サテンぬい

フットコントローラーを使用してぬいます。スピードコントロールレバーで振り幅を調節することにより、微妙に振り幅を変化させながらサテン模様をぬうことができます。



1 フットコントローラーを取り付けます。

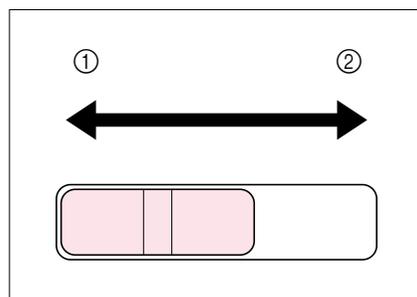
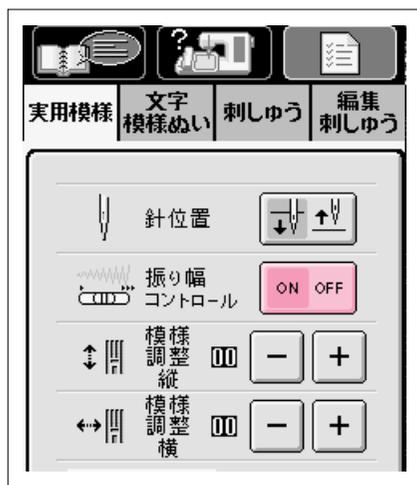
- ① フットコントローラー
- ② フットコントローラーjack



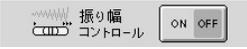
2  を選び、< J > 押えを取り付けます。

3 ぬい目の長さの  を押して、ぬい目を細かくします。

※ 布地の種類、糸の太さで違いがありますが、0.3~0.5mm くらいがきれいなサテン模様になります。



4 スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。  を押してください。

5  の  を押して「ON」にします。この設定で、スピードコントロールレバーで、振り幅の調節ができるようになります。スピードはフットコントローラーで調節します。

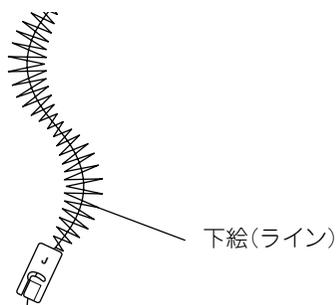
6  を押して画面を戻します。

7 ぬいながらスピードコントロールレバーを動かして、振り幅の調節ができます。

レバーを左に動かすと振り幅がせまくなり、右に動かすと広くなります。

※ 振り幅は中心を基線にして左右均等に変ります。

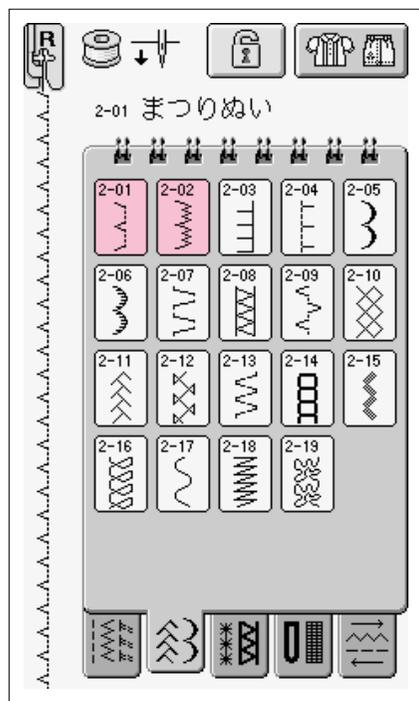
- ① せまい
- ② 広い



8 ぬい終わったら、振り幅コントロールを「OFF」に戻しておきます。

まつりぬい

ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートのすそやそで口に使います。



1 模様を選んでください。

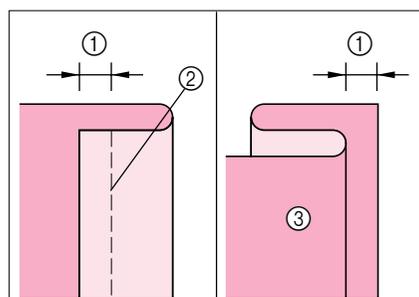


2-01 普通地に使用します。



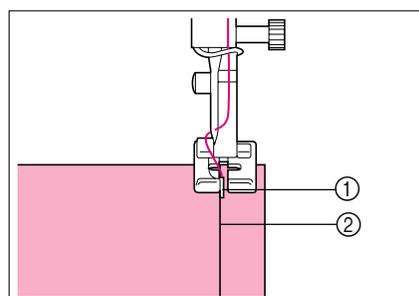
2-02 伸びる布地（ジャージー、ニット地）に使用します。

※ 伸びる布地をぬうときは、押え圧力を弱くするときれいに仕上がります。



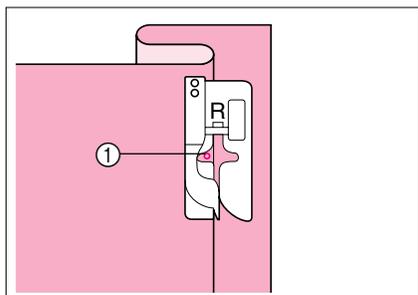
2 裏側を上にして布地を左のように折ってください。

- ① 5 mm
- ② しつけ
- ③ 裏



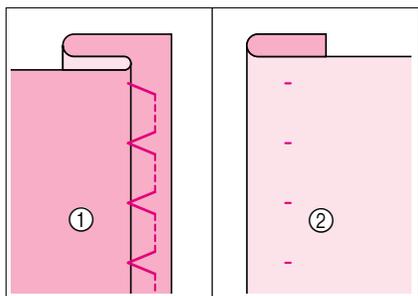
3 <R>押えを取り付け、押えのガイドに布地の折り山を当てて押えレバーを下げます。

- ① ガイド
- ② 折り山



4 布地の折り山をガイドに当てながら、ぬいます。

① 針位置

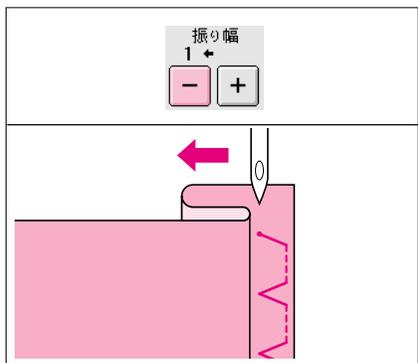


5 しつけをほどいて、表に返します。

① 裏

② 表

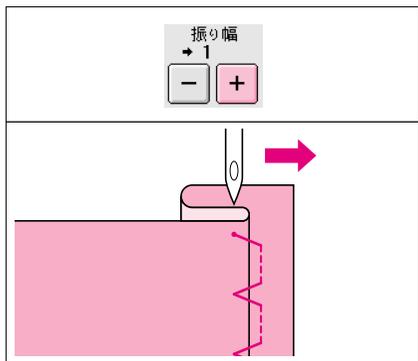
■ うまくぬえなかった場合



左側に落ちる針が折り山にかかっていないと、まつりぬいはできません。また、必要以上にかかりすぎると布が開かず、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりにません。このような場合は次のようにして対処してください。

折山にぬい目がかからない場合

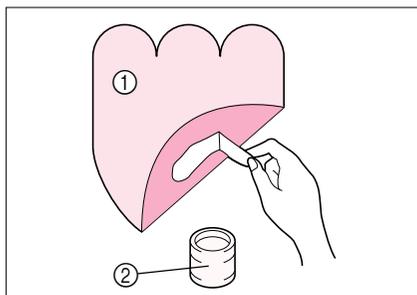
振り幅の **-** を押して、針が折り山にわずかにかかるように調節します。



折り山にぬい目がかかりすぎた場合

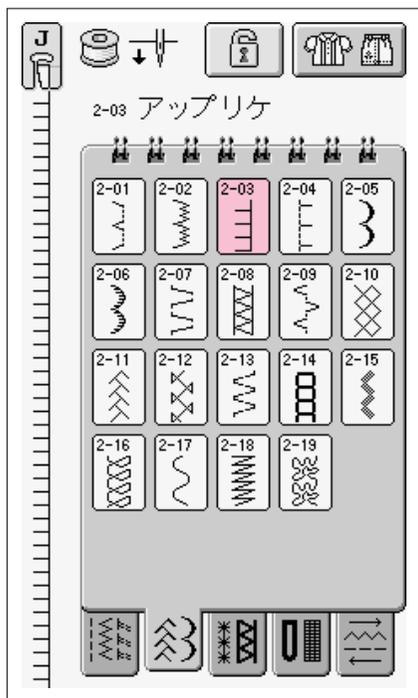
振り幅の **+** を押して、針が折り山にわずかにかかるように調節します。

アップリケ



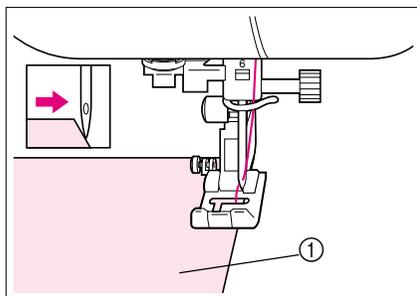
1 アップリケ布がずれない程度にのり付けするか、しつけをして固定します。

- ① アップリケ布
- ② のり



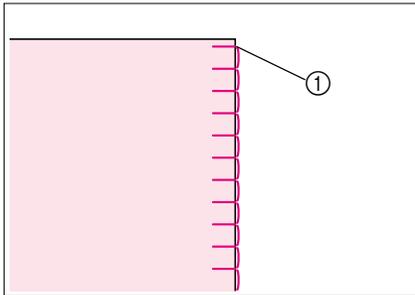
2  または  を選びます。

※ シグザグの振り幅、ぬい目の長さはアップリケの形、大きさ、材質に応じて調節してください。(P.2-28参照)

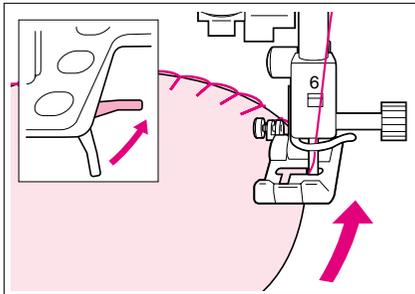


3 <J>押えを取り付け、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

- ① アップリケ布



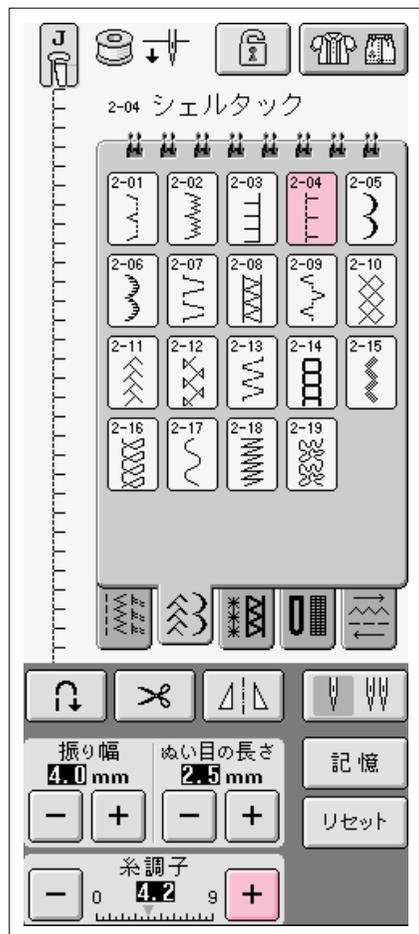
① 針落ち位置

■ 急な角度をぬうときは

アップリケ布の外側に針をさしたまま、押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目に仕上がります。

シェルタック

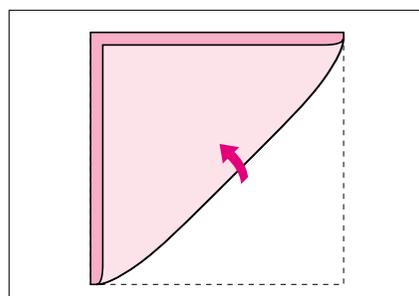
シェルタックは、貝殻を直線状にならべたような円弧上のひだを作るものです。ふち取りなどに用いるほか、ブラウスやワンピースの胸元やそでなどの飾りに使います。



1  を選びます。

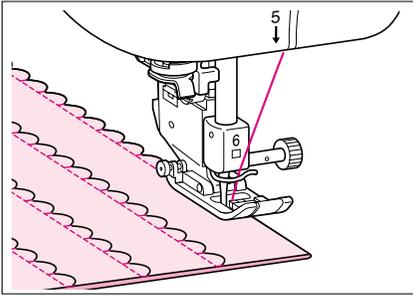
2 シェルタックの山がきれいにできるように、糸調子を強めに調節します。

※ 糸調子が弱すぎるとシェルタックの山ができません。

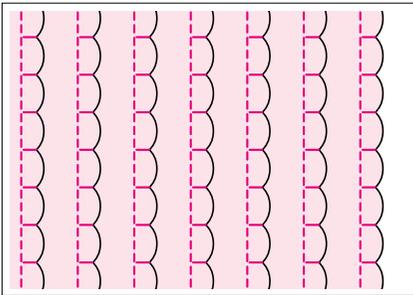
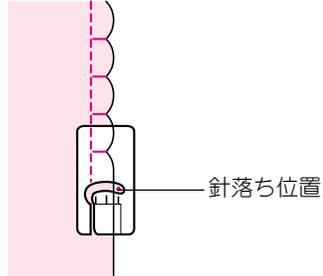


3 布地はバイアスに2つに折ってください。

※ 布地は薄地を使用してください。



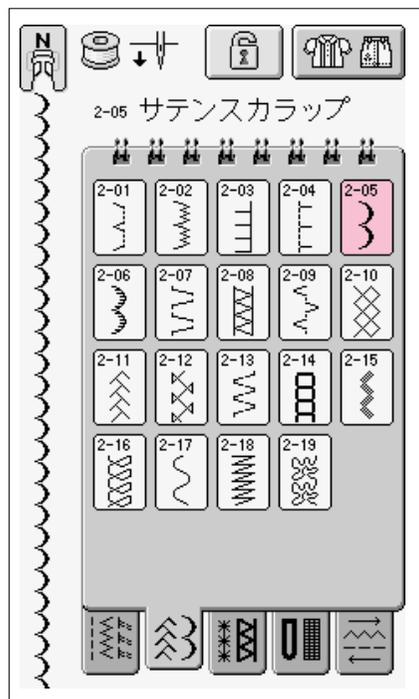
- 4** <J>押えを取り付け、針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



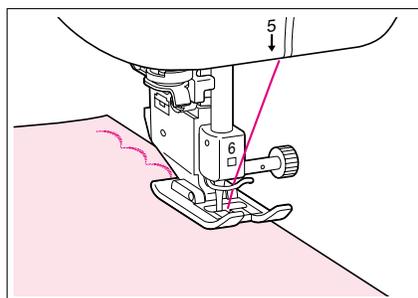
- 5** 布地を開いて、アイロンで折り山を片側に倒します。

スカロップ

スカロップは、半月状の丸いカーブの連続した波型の模様をいいます。ブラウスの衿やハンカチなどのふち飾りに使います。

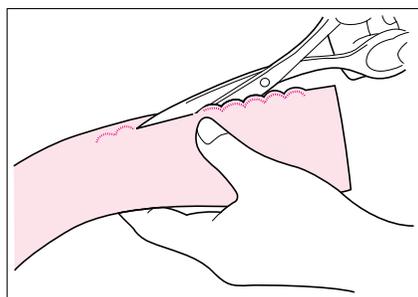


1  を選び、<N>押えを取り付けます。



2 模様が布端にかからないように、端を残してぬってください。

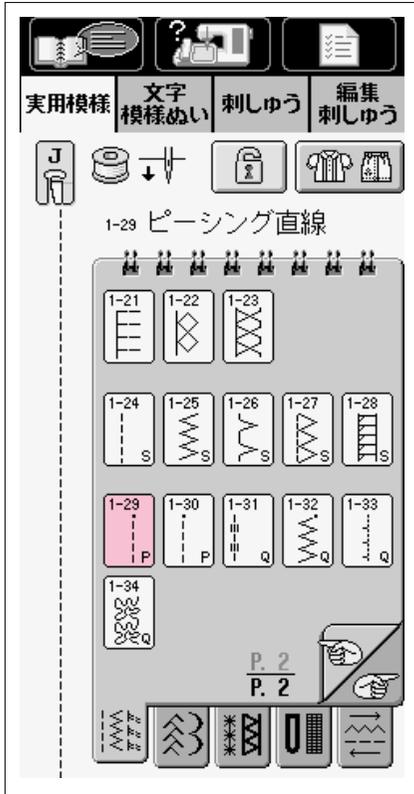
- ※ 模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りを設定して置くと、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬいをして糸を切ります。
- ※ ぬう前に、アイロンスプレーのりを使って布地にアイロンをかけると、きれいに仕上がります。



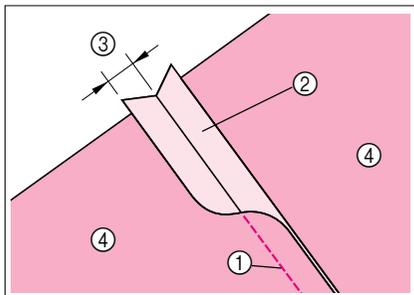
3 ぬい目にそって布地を切ります。糸を切らないように注意してください。

つき合わせ

ぬいしろを上から押さえてぬうので、クレージーキルトの飾り模様にもなります。



- 1  を選び、< J > 押えを取り付けます。

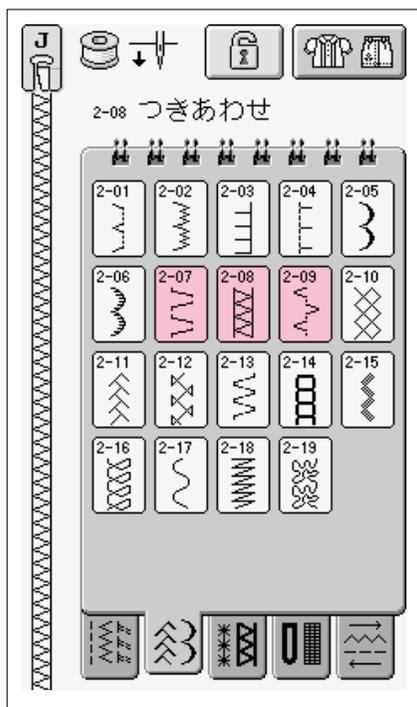


- 2 2枚の布地を中表にしてぬい合わせた後、ぬいしろを開きます。

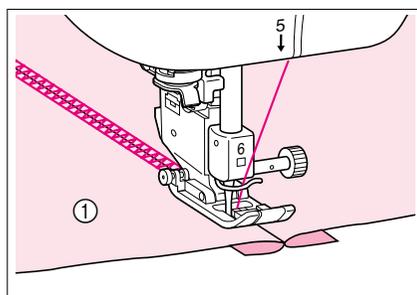
- ① 直線ぬい
- ② ぬいしろ
- ③ 6.5 mm
- ④ 裏

3

実用ぬい



3 模様を選びます。

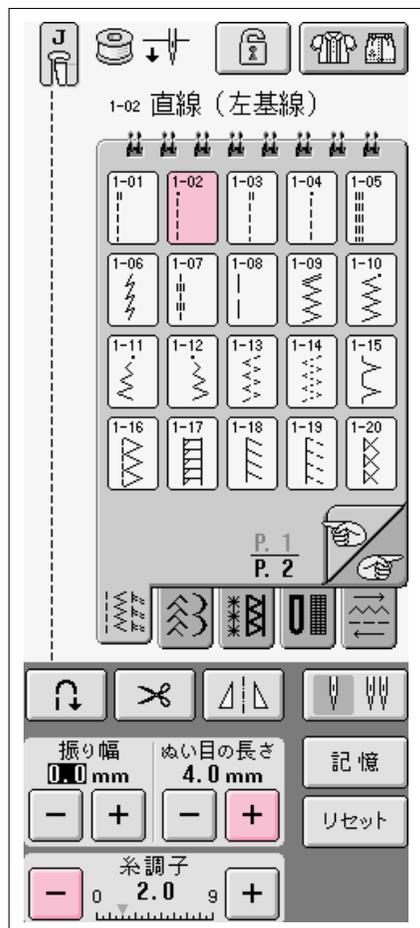


4 布地を表に戻し、押えの中心を布と布の中心に合わせてぬいます。

① 表

スモッキング

布地を縮めたギャザーの上に模様ぬいや刺しゅうを施した飾りぬいです。洋服の胸や袖口のひだ飾りに使います。

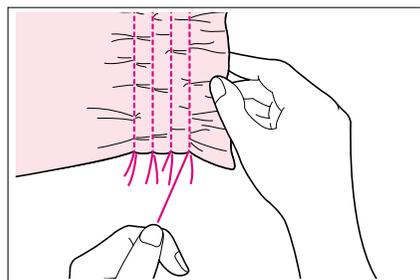
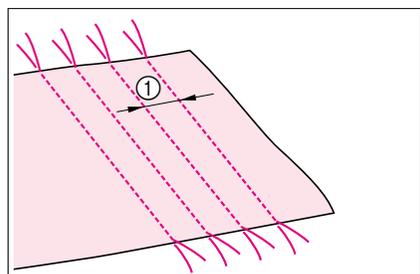


1 直線を選び、< J > 押えを取り付けます。

※ 自動止めぬいや自動糸切りは設定しないでください。

2 ぬい目の長さは4.0に、糸調子は弱くして1 cmの間隔で数本ぬいます。

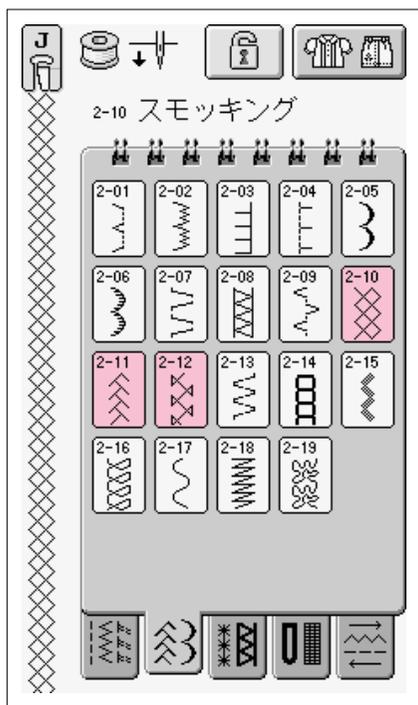
① 約1 cm



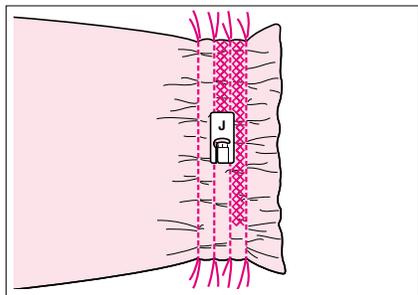
3 下糸を引いてギャザーをよせ、アイロンでギャザーをととのえます。

3

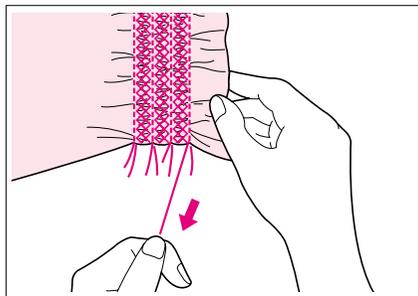
実用ぬい



4  または 、 を選びます。



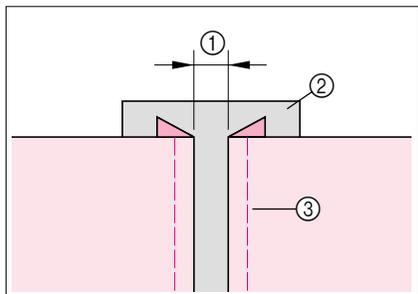
5 2でぬった直線のぬい目とぬい目の間をぬいます。



6 直線ぬいの糸を抜き取ります。

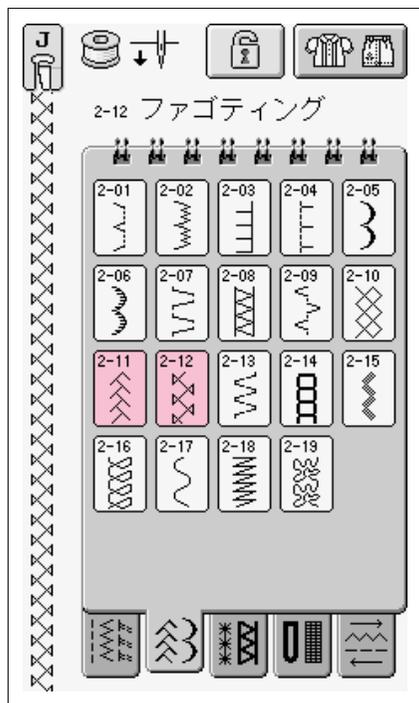
ファゴティング

布地と布地の間を離して、糸でかがる方法をファゴティングといいます。ブラウスや子供服などに使います。

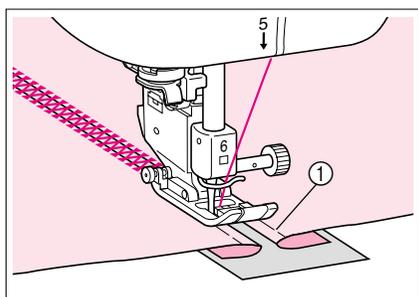


1 布地を0.4cmの間隔をあけて、薄い紙にしつけをします。

- ① 0.4 cm
- ② 薄い紙
- ③ しつけ



2  または  を選び、ジグザグの振り幅を最大 (7.0mm)にします。



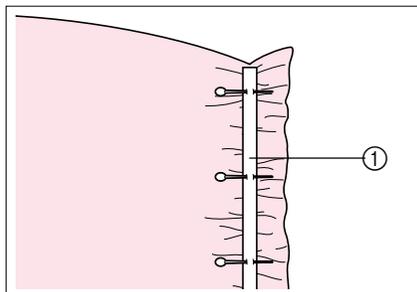
3 <J>押えを取り付け、押えの中心を布と布の中心に合わせて、ぬいます。糸は太番手のものを使用すると、きれいに仕上がります。

- ① しつけ

4 ぬい終わったら、紙をはがします。

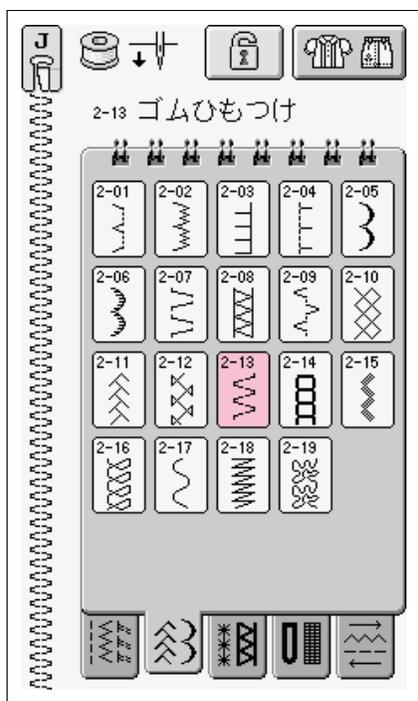
ゴムひもつけ

ゴムひもをぬい付ける場合、ゴムが縮んだ状態ができ上がり寸法になります。

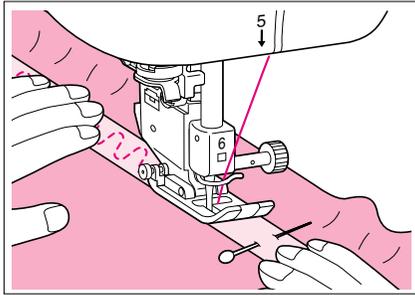


1 ゴムひもを布地の裏側に、布地とゴムが均等になじむようにまち針で止めます。

① ゴムひも

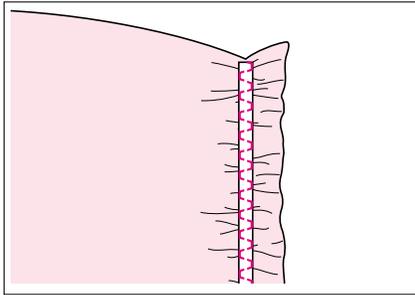


2  または  を選びます。



3 ゴムを布地とほぼ同じ長さになるよう、伸ばしながらぬいます。左手で押えの後ろへ送り出された布地を引っ張り、右手で押えから一番近いまち針のところを引っ張って、送りのスピードに合わせてぬい進めます。

※ フットコントローラーを使用すると、作業がしやすくなります。



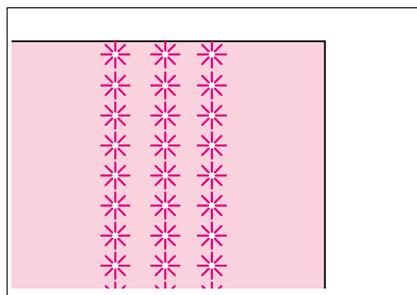
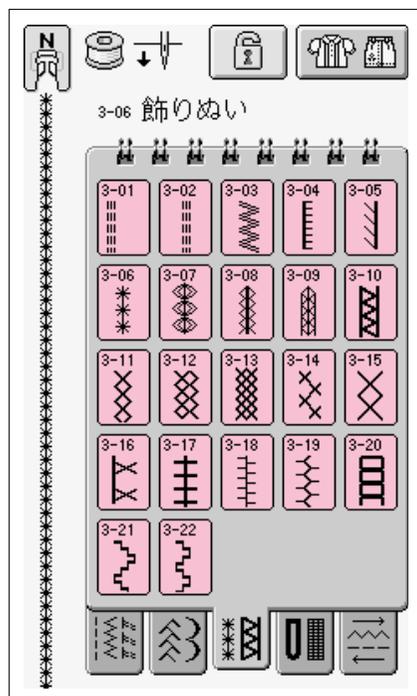
⚠ 注意



ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

ヘアールーム

ウイングニードルを使ってぬうと、針穴が大きくあいてレース風の飾り模様に仕上がります。テーブルクロスや洋服のすそ飾り、洋服の前たての飾りなどに使います。



1 布地は平織りの薄地から普通地で、少し張りのある布を用意します。

2 ウイングニードル(130/705H 100/16)を取り付けます。

注意

- 自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に手で通してください。自動糸通しを無理に使用すると故障の原因となります。

3 模様を選び、<N>押えを取り付けてぬい始めます。

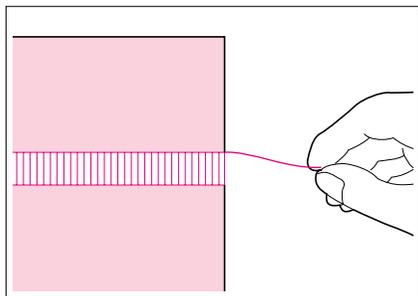
※ 模様は3-01から3-22の中から選んでください。

▲ 注意

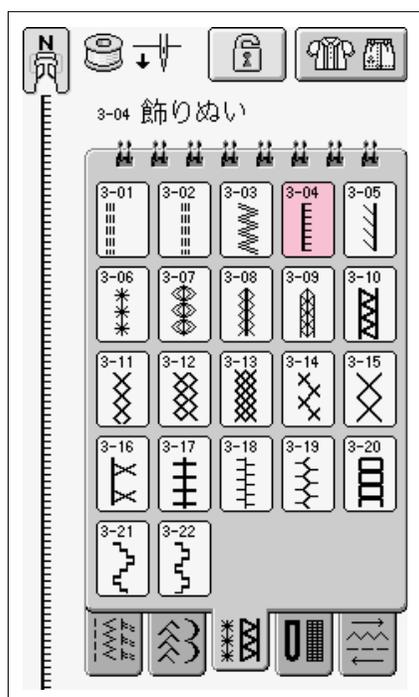


ジグザグの振り幅は、6.0mm以下でご使用ください。ジグザグの振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

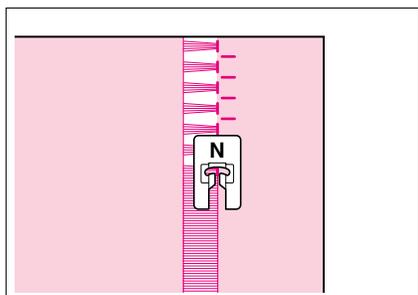
■ ドロンワーク(1)



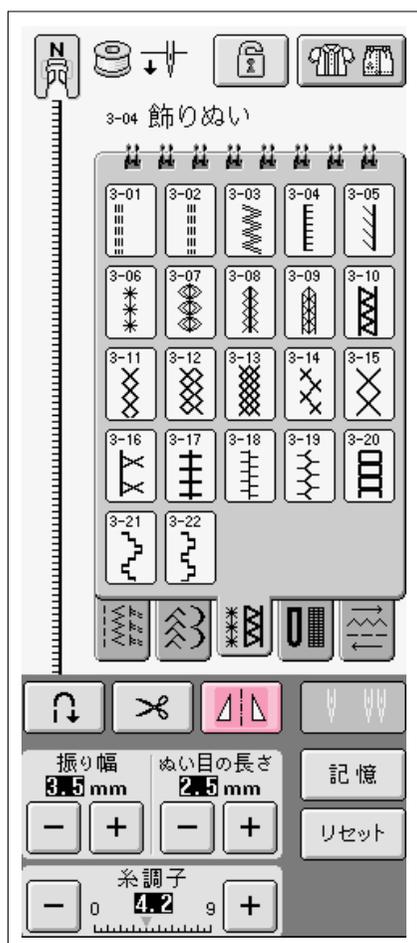
- 1** 布地の織り糸を数本抜きとります。
 ※ 織りのゆるい布を使うと、きれいに仕上がります。



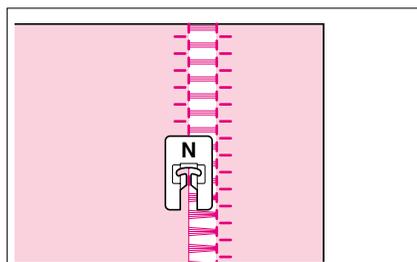
- 2**  を選び、< N > 押えを取り付けます。



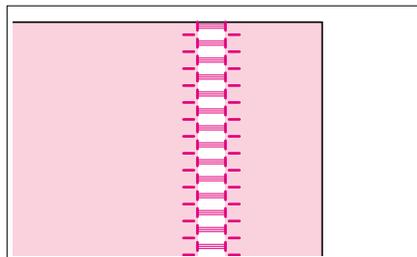
- 3** 布の表を上にして置き、織り糸を抜いた右端をぬいます。



4  を押して、模様を左右に反転します。

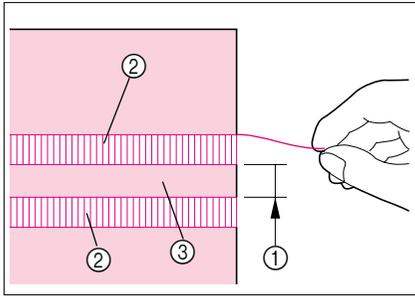


5 模様が対称になるように、織り糸を抜いた左側をぬいます。



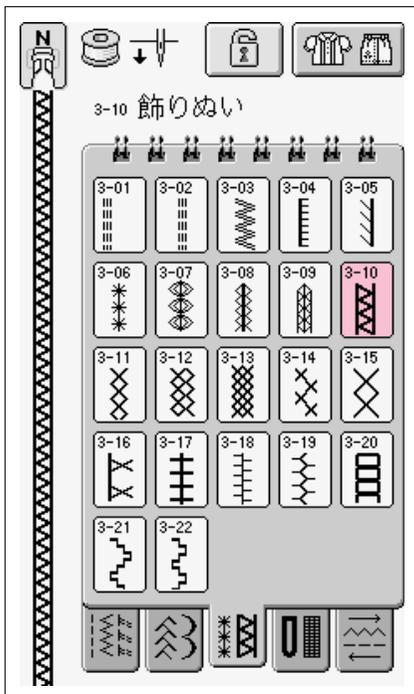
6 図のように、仕上がります。

■ ドロンワーク(2)

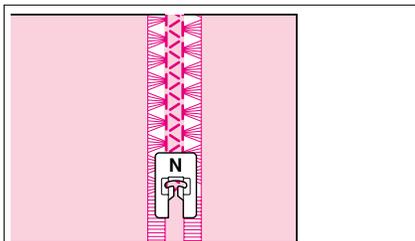


1 布地の織り糸を、図のように間に約4mm残して、抜きとります。

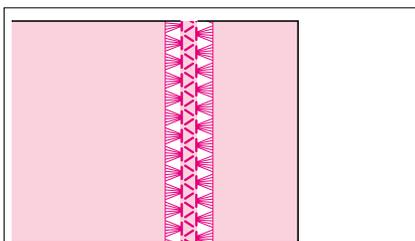
- ① 約4mm
- ② 織り糸を抜きます
- ③ 布地を残します



2  を選びます。



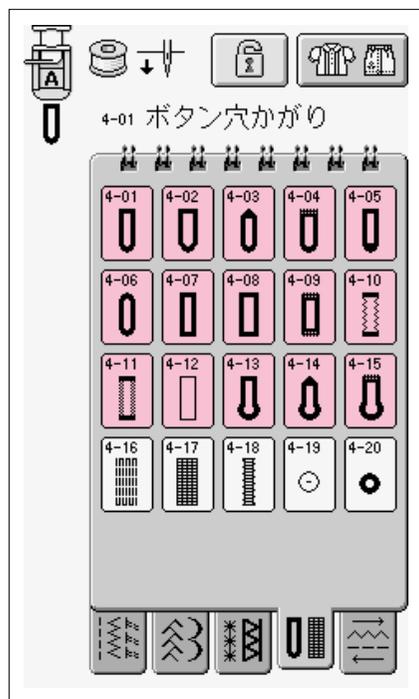
3 <N>押えを取り付け、残した布地の中心をぬいます。



4 図のように、仕上がります。

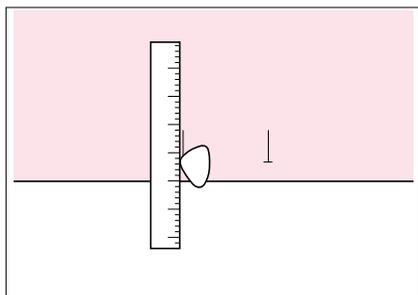
ボタン穴かがり

ボタン穴かがりは押えの手前から後ろに向かって、ぬわれます。



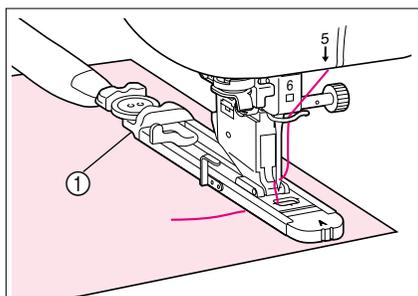
1 模様を選び、< A >押えを取り付けます。

- 4-01 ねむり穴、横穴用。薄地、普通地に使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。
- 4-02 ねむり穴。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。
- 4-03 横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。
- 4-04 横穴用。厚地に使用します。
- 4-05 ねむり穴。
- 4-06 ねむり穴。普通地から厚地に使用します。ジャケットやブラウスに使用します。
- 4-07 両止めボタン穴かがり。麻、木綿などある程度腰のある素材に適しています。ホームウエアやブラウスなど手軽にぬえるものに多く利用されます。
- 4-08 両止めボタン穴かがり。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。
- 4-09 横穴用。厚地に使用します。
- 4-10 伸びる布地や編み地に使用します。芯ひもを入れてぬいます。
- 4-11 伸びる布地に使用します。芯ひもを入れてぬいます。
- 4-12 玉縁穴かがり（パウンドボタンホール）を作るときに使用します。
- 4-13 はとめ穴。厚地や毛の長いものに使用します。プレザー、スーツ、コートなどに使用します。
- 4-14 はとめ穴。普通地から厚地に使用します。ジーンズ、スポンなどに使用します。
- 4-15 はとめ穴。厚地や毛の長いものの横穴ボタン穴かがりに使用します。厚手のコートなどに使用します。



2 ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつけます。

※ 「ボタンの直糸+厚み」が3cmまでのボタン穴かがりができます。



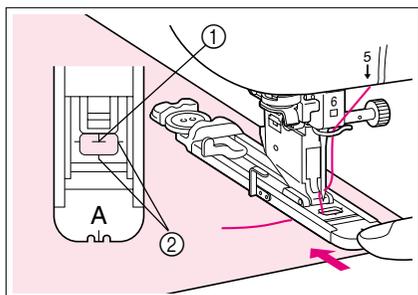
3 押えの台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。

※ 台皿にボタンをはさみこむことによって、ボタン穴かがりの大きさが決まります。

① 台皿

注意

糸は押えの下を通してください。



4 指で押えを押しながら、布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えレバーを下げます。

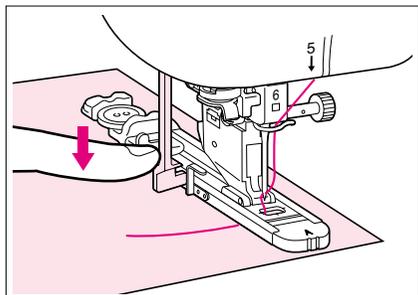
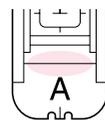
① 布地のしるし

② 押えのしるし

注意

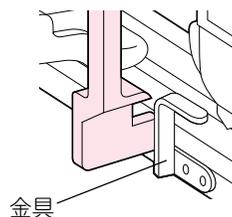
● 図のように押えを指で押して、の部分のすきまを残さないでください。ボタン穴かがりの大きさが正確にぬえなくなります。

● 糸は押えの下を通してください。

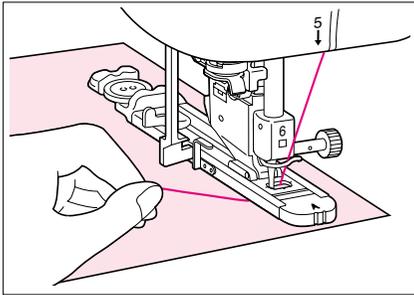


5 ボタン穴かがりレバーを下げます。

※ 図のように、レバーは金具の後ろ側に下げます。



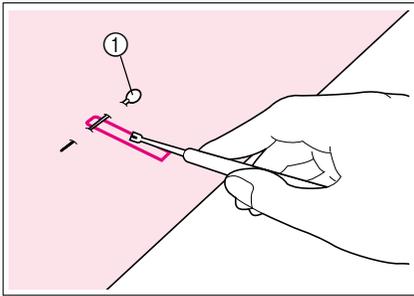
金具



6 上糸を軽く持ってぬい始めます。ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※ 模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りをセットして置くと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。

※ 厚地などで布地が進まないときはぬい目の長さの **+** を押し、ぬい目をあらくしてぬってください。



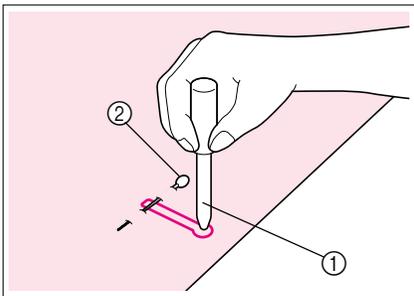
7 かんどめの内側にまち針をさして、ボタン穴を切り開きます。リッパーでぬい糸を切らないように注意してください。

① まち針

⚠ 注意



リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。



※ ハトメ穴の場合は付属のハトメ穴パンチでハトメに穴をあけてから、リッパーで切り開いてください。

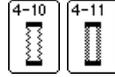
① ハトメ穴パンチ

② まち針

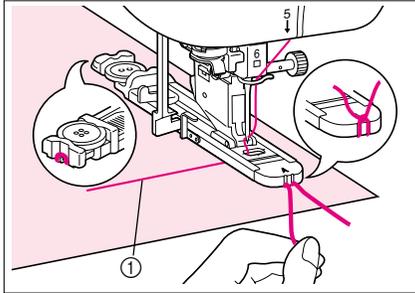
8 ぬい終わったら、ボタン穴かがりレバーをしっかりと押し上げて、収納してください。

■ 伸びる布地をぬうときは

伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、



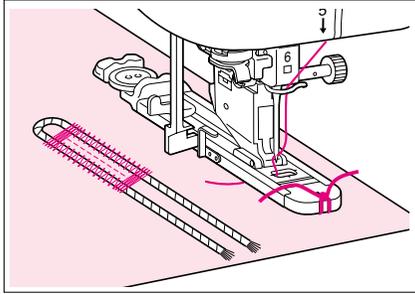
を選び、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。



1 < A > 押えの後部のつのに芯ひもをひっかけて、押えの下を平行に手前に張ります。

※ 芯ひもには5番の刺しゅう糸やレース糸などを使用します。

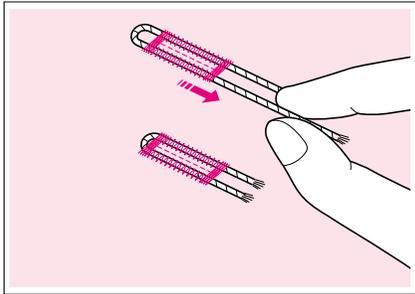
① 上糸



2 芯ひもの端は押えの前部のみぞにはさんで、仮結びをします。

3 押えレバーを下げてぬい始めます。

※ 振り幅は芯ひもに合わせて設定してください。

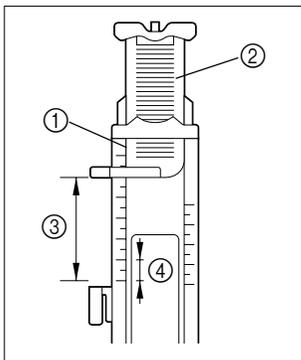


4 ぬい上がったら芯ひもを引いてたるみをなくし、針穴の大きい手ぬい針を使って布地の裏側に引き出します。

5 芯ひもを結び、余分な部分を切ります。

※ 中心にぬわれている糸はリッパーで切り開いた後、切り取ってください。

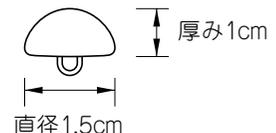
■ ボタンが台皿にのらないときは



押えスケールの目盛りを使って、ボタン穴かがりの大きさを設定します。押えスケールの目盛りは1目盛り0.5cmです。押えスケールの目盛りをボタンの直径+厚みの寸法に合わせてください。

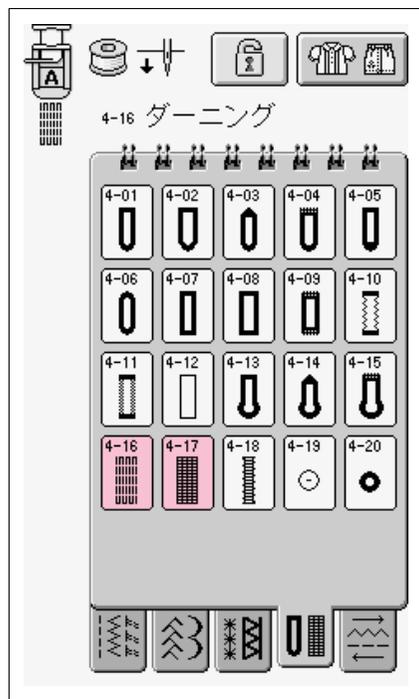
- ① 押えスケール
- ② 台皿
- ③ でき上がり寸法、直径+厚み
- ④ 0.5 cm

例: 直径1.5cm厚み1cmのボタンの場合、スケールを2.5cmに合わせます。



ダーニング

つくろいぬいなどに使います。

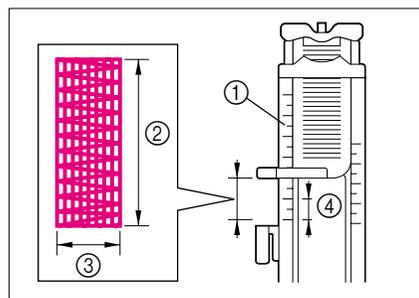


1 模様を選びます。

4-16 普通地用



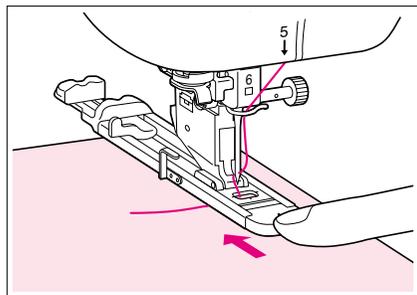
4-17 厚地用



2 < A > 押えの目盛りでぬう長さを設定して、押えを取り付けます。

※ 最大3cmのダーニングができます。

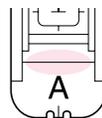
- ① 押えスケール
- ② でき上がり寸法
- ③ 0.7 cm 幅
- ④ 0.5 cm

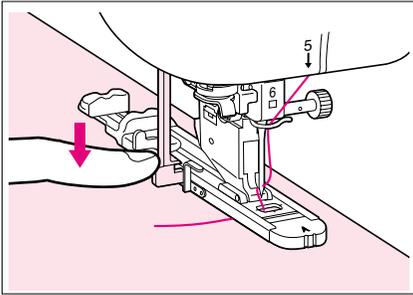


3 指で押えを押しながら、ダーニングする場所に押えを合わせて、押えレバーを下げます。

注意

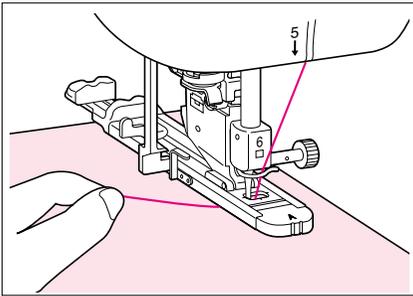
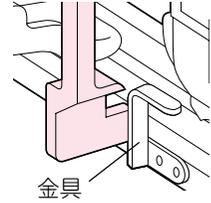
- 左図のように押えを指で押して  の部分のすきまを残さないでください。ダーニングの大きさが正確にぬえなくなります。
- 糸は押えの下を通してください。





4 ボタン穴かがりレバーを下げます。

※ 図のように、レバーは金具の後ろ側に下げます。

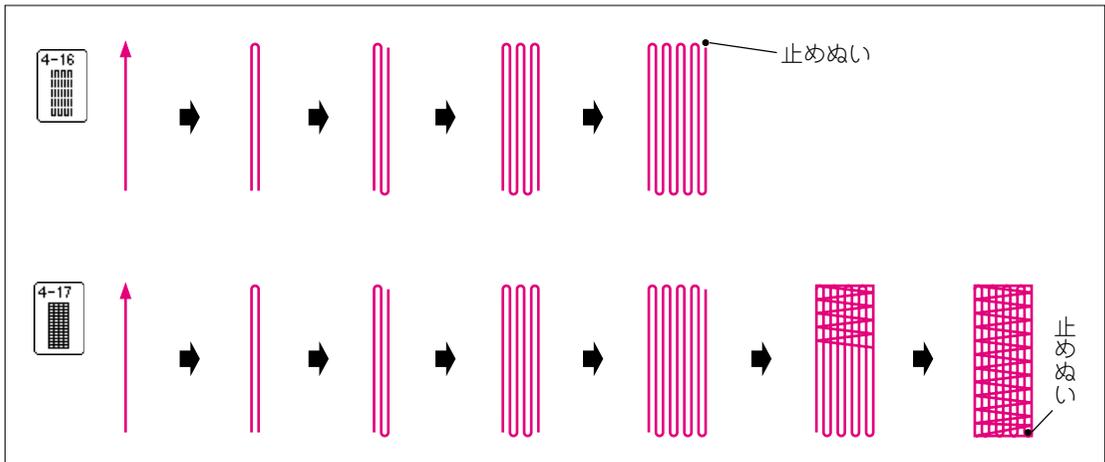


5 上糸を軽く持ってぬい始めます。ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※ 模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りをセットして置くと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。

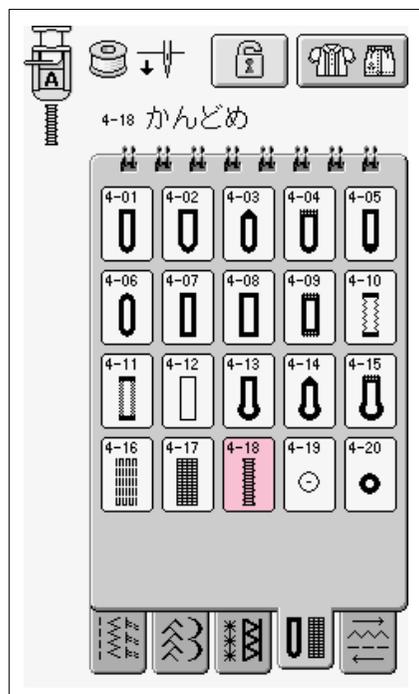
※ 厚地などで布地が進まないときはぬい目の長さの **+** を押してぬい目をあらくしてぬってください。

■ ダーニングをぬう順序

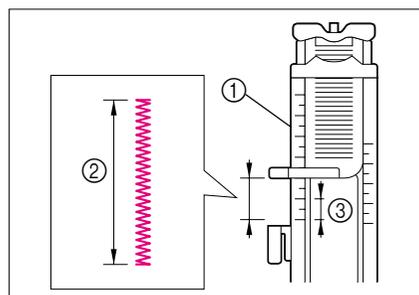


かんどめ

かんどめは止めぬい的一种でポケット口やスリットのあき止まりなど、力の加わる部分を補強するときに使います。



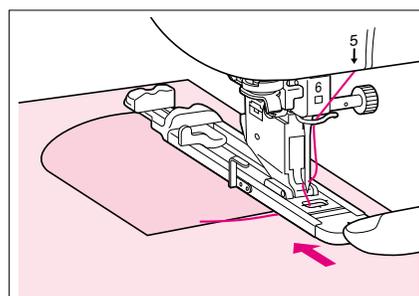
1  を選びます。



2 <A>押えの目盛りでぬう長さを設定して、押えを取り付けます。

※ かんどめの長さは用途によって異なりますが、通常は、0.5～1cmの長さが使われます。

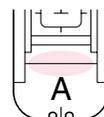
- ① 押えスケール
- ② でき上がり寸法
- ③ 0.5cm

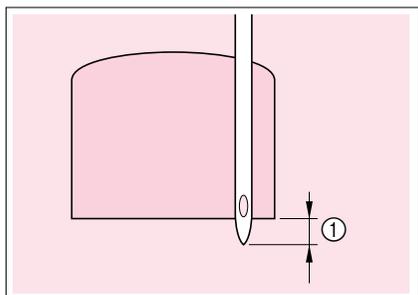


3 ポケット口が手前にくるように布地を置きます。指で押えを押しながら、最初の針落ち位置を確認して押えレバーを下げます。

注意

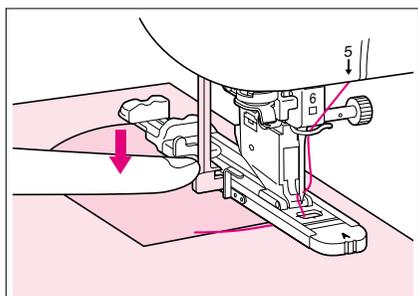
- 左図のように押えを指で押して  の部分のすきまを残さないでください。かんどめの大きさが正確にぬえなくなります。
- 糸は押えの下を通してください。





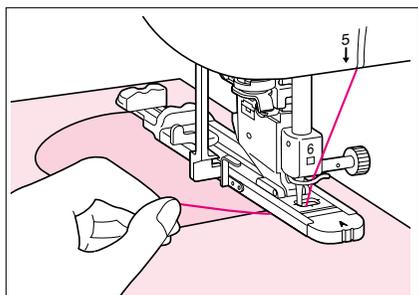
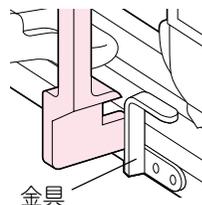
最初の針落ち位置

- ① 0.2 cm



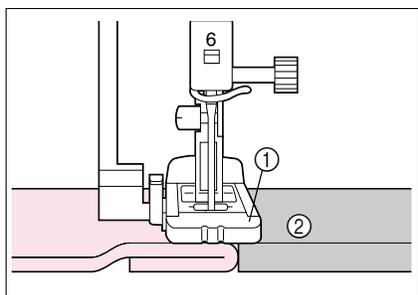
4 ボタン穴かがりレバーを下げます。

- ※ 図のように、レバーは金具の後ろ側に下げます。



5 上糸を軽く持ってぬい始めます。ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

- ※ 模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りをセットして置くと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。



厚地の場合

押えが水平になるように、厚地または厚紙を置いてぬってください。

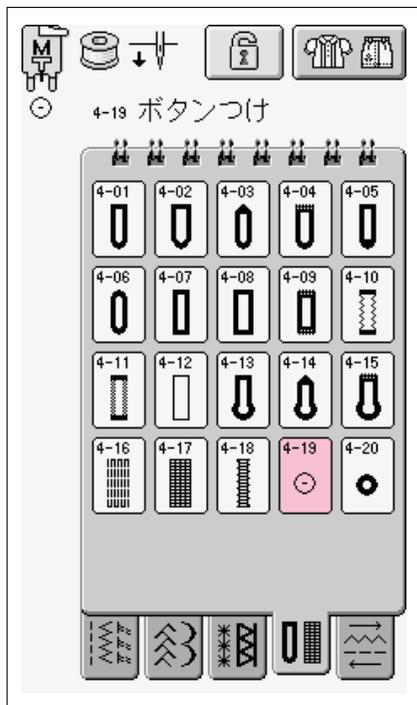
- ※ 厚地などで布地が進まないときはぬい目の長さの **+** を押してぬい目をあらくしてぬってください。

- ① 押え
② 厚紙

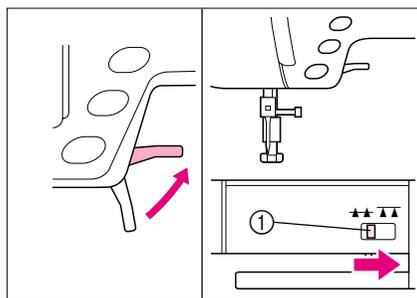
ボタンつけ

注意

ボタンつけをするときは、糸の始末ができなくなりますので自動糸切りを使用しないでください。

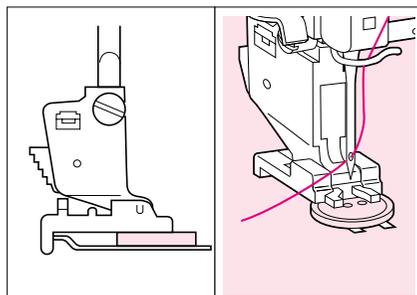


1  を選びます。

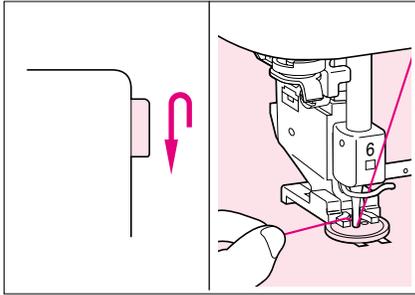


2 押えレバーを上げ、補助テーブルを外します。ドロップレバーを右  に押し送り歯を下げます。

① ドロップレバー



3 <M>押えを取り付け、ボタンを押えにはさみ、押えレバーを下げます。



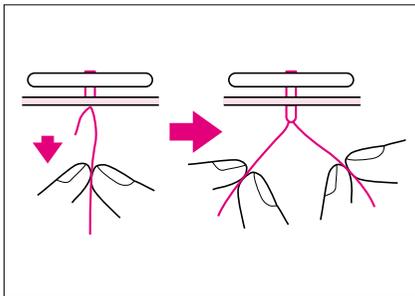
- 4 プーリーを手前に回して、針がボタンに当たらないでボタン穴に交互に入るか確かめてから、ぬい始めてください。

▲ 注意

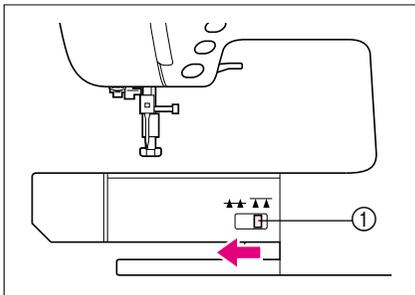


ぬい際には、ボタンに針が当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

- ※ ボタンつけは自動的に止めぬいをして止まります。
- ※ ボタンを強くつけたいときは、ボタン付けの操作を2回繰り返してください。
- ※ ボタン穴の間隔に合わせて、ぬい目の振り幅を調整してください。



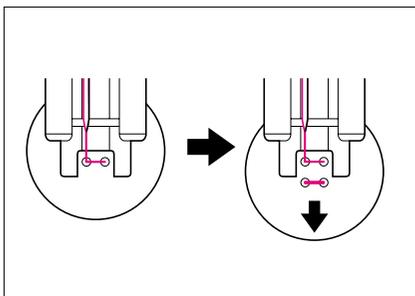
- 5 ぬい始めの上糸と下糸をはさみで切り取り、ぬい終わりの上糸を布地の裏に引き出して、2本を結びます。



- 6 ボタンつけが終わったら、必ずドロップレバーを左▲▲に押し、送り歯を上げてください。

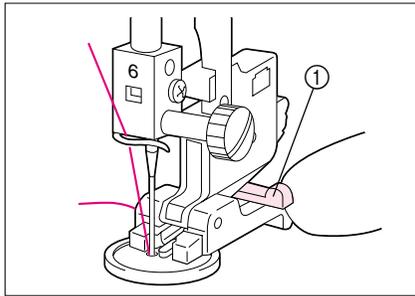
- ① ドロップレバー

■ 4つ穴ボタンをつけるときは



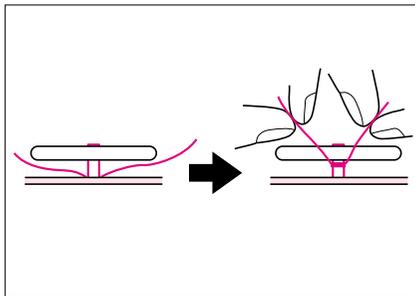
手前の2つの穴からぬっていきます。
ぬい終わったら押えレバーを上げ、後ろ側のボタン穴に針を合わせてぬってください。

■ ボタン足を付けるときは



1 足レバーを手前に押しします。

① 足レバー

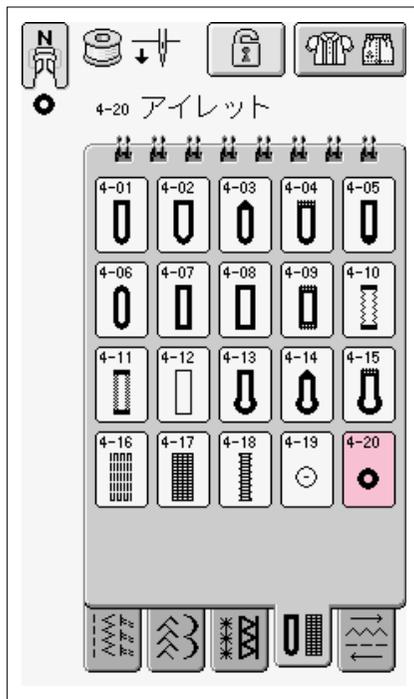


2 ぬい終わったら、長めに切った上糸の両端をボタンと布地の間に引き出します。上糸をボタン足に巻きつけて結びます。

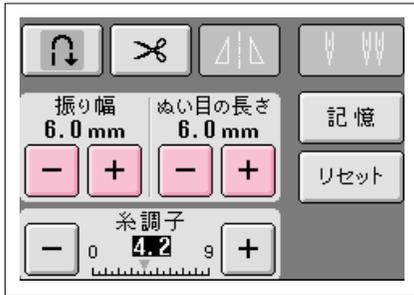
3 下糸は、下糸同志で布地の裏側で結びます。

アイレット

ベルトの穴かがりなどに使います。



1  を選び、<N>押えを取り付けます。

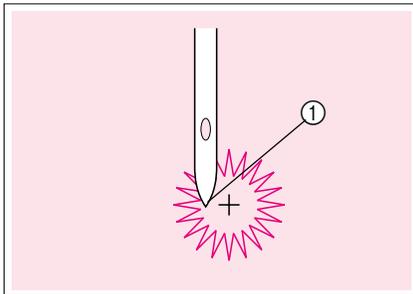


2 振り幅の **-**、**+** またはぬい目の長さの **-**、**+** を押して、アイレットの大きさを選びます。



3

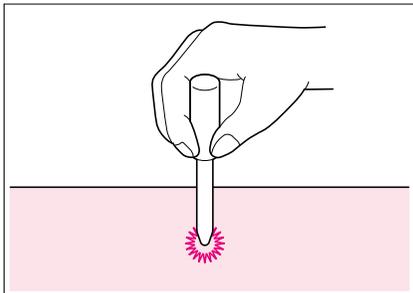
実用ぬい



3 ぬい始めの位置に針を落とし、押えレバーを下げてぬい始めます。ぬい終わると自動的に止めぬいをします。

※ 模様を選んだときに、あらかじめ自動糸切りを設定して置くと、ぬい終わりに自動的に糸を切ります。

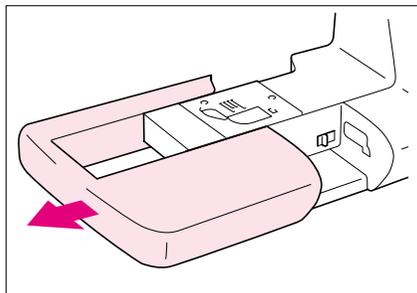
① ぬい始めの位置



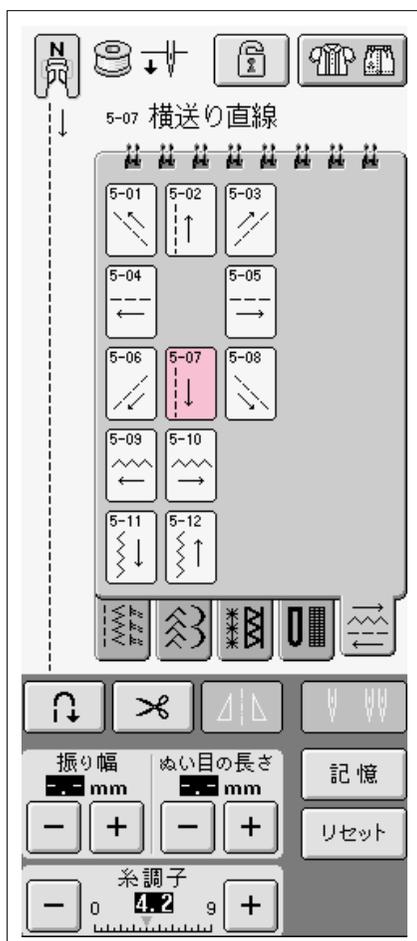
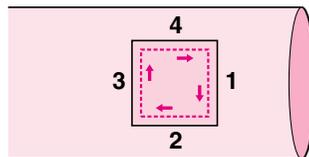
4 ハトメ穴パンチで穴をあけます。

横送り(直線・ジグザグ)

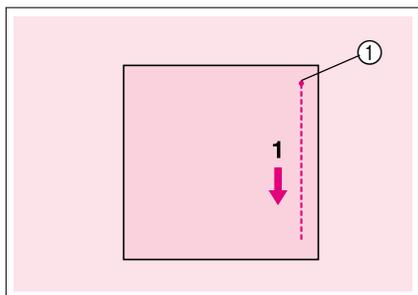
でき上がった袖やズボンのすそにワッペンをつける場合に使います。



1 補助テーブルを外してフリーアームにします。

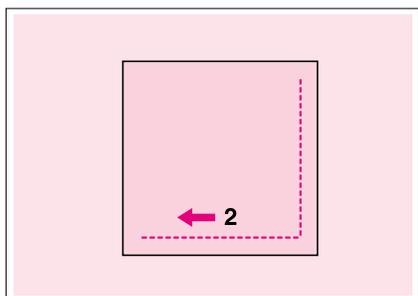


2  を選び、<N>押えを取り付けます。



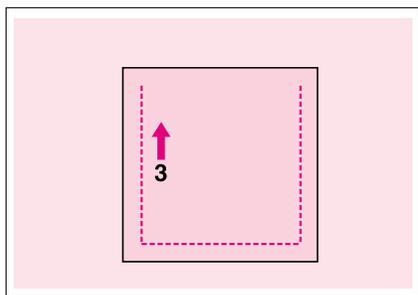
3 ぬい始めの位置に針をさし、**1**の部分をぬいます。

① ぬい始め位置

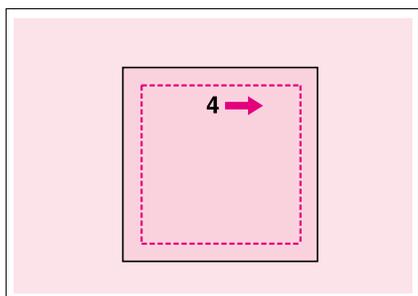


4  を選び、**2**の部分にぬいます。

布が横に動きますので、布地が傾かないように手を添えてぬってください。



5  を選んで **3**の部分にぬいます。



6  を選んで **4**の部分にぬいます。

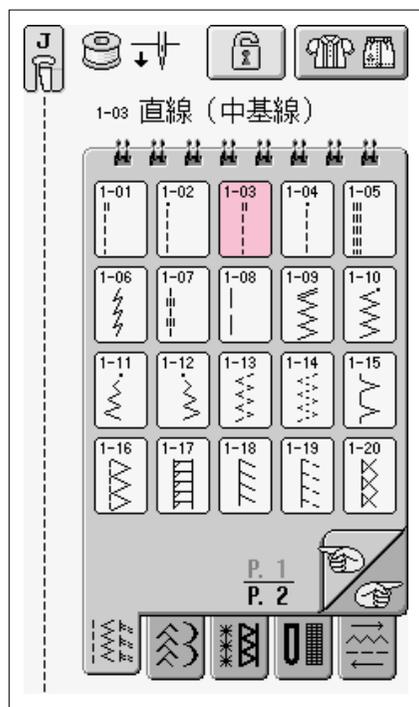
布が横に動きますので、布地が傾かないように手を添えてぬってください。

ジグザグも同様にぬいます。

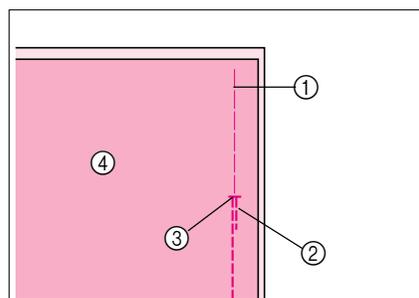
ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。

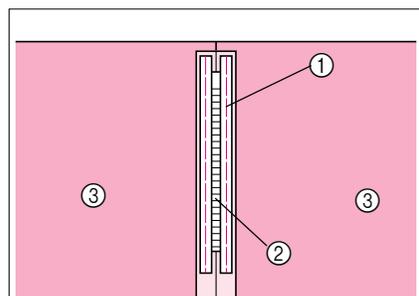


1  を選びます。



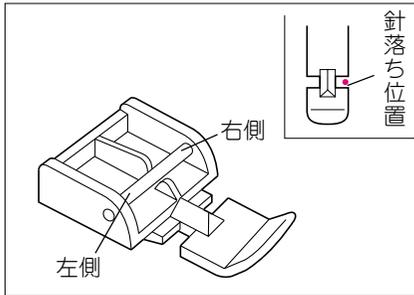
2 <J> 押えを取り付けます。あき止まりまでは直線でぬい、あきの部分はしつけをします。

- ① しつけ
- ② 返しぬい
- ③ あき止まり
- ④ 裏



3 ぬいしろを割り、ぬい目にファスナーの中心を合わせてしつけをします。

- ① しつけ
- ② ムシ
- ③ 裏

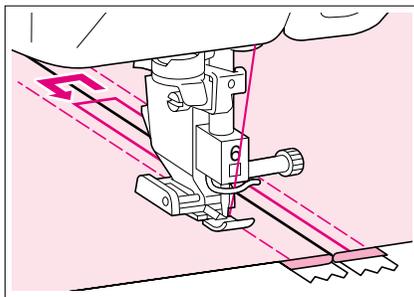


- 4 <J>押えを取り外し、<I>押えの右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。

▲ 注意



<I>押えを使用するときは、必ず直線(中基線)を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



- 5 表面を上にしてぬいます。

▲ 注意

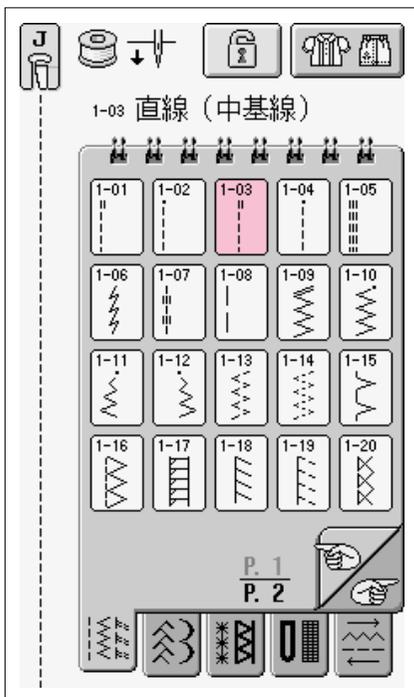


ぬう際には、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

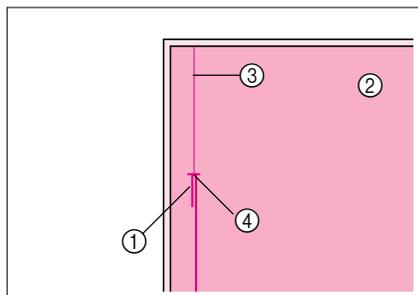
- 6 ぬい終わったら、しつけを取ります。

■ 脇あき

スカートやワンピースの脇あきに使います。

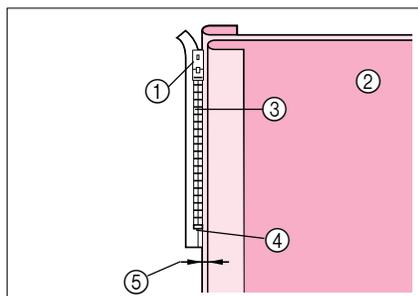


- 1  を選びます。



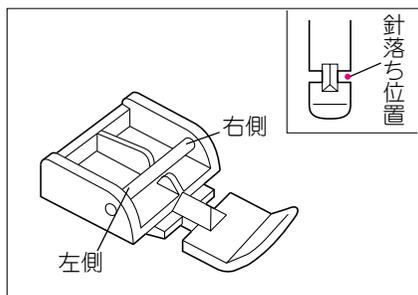
2 <J>押えを取り付けます。布地を中表に合わせてあき止まりまでは直線でぬい、あきの部分にはしつけをします。

- ① 返しぬい
- ② 裏
- ③ しつけ
- ④ あき止まり



3 ぬいしろを割り、後ろスカートのぬいしろを0.3cm出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。

- ① スライダー
- ② 裏
- ③ ムシ
- ④ あき止まり
- ⑤ 0.3 cm

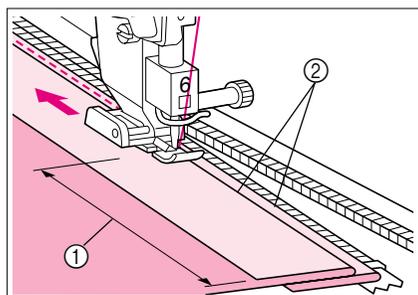


4 <J>押えを取り外し、<I>押えの右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。

▲ 注意



<I>押えを使用するときは、必ず直線(中基線)を使用し、プリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



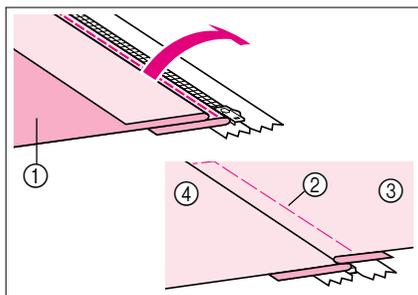
5 0.3cmの幅の真ん中をあき止まりからぬってください。5cmくらい手前までぬったら一旦ミシンを止めて、スライダーを下げて端までぬいます。

- ① 5 cm
- ② 0.3 cm

▲ 注意

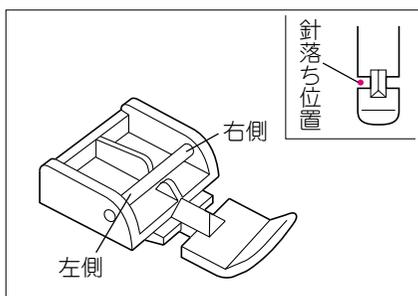


ぬう際には、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

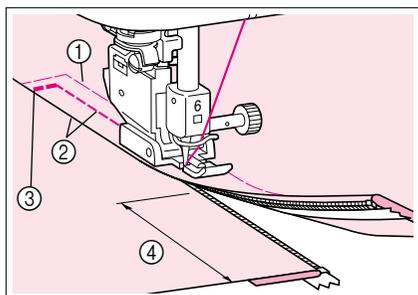


6 ファスナーを閉じて表に返し、しつけをします。

- ① 前スカート(裏)
- ② しつけ
- ③ 前スカート(表)
- ④ 後スカート(表)



7 押えの取り付け位置をピンの左側に付け替えます。

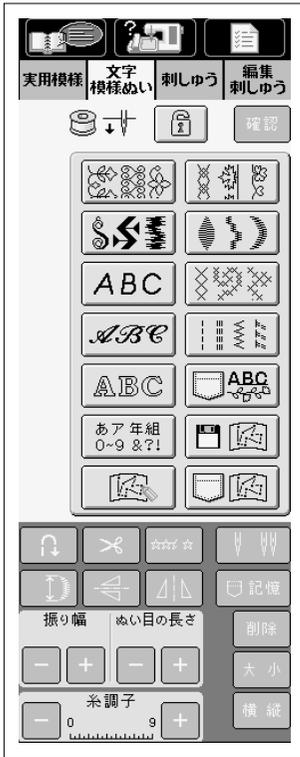


8 あき止まりまでは返しぬいをして、押えの左端をムシのきわに当てながらぬいます。5cmくらい手前で針を落としたまましつけをほどき、スライダを下げたて残りの部分をぬいます。

- ① しつけ
- ② 0.7~1 cm
- ③ 返しぬい
- ④ 5 cm

第4章 文字・模様ぬい

模様の選び方



1 **文字模様ぬい** を押すと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様の種類を選びます。

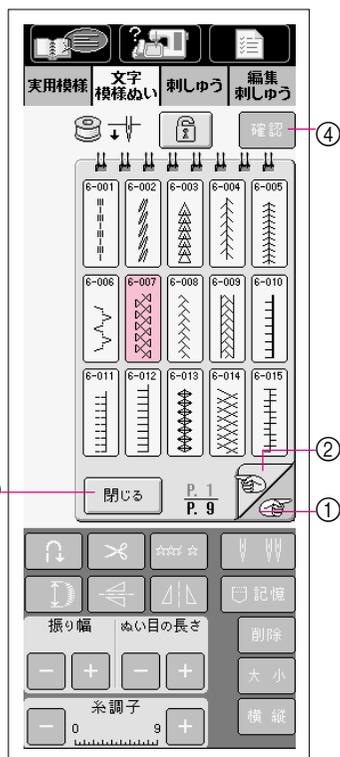
注意

この画面で、画面ロックを設定 () すると、  と  以外のキー操作はできなくなります。



	大型飾り模様		7mm 飾り模様 振り幅が7mm以下の模様です。ぬい目の長さ、振り幅が調節できます。
	大型サテンステッチ		7mmサテンステッチ 振り幅が7mm以下の模様です。ぬい目の長さ、振り幅が調節できます。
	アルファベット(ゴシック体)		クロスステッチ
	アルファベット(筆記体)		実用飾り模様 振り幅が7mm以下の模様です。ぬい目の長さ、振り幅が調節できます。
	アルファベット(アウトライン文字)		記憶した模様の呼び出し (P.4-31参照)
	ひらがな/カタカナ/漢字		記憶したマイラスト模様の呼び出し 第7章 マイラスト機能 (P.7-13参照)
	マイラスト模様の作成 第7章 マイラスト機能 (P.7-3参照)		記憶したマイラスト模様の呼び出し 第7章 マイラスト機能 (P.7-13参照)

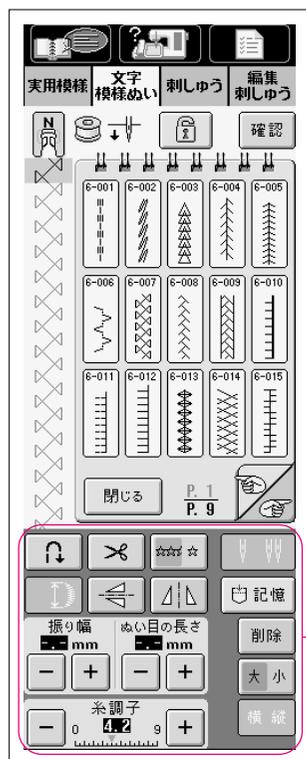
大型飾り模様



1 **文字模様めい** を押し、 を押しと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

- ① 押すと次のページの画面に進みます。
- ② 押すと前のページの画面に戻ります。
- ③ 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ④ 模様を組み合わせたときに押すと、組み合わせた模様の確認ができます。(P.4-26参照、模様の組み合わせはP.4-18参照)

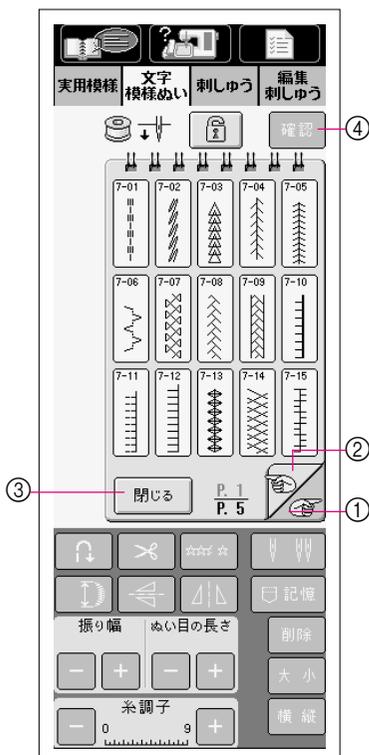


3 押え記号の下に、選択した模様が表示されます。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

- ① 模様の編集キー(P.4-14参照)

7mm飾り模様



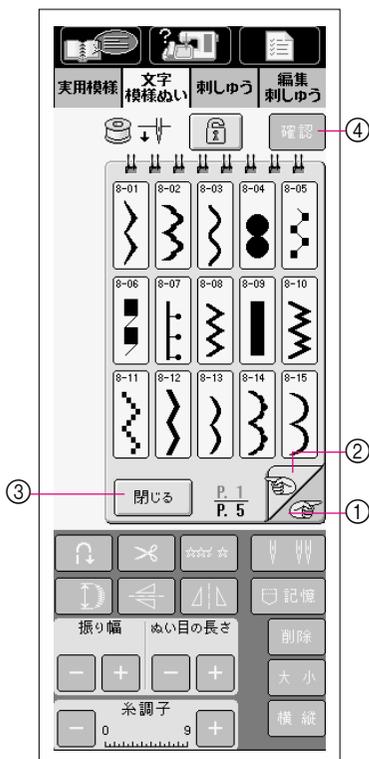
1 **文字
模様ぬい** を押し、 を押し、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

- ① 押すと次のページの画面に進みます。
- ② 押すと前のページの画面に戻ります。
- ③ 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ④ 模様を組み合わせたときに押すと、組み合わせた模様の確認ができます。(P.4-26参照、模様の組み合わせはP.4-18参照)

大型サテンステッチ



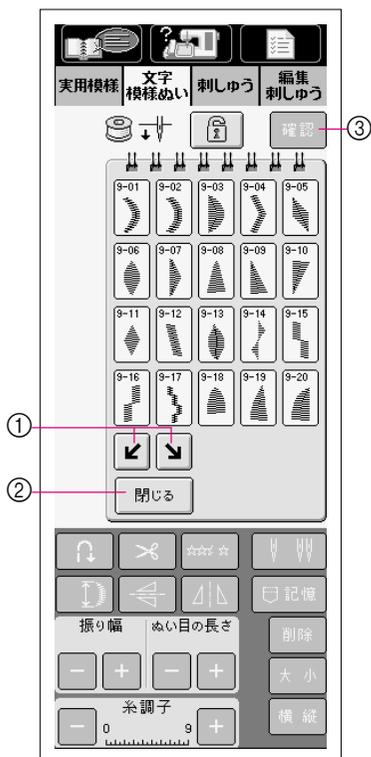
1 **文字
模様ぬい** を押し、 を押し、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

- ① 押すと次のページの画面に進みます。
- ② 押すと前のページの画面に戻ります。
- ③ 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ④ 模様を組み合わせたときに押すと、組み合わせた模様の確認ができます。(P.4-26参照、模様の組み合わせはP.4-18参照)

7mmサテンステッチ



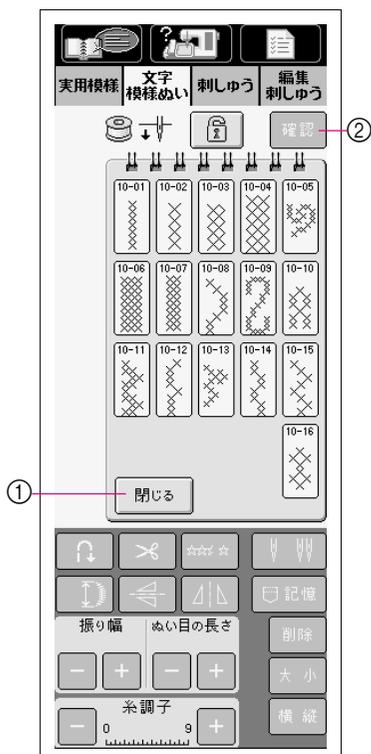
1 **文字模様めい** を押し、 を押すと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

- ① 模様と組み合わせるとステップ模様ができます。(P.4-23参照)
- ② 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ③ 模様を組み合わせたときに押すと、組み合わせた模様の確認ができます。(P.4-26参照、模様の組み合わせはP.4-18参照)

クロスステッチ



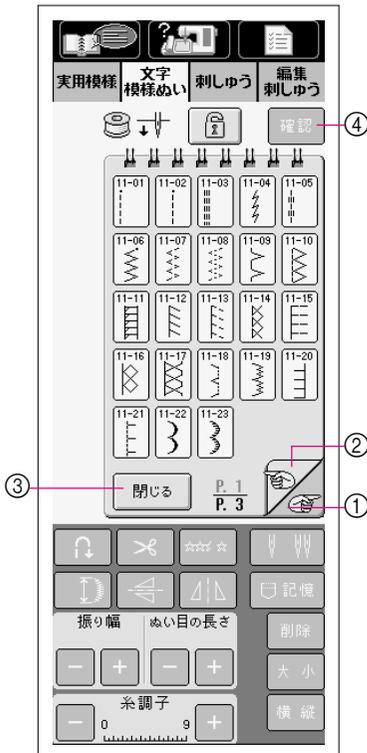
1 **文字模様めい** を押し、 を押すと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

- ① 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ② 模様を組み合わせたときに押すと、組み合わせた模様の確認ができます。(P.4-26参照、模様の組み合わせはP.4-18参照)

実用飾り模様



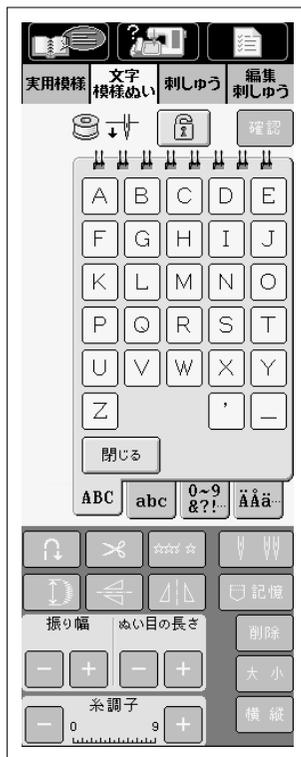
1 **文字模様ぬい** を押し、 を押すと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

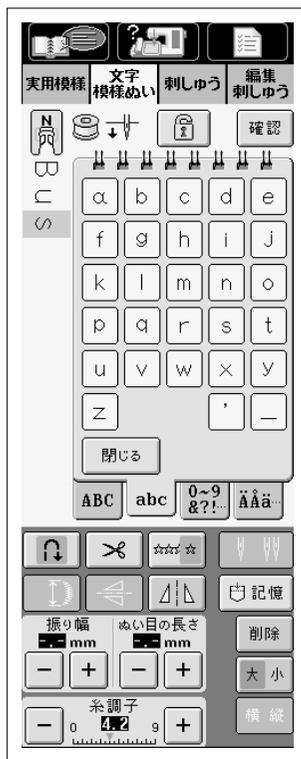
- ① 押すと次のページの画面に進みます。
- ② 押すと前のページの画面に戻ります。
- ③ 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ④ 模様を組み合わせたときに押すと、組み合わせた模様の確認ができます。(P.4-26参照、模様の組み合わせはP.4-18参照)

アルファベット



アルファベットは3書体、内蔵されています。
文字の選び方はどの書体でも同じです。ここではアルファベット
(ゴシック体)の画面で説明します。

- 1 **文字模様めい** を押し、 **ABC** を選ぶと、左の画面が表示されます。
- 2 **ABC** **abc** **0~9 &?!...** **ÄÄä...** を押してぬいたい文字の画面を開き、文字を選びます。



例) 「Bus」を選ぶには

- ① **B** を押します。
- ② **abc** を押します。
- ③ **u** を押します。
- ④ **s** を押します。

※ まちがえて文字を選んだときは、**削除** を押して文字を取り消してから、選び直してください。

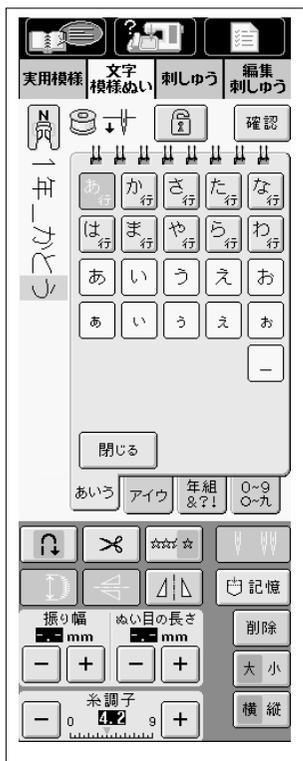
ひらがな／カタカナ／漢字



- 1 **文字模様ぬい** を押し、**あア年組 0~9 &?!** を選ぶと、左の画面が表示されます。
- 2 **あいう アイウ 年組 &?! 0~9 0~9** を押してぬいたい文字の画面を開きます。
- 3 ひらがな・カタカナは上段のキーで「行」を選び、下段に表示された文字を選びます。

4

文字・模様ぬい



例) 「1年 かとう」を選ぶには

- ① **0~9 0~9** を押して、**1** を押します。
- ② **年組 &?!** を押して、**年** を押します。
- ③ **—** (スペース) を押します。
- ④ **あいう** を押します。
- ⑤ **か行** を押して、**か** を押します。
- ⑥ **た行** を押して、**と** を押します。
- ⑦ **あ行** を押して、**う** を押します。

※ まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選んでください。

■ まちがえて模様を選んだときは



1 **削除** を1回押すと、選んだ模様を取り消されます。

組み合わせ模様の場合は、**削除** を押すごとに後ろから順に取り消されます。



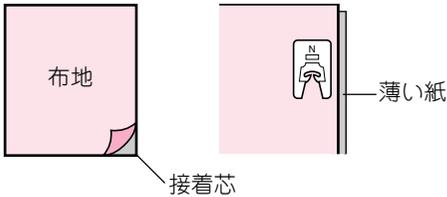
2 まちがえた模様を取り消した後、正しい模様を選びます。

文字・模様をぬってみましょう

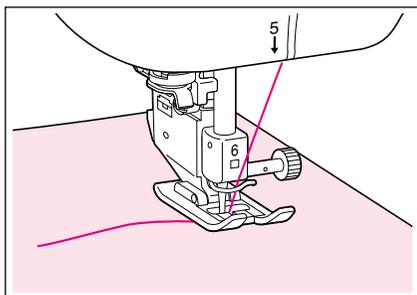
きれいにぬうために

注意

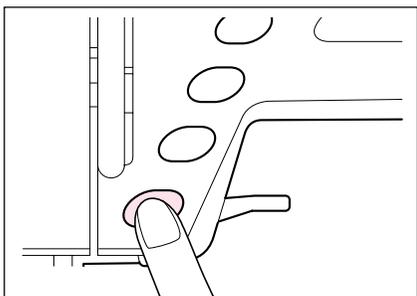
- ・ きれいに文字模様をぬうために、布地・糸・針は以下の表を参照してください。
- ・ 布地の種類や厚さ、接着芯の種類などにより、模様くずれをすることがありますので、必ず試しぬいをしてください。
- ・ サテステッチをぬうときは、ぬい縮みやぬい詰まりを起こすことがありますので、必ず接着芯を貼ってください。
- ・ ぬうときには布地が傾かないように手を添えてぬってください。

布地	伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に別売の接着芯を貼ってください。接着芯を貼りたくないときは、トレーシングペーパーなどの薄い紙を布地の下に敷いてぬってください。 
糸	50～60番
針	薄地、普通地、伸びる布地: プラザー専用ゴールデン針 厚地: 家庭用ミシン針(HA×1) 14番
押え	<N>押え <N>押え以外を使用すると、きれいに仕上がらないことがあります。

文字・模様のぬい方



- 1 模様を選びます。
- 2 <N>押えを取り付けます。
- 3 布地を押えの下に置きます。
- 4 上糸を押えの下から横に出し、押えレバーを下げます。
- 5 スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。

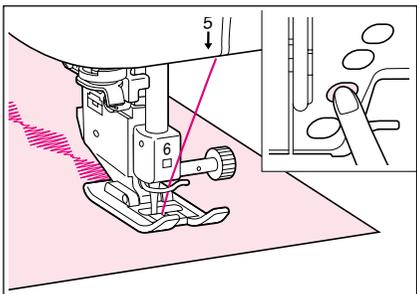


▲ 注意



7mmサテンステッチで模様などでぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。(P.2-29「ぬい目の長さ調節」参照)

※ ぬっている途中でむやみに布地を引っ張ったり、押さえたりすると、模様がくずれるおそれがあります。また、模様によっては前後に加え、左右にも動きますので布地が傾かないように手を添えてぬってください。



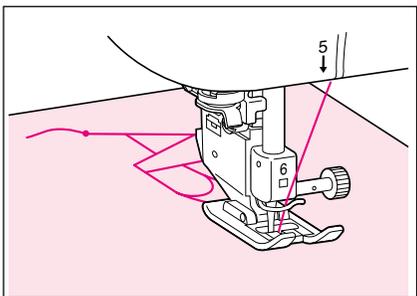
● 模様ぬいの場合

- 6 スタート/ストップスイッチを押してミシンを止め、返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。

● 文字ぬいの場合

- 7 ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

※ 文字は1文字ごと模様のぬい始めとぬい終わりに、止めぬいが自動設定されています。



- 8 ぬい終わったら、いらぬ糸(渡り糸)を切り取りません。

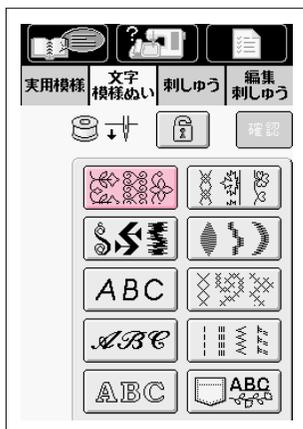
注意

このミシンは針棒切り離し機構により、選択した模様によっては針が上に停止したまま布を送ります。そのとき、縫製音とは異なった音がしますがトラブルではありません。ご了承ください。



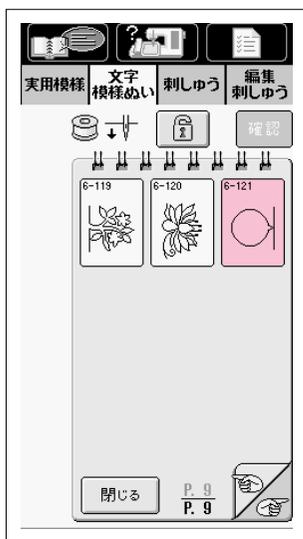
模様の調整

布地の種類、厚さ、接着芯、ぬうスピードなどによっては、模様がくずれる場合があります。模様がくずれたときは、実際にぬうときと同じ条件で  を選んで、次のように調整してください。また、縫製条件により  で模様の調節を行っても模様がくずれる場合は個々の模様で調節を行ってください。

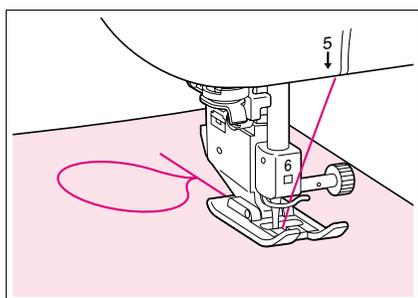


1 以下の手順で  を選びます。

① **文字模様めい** を押し、  を押します。

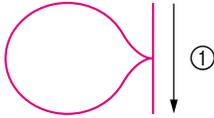


② 9ページの  を押します。



2 <N>押えを取り付け、模様をぬいます。

正しい模様



3 ぬい上がりを左図の正しい模様と比較してみます。

① ぬう方向

4  を押すと、左下の画面が表示されます。

5 模様がつまっているとき:

模様調整縦の **+** を押します。

押すごとに表示の値が大きくなり、模様が伸びていきます。



模様が伸びているとき:

模様調整縦の **-** を押します。

押すごとに表示の値が小さくなり、模様がつまっていきます。



模様が左にずれているとき:

模様調整横の **+** を押します。

押すごとに表示の値が大きくなり、模様右にずれていきます。



模様が右にずれているとき:

模様調整横の **-** を押します。

押すごとに表示の値が小さくなり、模様左にずれていきます。

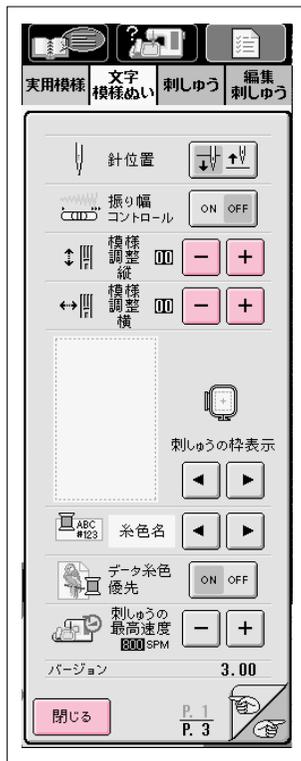


6 もう1度ぬいます。

※ 左の画面のまま、ぬうことができます。

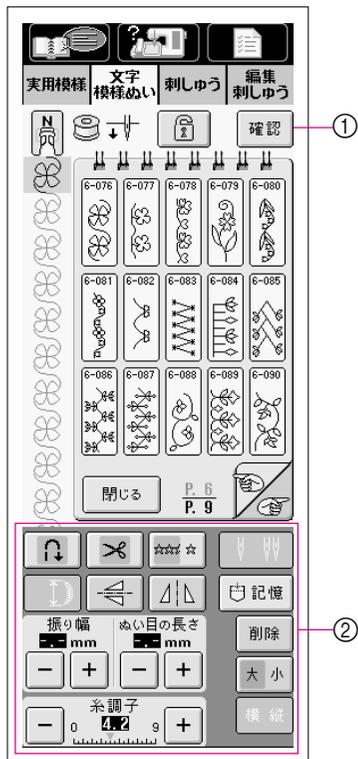
7 模様がくずれている場合はもう1度調整します。正しい模様がぬえるようになるまで調整します。

8 正しい模様がぬえるようになったら、調整を終わります。 を押して、元の画面に戻ります。



模様の編集

模様の編集キーを使って模様の変えたり、模様を反転させたりすることができます。



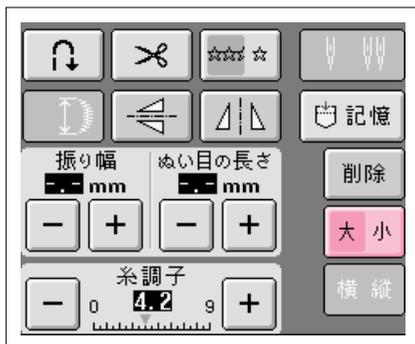
① 押すと、たくさんの文字を組み合わせたときに模様の確認ができます。(P.4-26参照)

② 模様の編集キー
模様の種類によって、操作できるキーが異なります。

■ キーのはたらき

画面表示	名称	編集の種類	参照ページ
	画面ロック キー	画面ロックを設定するときに押します。 設定すると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック (固定)されます。もう1度押すと、解除します。	2-33
	自動止めぬい キー	自動止めぬいを設定するときに押します。自動止めぬいを あらかじめ設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに自動 的に止めぬいをします。もう1度押すと、解除します。	2-31
	自動糸切り キー	自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあら かじめ設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止 めぬいをして糸を切ります。もう1度押すと、解除します。	2-32
	連続/単独ぬい キー	連続ぬいと単独ぬいの切り替えをします。	4-17
	2本針キー	2本針を使用するときに押します。押すごとに、1本針と2 本針の設定の切り替えができます。	2-25
	模様の長さ キー	7mmサテンステッチの模様を選んでから押すと、ジグザグ の振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを5段階 に変えることができます。	4-15
	上下反転キー	模様を選んでから押すと、模様が上下に反転します。	4-16
	左右反転キー	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します。	4-16
	大きさキー	模様を選んでから押すと、模様の大きさが変わります。 (大、小)	4-15
	横縦キー	模様を選んでから押すと、横書き/縦書きの切り替えがで きます。	4-17
	削除キー	模様をまちがえて選んだときに押すと、選んだ模様を取り 消します。組み合わせ模様の場合は、押すごとに後ろから 順に取り消されます。	4-8
	記憶キー	押すと、組み合わせた模様を記憶することができます。	4-27
	ぬい目調節 キー	選択した模様のジグザグの振り幅とぬい目の長さを示しま す。通常は自動的に標準の値が設定されています。	2-28, 2-29
	糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。通常は自動的に標準の 値が設定されています。	2-30
	糸密度キー	模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。	4-16

模様の変えるには



模様を選んでから **大小** を押して、お好みの大きさに反転表示を合わせます。

「大」にしたいとき：**大** **小**

「小」にしたいとき：**大** **小**

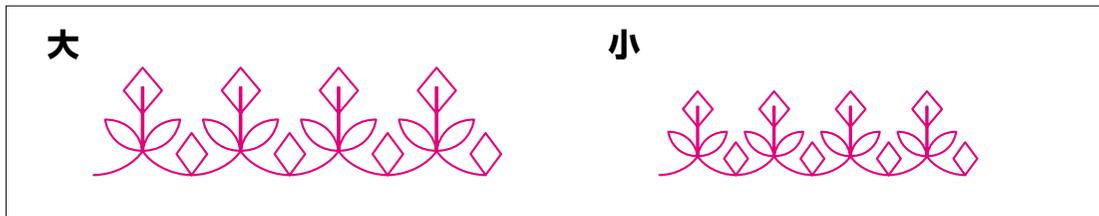
- ※ 大きさを変えた後で続けて文字・模様を選ぶと、次からの文字・模様は、大きさを変えるまで同じ大ききで選ばれます。
- ※ 文字や模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。

実物大

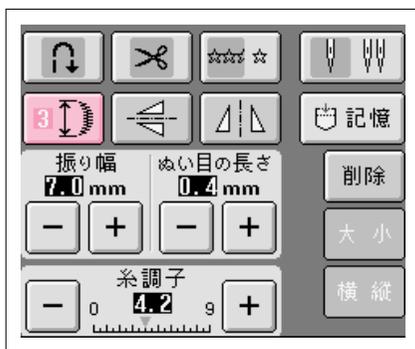
●ひらがな／カタカナ／アルファベット



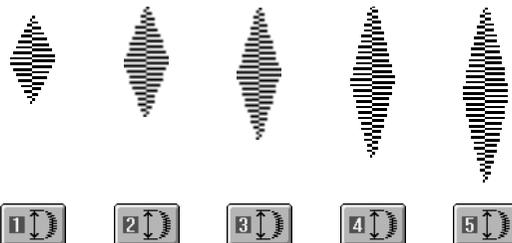
●飾り模様



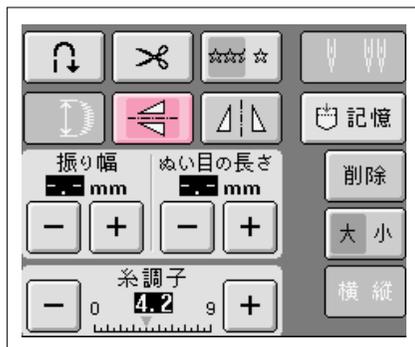
模様の変えるには (7mmサテステッチのみ)



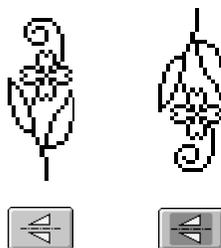
7mmサテステッチはジグザグの振り幅、ぬい目の長さを変えないで、模様の変えるに5段階に変えることができます。模様を選んでから **3** を押して、反転している数字をお好みの長さに合わせます。



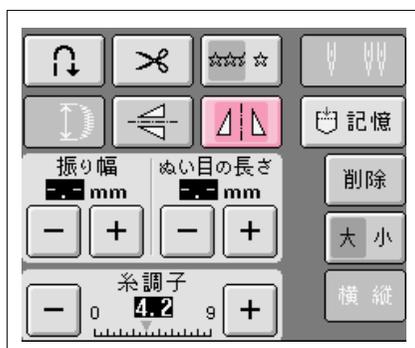
模様を上下反転させるには



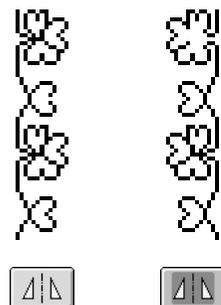
模様を選んでから  を押します。模様が上下反転します。



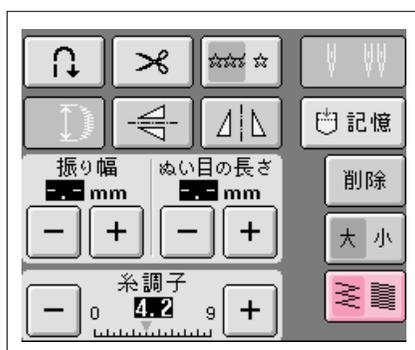
模様を左右反転させるには



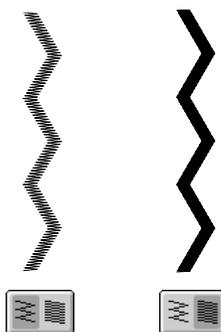
模様を選んでから  を押します。模様が左右反転します。



模様の糸密度を変えるには(大型サテンステッチのみ)



模様を選んでから  を押して、お好みの糸密度に反転表示を合わせます。



▲ 注意



糸密度を  に変えてぬい目が詰まる場合は、糸密度を  に戻してください。

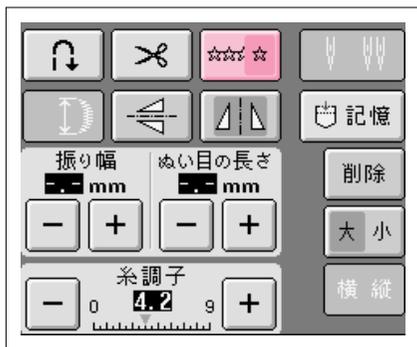
ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

※ 糸密度を変えた後で続けて模様を選ぶと、糸密度を変えるまで同じ糸密度で選ばれます。

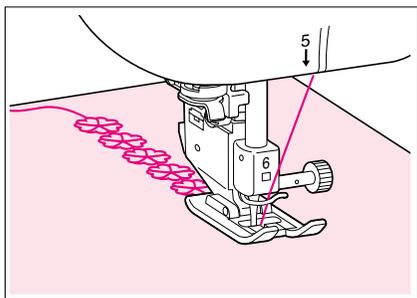
※ 模様を組み合わせた後で、まとめて糸密度を変えることはできません。

※ 布地や糸の種類・接着芯の種類などにより、模様くずれをすることがありますので、必ず試しぬいをしてください。模様くずれしたときは、P.4-11を参照して個々に模様の調整を行ってください。

連続ぬい／単独ぬいを切り替えるには

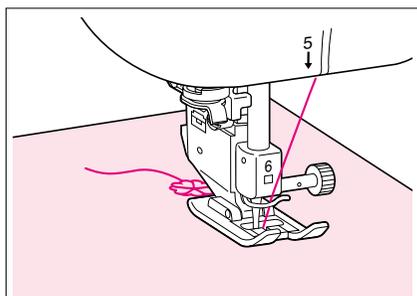


☆☆☆ ☆ を押します。連続ぬい・単独ぬいが切り替わります。



「連続ぬい」にしたいとき：**☆☆☆ ☆**

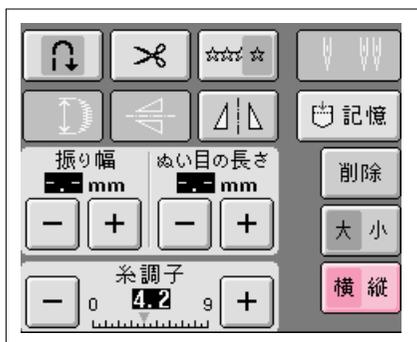
※ ぬっている途中で **☆☆☆ ☆** を押すと、そのときにぬっていた模様を1サイクル分ぬって自動的に止まります。



「単独ぬい」にしたいとき：**☆☆☆ ☆**



横書き／縦書きを切り替えるには



横縦 を押すと、ひらがな／カタカナ／漢字の横書き・縦書きが切り替わります。



横縦



横縦

模様の組み合わせ

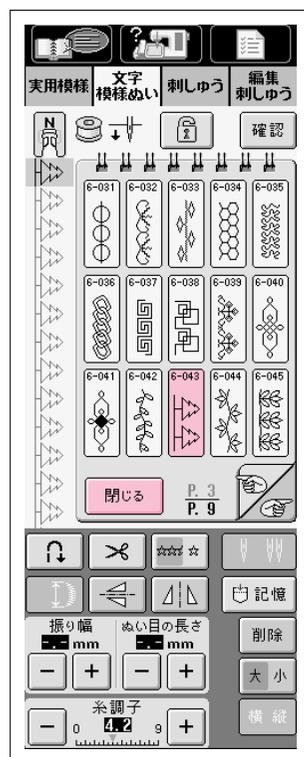
文字、サテンステッチ、クロスステッチ、飾り模様など模様を組み合わせると使い方が広がります。ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽しんでください。

模様の組み合わせをする前に

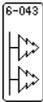
注意

- ・ 模様は組み合わせをすると自動的に単独ぬいになります。組み合わせた模様を連続ぬいにしたい場合は、組み合わせが終わった後、 を押して連続ぬいに設定してください。
- ・ 模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えたり、反転させたりすることはできません。大きさを変えたり、反転させたりしたい場合は、1模様ごとに設定をして組み合わせてください。

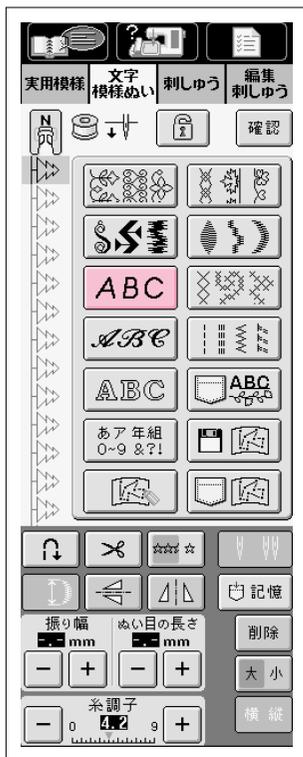
飾り模様と文字の組み合わせ



例) 
T
R
E
E

1  を選びます。

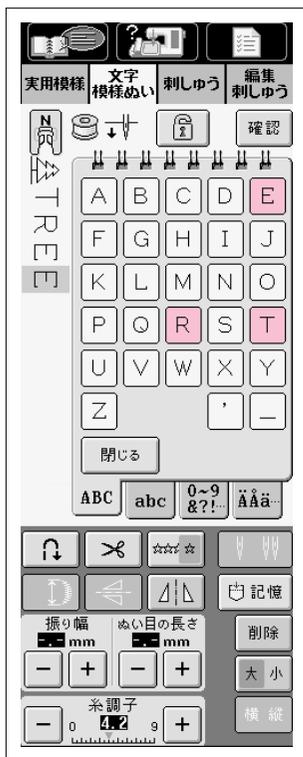
2  を押します。



3 模様の種類を選ぶ画面に戻ります。

※ 選んだ模様は、押え記号の下に表示されたままです。

4 **ABC** を押します。



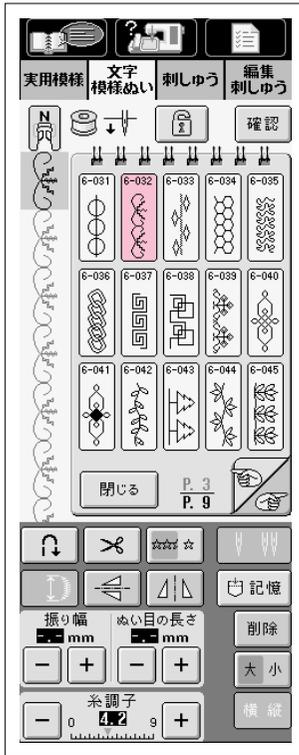
5 文字を選びます。**T**、**R**、**E**、**E** と順に押します。

※ 連続ぬいにしたいときは、**☆☆☆** を押して **☆☆☆** にします。

※ 組み合わせた模様が画面表示範囲を越えたときは、**確認** を押すと、模様の確認ができます。(P.4-26参照)

ぬい上がり

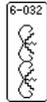
「大」模様と「小」模様の組み合わせ



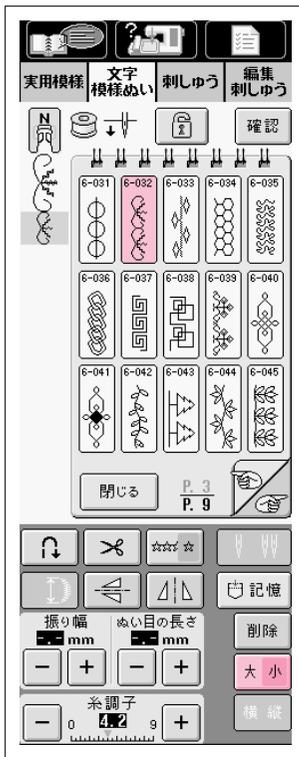
例)



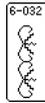
1



を選びます。



2 もう1度



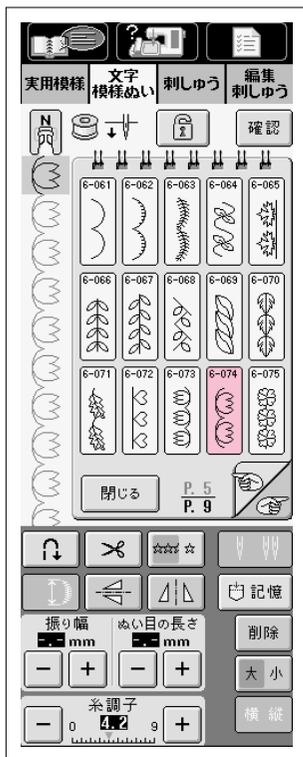
を押し、**大小** を押して「小」にします。

※ 連続ぬいにしたいときは、**☆☆☆** を押して **☆☆☆ ☆** にします。



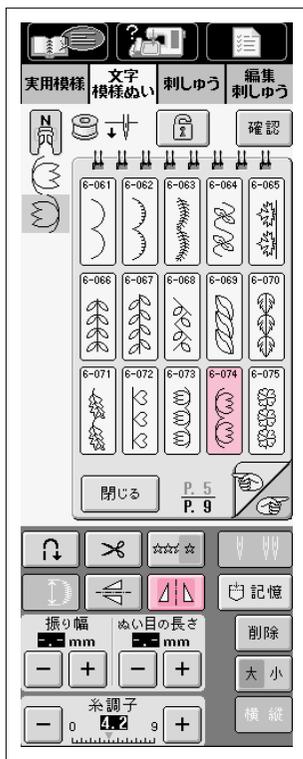
ぬい上がり

反転模様の組み合わせ



例)

1 を選びます。

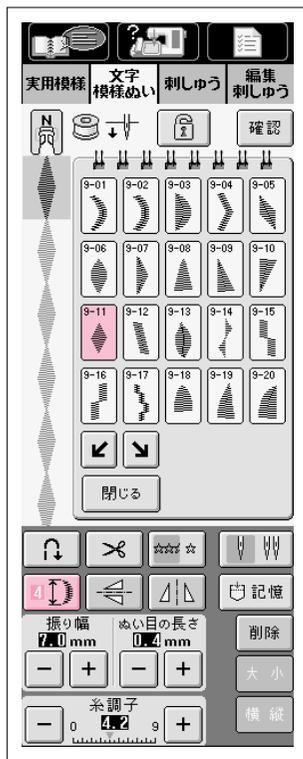


2 もう1度 を選んでから、 を押して左右反転にします。

※ 連続ぬいにしたいときは、 を押して にします。

ぬい上がり

長さを変えた模様を組み合わせ

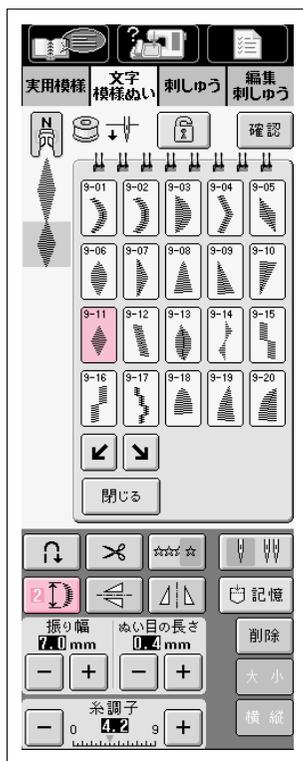


例)



1  を選びます。

2  を1回押して、模様の長さを「4」()にします。

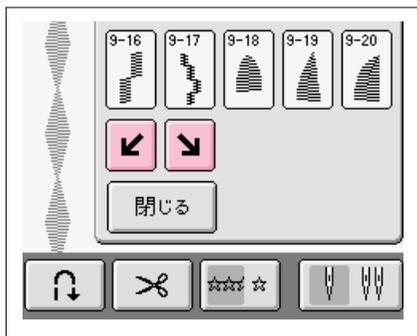


3 もう1度  を選びます。

4  を3回押して、模様の長さを「2」()にします。

※ 連続ぬいにしたいときは、 を押して  にします。

ステップ模様を作るには(7mmサテンステッチのみ)



ステップ模様とは模様の位置をステップ状に変化させた模様のことをいいます。

7mmサテンステッチは、 を使ってステップ模様を作ることができます。

を1回押すと模様の横幅の半分、左に移動します。

を1回押すと模様の横幅の半分、右に移動します。

4

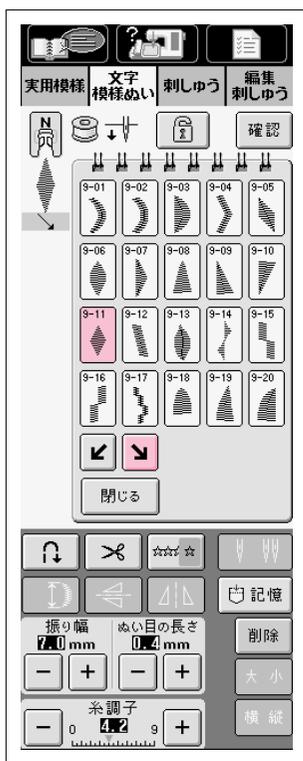
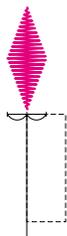
文字・模様めい

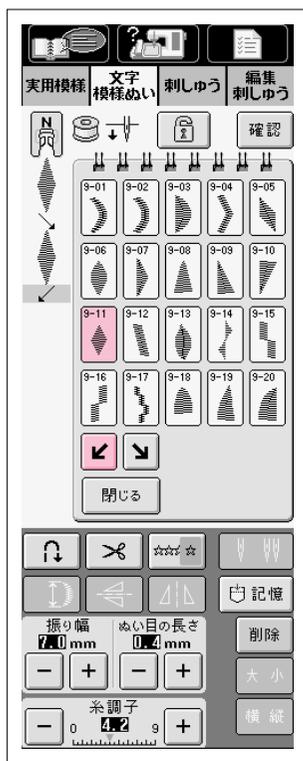
例)



1 を押します。

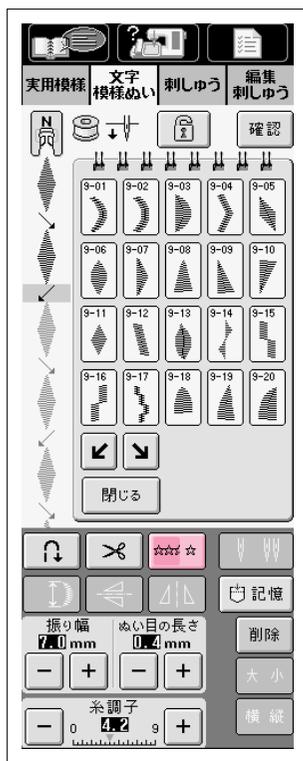
2 を押します。次の模様の位置が右に移動します。





3 もう1度  を押します。

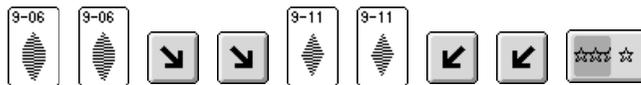
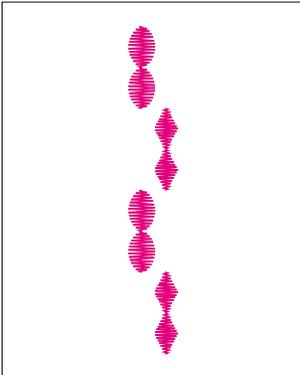
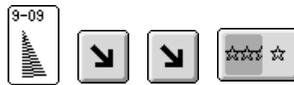
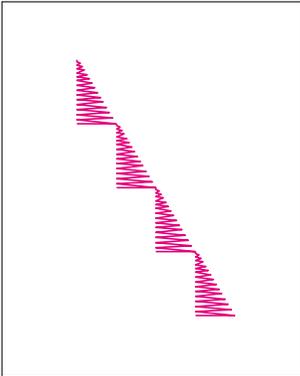
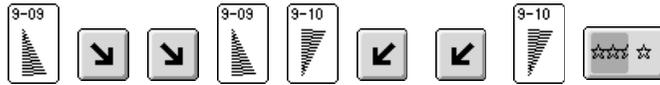
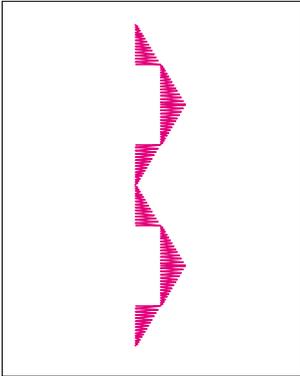
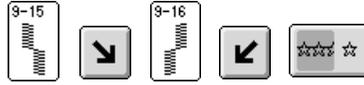
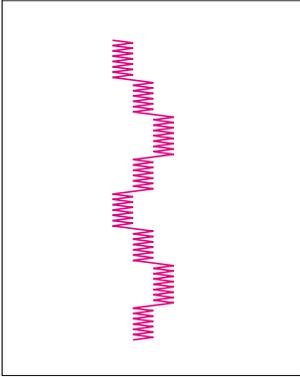
4  を押します。次の模様的位置が左に移動します。



5  を押して  にし、連続ぬいにします。

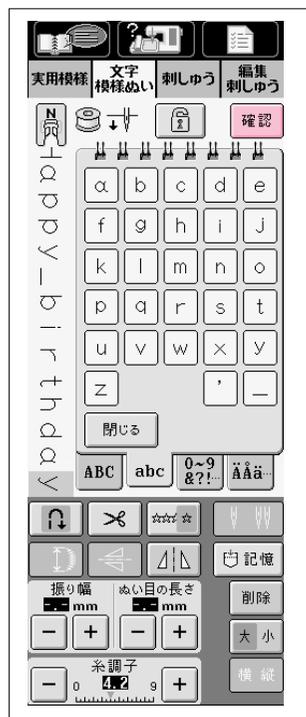


■ その他の組み合わせ例



組み合わせた文字・模様を確認するには

組み合わせた文字・模様が画面に全部表示されないときに、組み合わせの内容を確認する場合に押します。



1 **確認** を押します。

2 組み合わせた文字・模様が全て表示されます。



3 内容を確認したら、**閉じる** を押します。

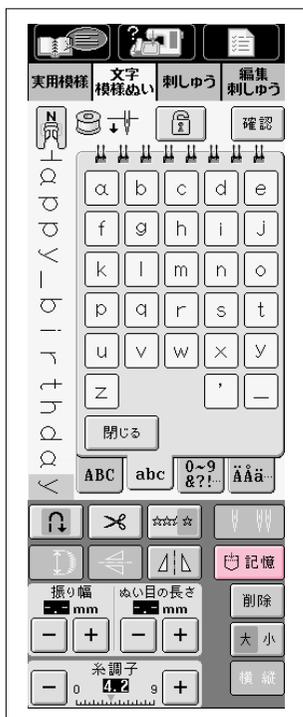
模様の記憶

模様を記憶するには

自分の名前などよく使う名前や言葉、組み合わせ模様を記憶しておくことができます。記憶は20組までできます。

例) 「Happy birthday」を記憶する

1 文字を組み合わせ、**記憶** を押します。



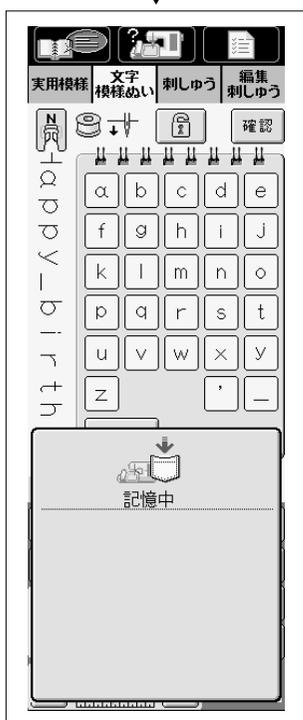
2 左の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

※ 記憶をするのに約10秒間かかります。

ご注意

“記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

※ 記憶した文字・模様を呼び出したいときは、P.4-31を参照してください。



■ 記憶できないときは



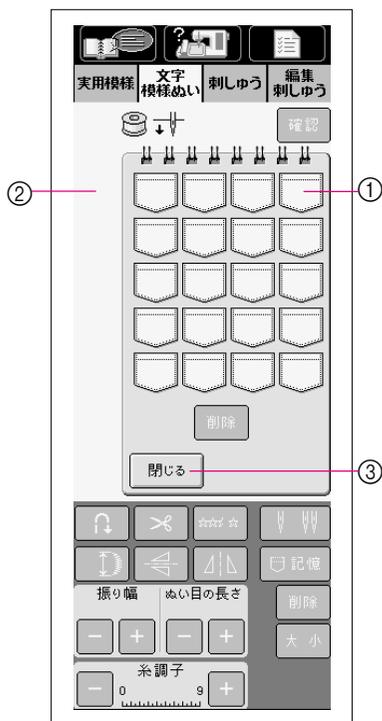
☺記憶 を押して左の画面が表示されたときは、記憶個数がいっぱいでは記憶できません。すでに記憶されている模様を消去すると、記憶することができます。

- ① 記憶をやめるときに押します。
- ② すでに記憶されている模様を消去するときに押します。

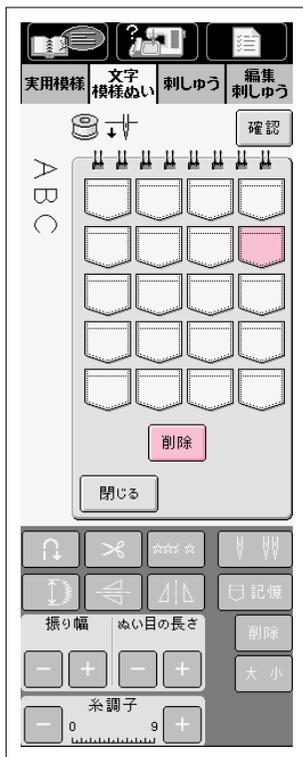
記憶されている模様の消去のしかた

1 削除 を押します。

2 左の画面が表示されます。



- ① 記憶した模様が入っているポケットを意味します。
- ② ☺ を押すと、そのポケットの中に記憶されている模様が表示されます。
- ③ 消去をやめるときに押します。



3  を押して、消去する模様を選びます。

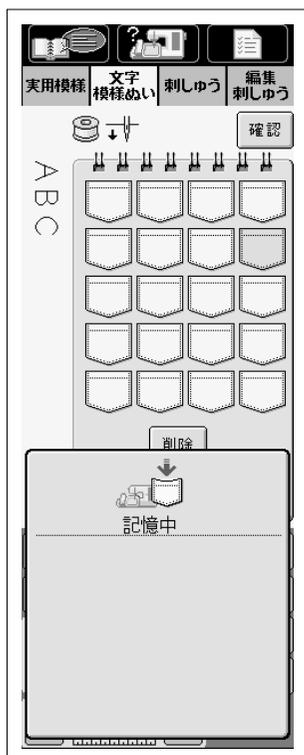
※  を押して組み合わせ模様が全部表示されないときは、 を押すと内容が確認できます。

4  を押します。



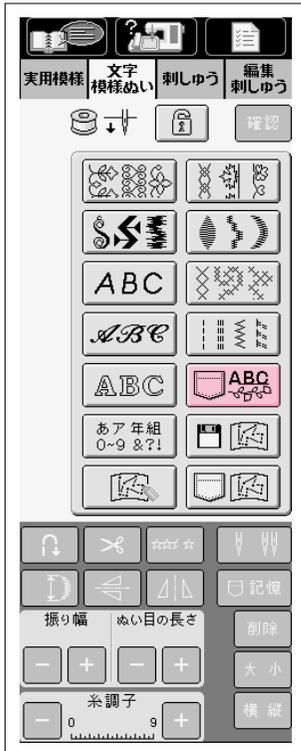
5  を押します。

※ 消去をやめる場合は、 を押します。



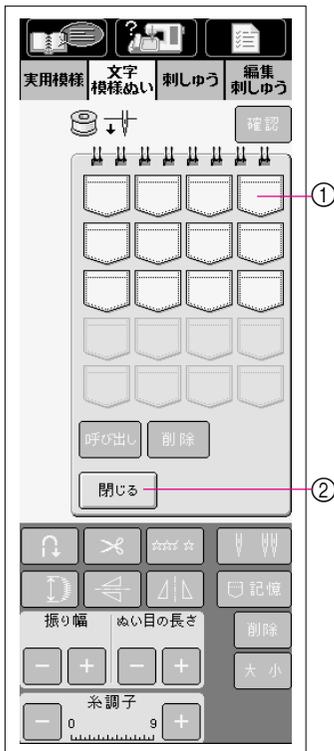
6 選んだ模様が消去され、自動的に新しい模様が記憶されます。

記憶した模様を呼び出すには

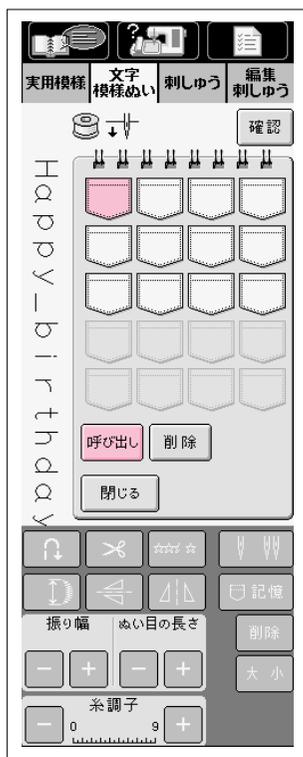


1  を押します。

2 左の画面が表示されます。

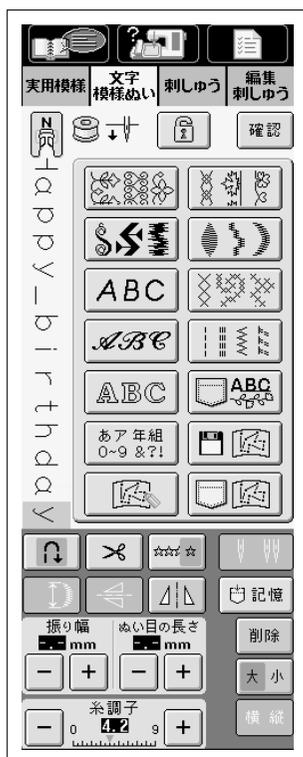


- ① 記憶した模様が入っているポケットを意味します。
- ② 呼び出しをやめるときに押します。



3  を押して呼び出す模様を確認し、 を押します。

※  を押して組み合わせ模様が全部表示されないときは、 を押すと内容が確認できます。



4 模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

第5章 刺しゅう

取り扱い上の注意

著作権について

ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうは、一般家庭用としてのみお楽しみいただけます。営利用または業務用としての使用は、著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

刺しゅう機について

⚠ 注意



- ・ 刺しゅう機を本体に取り付けたまま、持ち運ばないでください。刺しゅう機が落下するおそれがあり、ケガの原因となります。
- ・ 刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が動いているときに、手や物を近づけないでください。ケガの原因となります。

- ・ 刺しゅう機のコネクターには触らないでください。コネクターピンが破損し、故障の原因となります。
- ・ 刺しゅう機のキャリッジを持って持ち上げたり、強い力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- ・ 刺しゅう機は、専用箱に入れて保管してください。

刺しゅうカード(別売)について

- ・ 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。
- ・ 外国で売られている刺しゅうカードは、使用できませんのでご了承ください。
- ・ 刺しゅうカードは、必ず  の表示のある状態、または電源スイッチを切った状態で抜き差ししてください。(P.5-17参照)
- ・ 刺しゅうカードは、収納ケースに入れて保管してください。

フロッピーディスク(別売)について

- ・ 当社正規のデータ作成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータが入ったフロッピーディスクを読み込むと、ミシンが誤作動するおそれがあります。(pes、phc、pmi、dstファイルのみ扱えます。)
- ・ フロッピーディスクは、必ず  または  表示のある状態、またはフロッピーディスクの交換を指示する画面が表示されたときに抜き差ししてください。(P.5-22参照)
- ・ フロッピーディスク内のデータは、フロッピーディスクの消耗などで壊れることがあります。重要なフロッピーディスクは、データのバックアップをお勧めします。
- ・ フロッピーディスクはヘッドが汚れてくると、正常にデータを読み取ることがあります。市販のフロッピーディスク用のクリーニングディスクを、定期的に使用することをお勧めします。(P.8-4参照)
- ・ フロッピーディスクは糸くず等のほこりっぽい所に置かないでください。ディスクの傷付きの原因となります。保管時はハードケースに入れてください。
- ・ フロッピーディスクをTV、マグネット等の磁気のある場所に近づけないでください。データが読めなくなる危険があります。
- ・ フロッピーディスクは2HDタイプのもので、Windowsにフォーマットされているものをご使用ください。
- ・ 刺しゅうをフロッピーディスクに記憶する場合は、フロッピーディスクのライトプロテクトは、プロテクトを解除してご使用ください。
- ・ 刺しゅうデータのファイル名に、特殊記号等を用いると識別できずに模様が表示されないことがあります。その場合は、ファイル名を変更してください。
- ・ フロッピーディスクにはフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成し、フォルダー内に模様データを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。
- ・ 当社正規のデータ作成装置でデザインページをはみ出したpesファイル、および針数、色数の制限を越えて記憶したpesファイルは模様が表示されません。当社正規のデータ作成装置で、上記制限内の模様で修正してご使用ください。
- ・ タジマフォーマット(dst)の刺しゅう模様データについて
フロッピーディスクの模様データは、模様選択画面にファイル名で表示されます。(実際の絵柄は表示されません。)ファイル名は、8文字までのアルファベット・数字で表示されます。

(例) 選択画面のファイル表示



- ※ タジマフォーマット(dst)には、模様の色情報がありませんので、どの模様を選択しても当社指定の糸色順で表示されます。画面上で、でき上がりを確認しながら、糸色変更でお好みの色に変更してください。

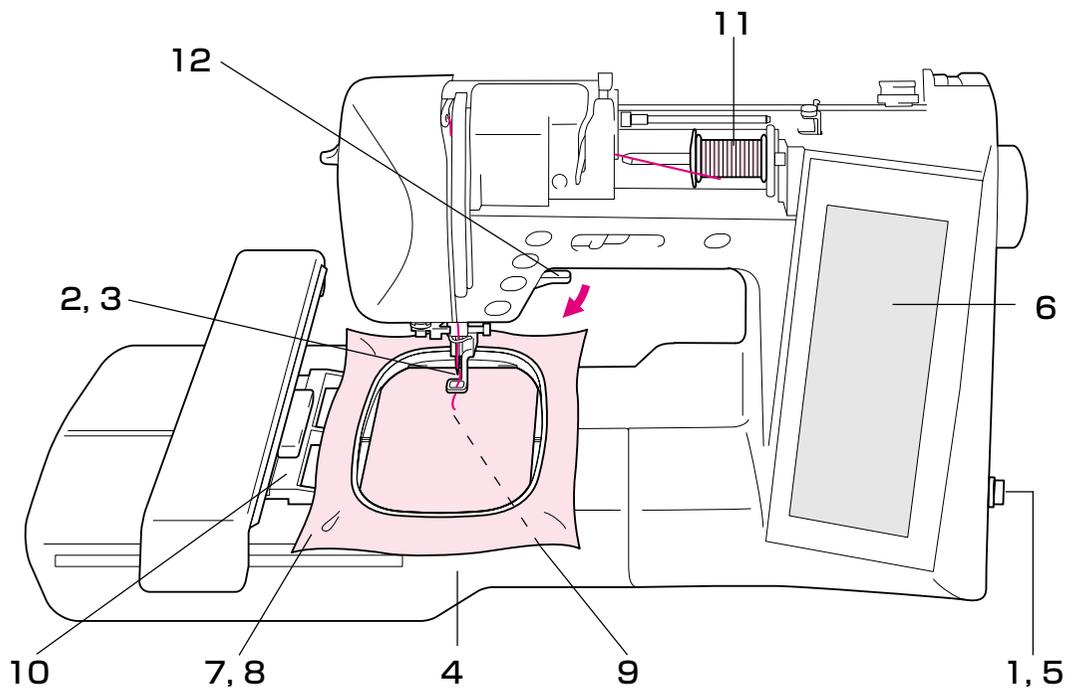
▲ 注意



当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があります。糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置(刺しゅうPROなど)で、模様データを修正してご使用ください。

刺しゅうの準備

刺しゅうの手順は次のとおりです。



5

刺しゅう

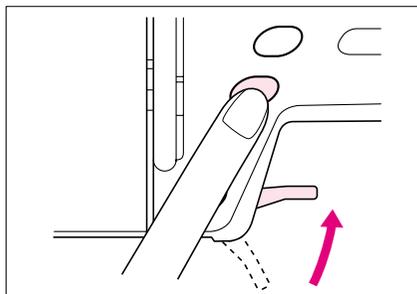
手順	操 作	参照ページ
1	電源スイッチを切ります。	P.1-11
2	家庭用ミシン針11番を取り付けます。	P.2-18
3	刺しゅう押え<Q>を取り付けます。	P.5-4
4	刺しゅう機を取り付けます。	P.5-5
5	電源スイッチを入れます。	P.1-11
6	刺しゅう模様を選びます。	P.5-8
7	布地に接着芯を貼ります。	P.5-24
8	刺しゅう枠に布地を張ります。	P.5-25
9	下糸をセットします。	P.2-7
10	刺しゅう枠を刺しゅう機にセットします。	P.5-28
11	上糸を通します。	P.2-8
12	押えレバーを下げて、スタート/ストップスイッチを押します。	P.5-34

刺しゅう押え<Q>の取り付け

⚠ 注意

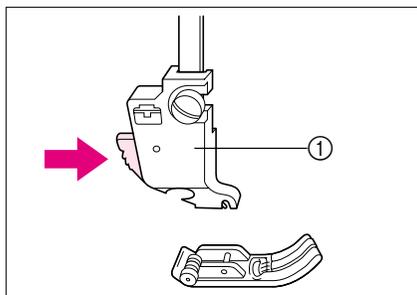


- ・必ず電源スイッチを切ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。
- ・刺しゅうをするときは<Q>押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



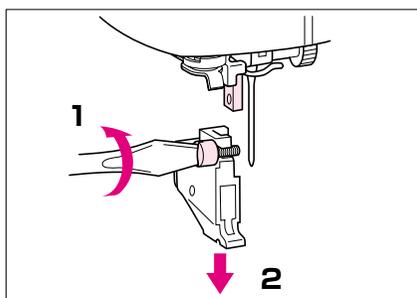
1 針上下スイッチを押して針を上げてから、電源スイッチを切ります。

2 押えレバーを上げます。



3 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。

① 押えホルダー

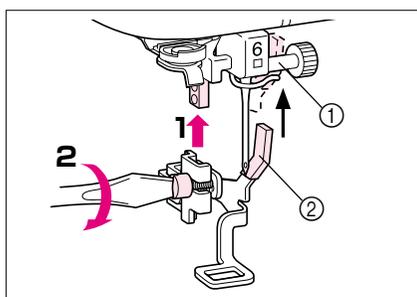


4 付属のドライバーで押えホルダーのネジをゆるめて、押えホルダーを外します。

5 <Q>押えの腕が針抱きの後ろにくるように、<Q>押えを押え棒に取り付けます。付属のドライバーでネジを確実にしめます。

① 針抱き

② 腕

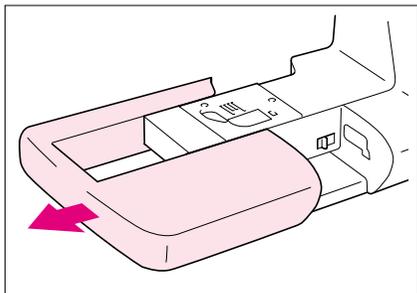


⚠ 注意



ネジは、付属のドライバーで確実にしめてください。ネジの締め方がゆるいと針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

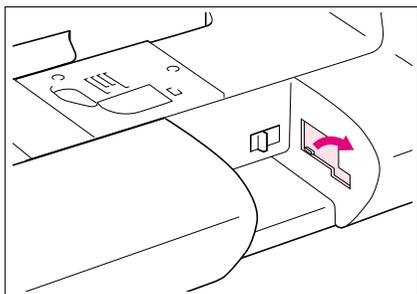
刺しゅう機の取り付け



1 電源スイッチを切り、補助テーブルを外します。

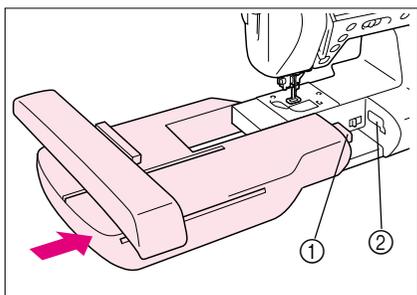
注意

刺しゅう機を取り付けるときは、必ず電源スイッチを切ってください。故障の原因となります。



2 刺しゅう機差し込み口のふたのつまみを、矢印の方向に動かしてふたを開けます。

※ 刺しゅう機を使用しないときは、ふたを閉めておいてください。



3 刺しゅう機のコネクターを刺しゅう機差し込み口に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

- ① コネクター
- ② 差し込み口

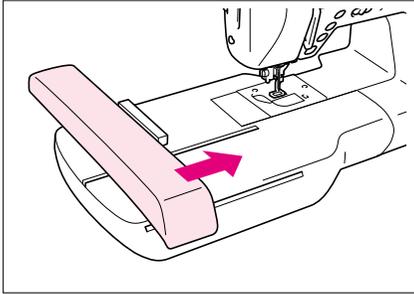
注意

- ・ 本体と刺しゅう機の間になすきまが開いていると、模様くずれの原因となります。必ず奥までしっかりと差し込んでください。
- ・ 刺しゅう機を取り付けるときは、キャリッジを押さないでください。故障の原因となります。



4 電源スイッチを入れると、左のメッセージが表示されます。

5 を押します。



6 キャリッジが初期設定の位置に移動します。

▲ 注意

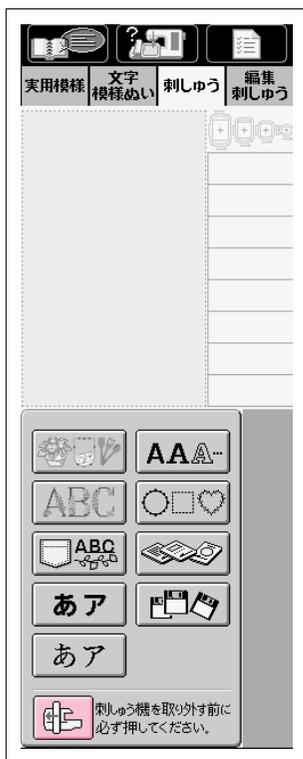


キャリッジに手や物を近づけないでください。ケガの原因となります。

注意

正常に初期設定が行われなかった場合、初期画面に戻ることがありますが、故障ではありません。その場合は再度電源スイッチを入れ直してください。

刺しゅう機の取り外し方



1 刺しゅう枠を外します。

2 キャリッジを収納位置に移動させます。刺しゅう または 編集刺しゅう を押して、 を押します。

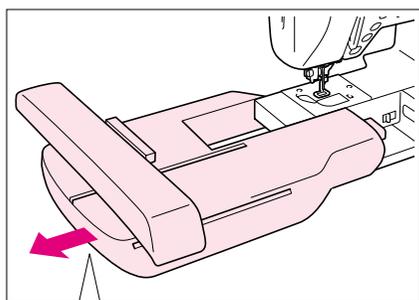
▲ 注意



必ず、刺しゅう枠を外してから  を押してください。刺しゅう枠を取り付けたまま操作すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガをするおそれがあります。

注意

この操作をしないと、刺しゅう機を収納箱に収納することができません。

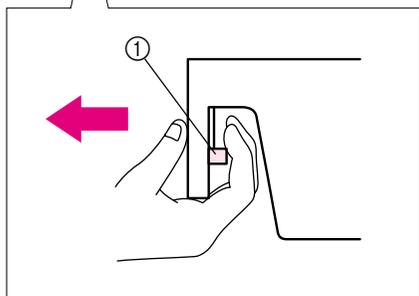


3 電源スイッチを切ります。

注意

必ず電源スイッチを切って、刺しゅう機を取り外してください。故障の原因となります。

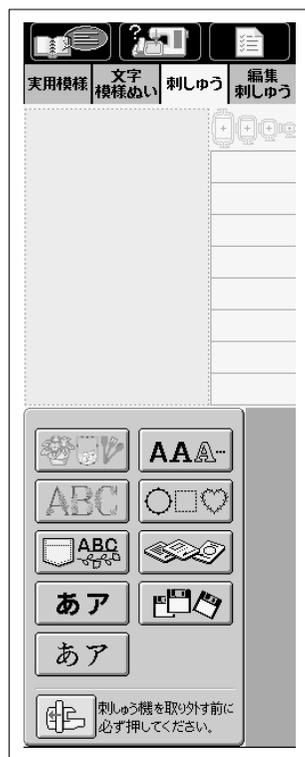
4 刺しゅう機の左側裏にある取り外しレバーを持って、刺しゅう機をゆっくりと抜いてください。



① 取り外しレバー

刺しゅう模様の選び方

このミシンには、刺しゅうぬいの文字・模様が内蔵されています。



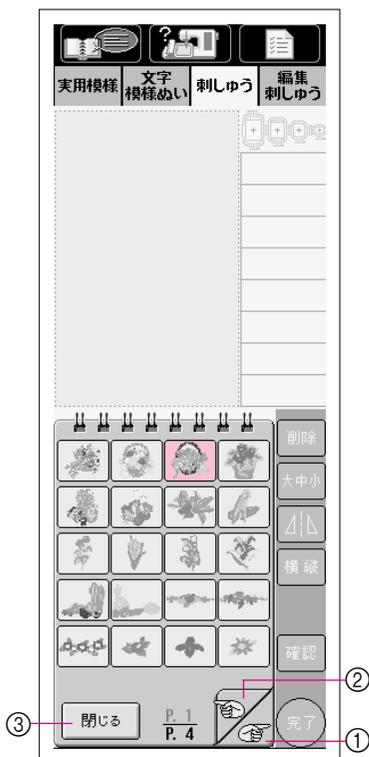
1 キャリッジが初期設定の位置に移動すると、模様の種類を選択する画面が表示されます。

※ 別の画面が表示されているときは、**刺しゅう** を押します。

2 お好みの模様の種類を選びます。

	ワンポイント		アルファベット
	花アルファベット		枠模様
	記憶した刺しゅう模様		刺しゅうカード(別売)
	ひらがな／カタカナ／漢字 (ゴシック体)		フロッピーディスク
	ひらがな／カタカナ／漢字 (明朝体)		

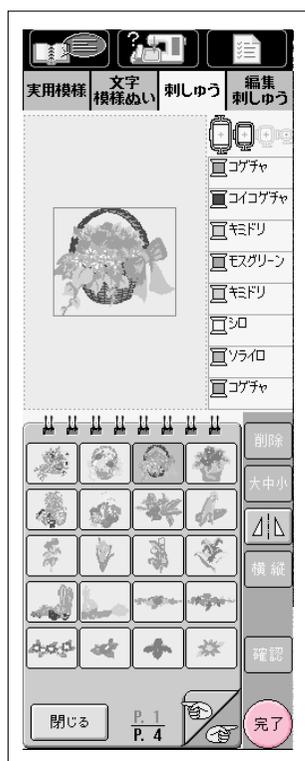
ワンポイント



1  を押すと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

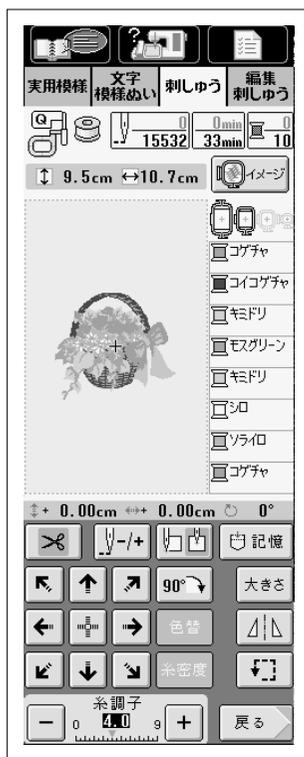
- ① 押すと次のページの画面に進みます。
- ② 押すと前のページの画面に戻ります。
- ③ 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。



3 画面上段に選択した模様が表示されます。

- ※  を押すと、模様を左右に反転させることができます。
- ※ まちがえて模様を選んだときは、もう1度選び直します。

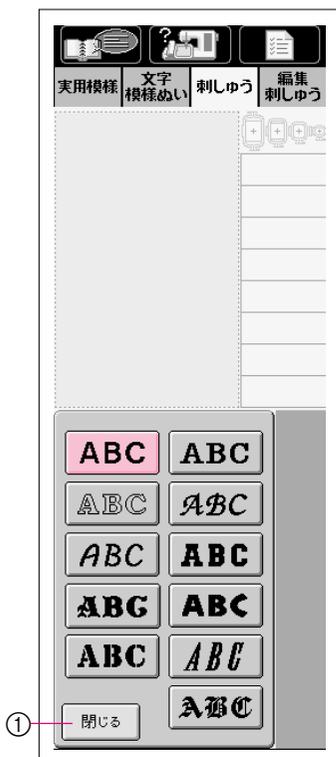
4 選び終わったら、 を押します。



5 縫製画面が表示されます。

- ※ 次のステップに進みたいときは、P.5-23の「縫製画面の見方」へ進みます。
- ※ 模様を選び直したいときは、 を押します。模様選択画面に戻ります。

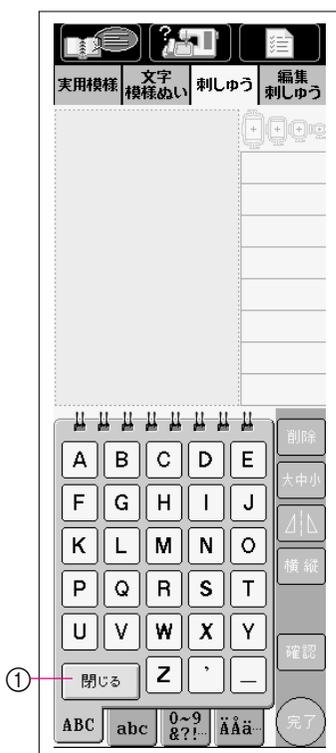
アルファベット



1 **AAA** を押すと、左の画面が表示されます。

2 アルファベットは11書体、内蔵されています。お好みの書体を選びます。

① 押すと、模様の種類を選択する画面に戻ります。



3 **ABC abc 0~9 &?!... ÀÁÂ...** を押してぬきたい画面を開き、文字を選びます。

① 押すと、書体を選択する画面に戻ります。



例) 「Bus」を選ぶには

- ① **B** を押します。
 - ※ 大きさを変えたいときは、**大中小** を押します。お好みの大きさに反転表示を合わせます。
 - ※ 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ大きさになります。
 - ※ 文字を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。

- ② **abc** を押します。

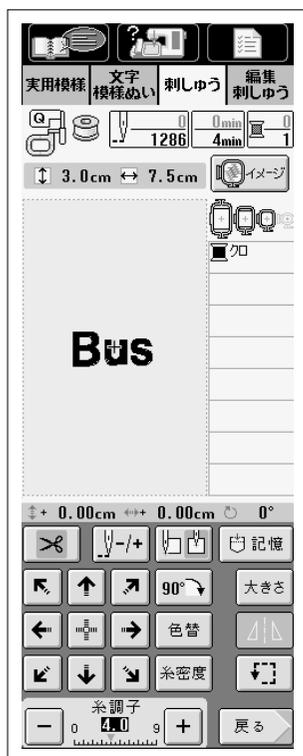
- ③ **u** を押します。

- ④ **s** を押します。

※ まちがえて文字を選んだときは、**削除** を押して取り消します。

※ 文字が小さくて画面表示が見にくいときは、**確認** を押すと模様の確認ができます。

4 文字を選び終わったら、**完了** を押します。

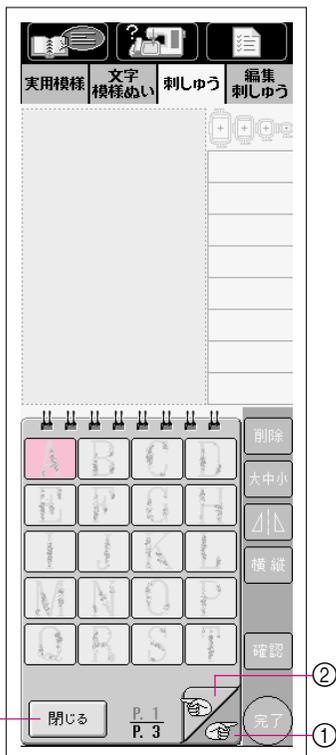


5 縫製画面が表示されます。

※ 次のステップに進みたいときは、P.5-23の「縫製画面の見方」へ進みます。

※ 文字を選び直したいときは、**戻る** を押します。模様選択画面に戻ります。

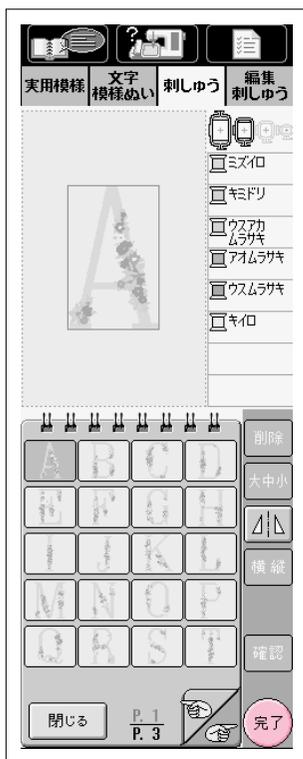
花アルファベット



1 **ABC** を押すと、左の画面が表示されます。

2 お好みの模様を選びます。

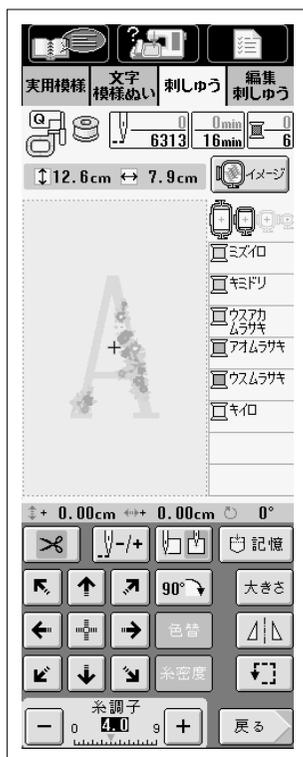
- ① 押すと、次のページの画面に進みます。
- ② 押すと、前のページの画面に戻ります。
- ③ 押すと、模様の種類を選択する画面に戻ります。



3 画面上段に模様が表示されます。

- ※  を押すと、模様を左右に反転させることができます。
- ※ まちがえて模様を選んだときは、もう一度選び直します。

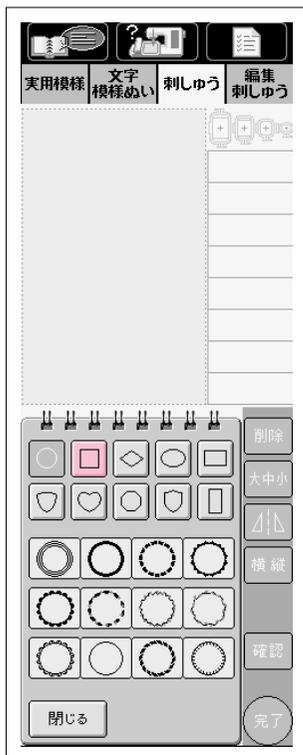
4 選び終わったら、**完了** を押します。



5 縫製画面が表示されます。

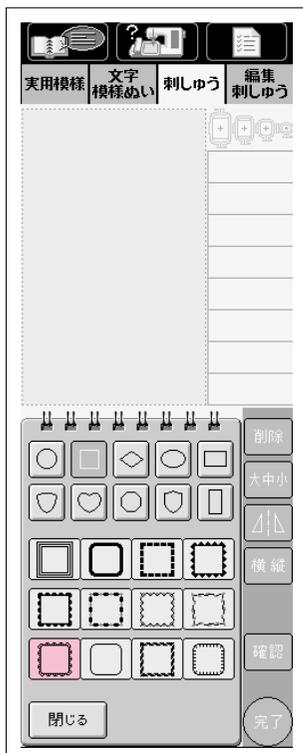
- ※ 次のステップに進みたいときは、P.5-23の「縫製画面の見方」へ進みます。
- ※ 模様を選び直したいときは、 を押します。模様選択画面に戻ります。

枠模様



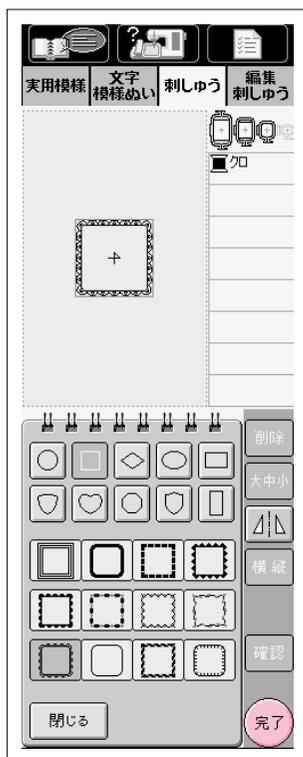
1  を押すと、左の画面が表示されます。

2 模様選択画面の上段のキーで枠の形を選びます。



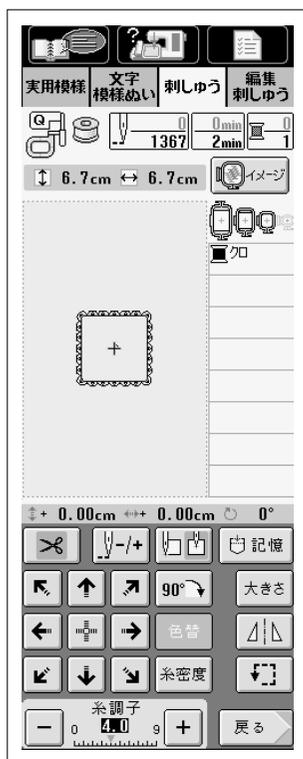
3 下段に枠の模様が表示されます。

4 お好みの模様を選びます。



5 画面上段に模様が表示されます。

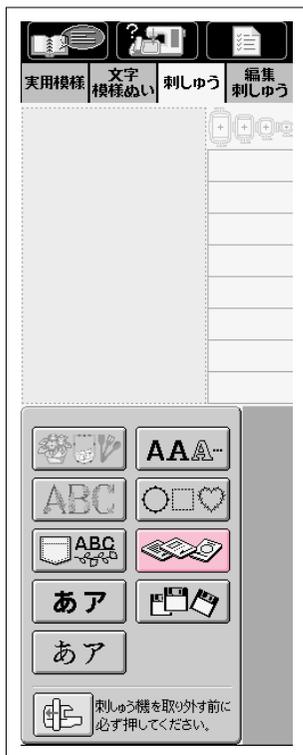
6 選び終わったら、**完了** を押します。



7 縫製画面が表示されます。

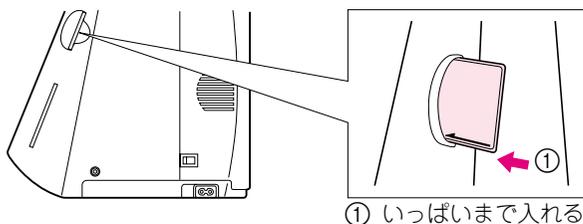
- ※ 次のステップに進みたいときは、P.5-23の「縫製画面の見方」へ進みます。
- ※ 模様を選び直したいときは、**戻る** を押します。模様選択画面に戻ります。

刺しゅうカード(別売)



1 左の画面のときに、刺しゅうカードの矢印を表にして、ミシン右側にあるカード差し込み口にまっすぐいっぱいまで入れます。

※ 別の画面が表示されているときは、**刺しゅう** を押すと左の画面が表示されます。



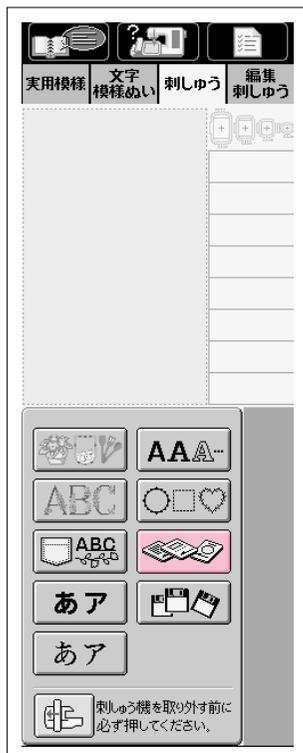
注意

- ・ 刺しゅうカードは、必ず  の表示のある状態、または電源スイッチを切った状態で抜き差ししてください。
- ・ カードを矢印の方向以外の向きに入れたり、無理やり入れたりしないでください。また、カード以外のものは絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。

2  を押します。カードの模様の選択画面が表示されます。

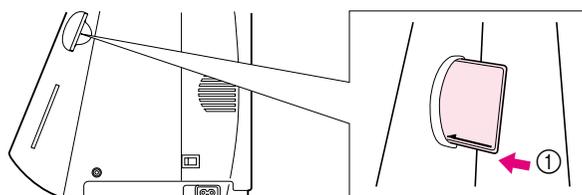
3 模様の選び方は、P.5-8～5-16と同じです。

漢字カード(別売)



1 左の画面のときに、刺しゅうカードの矢印を表にして、ミシン右側にあるカード差し込み口にまっすぐいっぱいまで入れます。

※ 別の画面が表示されているときは、**刺しゅう** を押すと左の画面が表示されます。

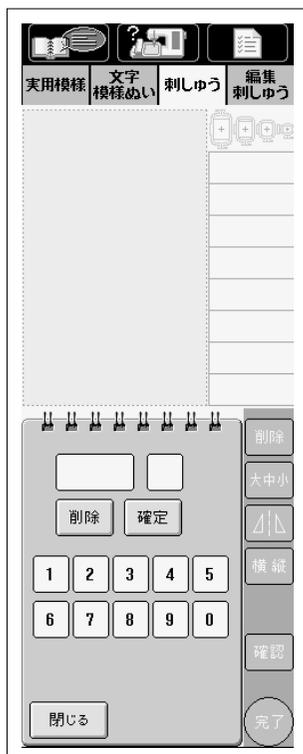


① いっぱいまで入れる

注意

- ・ 漢字カードは、必ず  の表示のある状態、または電源スイッチを切った状態で抜き差ししてください。
- ・ カードを矢印の方向以外の向きに入れたり、無理やり入れたりしないでください。また、カード以外のものは絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 当社正規のカード以外を使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。

2  を押します。カードの模様の選択画面が表示されます。

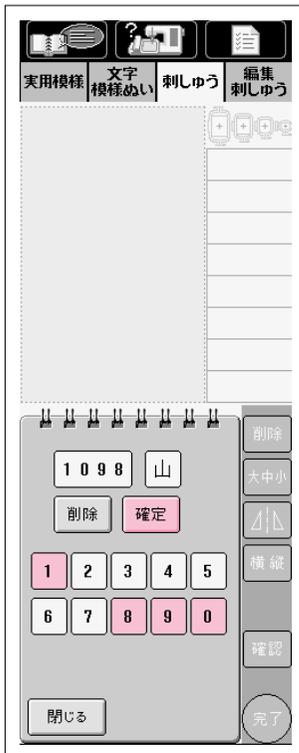


例)「山」(文字コード: 1098)を選ぶ場合

3 **1**、**0**、**9**、**8** を順番に押し、入力した漢字が正しければ、**確定** を押します。

※ 文字コードは、漢字カードに同梱されている文字コード表をご参照ください。

※ まちがえて数字を入力したときは、**削除** を押して数字を取り消してから、選び直してください。



4 「山」が選択され、画面に表示されます。

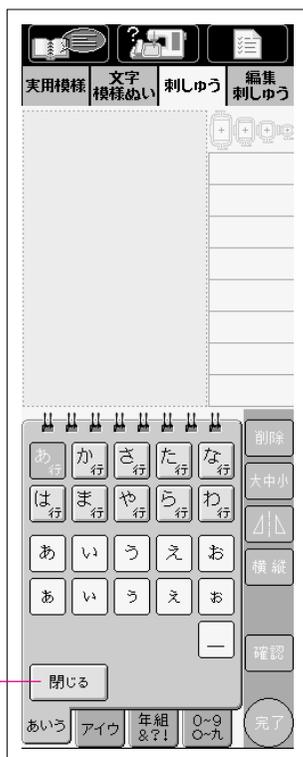
5 他の文字と組み合わせをしたい場合は、続けて次の文字の4桁番号を押します。

※ 確定した文字を削除したい場合は、**削除** キーを押します。

6 選び終わったら、**完了** を押します。

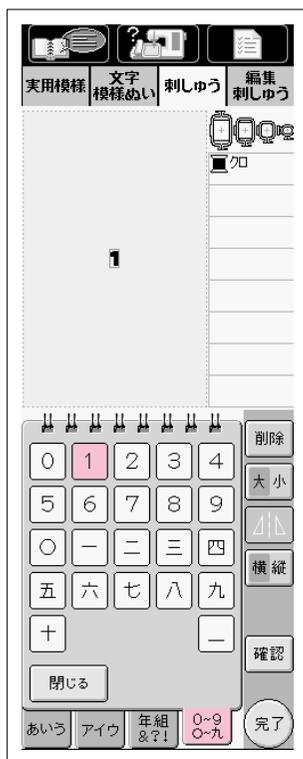


ひらがな／カタカナ／漢字



- 1 **あア** または **あア** を押します。
- 2 **あいう** **アイウ** **年組 &?!** **0~9 0~九** を押してぬいたい画面を開き、文字を選びます。
- 3 ひらがな・カタカナは上段のキーで「行」を選び、下段に表示された文字を選びます。

① 押すと模様の種類を選択する画面に戻ります。



例) 「1年 かとう」を選ぶには

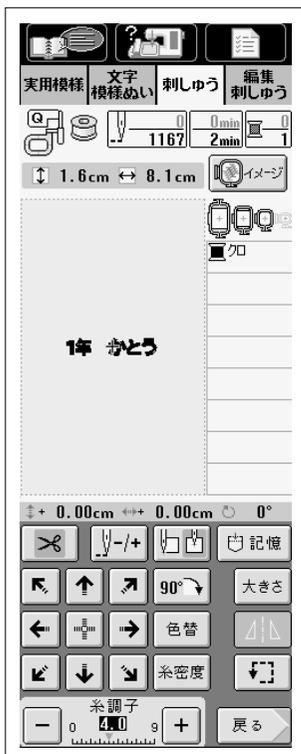
- ① **0~9 0~九** を押して、**1** を押します。
 - ※ まちがえて文字を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、選び直してください。
 - ※ 文字を選んでから **横縦** を押すと、文字の横書き／縦書きが切り替わります。
 - ※ 大きさを変えたいときは **大 小** を押します。お好みの大きさに反転表示を合わせます。
 - ※ 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ大きさになります。
 - ※ 文字を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。
- ② **年組 &?!** を押して、**年** を押します。



- ③ (スペース)を押します。
- ④ を押します。
- ⑤ を押して、 を押します。
- ⑥ を押して、 を押します。
- ⑦ を押して、 を押します。

※ 文字が小さくて画面表示が見にくいときは、 を押すと模様の確認ができます。

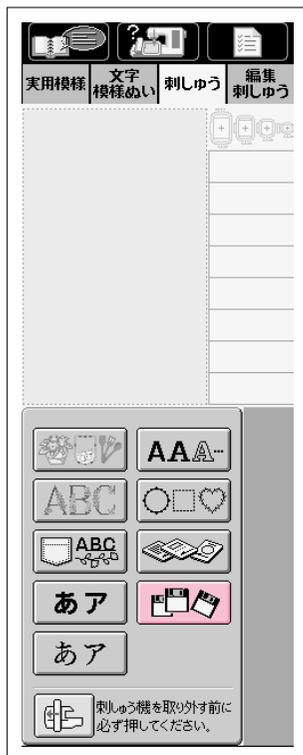
4 文字を選び終わったら、 を押します。



5 縫製画面が表示されます。

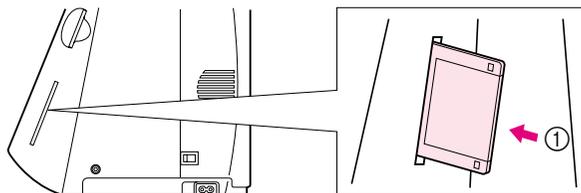
- ※ 次のステップに進みたいときは、P.5-23の「縫製画面の見方」へ進みます。
- ※ 模様を選び直したいときは、 を押します。模様選択画面に戻ります。

フロッピーディスク(別売)



1 左の画面のときに、マシン右側にあるフロッピーディスク差し込み口にフロッピーディスクを差し込みます。

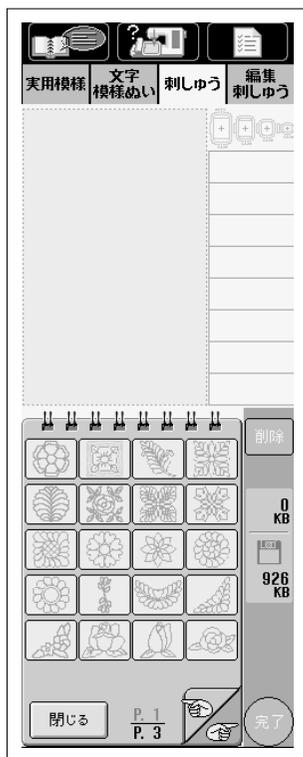
※ 別の画面が表示されているときは、**刺しゅう**を押すとこの画面が表示されます。



① いっぱいまで入れる

注意

- ・ フロッピーディスクは、必ず  または  表示のある状態、またはフロッピーディスクの交換を指示する画面が表示されたときに抜き差ししてください。
- ・ フロッピーディスクの差し込み口にはフロッピーディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 当社正規のデータ作成装置およびマシンで記憶された模様以外のデータが入ったフロッピーディスクを読み込むと、マシンが誤作動するおそれがあります。(pes、phc、pmi、dstファイルのみ扱えます。)



2  を押します。

フロッピーディスクの模様の選択画面が表示されます。

※ 通常、模様が表示されるまで約10～30秒かかります。

注意

表示されるまでの時間は模様数が多いほど長くなります。(1分以上かかる場合もあります。) 読み込みの最中は、模様が表示されるまでフロッピーディスクを抜かないでお待ちください。

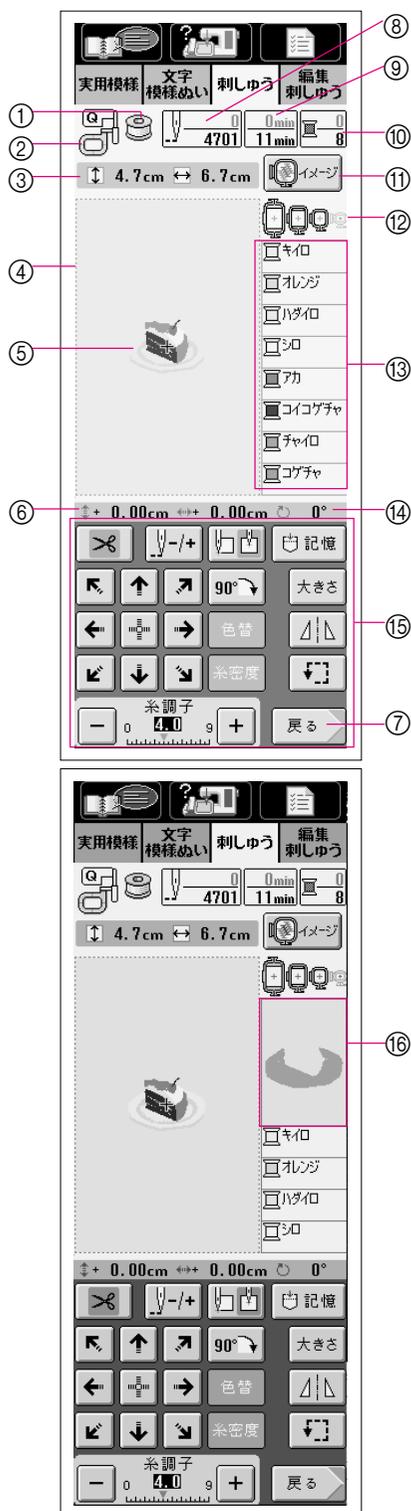
3 模様の選び方は、P.5-9～5-10と同じです。

注意

フロッピーディスクがライトプロテクトされていないときに模様を選んで **削除** → **OK** を押すと、データが消えてしまいますのでご注意ください。このときの **削除** はフロッピーディスクの中味を整理するために刺しゅうデータを削除するためのものです。

縫製画面の見方

例 ワンポイント模様



- ① 下糸残量表示:
ぬっているとき、下糸の残量を示します。黄色で表示されているときは、下糸が少ないことを示します。

注意

ミシンが停止しているときは、下糸残量は表示されません。

- ② 押え記号:
刺しゅうをするときは、<Q>押えを取り付けます。
- ③ 選択されている模様の大きさを示します。
- ④ 大枠で刺しゅうのできる範囲(縦26cm×横16cm)を示します。
- ⑤ 選択した模様が表示されます。

注意

模様によっては余分な糸(渡り糸)が表示されることがありますが、故障ではありません。そのままご使用ください。

- ⑥ ぬう位置を移動させたときの中心からの移動距離を示します。
- ⑦ 押すと、模様の種類を選択する画面に戻ります。
- ⑧ 選択されている模様の針数の総数と、現在ぬい終わった針数を示します。
- ⑨ 選択されている模様をぬうのに必要な所要時間と、ぬい終わった時間を示します。(糸替えの時間は含みません。)
- ⑩ 選択されている模様の色数と、現在ぬっている色順番を示します。
- ⑪ 押すと、模様のイメージ画像が表示されます。
- ⑫ 使用できる枠の種類を示します。ここに濃く表示された枠を使用してください。(P.5-25参照)
- ⑬ 色替の順番を示します。
- ⑭ 模様の回転角度を示します。
- ⑮ 模様編集キー(P.5-50参照)
- ⑯ 色別表示がONに設定されている場合、色替表示の1番上の色糸でぬわれる部分の形が表示されます。(設定のしかたはP.1-15参照)

注意

模様の種類によって操作できるキーが異なります。グレーで白抜きに表示されているキーは操作できません。

刺しゅう枠のセット

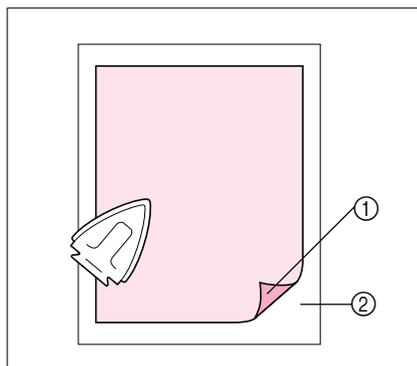
布地に芯を貼るには

刺しゅうをきれいに仕上げるために刺しゅう用接着芯はかかせません。ぬい縮みや模様くずれをふせぐために、以下の項目を必ず守ってください。

⚠ 注意



刺しゅうをする際は、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。特に薄地や伸びる布地の場合、芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。また、模様くずれの原因にもなります。

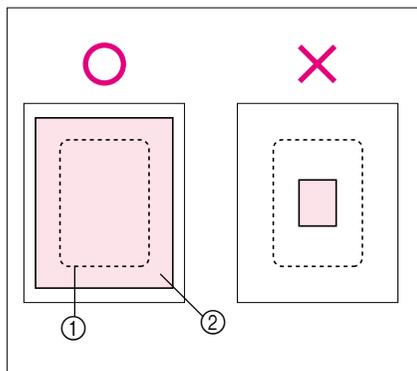


- 1 伸びる布地、薄い布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ってください。

布地の裏側にスチームアイロンをかけて貼ります。

※ アイロンがかけられない布地やアイロンのかけにくい場所に刺しゅうをするときは、接着しないで、布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。(タオルなど、アイロン接着すると表面のループが伸びるため)

- ① 接着面
- ② 布地(裏面)



- 2 刺しゅう用接着芯は、刺しゅう枠よりも大きくしてください。枠に張るときは、布地のたるみを防ぐため、芯全体をはさみ付けるようにしてください。

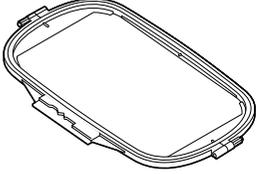
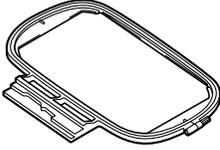
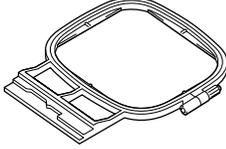
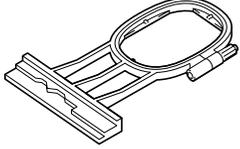
- ① 刺しゅう枠の大きさ
- ② 接着芯

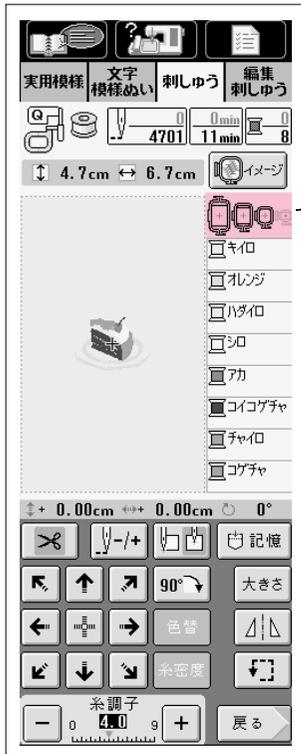
ワンポイントアドバイス

- ・ 芯は、ブラザー専用刺しゅう用接着芯をお勧めします。ぬい終わってから、きれいに破りとることができます。
- ・ オーガンジーやローンなど薄手の素材やタオル、コーデュロイなど起毛している布地に刺しゅうをするときは、水で溶ける水溶性シート(部品コード：X81267-001)をお使いください。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれいに仕上がります。

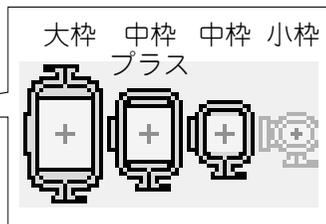
刺しゅう枠に布地を張るには

■ 刺しゅう枠の種類と用途

大枠	中枠プラス	中枠	小枠
			
刺しゅうのできる範囲 タテ26cm×ヨコ16cm	刺しゅうのできる範囲 タテ18cm×ヨコ13cm	刺しゅうのできる範囲 タテ10cm×ヨコ10cm	刺しゅうのできる範囲 タテ6cm×ヨコ2cm
文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。	タテ18cm×ヨコ13cm以下の大きさの刺しゅうをするときに使います。	標準サイズの模様をぬうときに使います。	ネーム入れなど小さな刺しゅうをするときに使います。



刺しゅう枠は、刺しゅうする模様の大きさに合わせて選びます。画面に表示される枠をお使いください。



使用できる枠は濃く、使用できない枠は薄く表示されます。

⚠ 注意

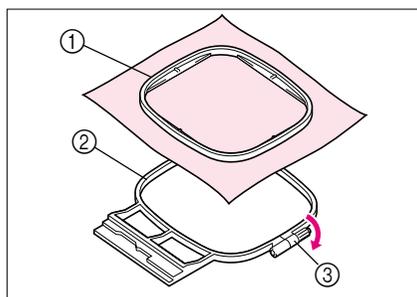


誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

■ 布地の張り方

注意

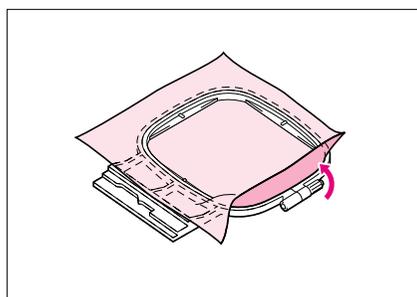
布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。下記の手順にしたがい、布地にたるみがないよう、しっかりと張ってください。また、布地を張るときは平らな場所で行ってください。



1 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。布地を外枠の上に乗せ、内枠ではさみます。

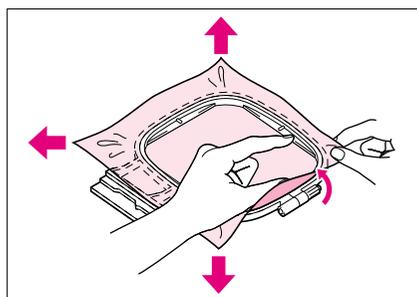
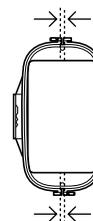
※ 必ず内枠の△印と外枠の▽印を合わせてください。

- ① 内枠
- ② 外枠
- ③ 調節ネジ



2 調節ネジを軽くしめ、布地の端を引っ張りながらたるみをなくします。

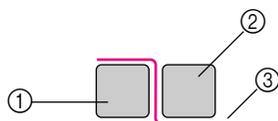
※ 大枠に布地を張るときは、枠の上下の隙間が同じくらいになるようにそれぞれの調節ネジをしめてください。



3 さらに布地を引っ張りながら、調節ネジをしっかりとしめ、布にたるみのない状態にします。

※ 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。

※ 外枠と内枠の高さが同じになるように、しっかりと締めてください。

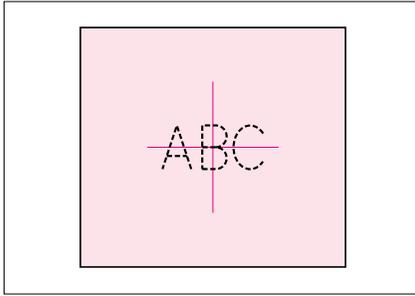


- ① 外枠
- ② 内枠
- ③ 布地の表

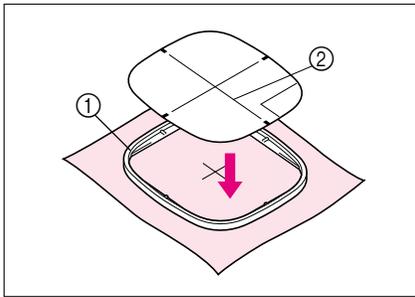
※ 布地の4辺と4角から引っ張りながら、もう1度調節ネジをしっかりとしめるとよいでしょう。

■ 刺しゅうシートの使い方

刺しゅうしたい位置が決まっているときは、刺しゅうシートを使って枠にはめます。

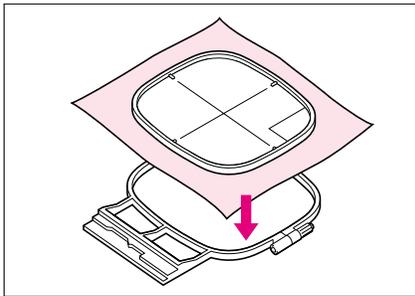


- 1** 布地にチャコペンで、刺しゅうしたい位置に印を付けます。

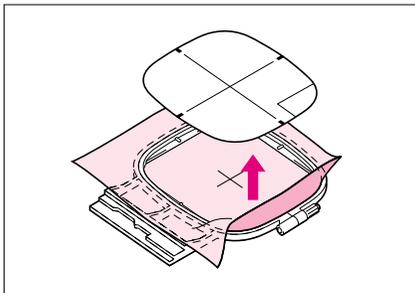


- 2** 内枠の上に刺しゅうシートをのせ、シートの基準線と布地の印とを合わせます。

- ① 内枠
- ② 基準線



- 3** 刺しゅうする布地にたるみがないように、しっかりと張ります。(P.5-26参照)

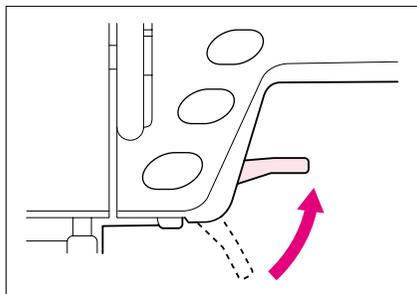


- 4** 刺しゅうシートを取り出します。

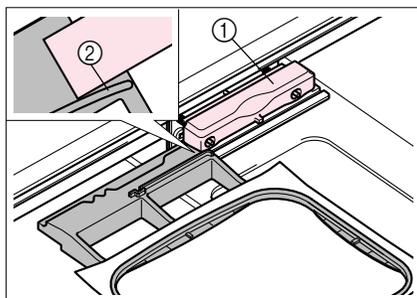
刺しゅう枠をセットするには

注意

刺しゅう枠をセットする前に、下糸をセットしてください。

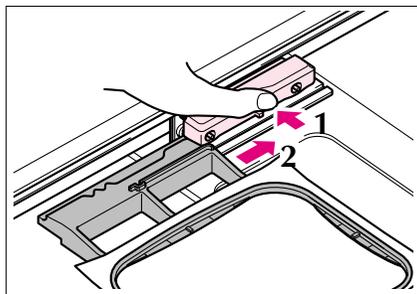


1 押えレバーを上げます。

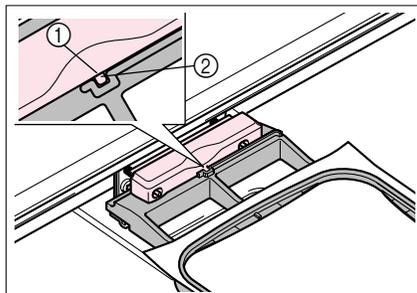


2 刺しゅう枠のガイドを刺しゅう枠ホルダーの右側面に合わせます。

- ① 刺しゅう枠ホルダー
- ② 刺しゅう枠のガイド



3 刺しゅう枠ホルダーを左側に押しながら、刺しゅう枠をスライドします。



4 刺しゅう枠ホルダーの凸部と刺しゅう枠のミソを合わせて、刺しゅう枠ホルダーを元に戻します。

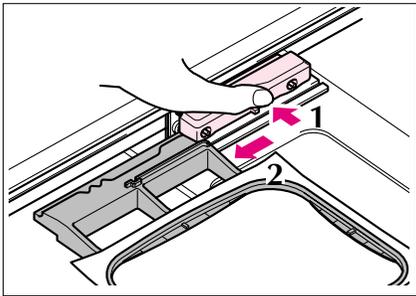
- ① 凸部
- ② ミソ

▲ 注意



刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに正しくセットしないと、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

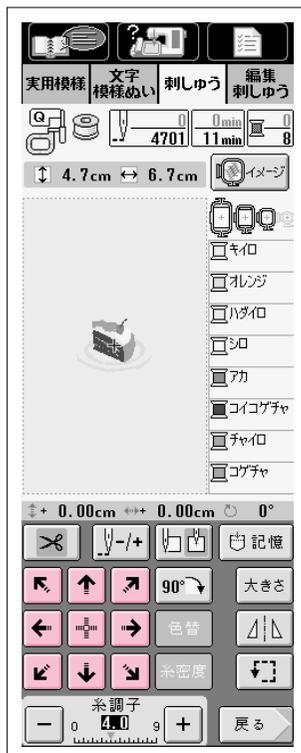
■ 刺しゅう枠を取り外すときは



刺しゅう枠ホルダーを左側に押しながら、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。

ぬう位置を決めるには

ぬう位置を移動させるには



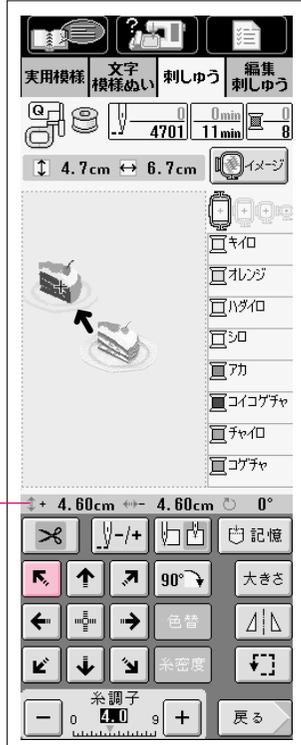
      の中の移動させたい方向のキーを押すと、矢印の方向にぬう位置が移動します。

 を押すと、中心に戻ります。

⚠ 注意



刺しゅう枠が動いている最中は、針を絶対に下げないでください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



例) ぬう位置を左上に移動させたいとき

 を押します。

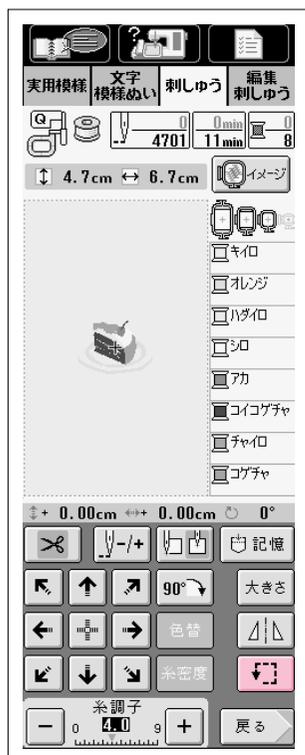
⚠ 注意



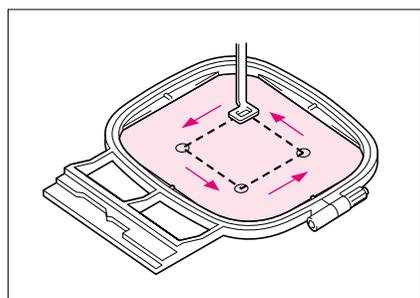
ぬう位置を移動させると、移動する前は使用できた枠が(刺しゅうのできる範囲を越えたため)使用できなくなることがあります。使用できる枠の表示を確認してご使用ください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

① ぬう位置を移動したとき、中心からの移動距離を示します。

ぬう位置を確認するには



1  を押します。



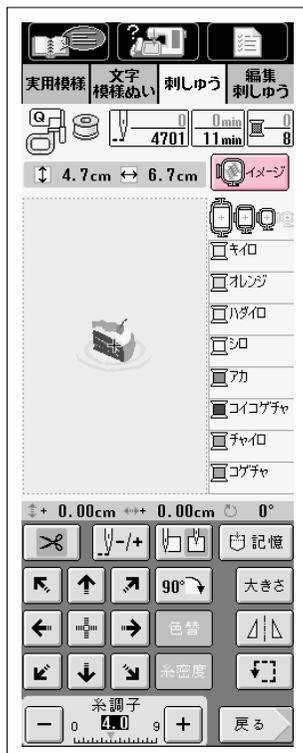
2 刺しゅう枠が動いて、刺しゅう範囲を示します。この動きをよく見て、刺しゅうしたい場所とずれていないか確認してください。

⚠ 注意



刺しゅう枠が動いている最中は、針を絶対に下げないでください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

めったときのイメージを見るには



1  を押します。



2 実際に刺しゅうしたときのイメージが表示されます。

- ① 押すと、各々の大きさの刺しゅう枠が表示されます。グレーで白抜きに表示されている刺しゅう枠は選ぶことはできません。
- ② 押すと、模様を拡大して見ることができます。

3  を押して、元の画面に戻ります。

刺しゅうしてみましょ

きれいに刺しゅうをするために

刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつかのポイントがあります。接着芯の貼り方(P.5-24参照)や布地の刺しゅう枠への張り方(P.5-25参照)は、大きなポイントになります。その他にもいくつかポイントがありますので以下の説明をよく読んだ後、刺しゅうをしてください。

- ・ 薄地、伸びる布地などぬいにくい布地には、ブラザー専用接着芯を貼ってください。
- ・ ぬい始める前に、下糸の残量を確認してください。下糸が少なくなったまま刺しゅうを続けると、糸がらみなどが起きる場合があります。
- ・ 刺しゅう枠が動く範囲に、物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。
- ・ 大きな布地(特にジャンパーなどの重い衣類)に刺しゅうするときは、テーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。

▲ 注意



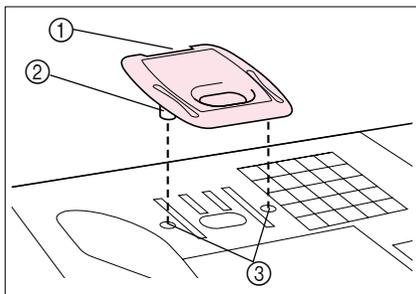
- ・ 刺しゅうができる布地の厚さは、布地を張った刺しゅう枠をミシンにセットして、針上下スイッチを押して針を上げたときに布地と押えにすきまができるものまでです。それ以上の厚さのものをぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
- ・ 刺しゅうの重ねぬいは、針が布地にささりにくくなり、針が折れたり、曲がったりするおそれがありますのでご注意ください。
- ・ ブラザーゴールデン針は模様ぬいや伸びる布地など、目とびしやすい布地用の針です。刺しゅうぬいには絶対に使用しないでください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

■ 糸と針について

糸	上糸	ブラザー専用 刺しゅう糸(ウルトラポス)または、 ブラザー専用 カントリー刺しゅう糸(S-55)
	下糸	ブラザー専用 刺しゅう下糸
針	家庭用ミシン針(HA×1)11番 デニム地などの厚地をぬう場合は家庭用ミシン針(HA×1)14番をお勧めします。	

注意：上記以外の糸をご使用になると、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。

■ 刺しゅう専用針板カバー



① ミゾ ② 凸部 ③ 凹部

布の種類や接着芯、刺しゅう糸の種類によって、上糸が浮く場合があります。このような場合は、付属の刺しゅう専用針板カバーを針板に取り付けてください。取り外すときは、ミゾに爪を当て、跳ね上げてください。

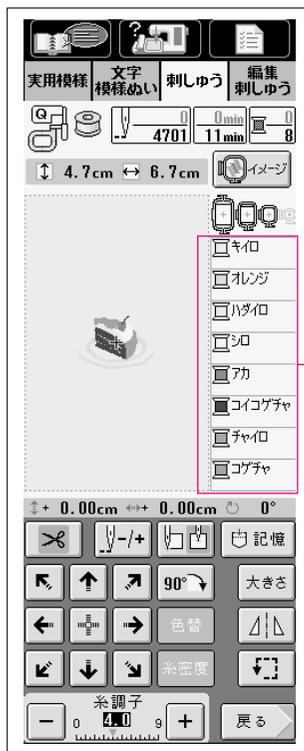
▲ 注意



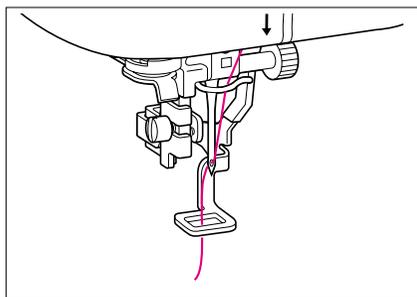
刺しゅう専用針板カバーは奥までしっかり押し込んで取り付けてください。取り付け方が悪いと針折れの原因となります。

※ 針板カバーは、刺しゅうの目的以外は使用しないでください。

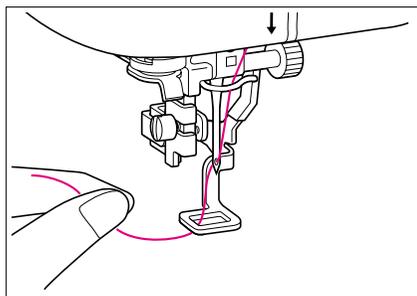
刺しゅうのぬい方



- ① 色替の順番を示します。
ここに表示される糸色順にぬいます。
キイロ → オレンジ → ハダイロ → …



- 1 1色目の糸を通し、<Q>押えの穴に糸を通します。

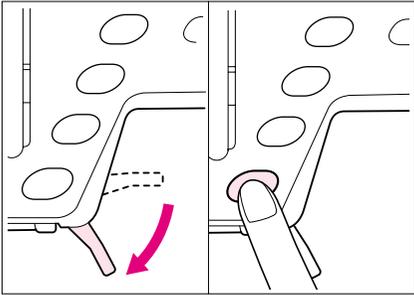


- 2 刺しゅう押えの穴に通した糸を、左手で軽く持ちます。糸は十分にたるみを持たせておいてください。

▲ 注意

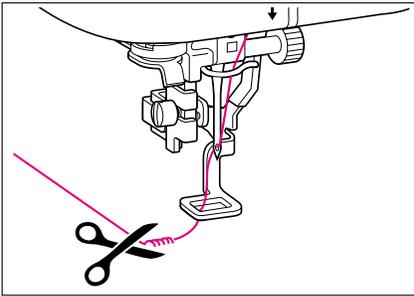


糸を引っ張りすぎると針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



3 押えレバーを下げ、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

4 5～6針ぬったら、もう1度スタート/ストップスイッチを押してミシンを止めます。



5 ぬい目のきわで余分な糸を切ります。押えの下にぬい目が隠れているときは、押えレバーを上げてから余分な糸を切ってください。

※ ぬい始めの糸が残っていると、ぬっている途中で模様になんまり込まれてしまい、後で始末をすることが大変です。ぬい始めに糸始末をしてください。



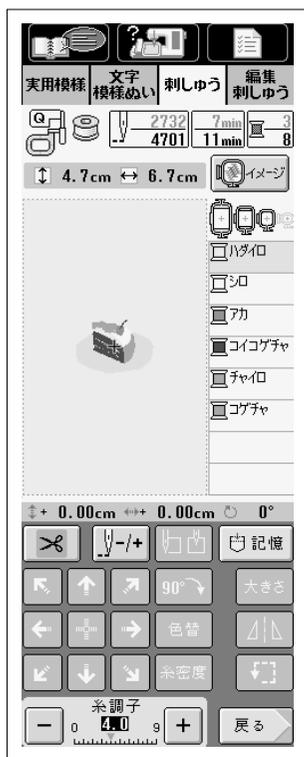
6 再びスタート/ストップスイッチを押してスタートします。

※ 画面上で動いている+カーソルは現在ぬっているところを示します。

7 1色目の部分をぬい終わると、自動的に糸を切って止まります。画面は刺しゅう糸色表示の一番上に、次にぬう色が表示されます。

8 押えレバーを上げて上糸を外し、2色目の糸を通します。

9 同じ手順で2色目をぬいます。

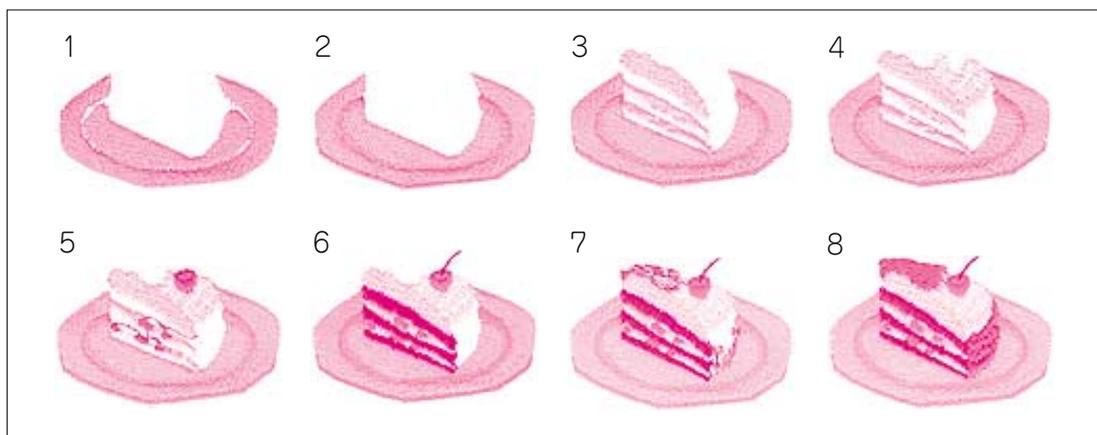


9 残りの3色目からも、同じ手順でぬいます。

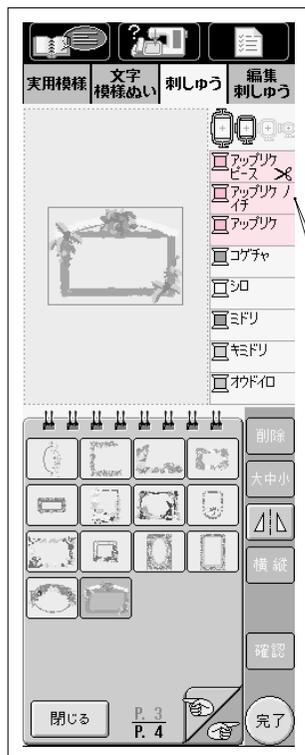
10 最後の糸色までぬい終わると、画面は最初の状態に戻ります。

11 ぬい終わったら、余分な糸(渡り糸)を切ります。

■ 模様のぬわれていく順序



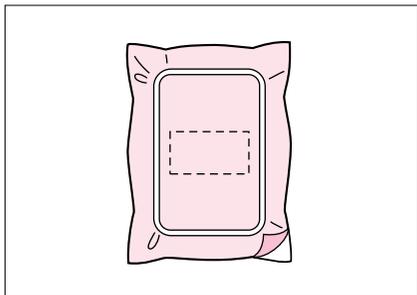
アップリケ模様のぬい方



刺しゅうの中にはアップリケを用いた模様があります。色替表示の部分に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された場合は、以下の手順でアップリケをします。



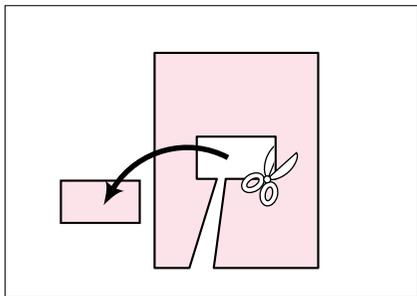
■ アップリケの手順



1 アップリケをしたい布地の裏側に、接着芯を貼ります。

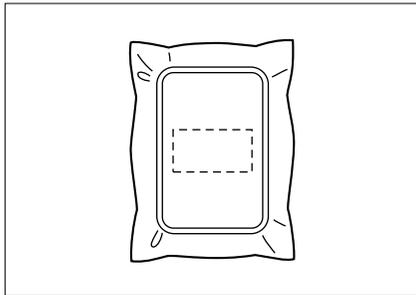
2 1のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、スタート/ストップスイッチを押します。アップリケピースの切り取り線をぬって止まります。

※ ぬい方はP.5-34～P.5-36の刺しゅうのぬい方と同じです。



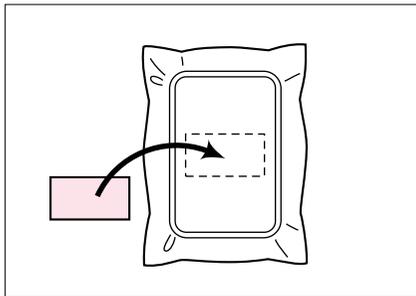
3 ぬい終わったら刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。

※ このときぬい目よりも内側を切ると、アップリケをするときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。また、糸はきれいに取り除いてください。



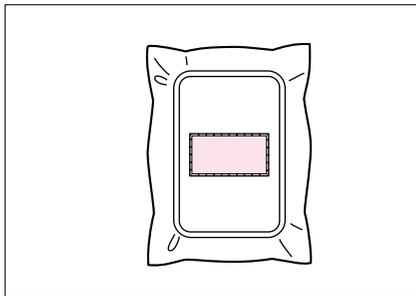
4 アププリケの土台布を刺しゅう枠に張り、スタート／ストップスイッチを押します。アププリケの位置をぬって止まります。

※ 糸は、次のアププリケをぬう糸と同じ色を使います。



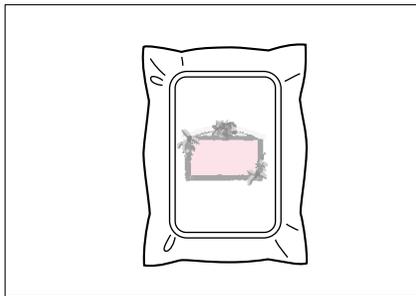
5 切り取ったアププリケピースの裏側にのりまたは、スプレーのりを薄く付け、4の「アププリケの位置」に合わせて貼り付けます。

※ 可溶性の布を使い、アププリケピースを土台布に貼り付ける場合は、土台布を刺しゅう枠から外さずにアイロンをかけてください。



6 アププリケピースを貼り付けたら、スタート／ストップスイッチを押します。アププリケができます。

※ 模様によっては、「アププリケ」が表示されないものがあります。「アププリケ」ぬいは色糸で表示されるので、その色糸でぬいます。



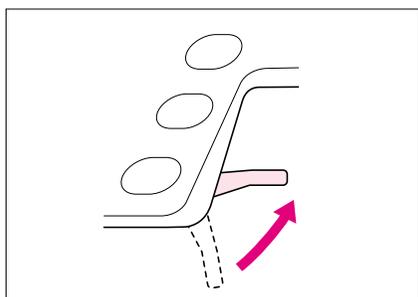
7 色替の順番に従って刺しゅう糸を交換しながら、残りの刺しゅうをぬいます。

※ きれいに仕上げるために、糸替えごとに余分な糸は切り取ってください。

下糸が少なくなったら



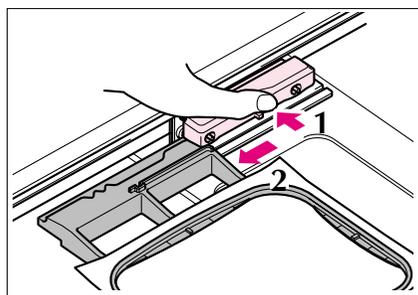
ぬっている途中で下糸が少なくなると、左のようなメッセージが表示されます。このとき、残りがわずかでも完成するようでしたら、そのままぬいつづけても構いません。まだ残っている場合は、ぬっている途中で下糸を交換する必要があります。メッセージが表示されたら以下の手順で下糸を交換してください。



1 スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。

2 糸切りスイッチを押して糸を切ります。

3 押えレバーを上げます。

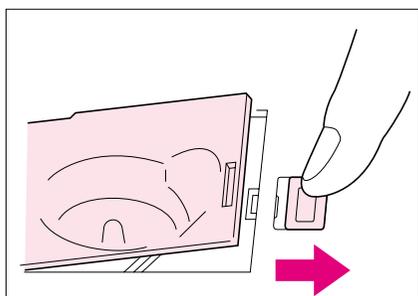


4 刺しゅう枠を外します。

このとき、張られている布地に無理な力かけるとたるんでしまうので注意してください。

注意

刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際には、キャリアッジや刺しゅう押えに当たらないように注意してください。模様くすれの原因となります。



5 下糸を巻いたボビンと交換し、刺しゅう枠をセットします。



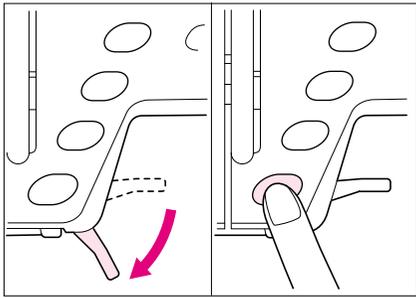
6  を押します。



7 ,  または  を押して、糸が切れたところより2~3針多めにぬい目を戻します。

※ 糸が切れたところまで戻らないときは、 を押してその色のぬい始め位置まで戻ってから、,  または  を押して、糸が切れたところより少し手前まで進めます。

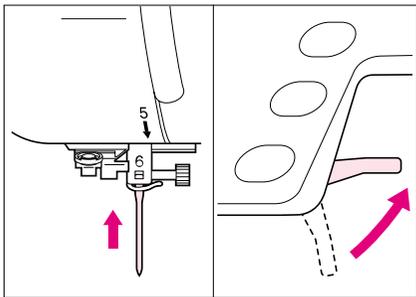
- ① 押すと、ぬわずに表示の数だけぬい目が戻ります
- ② 押すと、ぬわずに表示の数だけぬい目が進みます。
- ③ 押すと、ぬわずに次の色(または文字)のぬい始め位置に進みます。
- ④ 押すと、ぬわずにそのときぬっている色(または文字)のぬい始めに戻ります。
- ⑤ 押すと、1色目のぬい始めの位置に戻ります。
- ⑥ 押すと、元の画面に戻ります。



- 8** 押えレバーを下げて、スタート/ストップスイッチを押します。

途中で糸が切れたときは

- 1** スタート/ストップスイッチを押してミシンを止めます。
- 2** 下糸が切れた場合は、P.5-39を参照して下糸をセットし直します。



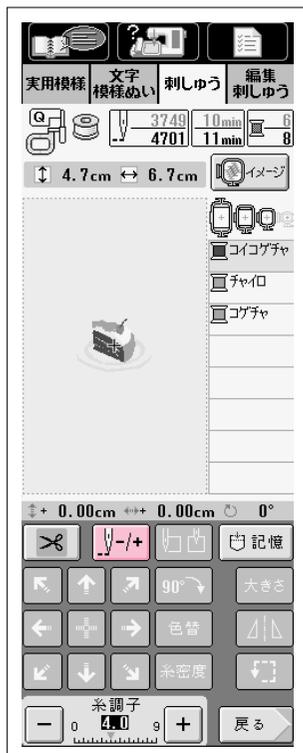
- 3** 上糸が切れた場合は、針上下スイッチを押して針を上げ、押えレバーを上げてから、上糸をかけ直します。

注意

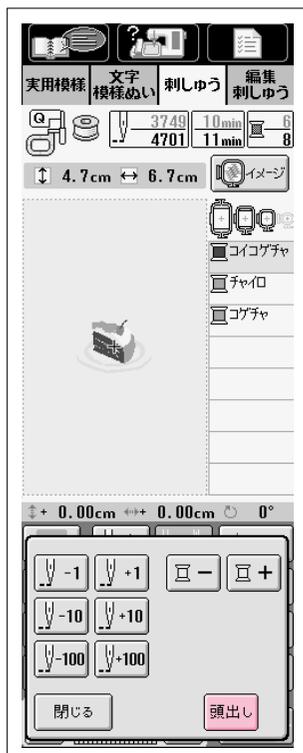
刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際には、キャリッジや刺しゅう押えに当たらないように注意してください。模様くずれの原因となります。

- 4** P.5-40、6からの手順でぬい目を戻して、続きをぬいます。

始めからぬい直したいときは



1  を押します。



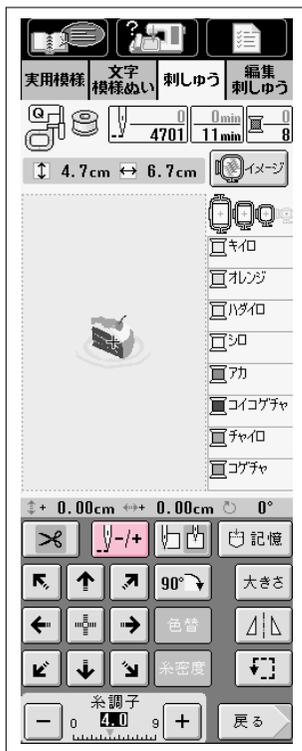
2  を押します。刺しゅう枠が動いて、ぬい始めの位置に針が戻ります。

3 押えレバーを下げて、スタート/ストップスイッチを押します。

一旦電源スイッチを切った後で続きをぬいたいときは

例) 2色目の途中から、続きをぬいたいときは

1 模様を選んで、 を押します。



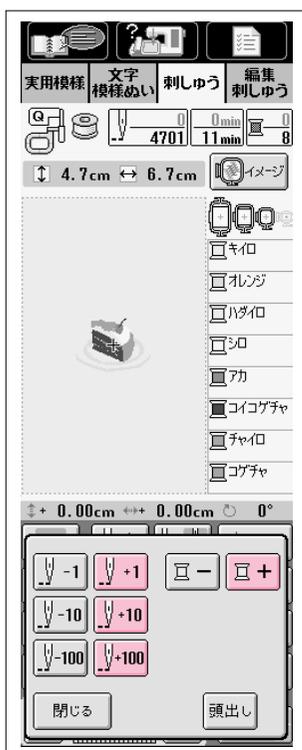
2  を押して、2色目の頭出しをします。

3 ,  または  を押して、続きのぬい目より少し手前までぬい目を進めます。

4 押えレバーを下げ、スタート/ストップスイッチを押します。

※ ぬう位置を移動してぬった模様の続きをぬう場合は、レイアウト画面で同じ位置に模様を移動させてから、上記の操作を行ってください。電源を切る前に移動距離を覚えておくと、同じ位置に合わせることができます。

※  でぬい終わった針数を覚えておくと、, ,  または  で覚えていた針数に合わせて、続きをぬうことができます。



刺しゅうの調整

糸調子を整えるには

刺しゅうの際の糸調子は、上糸が布地の裏側に少し見えるくらいに調整されています。布地や糸の種類によっては、糸調子を調節してください。

正しい糸調子

布地の裏側に、少し上糸が見えるくらいに調節します。

糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり、布地にしわがよったり、糸が切れたりします。



注意

糸調子を極端に弱く設定すると、途中でミシンが停止する場合がありますが、故障ではありません。糸調子を少し強めにして、ぬい直してください。

※ 糸調子を変えた場合でも電源スイッチを切ったり、模様選択をし直したりすると糸調子は標準の設定値に戻ります。

※ 記憶した模様を呼び出した場合は、糸調子も記憶したときの糸調子になります。



■ 上糸が強すぎる時

表側に下糸が出ます。

糸調子の **-** を押します。

押すごとに表示の数値が小さくなり、上糸が弱くなります。



■ 上糸が弱すぎる時

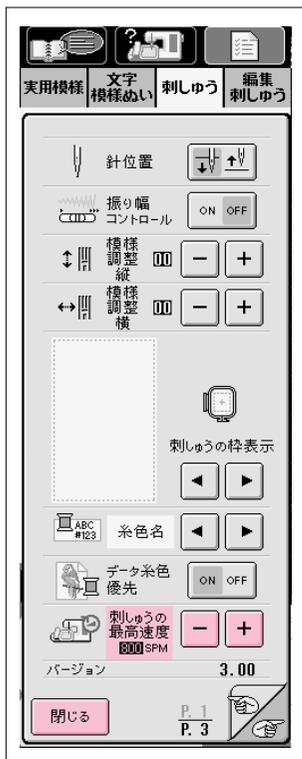
上糸がたるみます。表側の刺しゅう糸がたるんで、糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループができたりします。

+ を押して上糸を強くします。

押すごとに表示の数値が大きくなり、上糸が強くなります。



刺しゅうの速度を変えるには



1  を押します。

2  の   を押します。刺しゅうの最高速度を3段階に調節することができます。

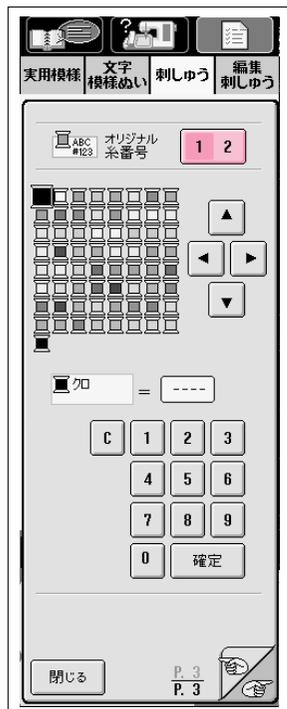
※ SPMは1分間あたりの針数を示します。

3 選び終わったら、 を押します。

オリジナル糸番号

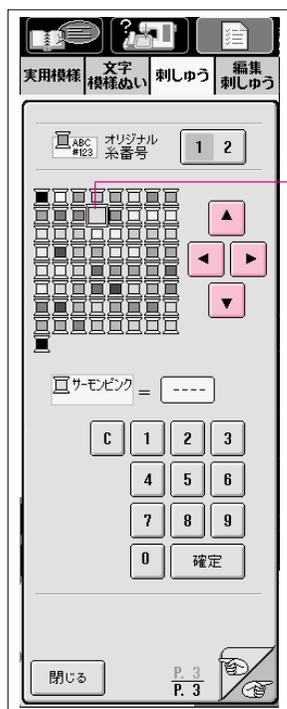
刺しゅうの糸色表示を、自分の持っている糸メーカーの糸番号など色系に4桁のお好みの番号を付けて、その番号で表示することができます。オリジナル糸番号は2セット設定できます。

■ オリジナル糸番号の入力のしかた



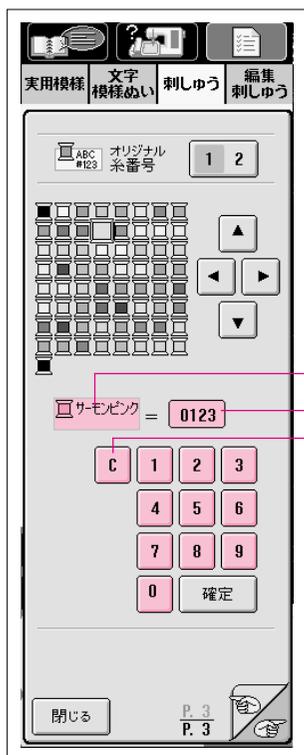
1  を押し、 を2回押して、3ページ目の画面にします。

2  オリジナル糸番号 の  を押して、入力する「オリジナル糸番号1」または「オリジナル糸番号2」を選びます。



3     を押して、色パレットの中から色を選びます。

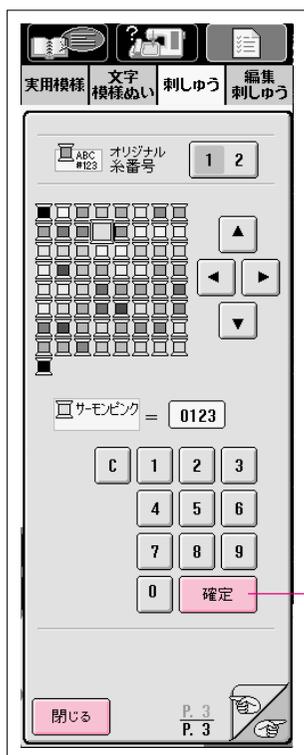
① 大きく表示されている糸こまの色が選ばれている色です。



4 **1 2 3 4 5 6 7 8 9 0** を押して、お好みの4桁の番号を入力します。

まちがえて入力してしまったときは、**C** を押します。入力した数字が取り消されるので、入力し直します。

- ① 選んだ色の糸色名が表示されます。
- ② 入力した数字が表示されます。
- ③ 押すと、入力した数字が取り消されます。



5 **確定** を押します。

※ **確定** を押さずに次の糸色を選ぶと、その番号は設定されません。

- ① 押すと、入力した数字が設定されます。

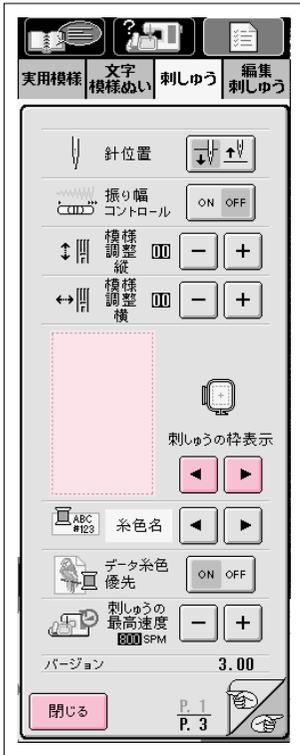
6 手順3から5を繰り返し、全ての糸色に番号を入力します。

確定 を押して設定してしまった番号を変更したときも、同様にもう1度入力し直します。

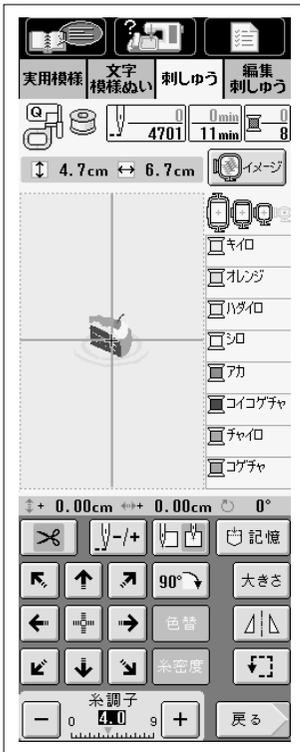
7 入力が終わったら、**閉じる** を押します。

※ オリジナル糸番号が入力されていない糸色は、糸色表示では---で表示されます。

刺しゅうの枠表示を変えるには

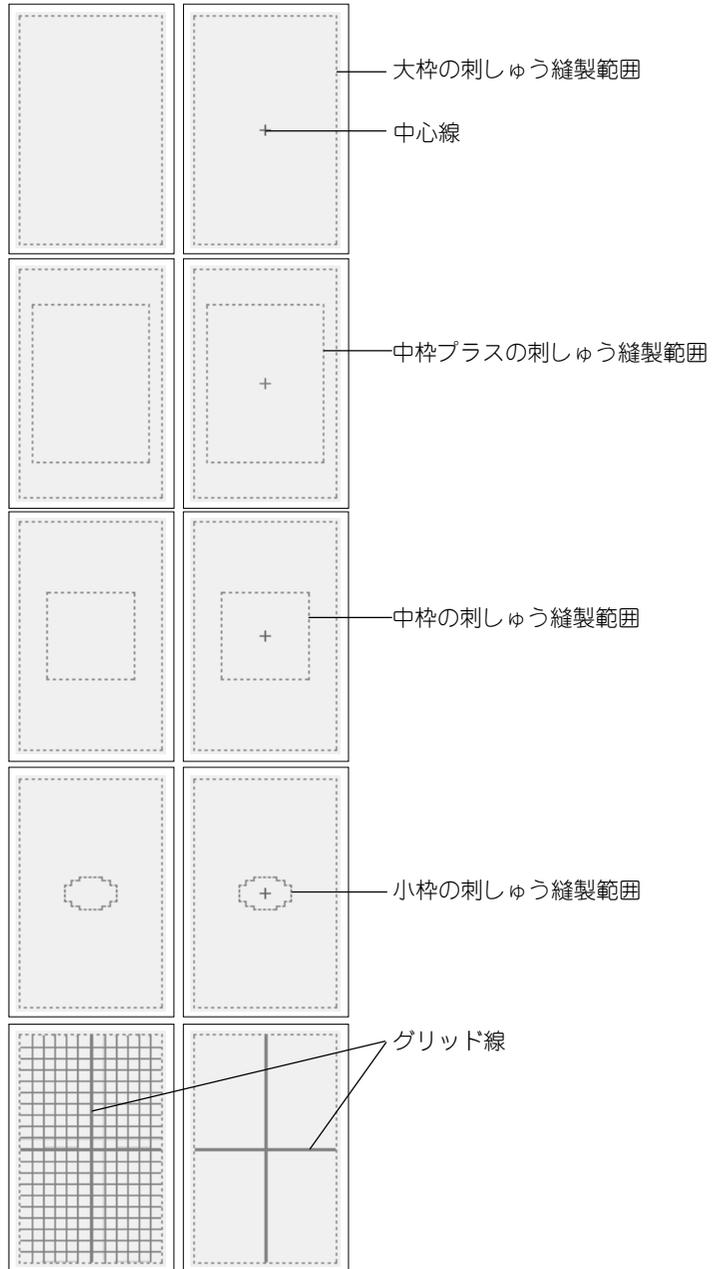


(例)



1 を押します。

2 の を押します。刺しゅうの枠表示を次の10パターンから選ぶことができます。



3 選び終わったら、 を押します。

模様の編集

模様の編集キーを使って、模様の変えたり、模様を回転させたりすることができます。



模様編集キー

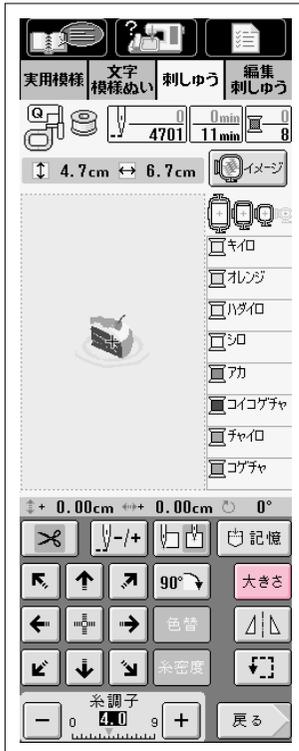
注意

グレーで白抜きに表示されているキーは、操作できません。

■ キーのはたらき

画面表示	名称	説明	参照ページ
	自動糸切りキー	刺しゅうでは、あらかじめ自動糸切りが設定されています。ぬい終わると、自動的に止めぬいをして糸を切ります。	2-32
	ぬい目戻る／進むキー	ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。ぬっている途中で糸が切れたときや、初めからぬい直したい場合に使います。	5-40
	ぬい始めキー	ぬう前の針位置を模様の左下にしたり、中心にしたりします。模様の位置合わせをするときに使います。	5-61
	記憶キー	模様を記憶させることができます。	5-55
	矢印キー (センターキー)	押すと、矢印の方向に模様のぬう位置を移動することができます。(中心キーを押すと、ぬう位置が刺しゅう範囲の中心に戻ります。)	5-30
	回転キー	押すと、模様を回転させることができます。押すごとに右に90度ずつ模様が回転します。	5-52
	色替キー	押すと、文字を1文字ずつ色替えをすることができます。	5-54
	糸密度キー	押すと、文字と枠模様の密度を変えることができます。	5-53
	大きさキー	押すと、模様の変えることができます。	5-51
	左右反転キー	押すと、模様を左右に反転することができます。	5-52
	ためしキー	押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確認することができます。	5-31
	糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。通常は自動的に標準の糸調子に設定されています。	5-44
	戻るキー	押すと、模様の種類を選択する画面に戻ります。	—

模様の変え方を調べるには



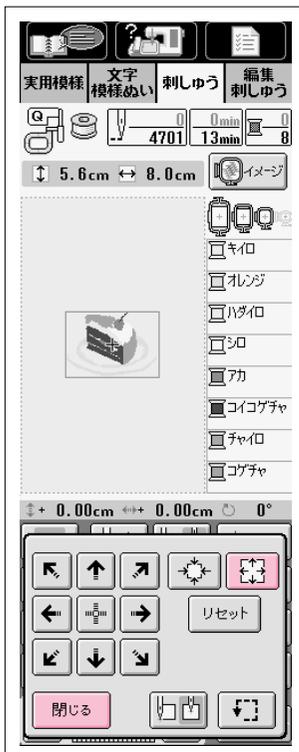
1 大きさ を押します。

2 左の画面が表示されます。

小さくしたい場合は、 を押します。

大きくしたい場合は、 を押します。

押すごとに大きさが変わります。



3 大きさを変更し終わったら、 を押します。



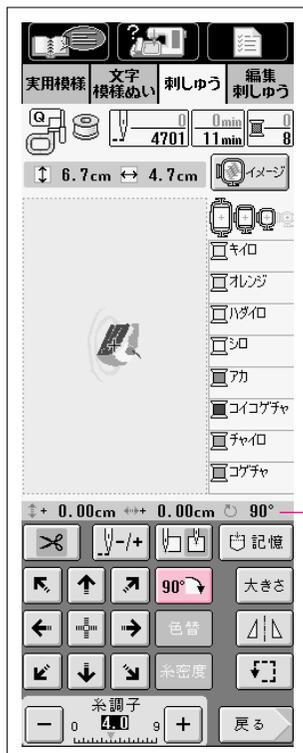
- ※ 文字や模様によって、拡大できる大きさが異なります。
- ※ 文字や模様によっては90度回転させると、さらに拡大できます。
- ※ 元の大きさに戻したい場合は、 を押します。

⚠ 注意



模様の変え方を調べるには、使用できる枠の表示を確認してご使用ください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

模様を回転させるには



 を押すと、押すごとに90度ずつ右に回転します。



0°



90°

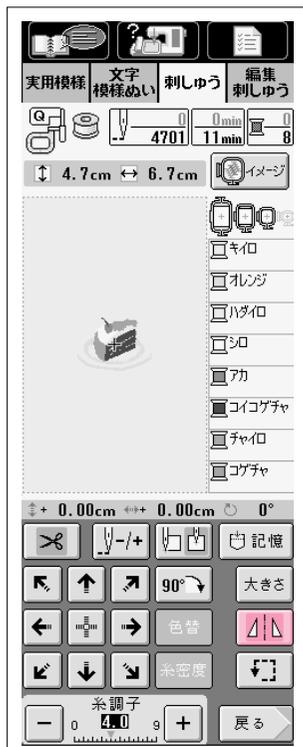
⚠ 注意



模様を回転させたときは、使用できる枠の表示を確認してご使用ください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

- ① ① 回転角度を示します。

模様を左右に反転させるには

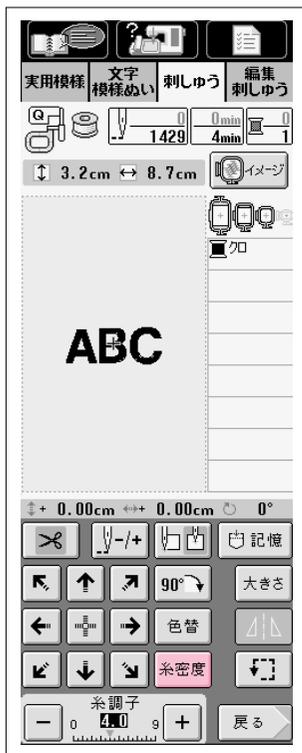


 を押して、 にします。模様が左右反転します。

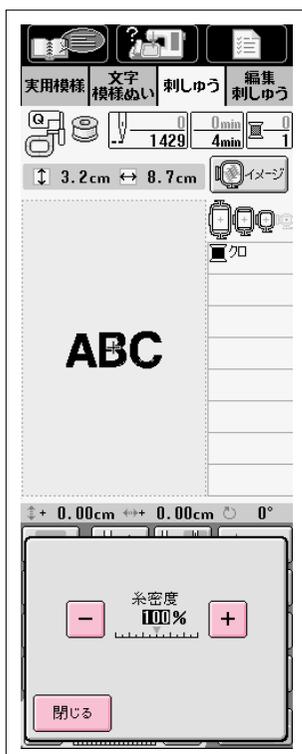
もう1度  を押すと、元に戻ります。



糸密度を変えるには(文字・枠模様の一部のみ)



1 **糸密度** を押します。



2 左の画面が表示されます。

密度をあくくしたい場合は、**-** を押します。

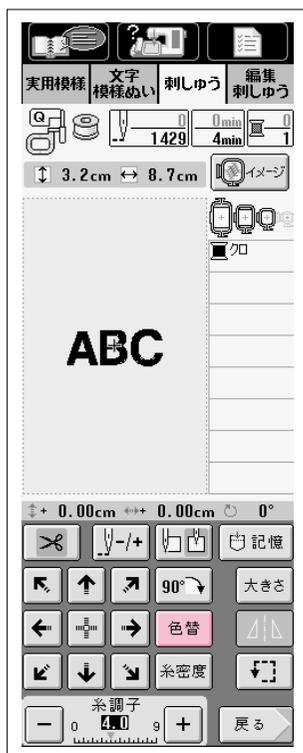
密度を細かくしたい場合は、**+** を押します。

押すごとに密度が変わります。

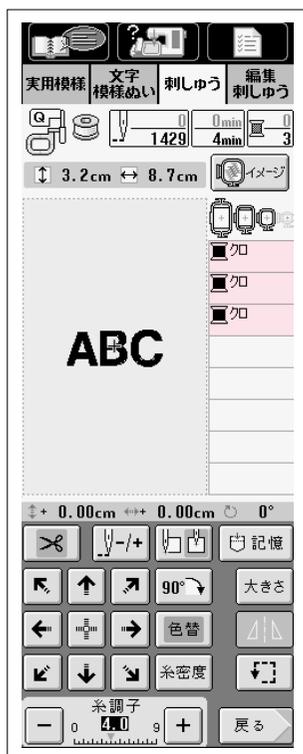


3 **閉じる** を押すと、元の画面に戻ります。

1文字ずつ色を変えてぬうには



1 **色替** を押して、 **色替** にします。

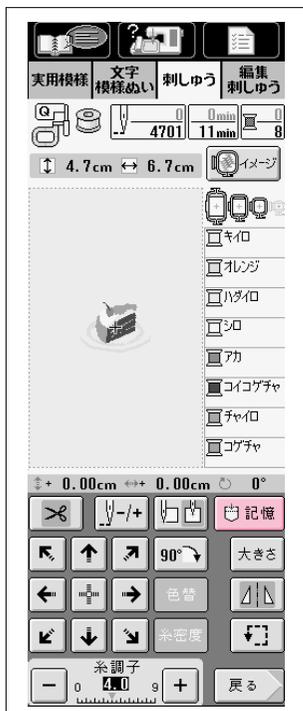


2 1文字ぬうごとにミシンが止まるので、1文字ごとに色替ができます。糸色表示は自動的にすべて「クロ」になります。もう1度 **色替** を押すと、元に戻ります。

刺しゅう模様の記憶

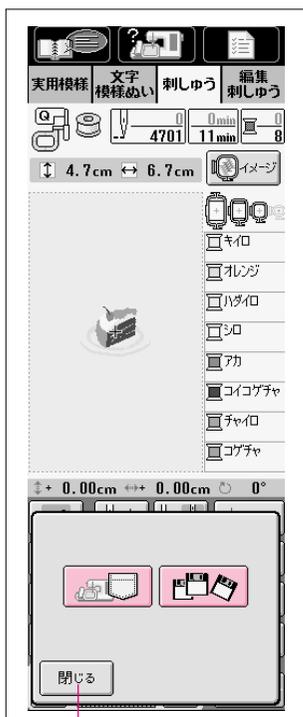
刺しゅう模様を記憶するには

自分の名前など、よく使う文字の組み合わせや、大きさや傾き、位置を変えた模様などを記憶させておくことができます。



■ 記憶のしかた

1  を押します。



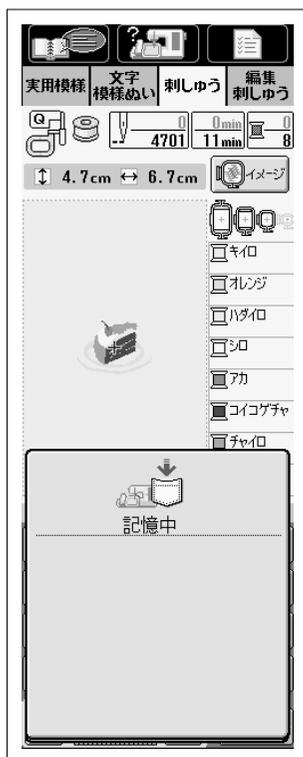
2 どこに記憶するか、記憶する媒体を選びます。

ミシン本体に記憶する場合は、 を押します。

フロッピーディスクに記憶する場合は、 を押します。

- ※ フロッピーディスクは2HDタイプのもので、Windowsにフォーマットされているものをご使用ください。
- ※ フロッピーディスクのライトプロテクトは、プロテクトを解除してご使用ください。
- ※ フロッピーディスクに記憶すると、刺しゅうデータ用のファイル形式で保存されます。ファイル名の次に拡張子“phc”が付きます。
- ※ 模様のデータの記憶後は誤って模様を消去しないよう、フロッピーディスクのライトプロテクトをおすすめします。

① 押すと、元の画面に戻ります。



3 左の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

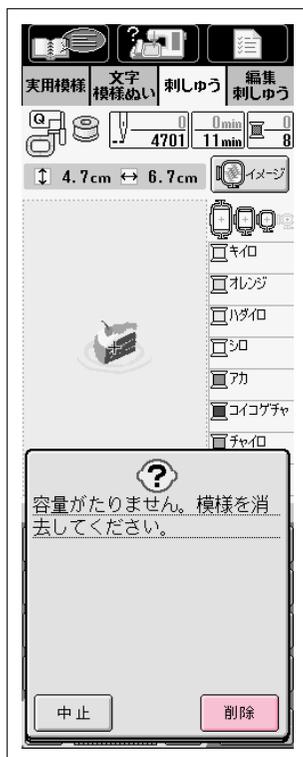
※ 記憶をするのに約10秒間かかります。

注意

“記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。また、フロッピーディスクに記憶中は、フロッピーディスクを抜かないでください。フロッピーディスクが読めなくなる危険があります。

※ 記憶した模様を呼び出したいときは、P.5-57を参照してください。

■ 記憶できないときは

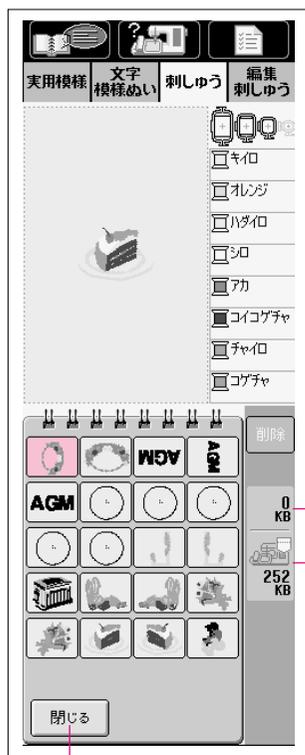


左の画面が表示されたときは、記憶することができません。すでに模様がたくさん記憶されており、記憶したい模様のデータ容量が記憶できる容量を越えています。記憶されている模様を消去すると、記憶することができます。

※ 記憶をやめる場合は、**中止** を押します。

記憶されている模様の消去のしかた

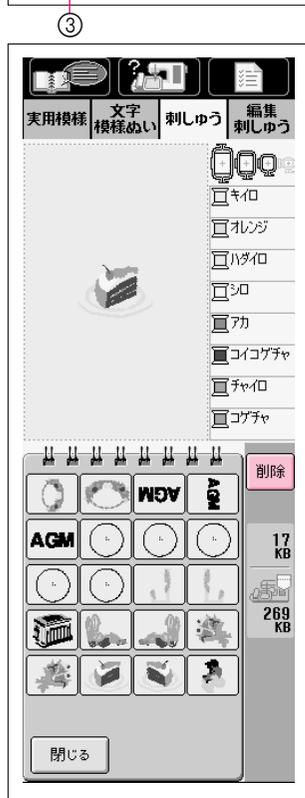
1 **削除** を押します。



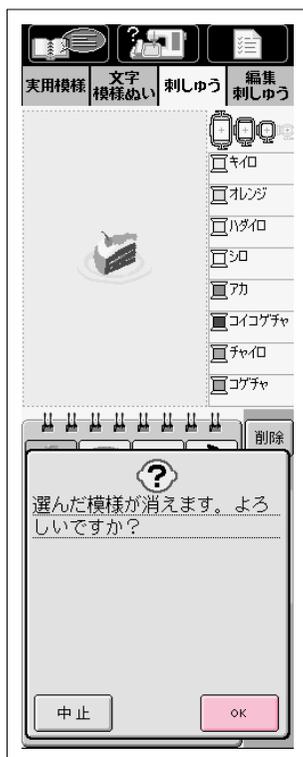
2 記憶されている模様の一覧が表示されます。

- ① 消去する模様を選ぶと、その模様データの容量が表示されます。
- ② 記憶をするために必要なデータ容量が表示されます。
- ③ 押すと、記憶をやめて縫製画面に戻ります。

3 消去する模様を選びます。

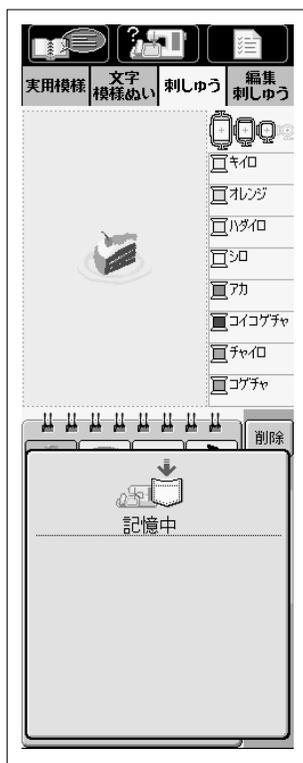


4 削除 を押します。



5 消去する場合は、 を押します。

※ 消去をやめる場合は、 を押します。



6 模様が消去され、不足していたデータ容量が確保されると、自動的に新しい模様が記憶されます。データ容量が足りないときは、もう一度記憶されている模様を消去してください。

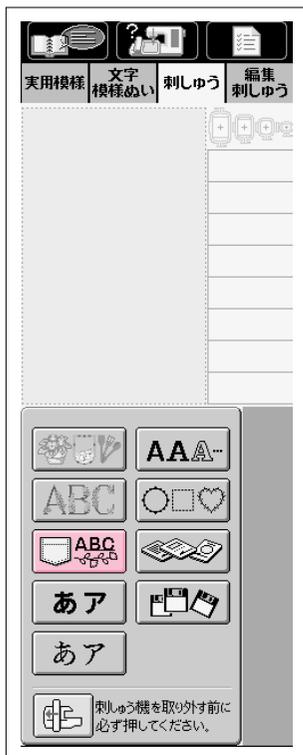
記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

※ 記憶をするのに約10秒間かかります。

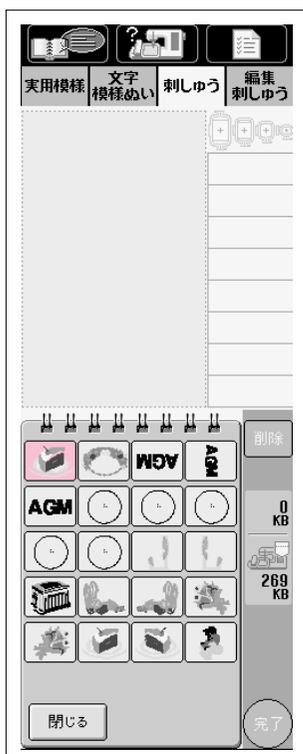
注意

“記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

記憶した模様を呼び出すには

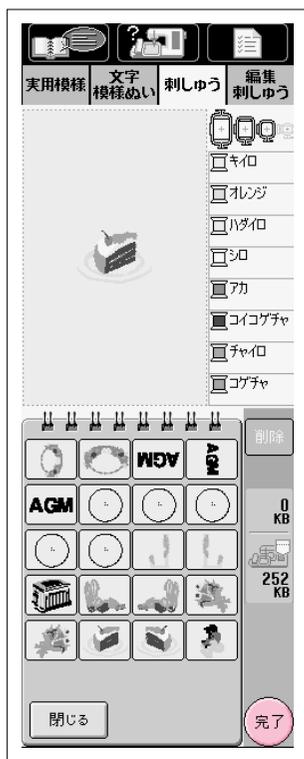


1  を押します。



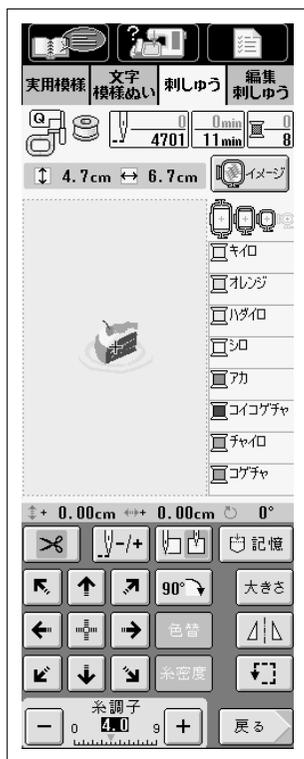
2 記憶されている模様の一覧が表示されます。

3 呼び出す模様を選びます。



4 **完了** を押します。

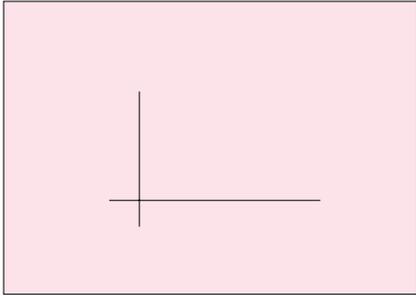
※ 途中でやめたい場合は、 **閉じる** を押すと元の画面に戻ります。



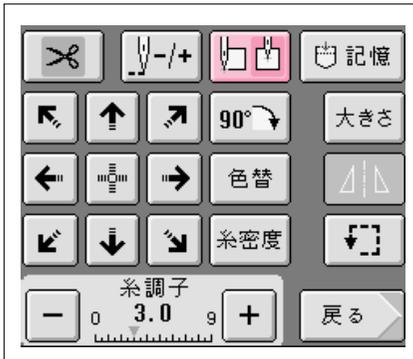
5 模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

応用ぬい

模様の左端に合わせてぬうには

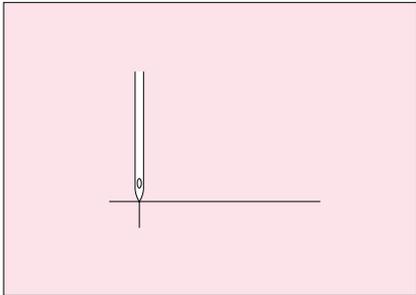


- 1 布地のぬい始めの位置に、図のように印を付けます。



- 2  を押して、 にします。

針位置が模様の左下に移動します。(針位置が模様の左下になるように、刺しゅう枠が動きます。)

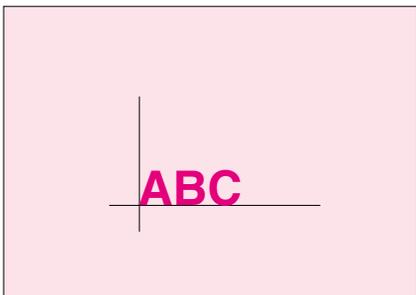


- 3        を使って印と針を合わせて、ぬい始めます。

⚠ 注意



刺しゅう枠が動いている最中は、針を絶対に下げないでください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



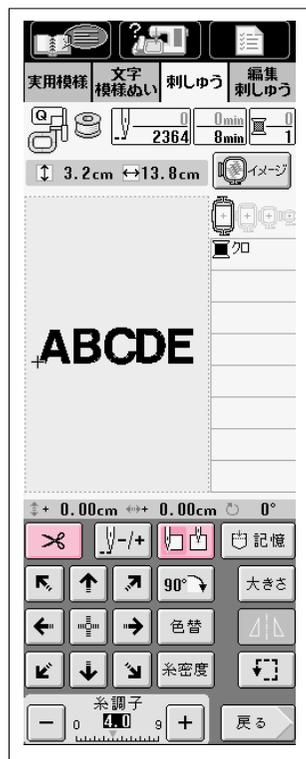
- 4 左の図のように、ぬい上がります。

文字をつなげてぬうには

組み合わせた文字が刺しゅう枠内に入りきらなくて、一度にぬえないときは以下の手順でぬいます。

例) 「ABCDE」と「FGHI」をつなげてぬう

A B C D E F G H I



1 「ABCDE」を選びます。

2  を押して  にします。針位置が模様の左下に移動します。

3  を押して、自動糸切りを解除します。



4 スタート/ストップスイッチを押して、ぬいます。

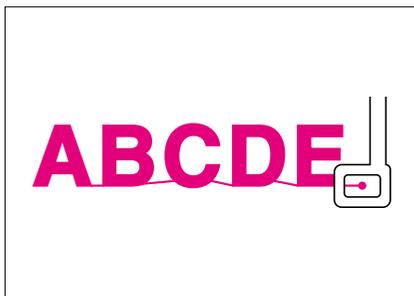
5 ぬい終わったら、ぬい終わりの糸を長めにして糸を切り、「FGHI」がぬえる位置に布地を張り替えます。

① ぬい終わりの位置



6 「FGHI」を選びます。

7  を押して  にします。針位置が模様の左下に移動します。



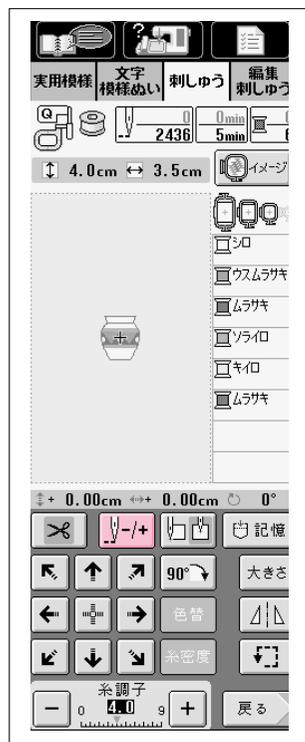
8        を押して、「ABCDE」のぬい終わりの位置に針を合わせます。



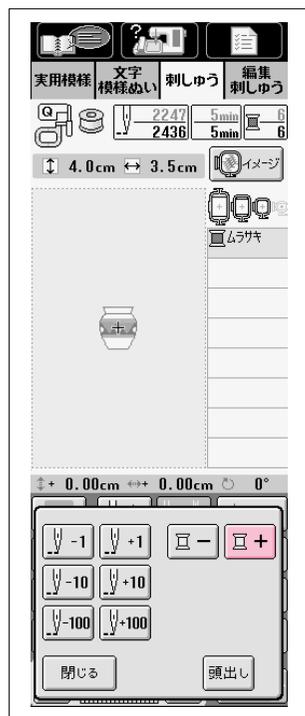
9 スタート/ストップスイッチを押して、ぬいます。

アウトライン刺しゅうをするには

アウトラインだけを刺しゅうすると、いつもと違った刺しゅうが楽しむことができます。

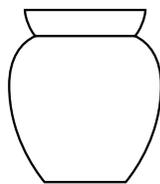


1  を押します。



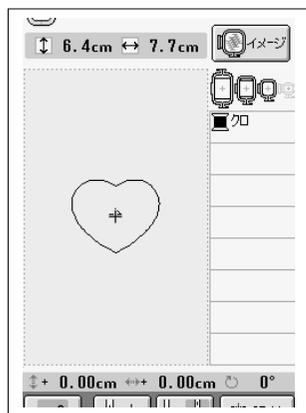
2  を押して、アウトラインまで色を進めます。

3 押えレバーを下げて、スタート/ストップスイッチを押します。

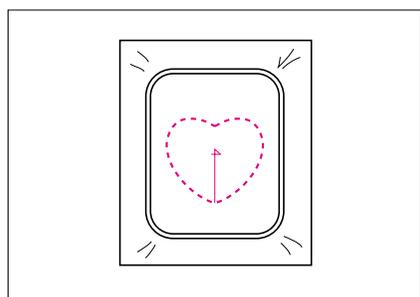
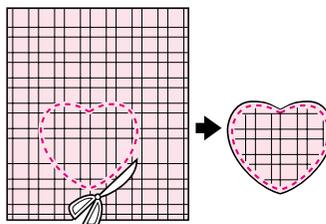


枠模様を使ってアップリケをするには(1)

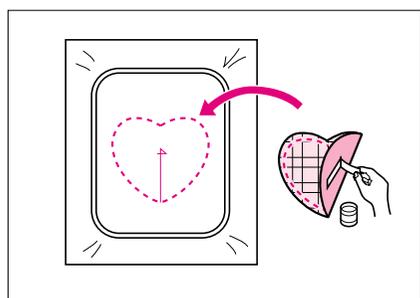
同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使って、アップリケをします。



- 1 直線ぬいの枠模様を選び、アップリケ布に刺しゅうをします。ぬい目の外側をていねいに切り取ります。



- 2 土台布にも同じように刺しゅうをします。

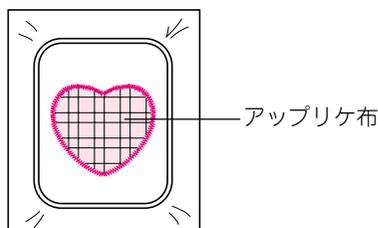
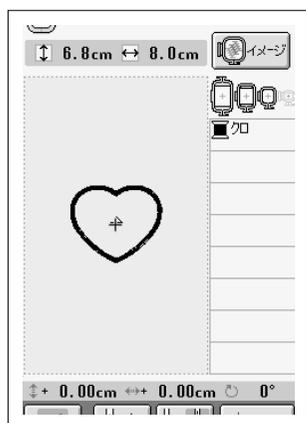


- 3 1で切り取ったアップリケ布の裏側に薄くのりまたは、布用スプレーのりを付け、土台布のぬい目にあわせて貼り付けます。

- 4 同じ形のサテンぬいの枠模様を選び、3に刺しゅうをするとアップリケができます。

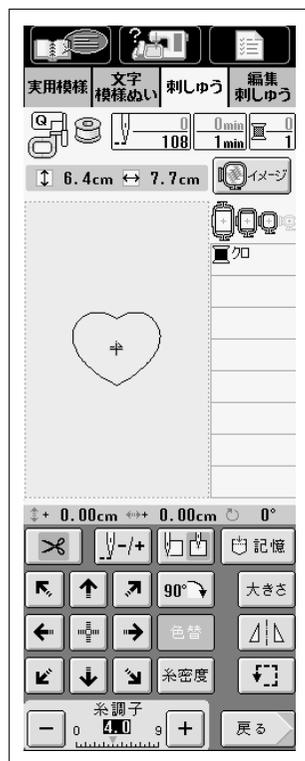
注意

直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬう位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。

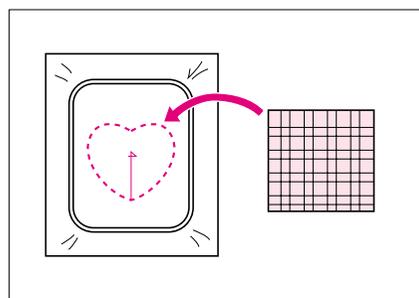
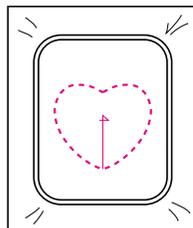


枠模様を使ってアップリケするには(2)

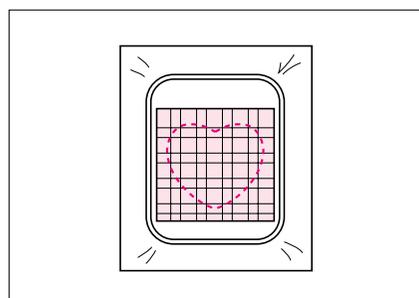
もう1つのアップリケの方法です。この方法では布地は張り替える必要がありません。同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアップリケをします。



- 1 直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうをします。

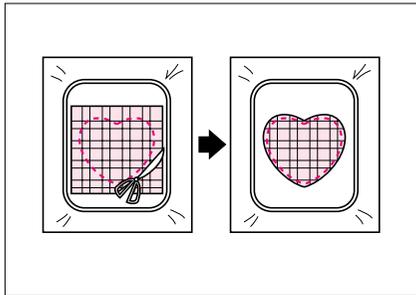


- 2 1の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。このとき、ぬい目がアップリケ布からはみでないようにしてください。



- 3 アップリケ布の上からもう1度、同じ枠模様を刺しゅうします。

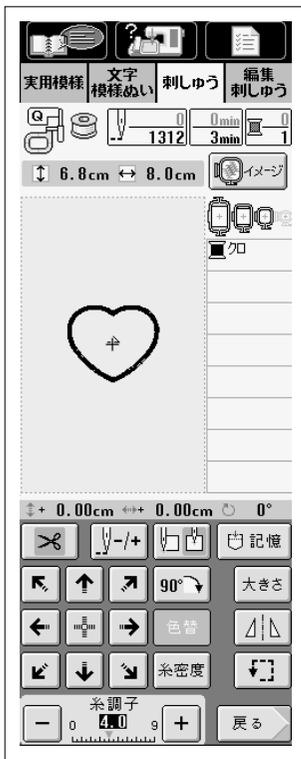
※ 中心の十字をぬう前に、ミシンを止めてください。



- 4** 刺しゅう機から刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。

注意

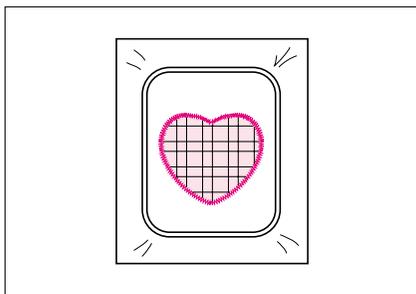
布地は刺しゅう枠にはめたまま、切ってください。また、張られている布地に無理な力をかけると、布地がたるんでしまうので注意してください。



- 5** 同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。

注意

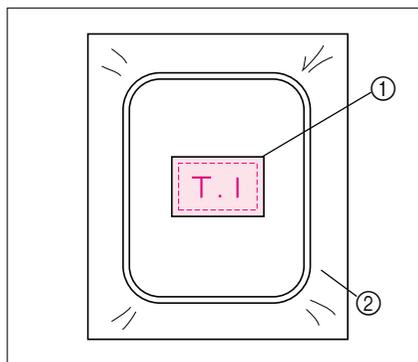
直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬう位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。



- 6** 4の刺しゅう枠をセットし、刺しゅうをするとアップリケができます。

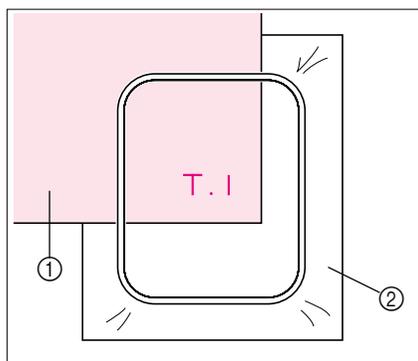
小さい布や布の隅にぬうには

刺しゅう用の芯を補助にしてぬいます。刺しゅうした後、芯はていねいに取り除きます。芯は、プラザー専用の接着芯をお勧めします。



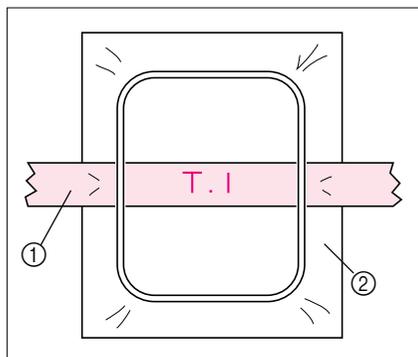
小さい布地の場合

- ① 布地
布用スプレーのりを使って、接着芯に貼ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。
- ② 接着芯



布地の隅にぬう場合

- ① 布地
布用スプレーのりを使って接着芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。
- ② 接着芯



リボンテープのような細いものにぬう場合

- ① リボン
布用スプレーのりを使って接着芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、テープの両端を接着芯といっしょに刺しゅう枠に張ります。
- ② 接着芯

第6章 編集刺しゅう

編集刺しゅうでできること

編集刺しゅうでは、模様を拡大・縮小させたり、1度単位で回転させたり、文字の間隔や配列を変えたりすることができます。また、縦26cm×横16cmの縫製範囲内で、文字や模様を組み合わせ、自由にレイアウトさせることができます。

編集刺しゅうでいろいろな模様や文字を組み合わせ、オリジナルのワッペンや刺しゅうをお楽しみください。



組み合わせ

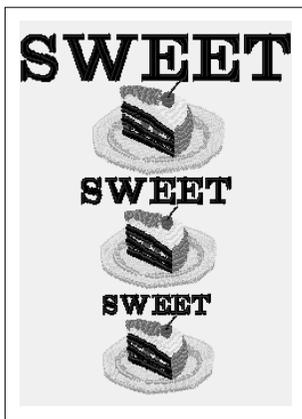
ワンポイントと枠模様、内蔵の文字と別売の刺しゅうカードの模様など、いろいろな模様の組み合わせが簡単にできます。

移動

縦26cm×横16cmの範囲で、液晶画面を見ながら思い通りの位置に模様を移動することができます。

回転

模様や文字を、1度ずつ回転させることができます。



拡大縮小

模様の大きさを、縦横約50段階で拡大縮小することができます。
※ 模様によっては、拡大縮小ができないものがあります。

左右反転

模様を左右に反転することができます。
※ 模様によっては、左右反転ができないものがあります。

文字の間隔変更

文字の間隔を詰めたり、広げたりすることができます。



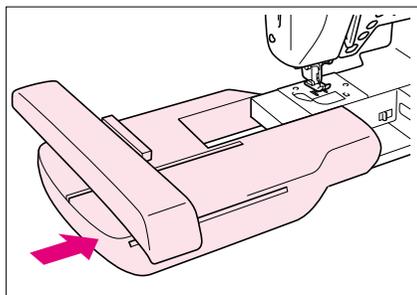
文字の配列変更

文字を曲線状に並べたり、斜めに並べたり、文字の配列を6つのタイプから選ぶことができます。

刺しゅうの糸色変更

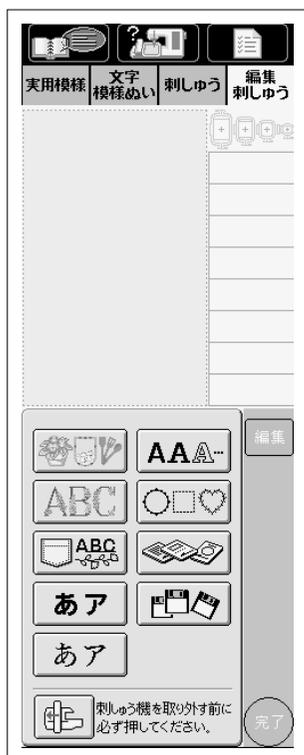
刺しゅうの糸色を、お好みの色に変更することができます。

模様の選び方



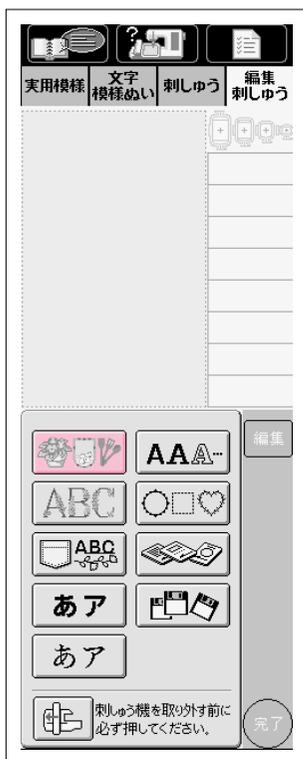
1 刺しゅう機を取り付け、ぬう前の準備をします。
(P.5-3参照)

※ 刺しゅう機が取り付けられていないと、模様を選ぶことができません。

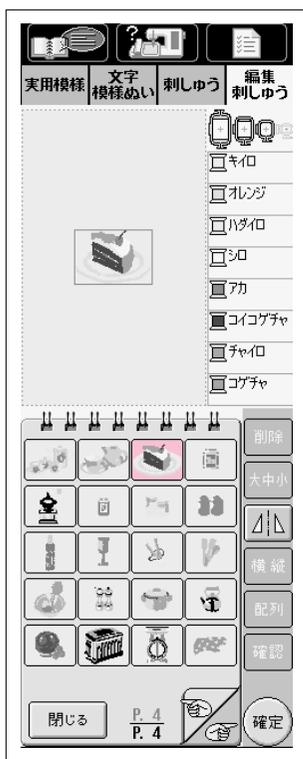


2 **編集 刺しゅう** を押すと、左の画面が表示されます。

画面表示	名前	画面表示	名前
	ワンポイント		アルファベット
	花アルファベット模様		枠模様
	記憶した編集刺しゅう		刺しゅうカード(別売)
	ひらがな/カタカナ/漢字 (ゴシック体)		フロッピーディスク
	ひらがな/カタカナ/漢字 (明朝体)		

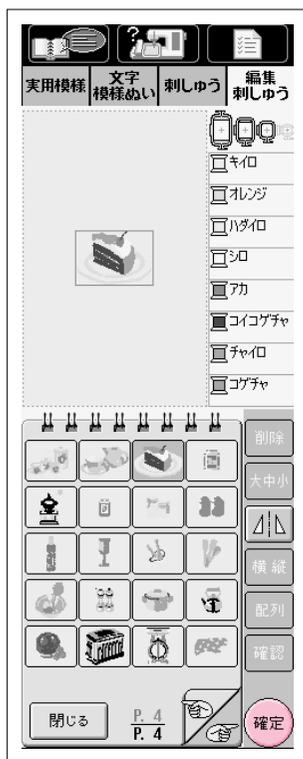


3 模様の種類を選びます。文字の場合は、P.6-5へ進んでください。



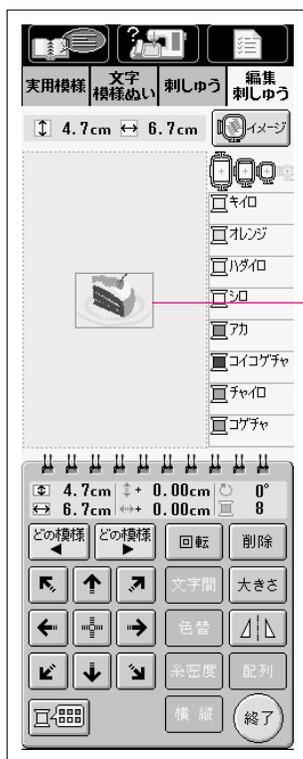
4 お好みの模様を選びます。

※ 模様の選び方は、P.5-8を参照してください。



5 画面上段に選択した模様が表示されます。

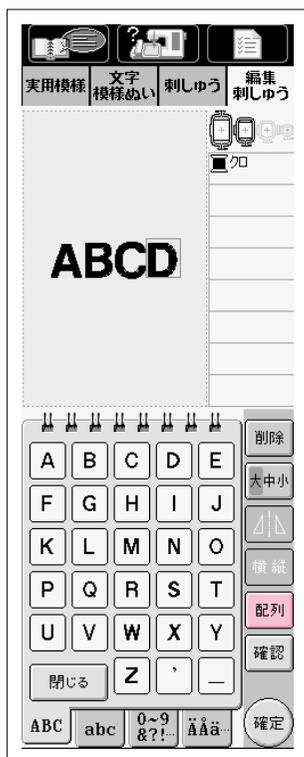
6 選び終わったら、**確定** を押します。



7 編集画面が表示されます。

※ 編集のしかたは、P.6-8に進んでください。

① 編集画面で編集する模様は、赤い枠で囲われます。

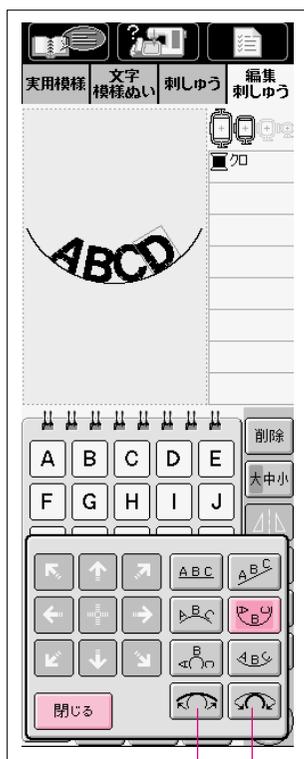


3 文字を選びます。(例、A B C D)

※ 文字の選び方は、P.5-11を参照してください。

※ 文字が小さくて画面表示が見にくいときは、**確認** を押すと模様の確認ができます。

4 **配列** を押すと、文字の配列を選ぶことができます。



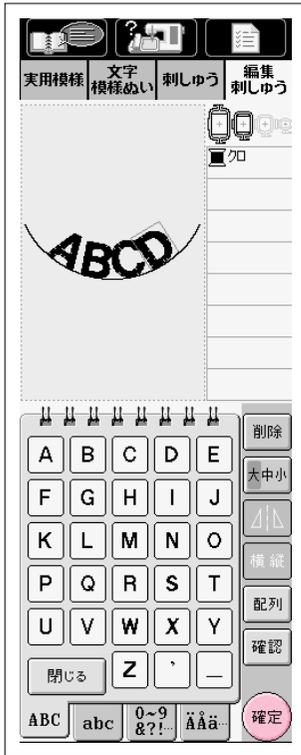
5 配列を選びます。(例)

曲線の配列を選んだ後、 または  を押すと曲線の度合いを変えることができます。

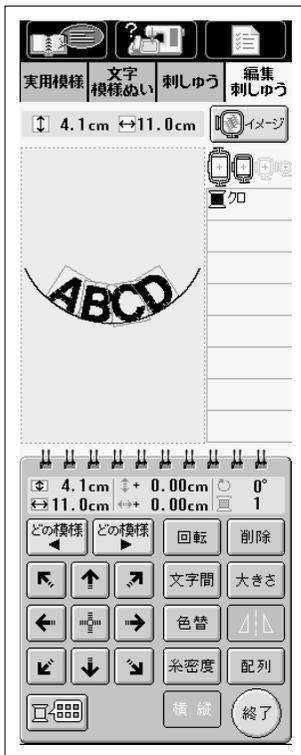
- ① 押すと、押すごとに曲線の度合いが弱く(ゆるく)なります。
- ② 押すと、押すごとに曲線の度合いが強く(急に)なります。

6 **閉じる** を押して、元の画面に戻ります。

① ②



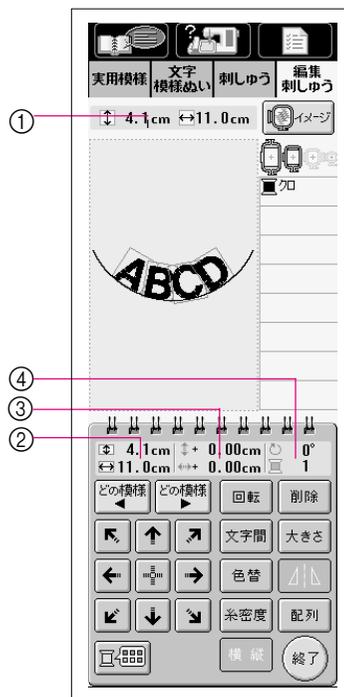
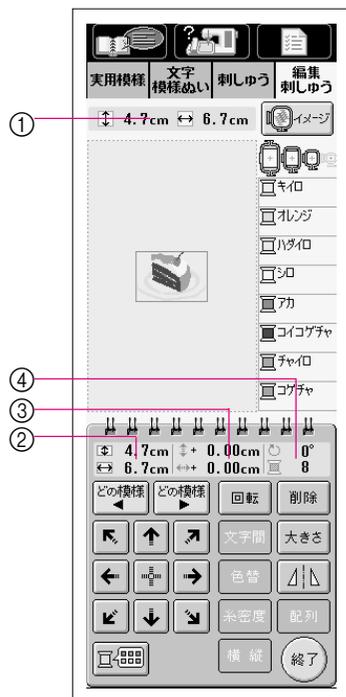
7 選び終わったら、**確定**を押します。



8 編集画面が表示されます。

※ 編集のしかたは、P.6-8に進んでください。

編集のしかた



- ① 全体の模様の高さを示します。
- ② 編集している模様の高さを示します。
- ③ ぬう位置を移動したときの、中心からの移動距離を示します。
- ④ 模様の回転角度と編集している模様の色数を示します。

注意
グレーで白抜きに表示されているキーは、操作できません。

■ キーのはたらき

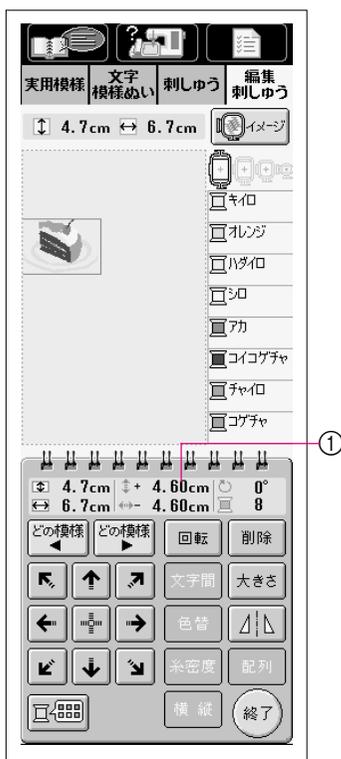
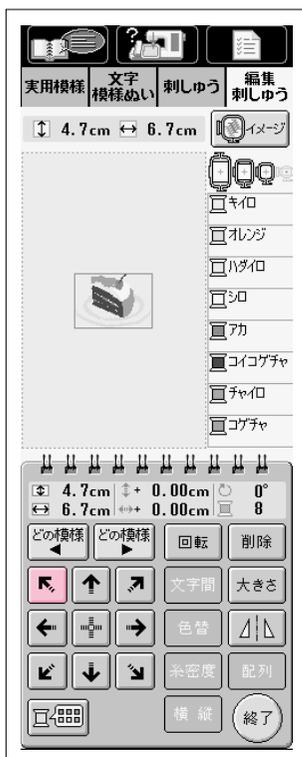
画面表示	名称	説明	参照ページ
	模様選択キー	(複数の模様が選択されている場合に)編集する模様の対象を変えることができます。	6-27
	回転キー	模様を回転させることができます。編集刺しゅうでは、押すごと1度ずつ回転させることができます。	6-10
	削除キー	押すと、編集している模様(赤い枠で囲まれている模様)が削除されます。	6-12
	矢印キー (センターキー)	押すと、矢印の方向に模様のぬう位置を移動することができます。(を押すと、ぬう位置が刺しゅう範囲の中心に戻ります。)	6-9
	文字間隔キー	押すと、文字の間隔を変えることができます。	6-16
	大きさキー	押すと、模様の高さを変えることができます。編集刺しゅうでは模様の高さを拡大・縮小することができます。	6-11
	色替キー	押すと、1文字ずつ色替えをすることができます。	6-17
	左右反転キー	押すと、模様を左右に反転させることができます。	5-52
	糸密度キー	押すと、文字と枠模様の密度を変えることができます。	5-53
	配列キー	押すと、文字の配列を変更することができます。	6-15
	横縦キー	押すと、横書き／縦書きの切り替えができます。	6-18
	配色キー	押すと、表示されている刺しゅうの色を変えることができます。	6-13
	終了キー	押すと、次のステップに進みます。	6-19

ぬう位置を移動させるには

移動させたい方向の矢印キーを押します。

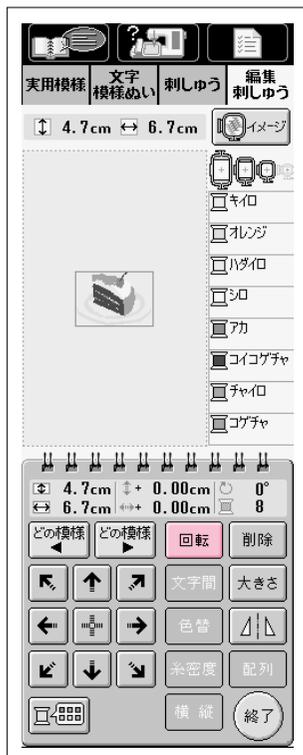


を押すと、中心に戻ります。

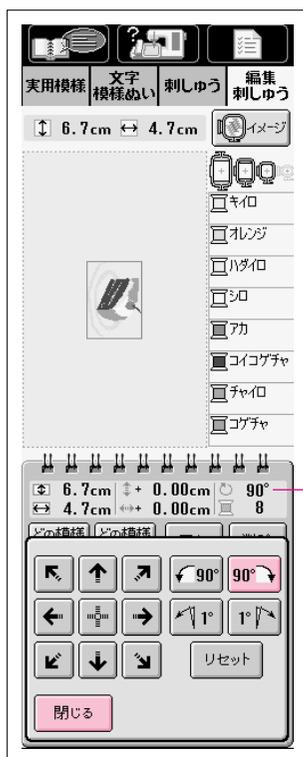


① ぬう位置を移動したとき、中心からの移動距離を示します。

模様を回転させるには



1 **回転** を押します。



2 **←90°** を押すと、押すごとに模様が左に90度ずつ回転します。

90°→ を押すと、押すごとに模様が右に90度ずつ回転します。

←1° を押すと、押すごとに模様が左に1度ずつ回転します。

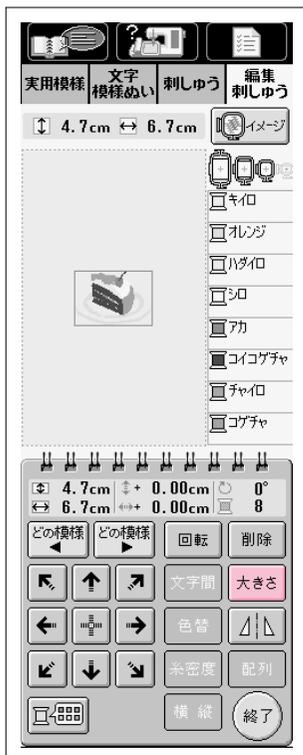
1°→ を押すと、押すごとに模様が右に1度ずつ回転します。

リセット を押すと、0度に戻ります。

① 模様の回転角度を示します。

3 角度を変更し終わったら、**閉じる** を押します。

模様の変えるには



1 大きさ を押します。

2 大きくしたい場合は、 を押します。

小さくしたい場合は、 を押します。

 を押すと、模様が横方向に大きくなります。

 を押すと、模様が横方向に小さくなります。

 を押すと、模様が縦方向に大きくなります。

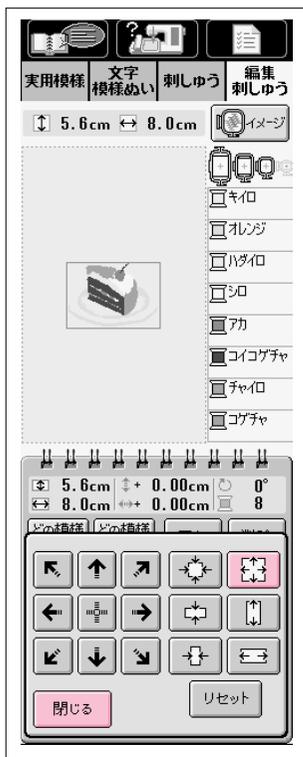
 を押すと、模様が縦方向に小さくなります。

※ 模様を回転させた場合は、縦・横の方向が逆になることがありますのでご注意ください。

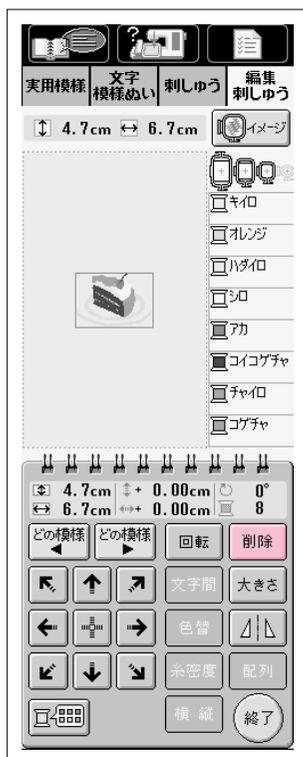
※ 元の大きさに戻したい場合は、 を押します。



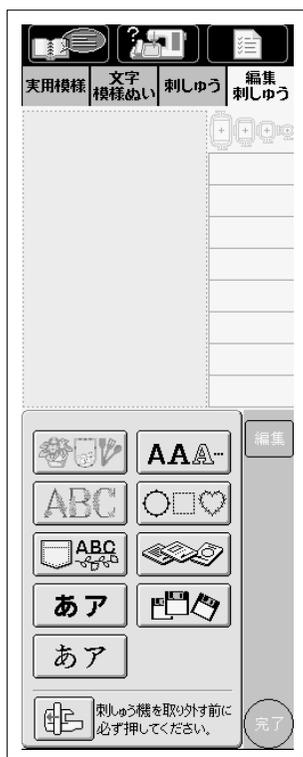
3 大きさを変更し終わったら、 を押します。



編集している模様を削除するには

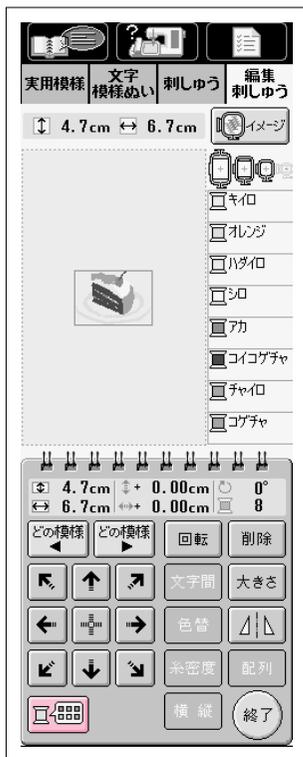


1 **削除** を押します。

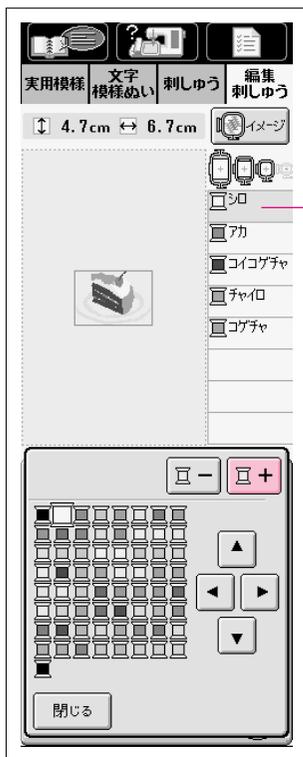


2 模様が、画面から削除されます。

模様の糸色を変えるには



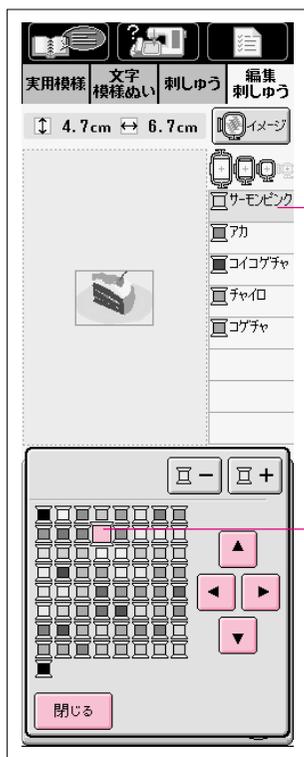
1  を押します。



2 61色の色パレットが表示されます。

3   を押して、色替表示の1番上に変えたい色を表示させます。

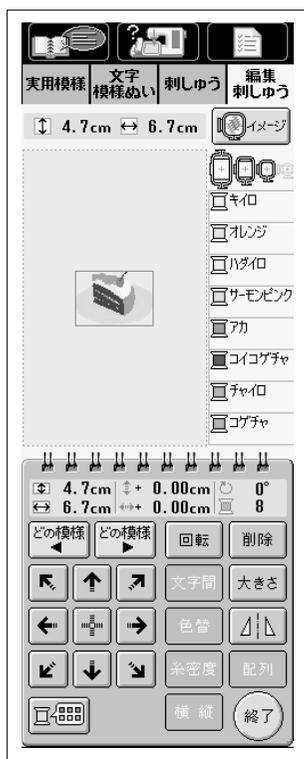
① 1番上に表示される糸色が変更されます。



4 ▲ ◀ ▶ ▼ を押して、色パレットの中から新しい色を選びます。

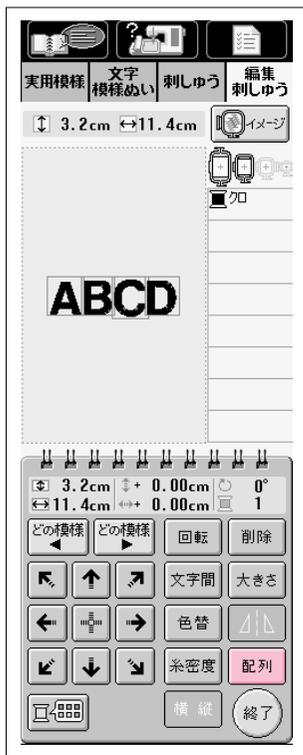
- ① 選んだ色の表示になります。
- ② 大きく表示されている糸こまの色が選ばれている色です。

5 色を変更し終わったら、 を押します。

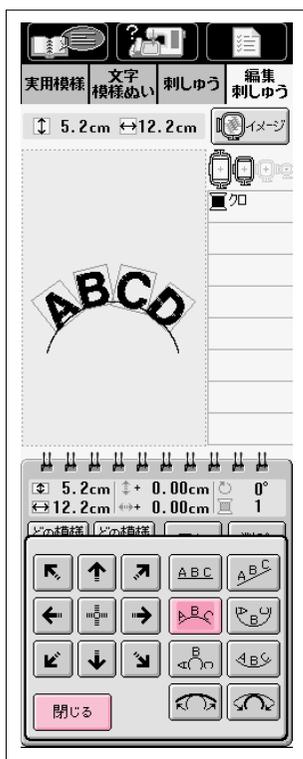


6 変更した色が表示されます。

文字の配列を変更するには



1 **配列** を押します。

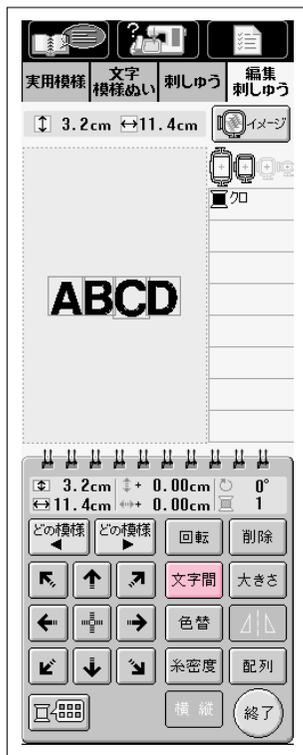


2 お好みの配列を選びます。

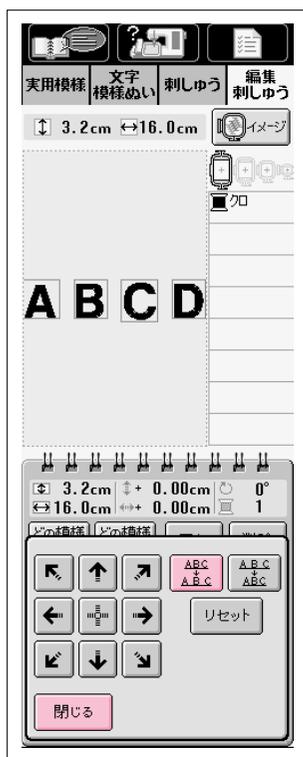
※ 配列の選び方は、P.6-6を参照してください。

3 配列を変更し終わったら、**閉じる** を押します。

文字の間隔を変更するには



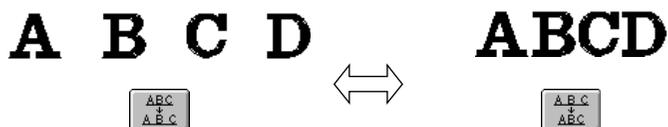
1 **文字間** を押します。



2 **ABC**
A B C を押すと、押すごとに文字の間隔が広がります。

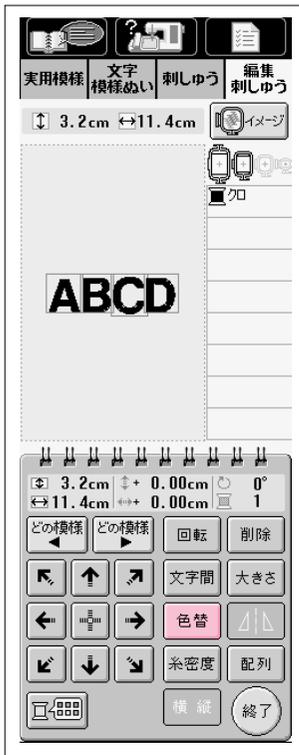
A B C
A B C を押すと、押すごとに文字の間隔がせまくなります。

※ 元の間隔に戻したい場合は、**リセット** を押します。

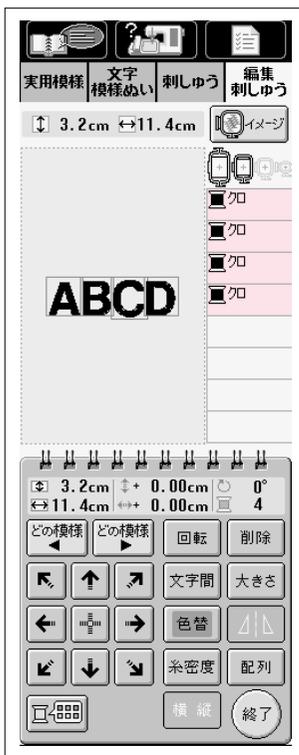


3 文字の間隔を変更し終わったら、**閉じる** を押します。

1文字ずつ色を変えてめうには



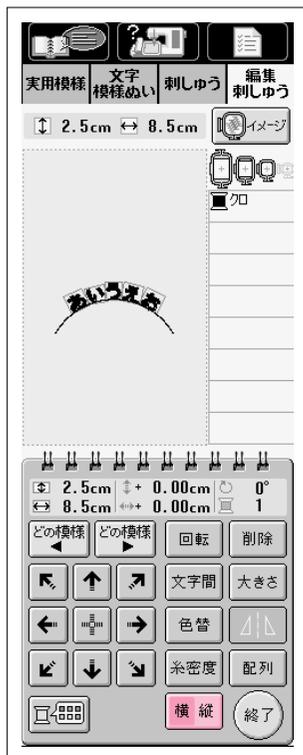
1 **色替** を押します。



2 1文字ごとに色替えができます。糸色表示は自動的にすべて「クロ」になります。

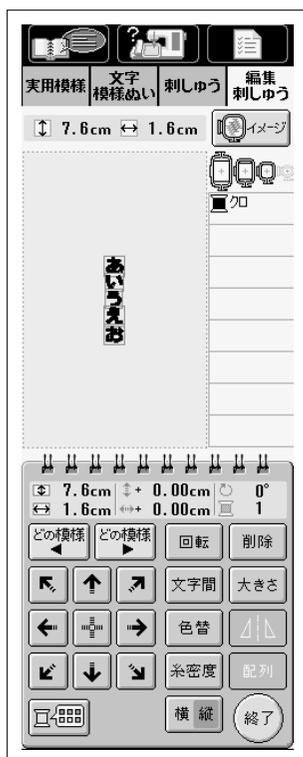
※  を押すと、刺しゅう糸の色表示を変更することができます。(P.6-13参照)

横書き／縦書きを切り替えるには



1 ひらがな／カタカナ／漢字を選ぶと、**横 縦**が表示されます。

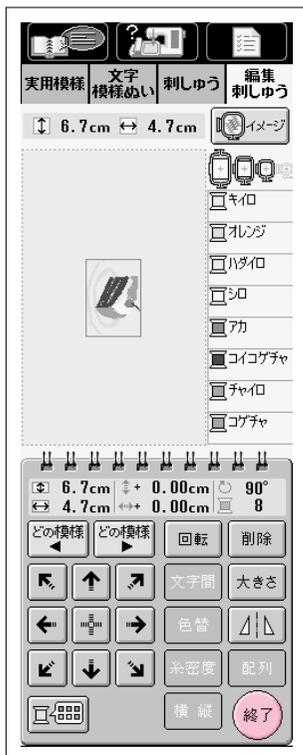
横書き／縦書きを切り替えるには、**横 縦**を押します。



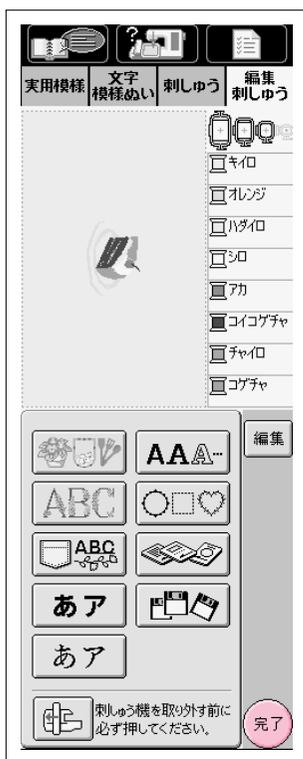
2 横書き／縦書きが切り替わります。

※ 縦書きにした場合、指定の配列は解除され、縦一直線に文字が配列されます。

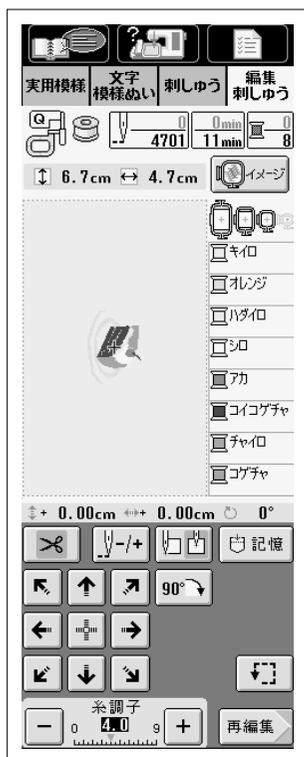
1 **終了** を押します。



2 刺しゅうをする場合は、**完了** を押します。



- ※ **編集** を押すと編集画面に戻り、編集をし直すことができます。
- ※ 続けて模様を組み合わせて編集する場合は、模様の種類を選びます。(P.6-21参照)



3 縫製画面が表示されます。ぬい方は、P.5-34を参照してください。

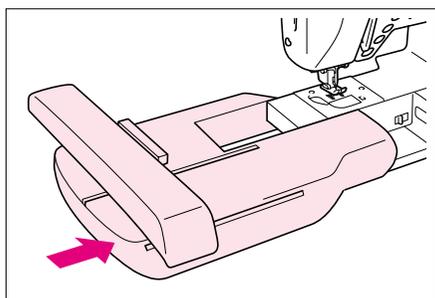
※ 編集した模様を修正したいときは、P.6-30を参照してください。

組み合わせの編集

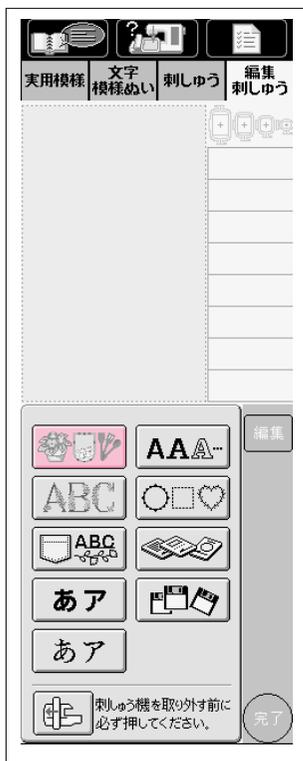
例) ワンポイントに文字を組み合わせる



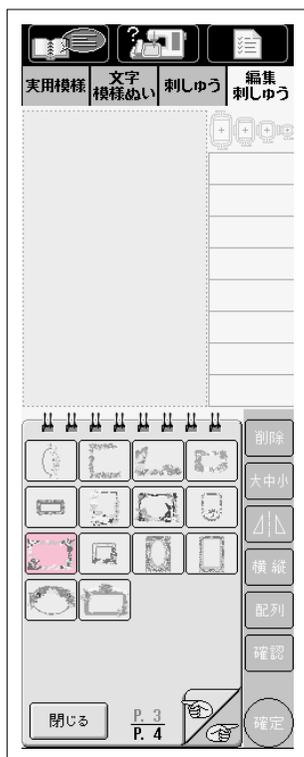
を編集してみましょう



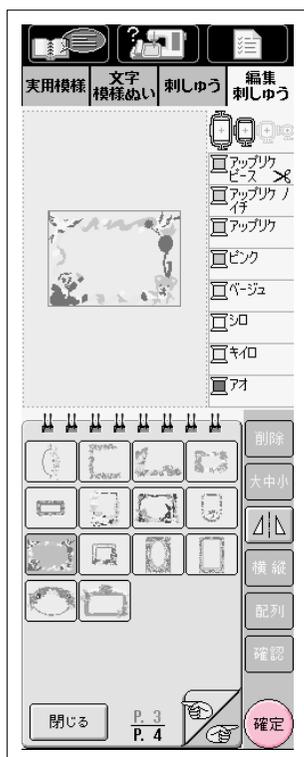
- 1 刺しゅう機を取りつけ、ぬう前の準備をします。
(P.5-3参照)



- 2 **編集 刺しゅう** を押します。
- 3  を押します。

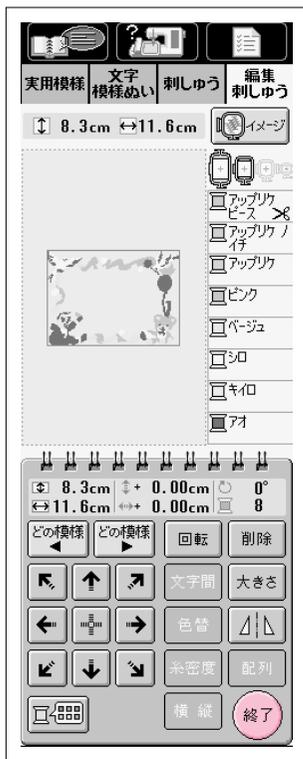


4  を2回押して、 を選びます。

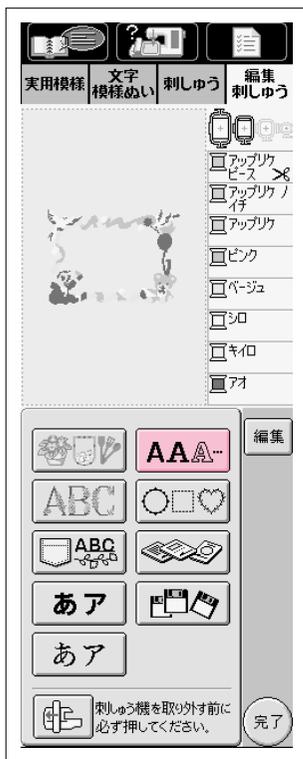


5 模様は刺しゅう範囲の中心にレイアウトされます。

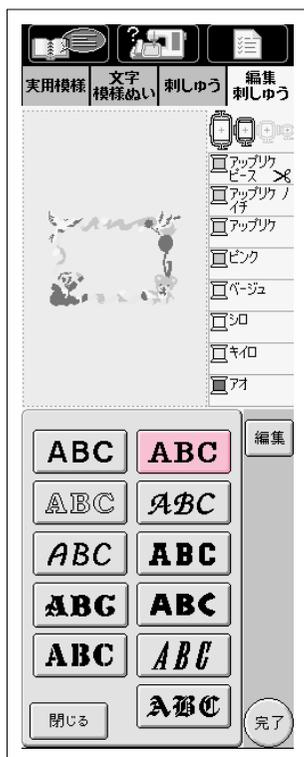
模様を選んだら、 を押します。



6 終了 を押します。



7 文字を選びます。AAA... を選びます。



8 **ABC** を押します。



9 「Happy」を選びます。

選んだ文字は、刺しゅう範囲の中心に表示されます。

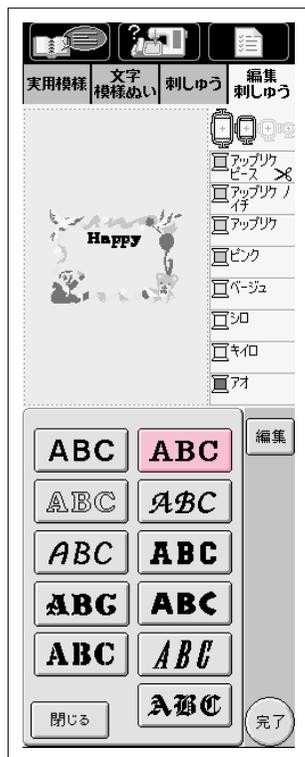
- ※ 大きさを変えたい場合は、**H** を選んでから **大中小** を押して大きさを選択してください。
- ※ 配列を変えたい場合は、**配列** を押して変更してください。

10 文字を選んだら、**確定** を押します。



11  を押して、文字の位置を調節します。

12  を押します。



13 同様に、 を選びます。



14 同じ書体 **ABC** を選んでから、「Birthday」を選びます。
選んだ文字は、刺しゅう範囲の中心に表示されます。

15 **確定** を押します。



16 **↓** を押して、バランスよく文字が入るように文字の位置を調節します。



17 全体のバランスを見て、編集をし直したいときは   を押すと、編集できる模様の対象を変えることができます。

例)  のサイズを大きくしたいとき

- ①   を押して、赤い枠を  に移します。
- ②  を押します。



- ③  を押して、サイズを大きくします。



③ サイズを大きくしたら **閉じる** を押して、編集画面に戻ります。

※ 続けて他の模様を修正したいときは、もう1度 **どの模様** **どの模様** を押して修正します。

※ 文字や全体が分かりにくいときは **イメージ** を押し、**イメージ** を押して確認してください。 **閉じる** を押すと、元の画面に戻ります。



18 すべての編集が終わったら、**終了** を押します。



19 刺しゅうをする場合は、**完了**を押します。

- ※ **編集** を押すと編集画面に戻り、編集をし直すことができます。
- ※ 続けて模様を組み合わせて編集する場合は、模様の種類を選びます。(P.6-21参照)



20 縫製画面が表示されます。ぬい方は、P.5-33を参照してください。

- ※ 刺しゅうは編集した順序でぬわれます。
- ※ 編集した模様を修正したいときは、P.6-30を参照してください。

編集した模様を修正するには



1 **再編集** を押します。



2 **編集** を押します。



3 編集画面に戻ります。

4   を押して修正する模様を選び、編集し直します。

編集刺しゅうの記憶

模様を記憶するには



編集した模様を記憶しておくことができます。

1  を押します。



2 どこに記憶するか、記憶する媒体を選びます。

マシン本体に記憶する場合は、 を押します。

フロッピーディスクに記憶する場合は、 を押します。

- ※ フロッピーディスクは2HDタイプのもので、Windowsにフォーマットされているものをご使用ください。
- ※ フロッピーディスクのライトプロテクトは、プロテクトを解除してご使用ください。
- ※ フロッピーディスクに記憶すると、刺しゅうデータ用のファイル形式で保存されます。ファイル名の次に拡張子“phc”が付きます。
- ※ 模様データの記憶後は、誤って模様を消去しないよう、フロッピーディスクのライトプロテクトをおすすめします。

① 押すと、元の画面に戻ります。



3 左の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

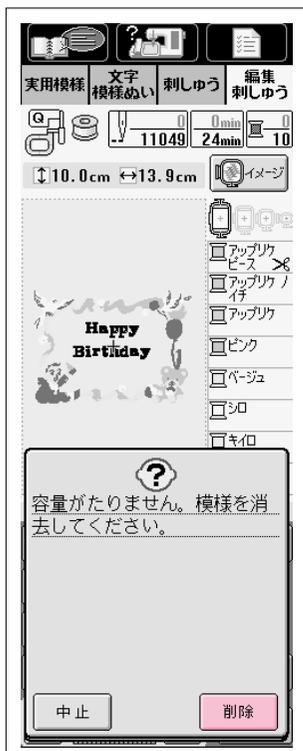
※ 記憶をするのに約10秒間かかります。

注意

“記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。また、フロッピーディスクに記憶中は、フロッピーディスクを抜かないでください。フロッピーディスクが読めなくなる危険があります。

※ 記憶した模様を呼び出したいときは、P.6-36を参照してください。

■ 記憶できないときは



左の画面が表示されたときは、記憶することができません。すでに模様がたくさん記憶されており、記憶したい模様のデータ容量が記憶できる容量を越えています。記憶されている模様を消去すると、記憶することができます。

※ 記憶をやめる場合は、**中止** を押します。

記憶されている模様の消去のしかた

1 **削除** を押します。



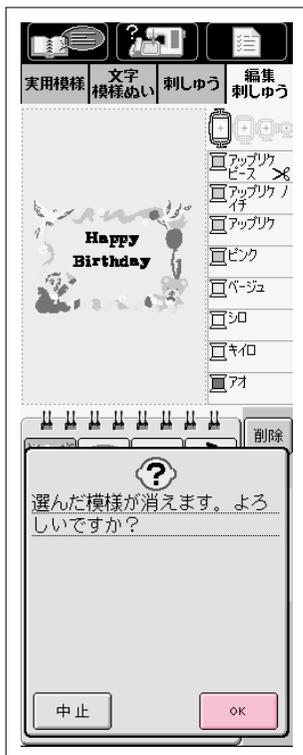
2 記憶されている模様の一覧が表示されます。

- ① 消去する模様を選ぶと、その模様データの容量が表示されます。
- ② 記憶をするために必要なデータ容量が表示されます。
- ③ 押すと、記憶をやめて縫製画面に戻ります。

3 消去する模様を選びます。



4 **削除** を押します。



5 消去する場合は、 を押します。

※ 消去をやめる場合は、 を押します。



6 模様が消去され、不足していたデータ容量が確保されると、自動的に新しい模様が記憶されます。データ容量が足りないときは、もう一度記憶されている模様を消去してください。

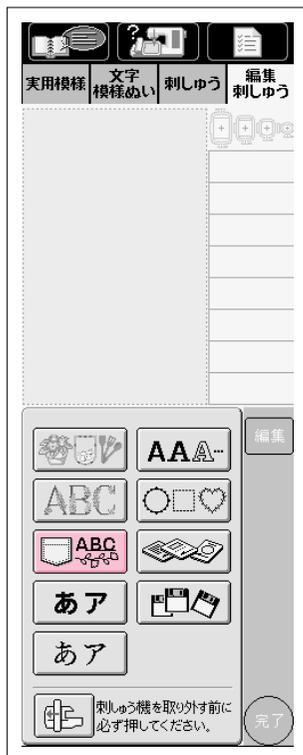
記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

※ 記憶をするのに約10秒間かかります。

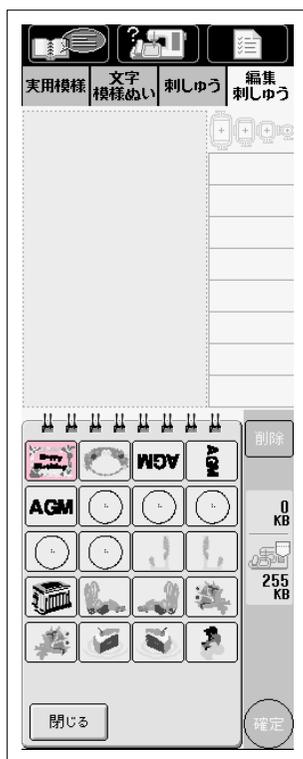
注意

“記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

記憶した模様を呼び出すには



1  を押します。



2 記憶されている模様の一覧が表示されます。

3 呼び出す模様を選びます。

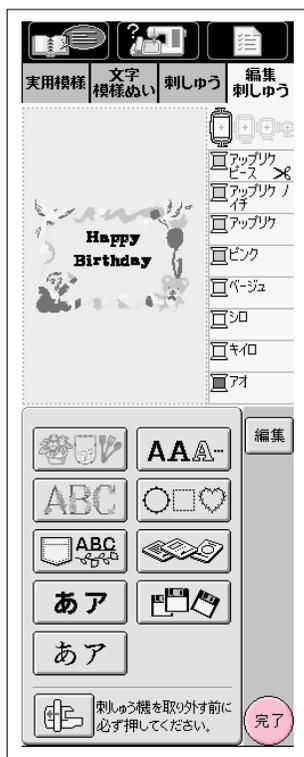


4 **確定** を押します。

※ 途中でやめたい場合は、**閉じる** を押すと元の画面に戻ります。



5 **終了** を押します。



6 完了 を押します。

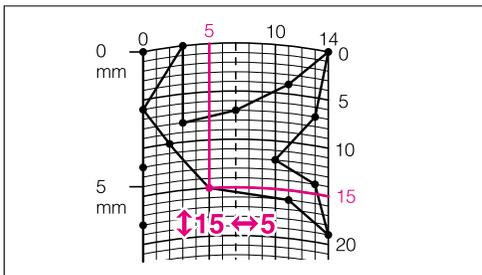
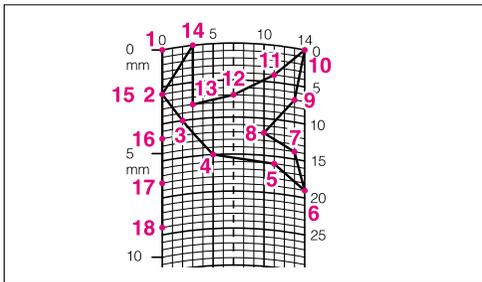
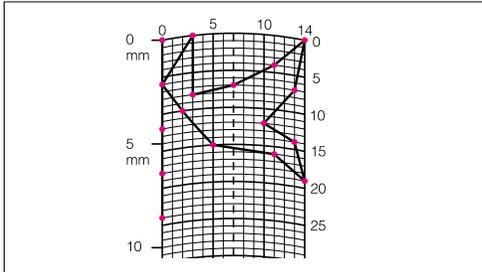
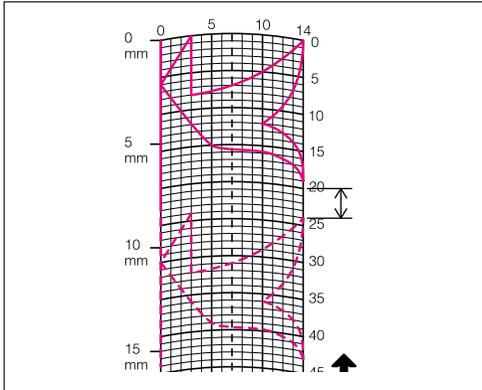
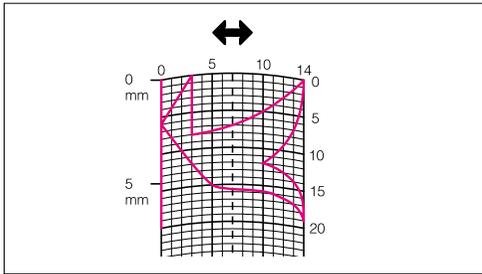


7 模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

第7章 マイイラスト機能

イラストの描き方

マイイラスト機能を使って、自分だけのオリジナル模様を作ることができます。



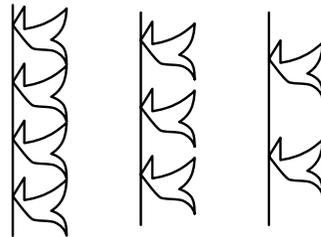
1 付属のマイイラストシートに模様を描きます。

- ※ 模様はマイイラストシートのグラフ内に縦向きに描きます。
- ※ 模様は一筆描きの要領で、ぬい始めとぬい終わりは同じ高さにします。



2 模様の間隔を決めます。

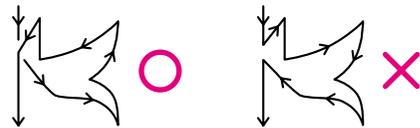
- ※ 模様の間隔のちがいにより、1つの模様からいろいろなパターンが作り出せます。



3 目盛りとの交差に点をつけ、外形ラインを線で結びます。

4 ぬい順を決めます。

- ※ ぬい順は線を交差して模様をとじると、よりきれいな模様に仕上がります。



ポイント

マイイラストシートのグラフを参考にして、ぬい順通りにそれぞれの点の座標をメモしておく、データの入力がしやすくなります。

ぬい順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9
↓	0	6	10	15	16	19	14	12	7
↔	0	0	2	5	11	14	13	10	13

作品例

	ぬう順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑↓	0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
	←→	0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
	ぬう順番	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑↓	12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
	←→	0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
	ぬう順番	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑↓	45	47	50	54	56	55	51	45	70						
←→	11	13	14	13	10	6	3	0	0							

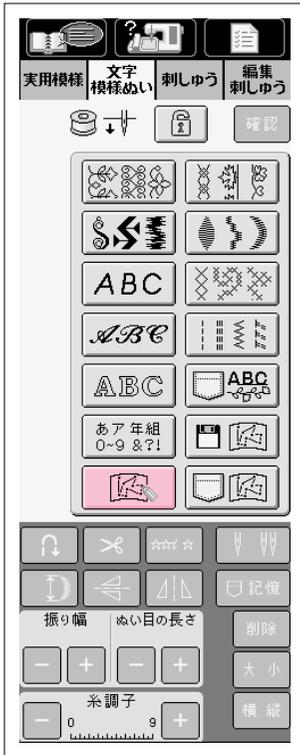
	ぬう順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑↓	0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
	←→	0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
	ぬう順番	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑↓	24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
	←→	10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
	ぬう順番	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑↓	16	19	23	22	17	22	23	19	42						
←→	1	0	0	6	10	6	0	0	0							

	ぬう順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑↓	0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
	←→	0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
	ぬう順番	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑↓	21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
	←→	0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
	ぬう順番	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑↓															
←→																

	ぬう順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑↓	0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
	←→	7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
	ぬう順番	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑↓	4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
	←→	11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
	ぬう順番	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑↓	23	20	16	20	23	27	32								
←→	14	11	7	3	0	3	7									

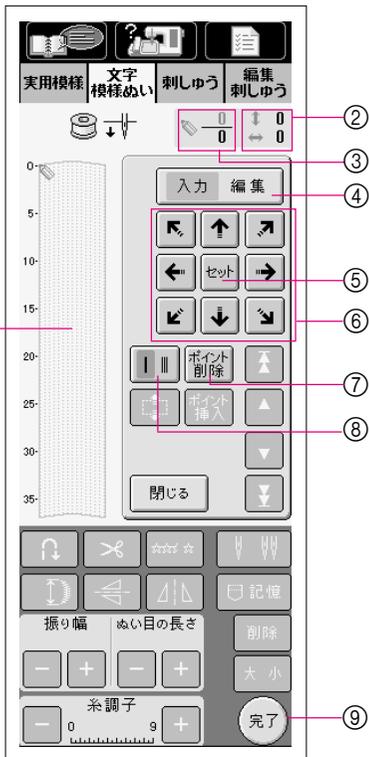
模様の入力のしかた

データの作り方



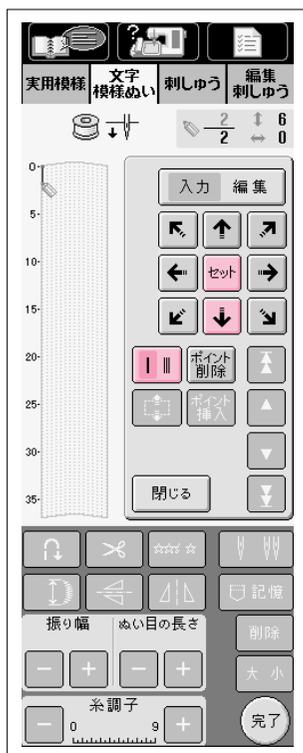
※ 刺しゅう機は外しておいてください。

1 **文字模様めい** を押して、 を押します。



2 左の画面が表示されます。

- ① グラフ内にデータを入力していきます。
- ②  の座標を示します。
- ③ 模様全体の針数と、現在選んでいる点の針数を示します。
- ④ 点を追加したり、修正したいときに押します。
- ⑤ 押すと、 の先で示す位置に点を入力します。
- ⑥ 押すと、 が矢印の方向に移動します。
- ⑦ 押すと、入力した最後の点を取り消します。
- ⑧ 押すと、1重ぬいか3重ぬいかを選択できます。
- ⑨ データの入力がすべて終わったら押します。縫製画面に進みます。



3 マイイラストシートで作ったデータを入力します。 を押して、 の先を1つ目の座標(0, 0)に移動させます。

4 を押して、点を入力します。

5 次に1つ目と2つ目の点の間を、1重ぬいにするか、3重ぬいにするか決めます。

を押して、

1重ぬいにする場合は、 にします。

3重ぬいにする場合は、 にします。

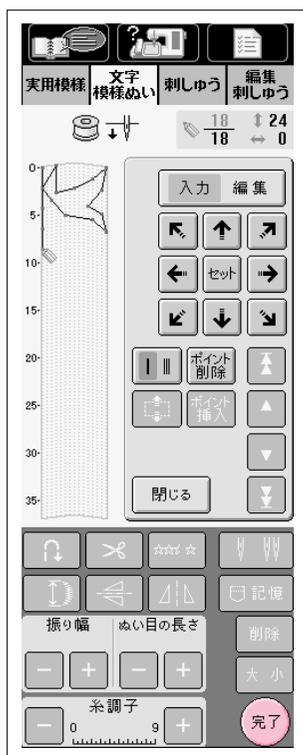
6 2つ目の点を入力します。 の先を2つ目の座標(6, 0)に移動させ、 を押します。

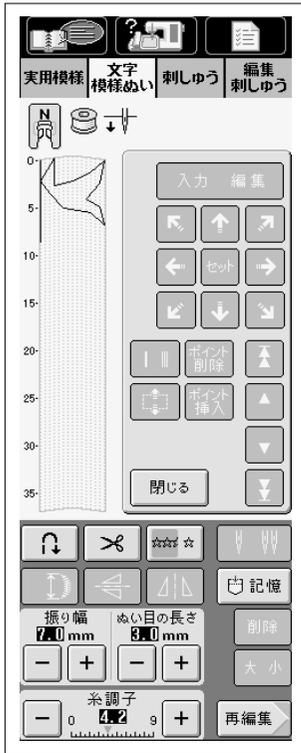
7 ぬい方を変える場合は、 を押します。

8 6から7の手順をくり返し、マイイラストシートに描いた点のデータをすべて入力します。

※ まちがえて針位置を入力したときは、 を押して取り消します。

9 すべての点を入力したら、 を押します。

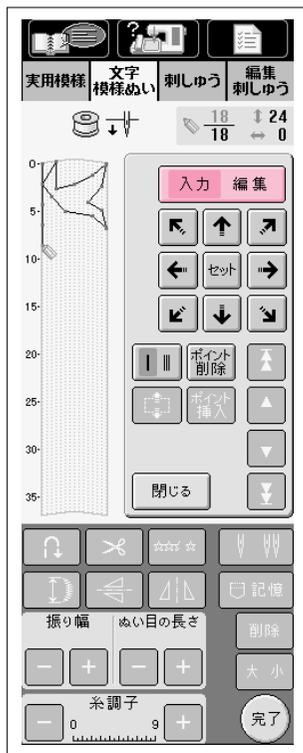




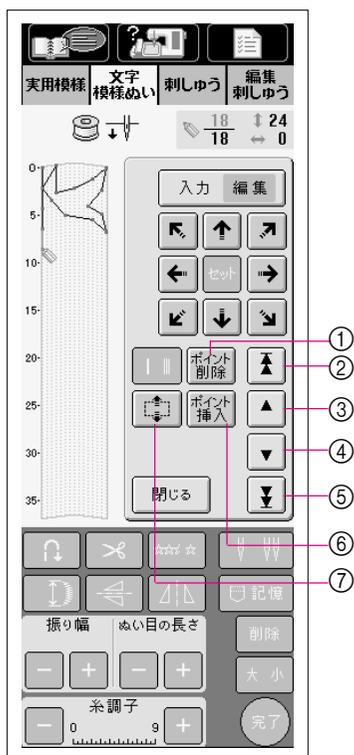
10 縫製画面が表示されます。

- ※ 入力したデータを修正したいときは、**再編集** を押します。
- ※ 単独ぬいにしたい場合は、**☆☆☆** を押して **☆☆☆☆** にします。

作ったデータを修正するには



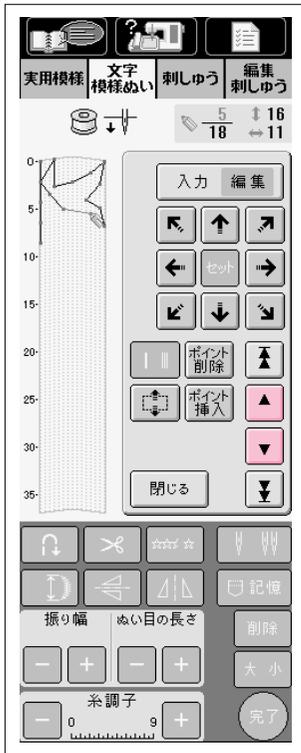
1 **入力 編集** を押します。



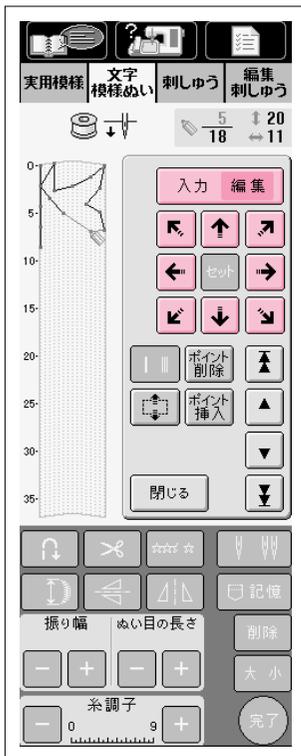
2 模様の編集画面が表示されます。

- ① 押すと、 が指している点を削除します。
- ② 押すと、1つ目の点に  が移動します。
- ③ 押すと、1つ前の点に  が移動します。
- ④ 押すと、1つ後の点に  が移動します。
- ⑤ 押すと、最後の点に  が移動します。
- ⑥ 押すと、 が指している点と次の点の間に点を追加します。
(P.7-8参照)
- ⑦ 模様の一部、または全体を移動させたいときに押します。(P.7-9参照)

■ 点を移動させるには

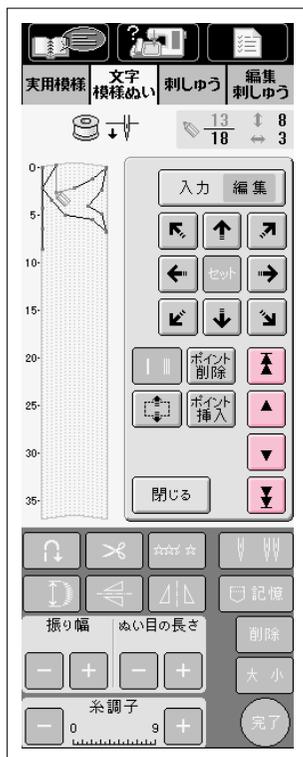


- 1 ▲ または ▼ を押して、移動させたい点の座標に  を移動します。



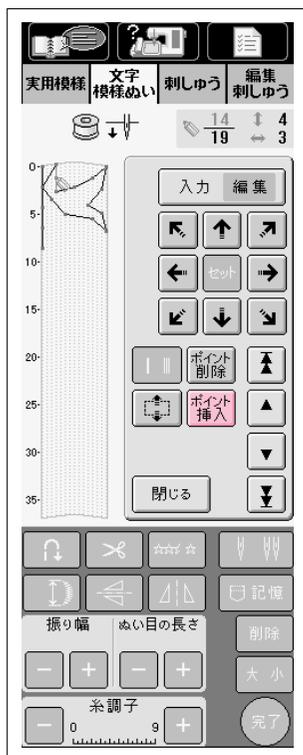
- 2  を押して、点を移動します。
- 3 移動し終わったら、  を押して  にします。
- 4  を押すと、縫製画面が表示されます。(ぬい方はP.4-9を参照してください。)

■ 点(針落ち位置)を追加するには

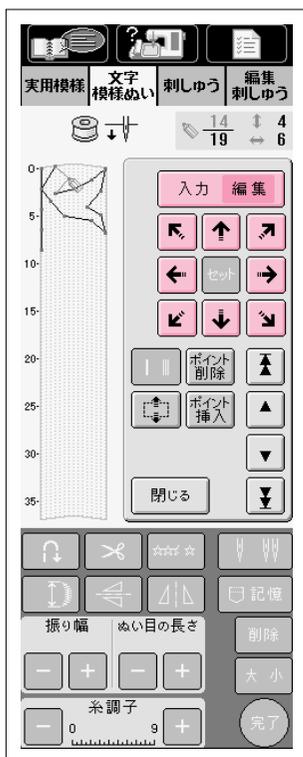


1 、、 または を押して、追加したい点の前の点に を移動させます。

※ 14針目と15針目の間に点を追加したい場合は、14針目に を移動させます。



2 を押すと、新しい点追加され、 がその点に移動します。

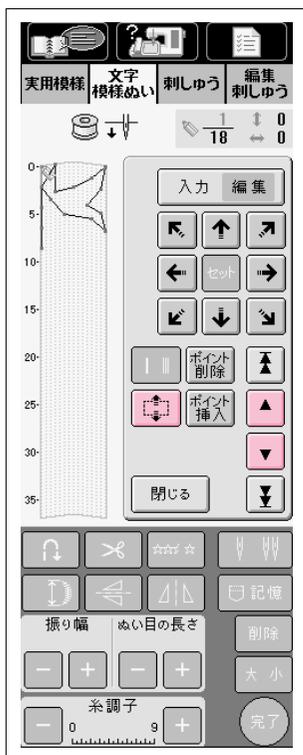


3 を押して、追加した点をお好みの位置に移動します。

4 移動が終わったら、 を押して にします。

5 を押すと、縫製画面が表示されます。(ぬい方はP.4-9を参照してください。)

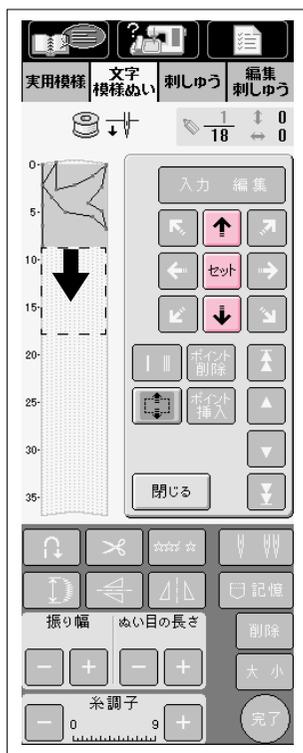
■ 模様の一部または全体を移動させるには



1 または を押して、移動させる部分の中で一番先に入力した点まで を移動します。

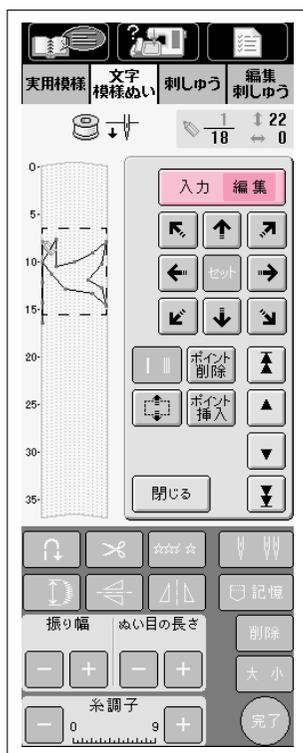
2 を押します。 が指している点とその点よりも後ろの模様部分が1枠で囲まれます。

※ 枠で囲まれている部分が移動します。



3 ↑ または ↓ を押して、お好みの位置まで移動させます。

4 移動できたら、**セット** を押します。



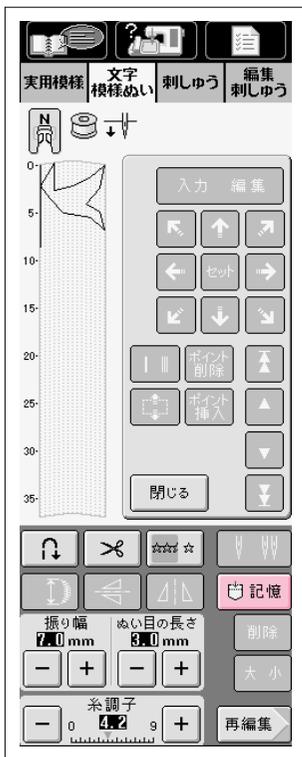
5 移動が終わったら、**入力 編集** を押して **入力 編集** にします。

6 **完了** を押すと、縫製画面が表示されます。(ぬい方はP.4-9を参照してください。)

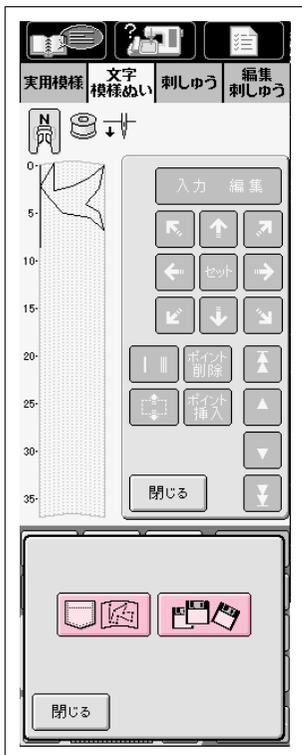
模様の記憶

作成した模様を記憶する

マイイラスト機能で作成した模様は、記憶することができます。



1 縫製画面で  を押します。



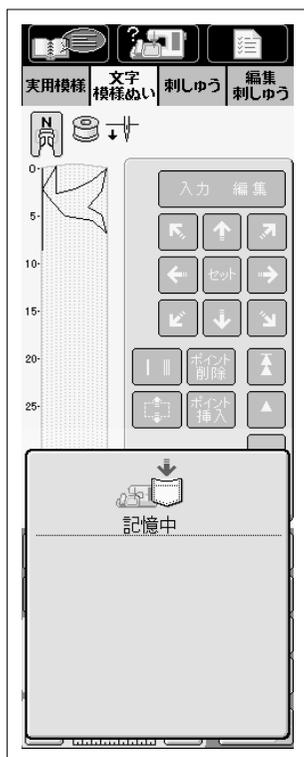
2 どこに記憶するか、記憶する媒体を選びます。

マシン本体に記憶する場合は、 を押します。

フロッピーディスクに記憶する場合は、 を押します。

- ※ マシン本体には、15模様まで記憶することができます。
- ※ フロッピーディスクは2HDタイプのもので、Windowsにフォーマットされているものをご使用ください。
- ※ フロッピーディスクのライトプロテクトは、プロテクトを解除してご使用ください。
- ※ フロッピーディスクに記憶すると、刺しゅうデータ用のファイル形式で保存されます。ファイル名の次に拡張子“phc”が付きます。
- ※ 模様データの記憶後は、誤って模様を消さないよう、フロッピーディスクのライトプロテクトをおすすめします。

① 押すと、元の画面に戻ります。



3 左の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

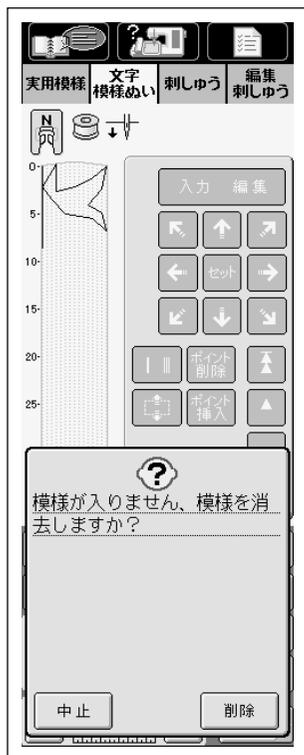
※ 記憶をするのに約10秒間かかります。

注意

“記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。また、フロッピーディスクに記憶中は、フロッピーディスクを抜かないでください。フロッピーディスクが読めなくなる危険があります。

※ 記憶した模様を呼び出したいときは、P.7-13を参照してください。

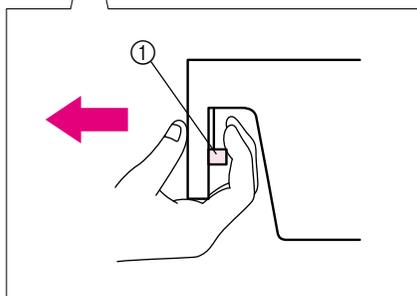
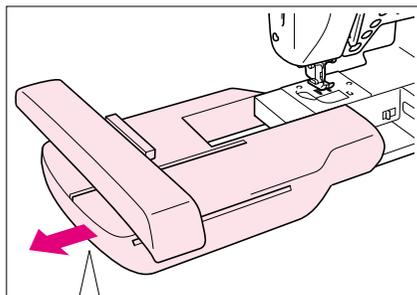
■ 記憶できないときは



 を押して左の画面が表示されたときは、記憶することができません。すでに模様がたくさん記憶されており、記憶したい模様のデータ容量が記憶できる容量を越えています。記憶されている模様を消去すると、記憶することができます。

消去のしかたはP.5-56を参照してください。

記憶した模様を呼び出すには



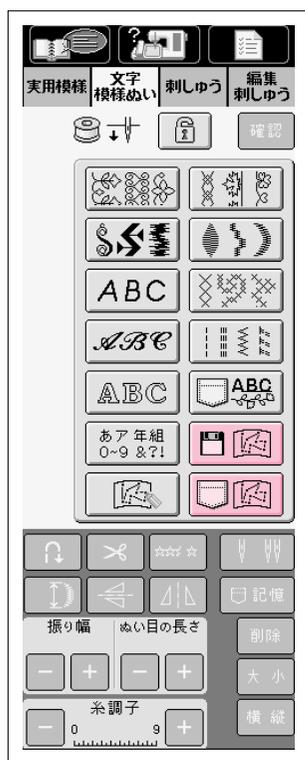
呼び出す前に

刺しゅう機を取り付けてある場合は、取り外してください。

注意

必ず電源スイッチを切って、刺しゅう機を取り外してください。故障の原因となります。

- ① 取り外しレバー



- 1 **文字模様めい** を押します。

- 2 ミシン本体に記憶した模様を呼び出す場合は、 を押します。

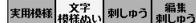
フロッピーディスクに記憶した模様を呼び出す場合は、フロッピーディスクを差し込み  を押します。

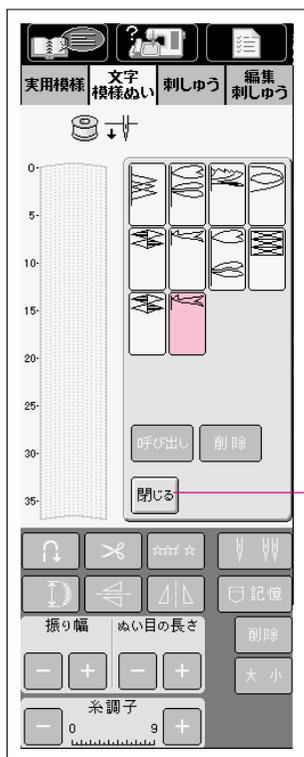
注意

- ・ フロッピーディスクは、必ず  または  表示のある状態、またはフロッピーディスクの交換を指示する画面が表示されたときに抜き差ししてください。
- ・ フロッピーディスクの差し込み口にはフロッピーディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 当社正規のデータ作成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータが入ったフロッピーディスクを読み込むと、ミシンが誤作動するおそれがあります。(pes、phc、pmi、dstファイルのみ扱えます。)

注意

この画面で、画面ロックを設定()すると、 と  以外のキー操作はできなくなります。

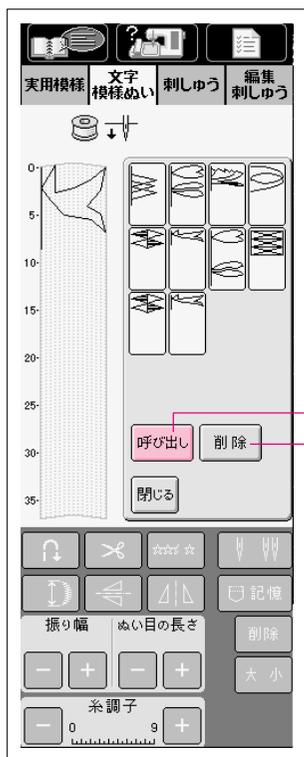




3 記憶されている模様の一覧が表示されます。

4 呼び出す模様を選びます。

① 呼び出しをやめるときに押します。

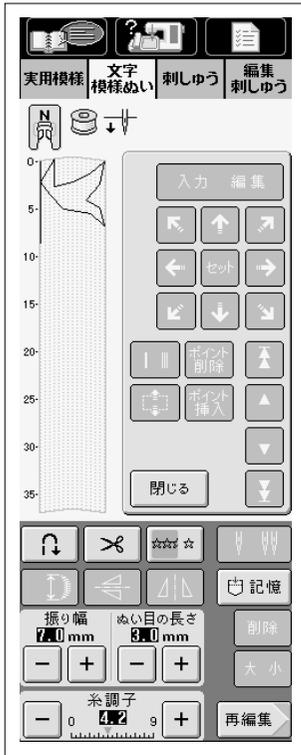


5 **呼び出し** を押します。

※ 途中でやめたい場合は、**閉じる** を押すと元の画面に戻ります。

① 押すと、記憶されている模様を呼び出します。

② 押すと、記憶されている模様を消去します。



6 模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

第8章 お手入れのしかた

ランプの交換

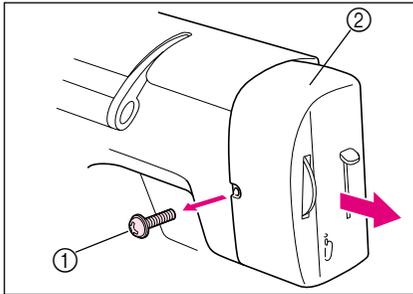
▲ 注意



必ず電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチなどが押されるとミシンが作動してけがの原因となります。



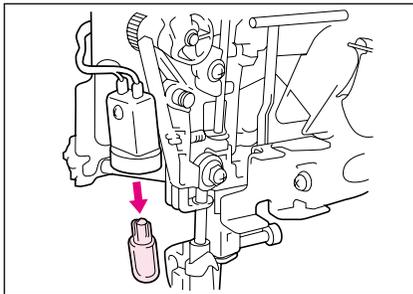
ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が冷えてから行ってください。やけどの原因となります。



1 電源スイッチを切ります。

2 ミシンの裏側にあるネジをドライバーでゆるめて、
面板を外します。

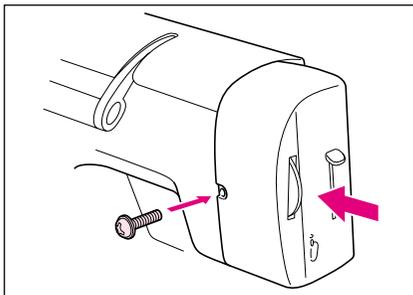
- ① ネジ
- ② 面板



3 ランプを矢印の方向に外します。ランプの凸部とソケットの凹部を合わせて、新しいランプを取り付けます。

注意

ランプは、必ず専用のもの(12V5W 部品コードXA2037-001)を使用してください。他のランプは絶対に使用しないでください。ランプは最寄りのプラザ販売店でお買い求めください。



4 面板を取り付け、ネジをドライバーでしっかりしめてください。

ミシンの掃除

▲ 注意



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ケガまたは感電の原因となります。

■ 画面の汚れの掃除

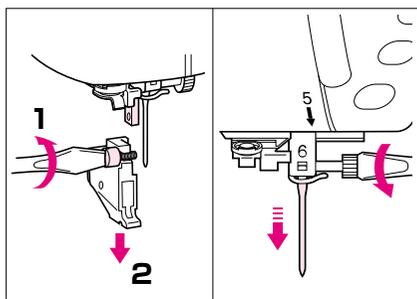
液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地等で軽くふきとってください。
有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

■ 本体表面の汚れの掃除

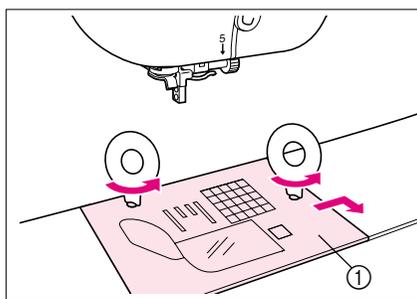
本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布地に浸し、固くしぼってふきとってください。汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

■ かまの掃除

ほこりがたまると縫製不良になったり、下糸検出が効かない場合があります。
いつもきれいにしておきましょう。

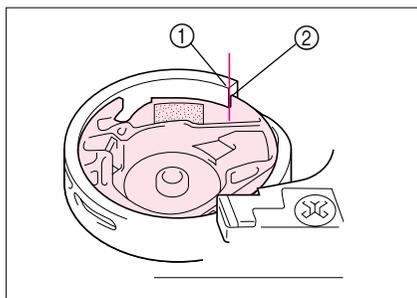


1 電源スイッチを切り、押えホルダーと針を外してください。



2 付属の針板ドライバーでネジをゆるめ、針板を外します。

① 針板



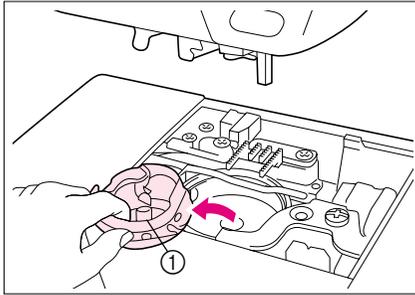
3 プーリーを手前に回し、外かま切欠部を図のように内かまつノ部のすぐ左側の位置にしてください。

注意

プーリーは必ず手前に回してください。反対の方向に回すと、故障の原因となります。

① 外かま切欠部

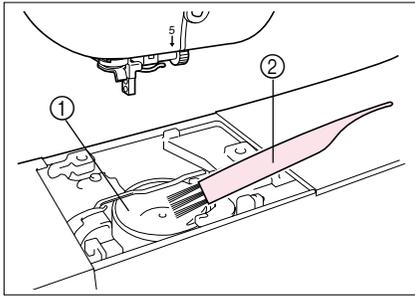
② 内かまつノ部



4 内かまを取り出します。

※ 内かまは向こう側に押しながら、手前を持ち上げて取り出します。

① 内かま

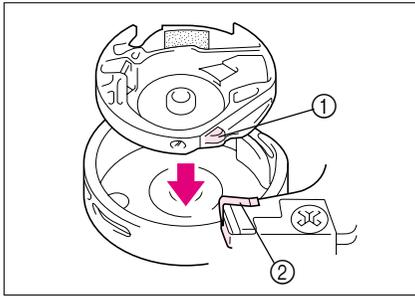


5 付属のブラシや掃除機で、外かまとその周辺の糸くずを取り除いてください。

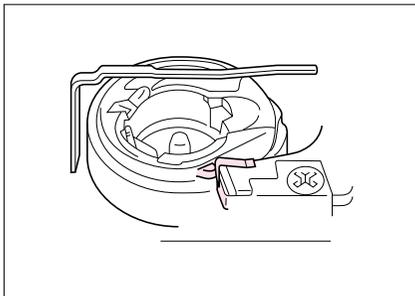
※ 内かまには油をささないでください。

① 外かま

② ブラシ



6 内かまを取り出したときと、同じ位置に外かま切欠部があることを確認し、内かま凸部とバネが合うように、内かまを取り付けてください。



① 凸部

② バネ

7 針板を取り付けます。

⚠ 注意



• 傷がついた内かまは使用しないでください。万一、使用すると上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となります。

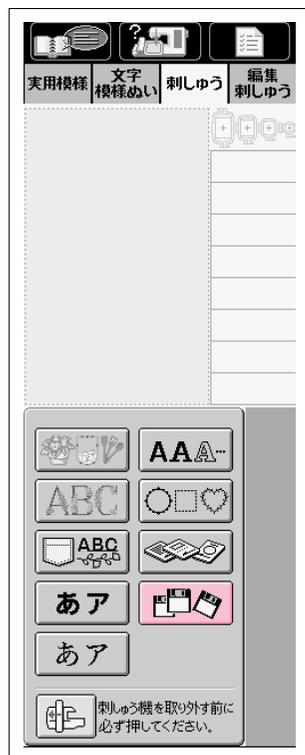


※ 内かまは最寄りの販売店でお買い求めください。

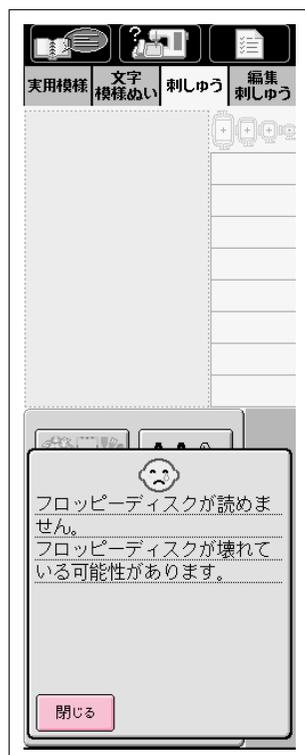
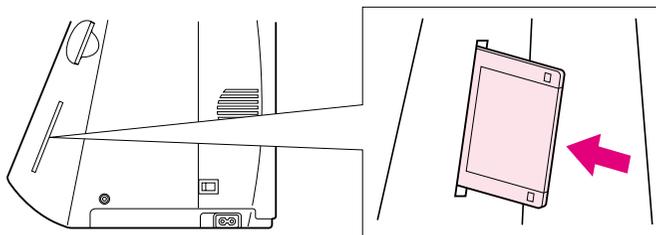
• 内かまは正しい位置に取り付けてください。針折れの原因となります。

フロッピーディスクドライブのヘッドクリーニング

フロッピーディスクはヘッドが汚れてくると、正常にデータを読み取ることがあります。市販の3.5インチフロッピーディスク用のクリーニングディスクを、定期的に使用することをおすすめします。



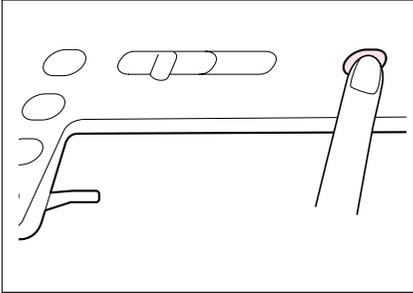
- 1 左の画面のときに、クリーニングディスクを差し込みます。
 - ※ 別の画面が表示されているときは、**刺しゅう** を押してこの画面を表示させます。
 - ※ クリーニングディスクは、ミシンの右側にあるフロッピーディスク差し込み口に差し込みます。



- 2  を押します。ヘッドのクリーニングが始まります。
- 3 クリーニングが終わると、左の画面が表示されます。
- 4 **閉じる** を押して、1の画面に戻ったら、クリーニングディスクを取り出します。
 - ※ 上記の操作で正しくフロッピーディスクが読めるようにならない場合は、クリーニングを数回くり返してください。

アップグレードの方法

このミシンは、フロッピーディスクによってミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。以下の手順に従って操作してください。尚、アップグレード情報に関しては、お近くの販売店もしくは「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にお問い合わせいただくか、ブラザーのホームページ(<http://www.brother.co.jp>)で今後掲載される情報をご参照ください。



UPGRADES AND UPDATES INSERT FLOPPY DISK NO1 AND PRESS THE BOBBIN WINDING START/STOP BUTTON.

INSERT FLOPPY DISK NO2 AND PRESS THE BOBBIN WINDING START/STOP BUTTON.

INSERT FLOPPY DISK NO3 AND PRESS THE BOBBIN WINDING START/STOP BUTTON.

1 糸巻きスイッチを押しながら電源スイッチを入れます。5秒後に糸巻きスイッチから手を離してください。

2 画面に左の文章が表示されると、アップグレードモードです。

3 左の文章が表示されている状態でPROGRAM1. UPGが入っているフロッピーディスクをフロッピーディスク挿入口に入れて、再度糸巻きスイッチを押します。
画面は、「LOADING FLOPPY DISK NO1」に切り替わります。

4 データの読み込みが終了し、左の文章が表示されたら、PROGRAM2. UPGが入っているフロッピーディスクに入れ替えて、再度糸巻きスイッチを押します。
表示: 「LOADING FLOPPY DISK NO2」

5 同様に左の文章が表示されたら、PROGRAM3. UPGが入っているフロッピーディスクに入れ替えて、再度糸巻きスイッチを押します。
表示: 「LOADING FLOPPY DISK NO3」

**INSERT FLOPPY DISK NO4 AND
PRESS THE BOBBIN WINDING
START/STOP BUTTON.**

- 6** 左の文章が表示されたら、PROGRAM4. UPGが入っているフロッピーディスクに入れ替えて、再度糸巻きスイッチを押します。

表示: 「LOADING FLOPPY DISK NO4」

PROGRAM WRITING NOW.

- 7** 最後のフロッピーディスクのデータの読み込みが終了すると、左の画面が約1分間表示されます。

注意

この間は、絶対に電源スイッチを切らないでください。ミシンが動作しなくなるおそれがあります。

**THANK YOU COMPLETE. TURN THE
POWER OFF AND BACK ON AGAIN
ONCE MORE.**

- 8** 左の画面が表示されたら、アップグレードは終了です。

注意

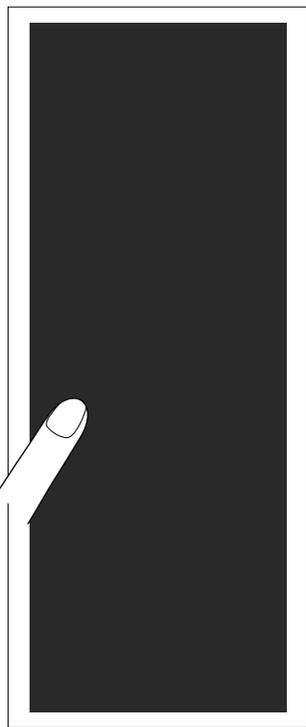
すべてのフロッピーディスクの読み込みを行わないと、ミシンは正しく動作しません。途中で手順をまちがえた場合は、最初からやり直してください。

- 9** フロッピーディスクを取り出し、電源スイッチを切って、もう1度電源スイッチを入れ直します。

第9章 トラブルシューティング

画面の調整

電源スイッチを入れたときに画面が見にくいときは、以下の手順に従って画面の調整を行ってください。

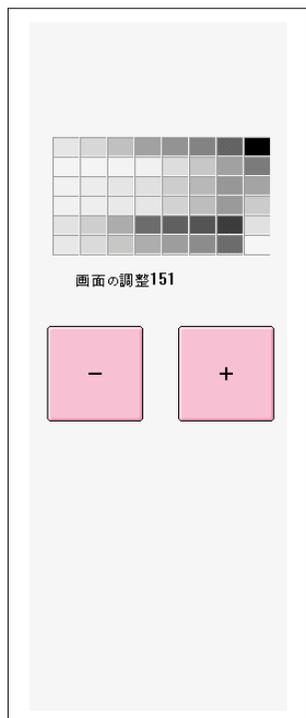


- 1 画面(どの部分でもよい)を押しながら、電源スイッチを入れ直します。

注意

左下の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。

※ スタート/ストップスイッチは点灯しません。

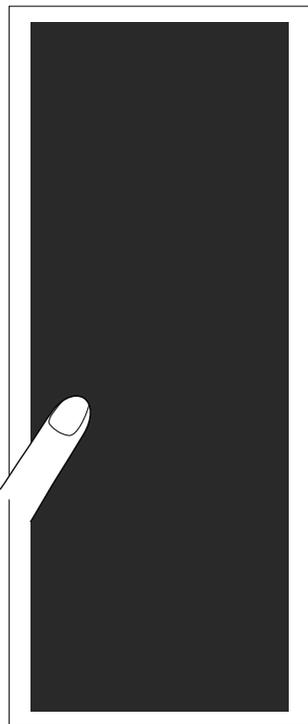


- 2 カラー調整用表示がきれいに見えるように 、 を押して画面の濃さを調整します。

- 3 調整が終わったら、電源スイッチを入れ直します。

タッチパネルの調整

液晶画面のキーを押しても変化がない場合(キー入力ができない場合、またはキーがずれている場合)、以下の手順に従って調整してください。

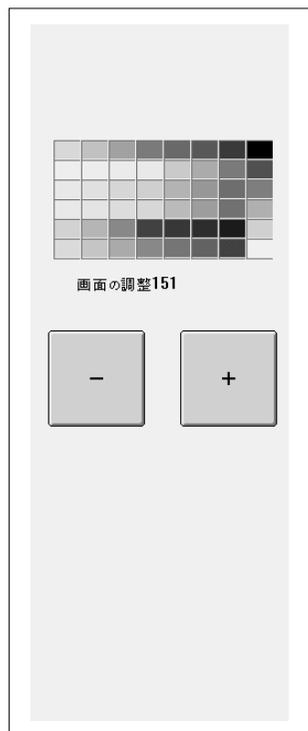


- 1 画面(どの部分でもよい)を押しながら、電源スイッチを入れ直します。

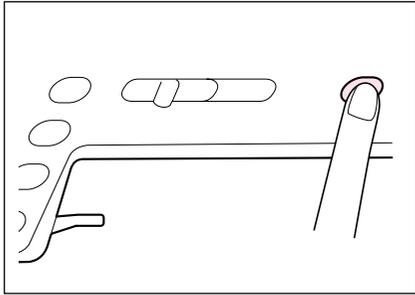
注意

左下の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。

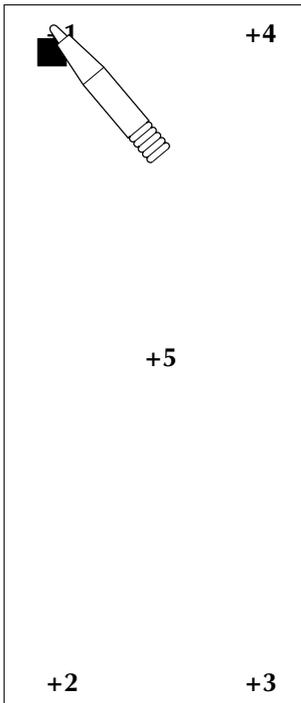
※ スタート/ストップスイッチは点灯しません。



- 2 左の画面が表示されます。



3 糸巻きスイッチを押します。



4 調整の画面が表示されます。

5 付属のタッチペンを使って、画面に表示されている十字の中心を1から順に軽く押します。

注意

必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

6 1, 2, 3, 4, 5の順で押し、5の十字を押したときにブザーが1回鳴ったら入力終了です。

5の十字を押したときにブザーが2回鳴ったときは入力エラーです。もう1度、1から順に押し直してください。

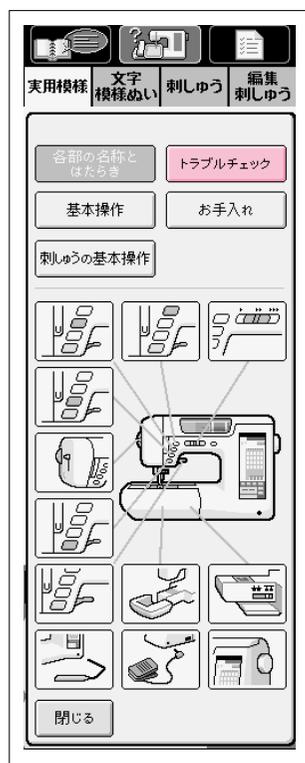
7 タッチパネルの調整が終わったら、電源スイッチを入れ直してください。

注意

調整をしてもキー入力ができない場合、または調整ができない場合はサービスセンターにご連絡ください。

トラブルチェック機能

このミシンには、ぬっていて困ったときのために簡単なトラブルチェック機能がついています。あてはまる項目を押して、原因を確かめてください。

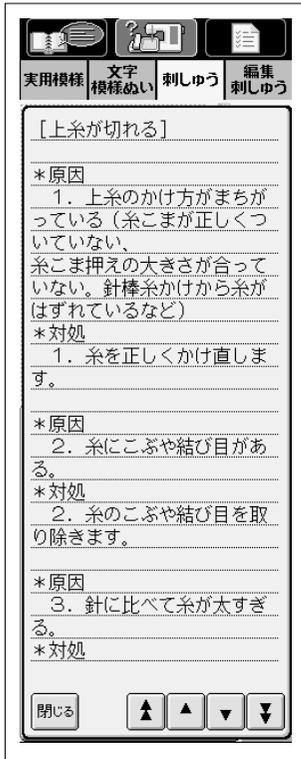


1  を押すと、左の画面が表示されます。

2  を押します。



3 トラブルの内容に当てはまる項目を選びます。



4 表示されたチェック項目を点検してください。

簡単なミシンの調整

修理を依頼される前に次の項目を点検し、それでも直らないときや部品の購入に際しては、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	① 上糸の通し方がまちがっている。 (糸こまが正しくセットさせていない、糸こま押えの大きさが合っていない、針棒糸かけから糸が外れているなど)	糸を正しく通します。	2-8
	② 糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	—
	③ 針に比べて糸が太すぎる。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適正な組み合わせにします。	2-20
	④ 上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	2-30, 5-44
	⑤ 糸がからまっている。	かまなどからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	8-2
	⑥ 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	2-18
	⑦ 針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	2-18
	⑧ 針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	8-2
	⑨ 押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	2-14
	⑩ 内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	8-2
下糸が切れる	① 下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	2-7
	② ポピンに傷があり、回転がなめらかでない。	ポピンを交換します。	2-7
	③ 糸がからまっている。	かまなどからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	8-2
ぬい目が飛ぶ	① 上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	2-8
	② 布地に合った糸・針を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適正な組み合わせにします。	2-20
	③ 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	2-18
	④ 針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	2-18
	⑤ 品質の悪い針を使っている。	正しい針に交換します。	2-18
	⑥ 針板の下にゴミがたまっている。	ブラシなどでゴミを取り除きます。	8-2

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
布地に しわがよる	① 上系の通し方、または下系のセットのしかたがまちがっている。	上系を通す順序を調べて通し直します。または、下系を正しくセットします。	2-8
	② 糸こまが正しく付いていない。	糸こまの付け方を調べて付け直します。	2-9
	③ 布地に合った糸・針を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適正な組み合わせにします。	2-20
	④ 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	2-18
	⑤ 薄地に対してぬい目があらずすぎる。	ぬい目を細かくします。	2-29
	⑥ 糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	2-30, 5-44
ぬい音が 高い	① 送り歯にゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	8-2
	② かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	8-2
	③ 上系の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	2-8
	④ 内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	8-2
自動糸通し が できない	① 針が正しい位置にない。	針上下スイッチで針を上げます。	2-8
	② 自動糸通し装置のフックが針穴に入らない。	針上下スイッチで針を上げます。	2-8
	③ 針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	2-18
糸調子が あわない	① 上系の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	2-8
	② 下系セットのしかたがまちがっている。	下系を正しくセットします。	2-7
	③ 布地に合った糸・針を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適正な組み合わせにします。	2-20
	④ 押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	2-17
	⑤ 糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	2-30, 5-44
文字模様が くずれる	① 模様合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	3-1
	② 模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	4-11
	③ 薄い布地や伸びる布地なのに芯を貼っていない。	布地に接着芯を貼ります。	4-9
	④ 糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	2-30

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
刺しゅう 模様が くずれる	① 糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	8-2
	② 刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。(布地の張り方がゆるいなど)	布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。刺しゅう枠に布地を正しく張ります。	5-25
	③ 接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄い布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ります。	5-24
	④ キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。	キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると模様くずれの原因となります。刺しゅう枠が動く範囲には物を置かないにします。	5-33
	⑤ 刺しゅう枠からはみでた布地をアーム側に置いている。(刺しゅう枠がつかえて動かない)	刺しゅう枠からはみ出た布地がアームの反対側になるように枠を張り替え、模様を180度回転して刺しゅうをします。	5-52
	⑥ 重い衣類に刺しゅうをして、刺しゅう機の動きが悪くなった。	アームベットと水平になるように電話帳などを置いたり、重い側を軽く持ち上げるようにしてぬいます。	—
	⑦ テーブルから刺しゅうする布地が垂れ下がっている。	布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなります。テーブルから布地が垂れ下がらないにします。	5-33
	⑧ 布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	—
	⑨ 下糸交換などでぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットするときに刺しゅう枠を刺しゅう押えに当てたり、押ししたりした。または刺しゅう機を動かした。	ぬっている途中で刺しゅう押えに物がぶつかったり、刺しゅう機が動いたりすると模様くずれの原因となります。 ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。	—

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
針が折れる	① 針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	2-18
	② 針の止めネジがゆるんでいる。	止めネジをしっかりとしめます。	2-19
	③ 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	2-18
	④ 布地に合った糸・針を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適正な組み合わせにします。	2-20
	⑤ 模様合った押えを使用していない。	指定の押えに交換します。	3-1
	⑥ 上糸調子が特に強すぎる。	糸調子を調節します。	2-30, 5-44
	⑦ 布地を不当に引っ張っている。	布地を引っ張らないようにします。	—
	⑧ 糸こまが正しくついていない。	糸こまのつけ方を調べて付け直します。	2-9
	⑨ 針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	8-2
	⑩ 押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	2-14
	⑪ 内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。	8-2
	⑫ 品質の悪い針を使っている。	正しい針に交換します。	2-18
布地を送らない	① 送り歯が下がっている。	ドロップレバーで送り歯を上げます。	1-8
	② ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	2-29
	③ 模様合った押えを使用していない。	指定の押えに交換します。	3-1
	④ 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針と取替えます。	2-18
	⑤ 糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	8-2

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
ミシンが動かない	① 模様選ばれていない。	模様を選びます。	3-9, 4-1 5-8, 6-2
	② スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	1-6
	③ 電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	1-11
	④ 押えレバーが下がっていない。	押えレバーを下げます。	1-7
	⑤ フットコントローラーを接続したままスタート/ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを外すか、フットコントローラーで操作します。	1-10
	⑥ スピードコントロールレバーがジグザグの振り幅調節モードに設定されている。	スタート/ストップスイッチではなく、フットコントローラーで操作します。	1-10
	⑦ ミシンが動いている最中に画面に触れた。	スタート/ストップスイッチを押します。	1-6
刺しゅう機が動かない	① 模様選ばれていない。	模様を選びます。	3-9, 4-1 5-8, 6-2
	② 電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	1-11
	③ 刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットします。	5-5
	④ 刺しゅう枠をつけた状態で初期設定を行った。	正しく初期設定を行います。	5-5
液晶画面が見にくい	① 液晶のコントラストが合っていない。	画面の調整をします。	1-16, 9-1
液晶画面を押しても操作ができない	① 画面ロックが設定されています。	画面ロックキーを押して、画面ロックを解除します。	2-33

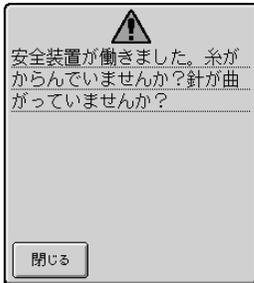
注意

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。また、針棒切り離し機構により、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布を送ります。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。
- 運転中に停電が発生した場合
 - 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - 再度、運転する場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。

エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態で、スタート/ストップスイッチや返しぬいスイッチを押したときや、まちがった操作をしたときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

(表示中のメッセージは  を押すか、正しい操作をすると消えます。)



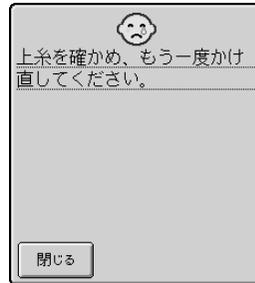
1 糸がらみで、モーターがロックしたときに表示します。



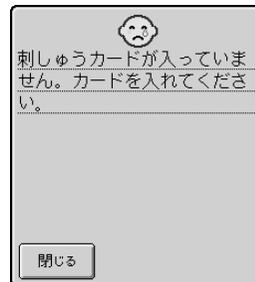
2a 押えレバーが上がった状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチ、糸切りスイッチを押したときに表示します。



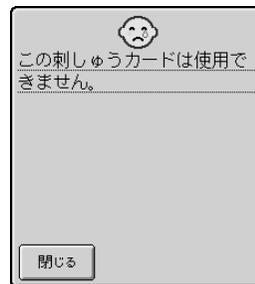
2b 押えレバーが下がっている状態で、刺しゅう機の初期設定をしようとしたときに表示します。



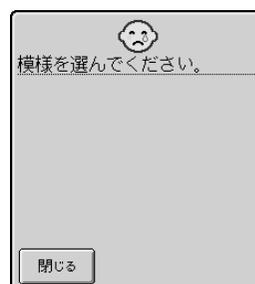
3 上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態でスタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチを押したときに表示します。



4 刺しゅうカードが差し込まれていないときに、 を押すと表示します。



5 このミシンで使用できないカードを差し込んで、 を押したときに表示します。



6 模様が選択されていない状態でスタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチ、 を押したときに表示します。

⚠ 注意

 必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずにスタート/ストップスイッチを押すと、針折れや糸調子不良、故障の原因となります。

刺しゅう機が付いているときに、このスイッチは使用できません。

閉じる

7
刺しゅう機が付いている状態で、返しぬいスイッチを押したときに表示します。

刺しゅう機が付いているときに、このキーは使用できません。電源スイッチを切ったから、刺しゅう機をはずしてください。

閉じる

8
刺しゅう機が付いている状態で、**実用模様**、**文字**、**模様ぬい**を押したときに表示します。

これ以上組み合わせできません。

閉じる

9
模様を71個以上組み合わせようとしたときに表示します。

刺しゅう機が付いていないときに、このキーは使用できません。電源スイッチを切ったから、刺しゅう機を取り付けてください。

閉じる

10
刺しゅう機が付いていない状態で、**刺しゅう**、**編集**、**刺しゅう**を押したときに表示します。

データ容量の制限を越えました。これ以上模様を選ぶことはできません。

閉じる

11
編集刺しゅう時に、データ容量の制限を越える模様を読み込んだり、たくさん模様を編集したときに表示します。

フットコントローラーが付いているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。

閉じる

12
フットコントローラーを取り付けたまま、スタート/ストップを押したときに表示します。

編集模様を最後まで入力し、編集終了を押してください。

閉じる

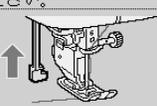
13
編集刺しゅう時に、操作が途中の状態です。スタート/ストップスイッチを押したときに表示します。

針が下がっているときに、このキーは使用できません。

閉じる

14
針が下がっている状態で画面上のキーを押したときに表示します。

ボタン穴かがりレバーを上げてください。



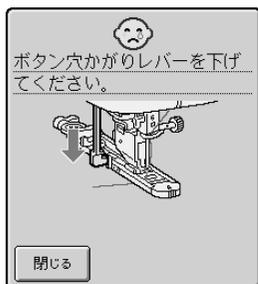
閉じる

15
ボタン穴かがりレバーが下がった状態でボタン穴かがり以外の模様を選択し、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチを押したときに表示します。

針上下スイッチを押して針を上げてください。

閉じる

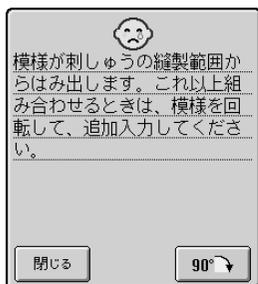
16
刺しゅう機が付いている状態で、電源スイッチを入れたときに、針が下にあると表示します。



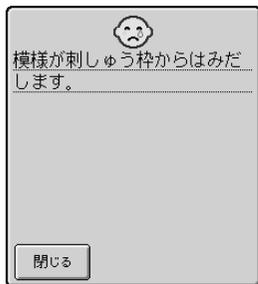
17
ボタン穴かがりレバー
が上がった状態でボタ
ン穴かがりの模様を選
択されているときに、
スタート/ストップス
イッチ、返しぬいス
イッチを押したとき
に表示します。



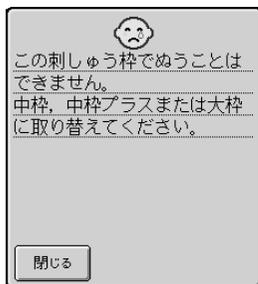
18
文字数が多くて曲線
の配列ができないとき
に表示します。



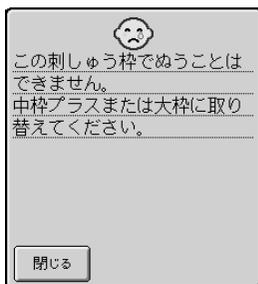
19
刺しゅう時に、刺しゅう
枠からはみでるまで、
文字を組み合わせた
ときに表示します。文字
を90度回転させると
さらに組み合わせるこ
とができます。



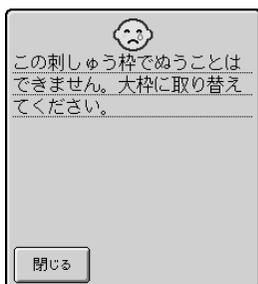
20
刺しゅう時に、刺しゅう
枠からはみでるまで、
文字を組み合わせた
ときに表示します。



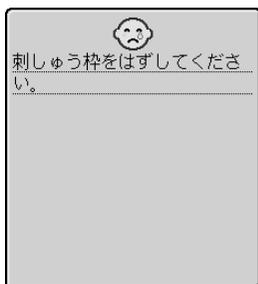
21
刺しゅう時に、小枠が
セットされている状態
で、小枠の縫製範囲よ
りも大きいサイズの模
様を選んだときに表示
します。



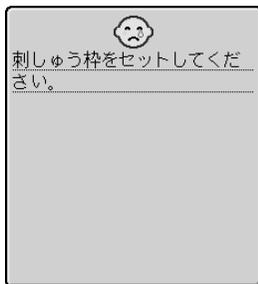
22
刺しゅう時に、小枠ま
たは中枠がセットされ
ている状態で、中枠の
縫製範囲よりも大きい
サイズの模様を選んだ
ときに表示します。



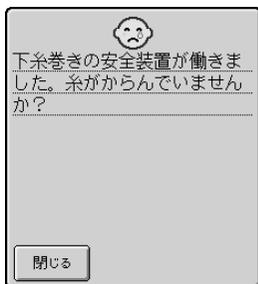
23
刺しゅう時に、小枠、中
枠または中枠プラスが
セットされている状態
で、中枠プラスの縫製
範囲よりも大きいサイ
ズの模様を選んだとき
に表示します。



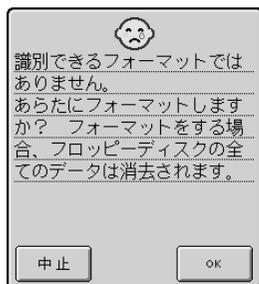
24
刺しゅう時に、刺しゅう
枠がセットされてい
る状態で初期設定をし
ようとしたときに表示
します。



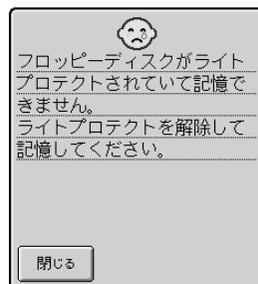
25
刺しゅう時に、刺しゅう
枠がセットされてい
ない状態で、スタート
/ストップスイッチを
押したときに表示しま
す。



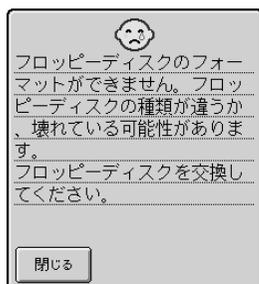
26
下糸巻き中に、糸がら
みなどで、モーターが
ロックしたときに表示
します。



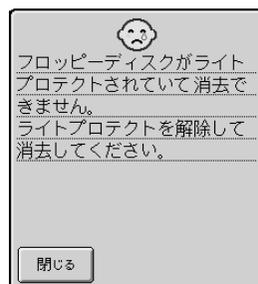
27 フロッピーディスクがフォーマットされていない場合、または識別できるフォーマットになっていないときに表示します。



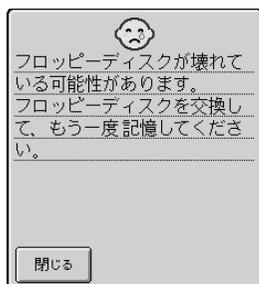
32 フロッピーディスクがライトプロテクトされている状態で、模様を記憶しようとした場合に表示します。



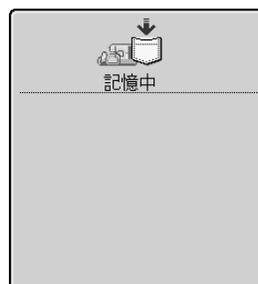
28 フロッピーディスクのフォーマットができないときに表示されます。



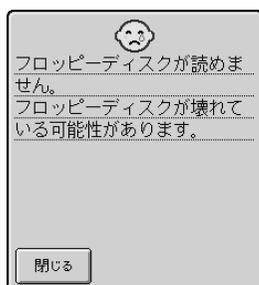
33 フロッピーディスクがライトプロテクトされている状態で、模様を消去しようとしたときに表示します。



29 フロッピーディスクに模様を記憶する場合に、記憶できないときに表示します。



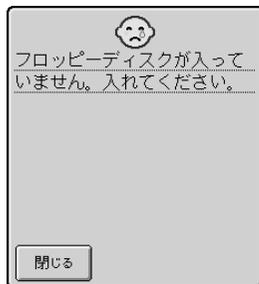
34 模様を記憶しているときに表示します。



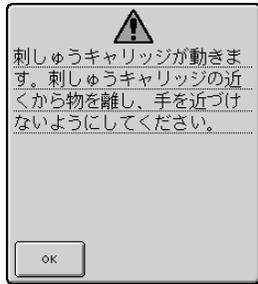
30 フロッピーディスクの模様が読めないときに表示します。



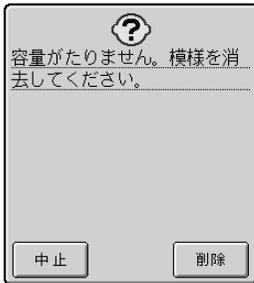
35 下糸が少なくなったときに表示されます。



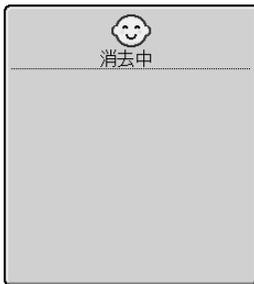
31 フロッピーディスクが差し込まれていない状態で、を押したときに表示します。



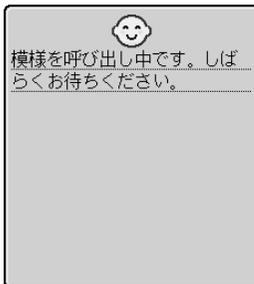
36 刺しゅう機の初期設定をするときに表示します。



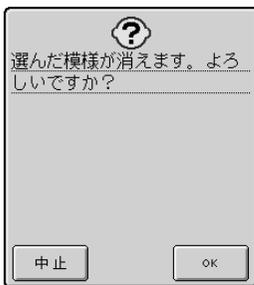
37 記憶容量がいっぱいで記憶できないときに表示します。



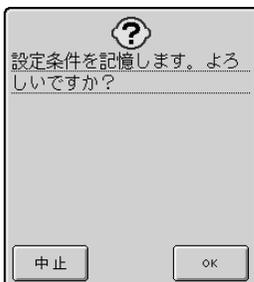
38 記憶した模様を消去するときに表示します。



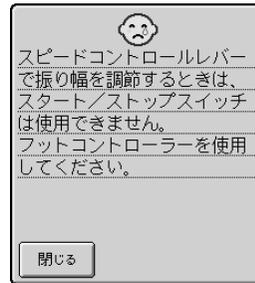
39 編集刺しゅう時に、模様を呼び出しているときに表示します。



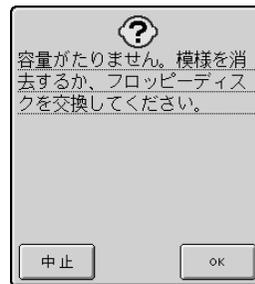
40 模様を選んだ後に
 実用模様、**文字**、**模様ぬい**、**刺しゅう**、**編集刺しゅう**を押して、模様が消去されるときに表示します。



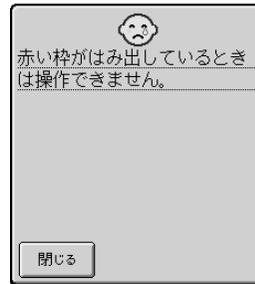
41 実用ぬい画面で、**記憶**を押したときに表示します。



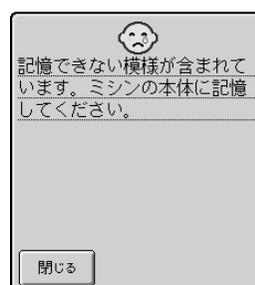
42 スピードコントロールレバーがジグザグの振り幅調節レバーに設定されているときに、スタート/ストップスイッチを押すと表示します。



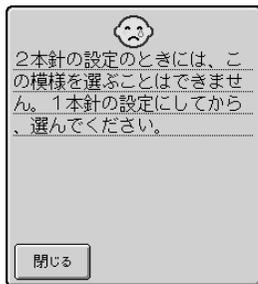
43 記憶したい模様のデータ容量が、フロッピーディスクの残り容量を越えているときに表示します。



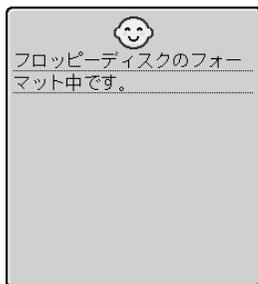
44 編集刺しゅう時に、刺しゅう模様の赤い枠が刺しゅうのできる範囲からはみ出した状態で、編集を行うと表示されます。



45 著作権がある模様をフロッピーディスクに記憶しようとする则表示されます。著作権法上、複製または編集が禁じられている模様はフロッピーディスクには記憶できません。このメッセージが表示された場合は、ミシン本体に記憶してください。



46
2本針が設定されている状態で、模様を選んだときに表示します。



47
フロッピーディスクの初期化を行っているときに表示します。



48
ポビン押えがセットされていない状態で、糸巻きスイッチを押したときに表示します。左へカチッと音がするまで押ししてください。

■ ブザー

を押すとブザーのON/OFFを切り替えることができます。詳しくはP.1-15を参照してください。

その他

主な仕様

	項目	仕様
ミシン本体	本体寸法	47.0 cm (幅) × 30.8 cm (高さ) × 25.3 cm (奥行)
	ケースセット寸法	50.0 cm (幅) × 31.5 cm (高さ) × 27.0 cm (奥行)
	製品質量	11 kg (ケース付き: 12.5 kg)
	ぬい速度	毎分 70~850針
	使用ミシン針	家庭用ミシン (HA ×1)
	ランプ消費電力	12 V/5 W
刺しゅう機	本体寸法	43.1 cm (幅) × 12.2 cm (高さ) × 40.5 cm (奥行)
	ミシンセット時寸法	66.1 cm (幅) × 30.8 cm (高さ) × 40.5 cm (奥行)
	製品質量	3 kg (ケースセット: 6 kg)

アフターサービスについて

■ 保証書について

保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめのうえ、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。(保証書は外箱についています。)

■ 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前にまず、もう一度本書のP.9-6「簡単なミシンの調整」に従って点検していただき、直らないときにはお買い上げの販売店、または「ミシン119番」フリーダイヤル 0120-340-233、最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

また、無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年です。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または「ミシン119番」フリーダイヤル 0120-340-233、最寄りのブラザー販売店にご相談ください。

索引

数字

2本針 2-25
2本針キー 1-13, 2-25, 4-14
4つ穴ボタン 3-61
7mm飾り模様 4-3
7mmサテンステッチ 4-4
 長さを変える 4-15

あ

アイレット 3-62
厚地 2-20, 2-24
アップリケ 3-20, 3-30, 3-36, 5-37,
 5-65, 5-66
アドバイスキー 1-12, 1-22
アプリケーションチェック 1-18
アルファベット 4-6
 文字・模様ぬい 4-6
 刺しゅう 5-11
 編集刺しゅう 6-5

い

糸
 実用ぬい 2-20
 文字・模様ぬい 4-9
 刺しゅう 5-33
糸色の変更 6-13
糸色表示 5-46
移動 5-30, 6-9
糸切り 1-6, 2-22
糸切りスイッチ 1-6
糸こま押え 1-4, 2-2, 2-5, 2-9
糸こまネット 1-4, 2-12
糸調子
 実用ぬい 2-30
 刺しゅう 5-44
糸調子キー 1-13, 2-30, 4-14, 5-44, 5-50
糸通しレバー 2-11
糸巻きスイッチ 1-7
糸密度 4-16, 5-53
糸密度キー 4-14, 4-16, 5-50, 5-53, 6-8

色

 1文字ずつ色を変える 5-54, 6-17
 糸色を変える 6-13
色替キー 5-50, 5-54, 6-8
色替順表示 5-34
色別表示 1-15, 5-23

う

ウォーキングフット 1-5, 2-15
薄地 2-20, 2-24
上糸通し 2-8
上ふた 1-8

え

エラーメッセージ 9-11

お

大型飾り模様 4-2
大型サテンステッチ 4-3
 糸密度を変える 4-16
大きさキー 4-14, 4-15, 4-20, 5-50,
 5-51, 6-8, 6-11
オープニング画面 1-15
送り歯 1-1, 1-8
押え
 押え記号 1-12, 5-23
 交換 2-14, 2-17
 種類 1-3
押え圧ダイヤル 1-9
押えスケール 3-35, 3-56, 3-58
押えホルダー 2-14, 2-17
押えレバー 1-7
お手入れキー 1-19
オリジナル糸番号 1-15, 5-46, 5-47

か

回転

1度回転 6-10

90度回転 5-52, 6-10

回転キー 5-50, 5-52, 6-8, 6-10

返しぬいスイッチ 1-6, 2-23

確認

組み合わせた文字・模様ぬい 4-26

刺しゅうをぬう位置 5-31

各部の名称とはたらきキー 1-19

カタカナ→ひらがな／カタカナ／漢字

かま 8-2

画面

調整 1-16, 9-1

表示言語の切替 1-17

見方 1-12, 5-23

画面ロック 2-33

画面ロックキー 1-13, 2-33, 4-14

漢字→ひらがな／カタカナ／漢字

漢字カード 5-18

かんどめ 3-58

き

キーのはたらき 1-12

文字・模様ぬい 4-14

刺しゅう 5-50

編集刺しゅう 6-8

記憶

実用ぬい（設定の記憶） 3-14

文字・模様ぬい 4-27

刺しゅう 5-55

編集刺しゅう 6-32

マイイラスト機能 7-11

記憶キー 1-13, 3-14, 4-14, 4-27,
5-50, 5-55, 6-32, 7-11

基本操作キー 1-19

キルティング 3-29

キルト 3-27

く

組み合わせ

文字・模様ぬい 4-18

編集刺しゅう 6-21

クリーニング→掃除

クレイジーキルト 3-20

クロスステッチ 4-4

け

警告表示→エラーメッセージ

言語 1-17

こ

ゴールドデン針 2-20

故障→トラブルシューティング

ゴムひもつけ 3-21, 3-46

さ

サイドカッター押え 1-5, 3-24

削除

記憶されている模様 4-28, 5-56, 6-33

編集刺しゅう 6-12

まちがえて選んだとき 4-8

削除キー 4-2, 4-8, 4-14, 6-8, 6-12

サテンぬい 3-32

左右反転キー 1-13

実用ぬい 3-13

文字・模様ぬい 4-14, 4-16, 4-21

刺しゅう 5-50, 5-52

編集刺しゅう 6-8

し

シェルタック 3-38
ジグザグ 3-19, 3-65

刺しゅう

アウトライン刺しゅう 5-64
アップリケ模様 5-37
色替順表示 5-34
応用ぬい 5-61
大きさを変える 5-51, 6-11
記憶 5-59, 6-32
基本手順 5-3
組み合わせ 6-21
種類 5-8, 6-2
小さい布地にぬう 5-68
ぬい上がりイメージ 5-32
ぬい方 5-34
ぬう位置の移動 5-30, 6-9
ぬう位置の確認 5-31
ぬう速度 5-45
布地の端にぬう 5-68
左端に合わせる 5-61
編集 5-50, 6-8
編集した模様の修正 6-30
模様を選ぶ 5-8
模様を選ぶ(編集刺しゅう) 6-2
文字をつなげてぬう 5-62
呼び出し 5-59, 6-36
リボンテープにぬう 5-68
枠模様を使ったアップリケ 5-65, 5-66
刺しゅう押え<Q> 1-3
取り付け 5-4
刺しゅうカード 1-5, 5-1, 5-17
刺しゅうキー 1-12, 5-8
刺しゅう機 1-2, 5-1
キャリングケース 1-2
取り付け 5-5
取り外し 5-7
刺しゅうシート 1-4, 5-27
刺しゅう専用針板カバー 1-4, 5-33
刺しゅうの基本操作キー 1-19

刺しゅうの編集 5-50

糸密度 5-53
色替 5-54
大きさ 5-51
回転 5-52
左右回転 5-52

刺しゅう枠

種類 1-4, 5-25
使用できる枠表示 5-23, 5-25
セット 5-28
取り外し 5-29
布地を張る 5-26

刺しゅう枠表示 1-14, 5-49

下糸

刺しゅう 5-33
下糸巻き 2-1, 2-5
少なくなったら 5-39
セット 2-7
引き出し方 2-13

下糸残量表示 1-12, 5-23

しつけ 3-18

実用飾り模様 4-5

実用ぬい 3-1

左右反転 3-13
ぬい方早見表 3-1
模様を選ぶ 3-9, 3-11

実用ぬいキー 1-12, 3-9

自動糸切り 1-13, 2-32, 4-14, 5-50

自動止めぬい 1-13, 2-31, 4-14

修正

編集刺しゅう 6-30

終了キー 6-8, 6-19

上下反転キー 4-14, 4-16

仕様 10-1

芯ひも 3-55

す

スカラップ 3-40
スクリーン→画面
スタート/ストップスイッチ 1-6, 2-22
ステップ模様 4-23
ストッパー 2-19
スピードコントロールレバー 1-7, 1-14,
3-33
スモッキング 3-43

せ

接着芯 1-5, 5-24
設定キー 1-12, 1-14

そ

操作スイッチ 1-6
掃除
かま 8-2
画面 8-2
フロッピーディスクドライブ 8-4
本体表面 8-2

た

ダーニング 3-56
台皿 3-53
多色糸立てスタンド 1-5
たちめかがり 3-20, 3-21, 3-22
縦書き→横書き/縦書き
ためしキー 5-31, 5-50

ち

調整
糸調子 2-30, 5-44
画面 1-16, 9-1
刺しゅうの速度 5-45
タッチパネル 9-2
ミシン 9-6
文字・模様ぬい 4-11
調節金具 2-15
直線ぬい 3-15, 3-64
著作権 5-1

つ

つき合わせ 3-41, 3-66

て

データ糸色優先 1-14, 5-46
電源コード 1-11
電源スイッチ 1-11
点線ジグザク 3-21
天びん 2-10

と

止めネジ 2-19
トラブルシューティング 9-1, 9-4, 9-6
トラブルチェックキー 1-19, 9-4
ドロップレバー 1-8
ドロンワーク 3-49, 3-51

に

ニーリフター 1-9

ぬ

ぬい上がりイメージ 5-32
ぬい方
厚地 2-24
薄地 2-24
カーブ 2-23, 3-20
ファスナーつけ 3-66, 3-67
ボタンつけ 3-60
連続ぬい 4-17
単独ぬい 4-17
実用ぬい 2-21
文字・模様ぬい 4-10
刺しゅう 5-33
ぬい方キー 1-13, 3-11
ぬい始めキー 5-50, 5-61
ぬい目調節キー 1-13, 2-28, 2-29, 4-14

ぬい目の設定

ぬい目の長さ 1-13, 2-29
ジグザグの振り幅 1-13, 1-16, 2-28,
3-34

振り幅とぬい目の長さ調節範囲 3-1

糸調子 2-30, 5-44

自動止めぬい 2-31

自動糸切り 2-32

記憶 3-14

ぬい目戻る／進むキー 5-40, 5-42, 5-43,
5-50

ぬう位置

移動 5-30, 6-9

確認 5-31

布地

刺しゅう枠に張る 5-26

布地と糸と針の組み合わせ 2-20

は

ハードケース 1-2

配色キー 6-8, 6-13

配列キー 6-6, 6-8, 6-15

パッチワーク 3-20

はとめ穴パンチ 3-54, 3-63

花アルファベット 5-13

針 2-20

1本針／2本針の設定表示 1-12

2本針 2-25

交換 2-18

正しい針 2-18

布地と糸と針の組み合わせ 2-20

針位置 3-17

針板ふた 2-7

針上下スイッチ 1-6

針停止位置 1-12, 1-14

針棒糸かけ 2-10

ひ

ピーシング 3-28

左端に合わせる 5-61

ひらがな／カタカナ／漢字

文字・模様ぬい 4-1, 4-7

刺しゅう 5-8, 5-18, 5-20

編集刺しゅう 6-2, 6-18

ふ

ファゴティング 3-45

ファスナーつけ 3-66, 3-67

プーリー 1-7

ブザー 1-15, 9-16

付属品 1-3

フットコントローラー 1-10

フリーアーム 1-8

振り幅調節レバー 3-33

フロッピーディスク 5-2, 5-22, 5-55, 6-32

ヘッドクリーニング 8-4

へ

ヘアルーム 3-48

別売品 1-5

編集

文字・模様ぬい 4-13

刺しゅう 5-50

編集刺しゅう 6-8

マイイラスト機能 7-6

編集刺しゅう 6-1

位置の移動 6-9

糸色を変える 6-13

大きさを変える 6-11

回転 6-10

キーのはたらき 6-8

削除 6-12

編集刺しゅうキー 1-13, 6-2

ほ

縫製画面（刺しゅう） 5-23

補助糸たて棒 1-8, 2-5, 2-26

補助テーブル 1-3, 1-8

ボタン穴かがり 3-52

ボタンつけ 3-60

ほつれ止め 2-23

ボビン→下糸

ま

マイイラスト機能 7-1
マイイラストシート 1-4, 7-1
まつりぬい 3-34

み

ミシンの使い方キー 1-12, 1-19
ミシンブラシ 1-4, 8-3

め

名称 1-1

も

文字・模様ぬい
選ぶ 4-1
記憶 4-27
組み合わせ 4-18
組み合わせ模様の確認 4-26
消去 4-28
ぬい方 4-10
呼び出し 4-28
文字間キー 6-8, 6-16
文字模様ぬいキー 1-12, 4-1
文字（刺しゅう）
1文字ずつ色を変える 5-54, 6-17
選ぶ 5-11, 5-18, 5-20, 6-5
間隔の変更 6-16
つなげてぬう 5-62
配列の変更 6-15
戻るキー 5-50
模様選択画面 1-13, 3-10
模様選択キー 6-8, 6-27
模様の選び方
実用ぬい 3-9, 3-11
文字・模様ぬい 4-1
刺しゅう 5-8
編集刺しゅう 6-2
模様の長さキー 4-14, 4-15, 4-22

や

矢印キー
刺しゅう 5-30, 5-50
編集刺しゅう 6-8, 6-9

よ

横送り 3-64
横書き／縦書き
文字ぬい 4-17
刺しゅう 5-20
編集刺しゅう 6-18
横縦キー 4-14, 4-17, 5-20, 6-8, 6-18
呼び出し
文字・模様ぬい 4-31
刺しゅう 5-59
編集刺しゅう 6-36
マイイラスト 7-13

ら

ランプ 1-7, 8-1

り

リセットキー 1-13, 3-14
リップパー 1-4, 3-54

れ

連続／単独ぬいキー 4-14, 4-17
連続ぬい 4-17

わ

脇あき 3-67
枠模様 5-15, 5-65, 5-66
ワンポイント 5-9

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の<お客様相談室>へお問い合わせください。

ミシン119番 フリーダイヤル 0120-340-233

- ブラザーミシンの使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店、またはミシン119番までお問い合わせください。
- ミシン119番ではミシンの使い方や、トラブルに対するご相談、修理の受付対応をさせていただきます。

お客様相談室

ブラザー販売株式会社

本 社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3125
北海道お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3丁目2-2	TEL: (011)261-6631
東 北お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL: (022)227-8877
東 京お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3丁目3-8	TEL: (03)3281-4204
中 部お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3193
関 西お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4丁目4番2号	TEL: (06)6531-4670
中四国お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4番28号	TEL: (082)240-3762
九 州お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2丁目3-12	TEL: (092)431-6566

- ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記、最寄りの〔お客様相談室〕へご連絡ください。
- 最寄りのお客様相談室におかけになったすべての電話は、本社お客様相談室へ転送されますが、転送電話料金は、弊社が負担致します。
- FAXの場合は、すべて本社お客様相談室 (052) 824-3031 でお受け致します。
- 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

取扱店

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561